

注3

大学番号：私063

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

駒沢女子大学 人間総合学群

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 駒澤学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

駒沢女子大学 大学短大事務部

部長 ハラダ タカシ  
原田 隆

電話番号 042-350-7111

(夜間) 042-350-7111

F A X 042-350-7112

e-mail daigaku@komajo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 人間総合学群

＜人間文化学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	28
4. 既設大学等の状況	29
5. 教員組織の状況	31
6. 附帯事項等に対する履行状況等	59
7. その他全般的事項	60

＜観光文化学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	72
2. 授業科目の概要	76
3. 施設・設備の整備状況、経費	89
4. 既設大学等の状況	90
5. 教員組織の状況	92
6. 附帯事項等に対する履行状況等	116
7. その他全般的事項	117

＜心理学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	124
2. 授業科目の概要	128
3. 施設・設備の整備状況、経費	142
4. 既設大学等の状況	143
5. 教員組織の状況	145
6. 附帯事項等に対する履行状況等	169
7. その他全般的事項	170

<住空間デザイン学類>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	178
2. 授業科目の概要	182
3. 施設・設備の整備状況、経費	195
4. 既設大学等の状況	196
5. 教員組織の状況	198
6. 附帯事項等に対する履行状況等	224
7. その他全般的事項	225

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人駒澤学園

## (2) 大学名

駒沢女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒206-8511  
東京都稲城市坂浜238番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成28年6月)		
学長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成23年4月)		
学群長	(ハトリ オサム) 羽鳥 修 (平成30年4月)		
学類長	(ミタ セイジ) 三田 誠司 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間総合学群 人間文化学類 学士(日本文化) 学士(人間関係) 学士(英語コミュニケーション)	文学関係	4年	170人	20人 3年次	720人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	170 ( ) [若干名]	—	170 ( ) [若干名]	—	( ) ( ) [ ]	1.21倍	—倍								
志願者数	555 ( ) [2]	— ( ) [—]	769 ( ) [14]	— ( ) [—]	( ) ( ) [ ]										
受験者数	537 ( ) [2]	— ( ) [—]	734 ( ) [12]	— ( ) [—]	( ) ( ) [ ]										
合格者数	436 ( ) [2]	— ( ) [—]	490 ( ) [9]	— ( ) [—]	( ) ( ) [ ]										
B 入学者数	198 ( ) [1]	— ( ) [—]	215 ( ) [9]	— ( ) [—]	( ) ( ) [ ]										
入学定員超過率 B/A	1.16		1.26												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1 年次	198 [ 1 ] ( - )	— [ — ] ( - )	215 [ 9 ] ( - )	— [ — ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	入学者のうち、人間総合学群一括入試による者は、按分して各学類に記載しており、全学生は、2年次進学時に学類を決定して収容する。	
2 年次	/		187 [ 2 ] ( - )	— [ — ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )		
3 年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )		[ ] ( )
4 年次							/		/			[ ] ( )
計			198 [ 1 ] ( - )	402 [ 11 ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )						[ ] ( )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	198 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	402 人	7 人	平成30年度	7 人	0 人	その他(3人)、就学意思の低下(2人)、他の教育機関への入学(1人)、家庭の事情(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		7 人		7 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{198} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{402} = \boxed{1.74} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人間総合学群 人間文化学類>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初年度教育科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			5	2	3			11
	基礎ゼミⅡ	1後	1			5	2	3			11
	小計(2科目)	—	2	0	0	5	2	3	0	0	11
建学の精神を学ぶ科目	仏教学Ⅰ	1前	2			2					2
	仏教学Ⅱ	1後	2			2					2
	仏教学Ⅲ	2前	2								1
	仏教学Ⅳ	2後	2								1
	駒沢女子大学入門	1前	2			3	1	1			6
	小計(5科目)	—	4	6	0	3	1	1	0	0	4
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前	2			1	1				
	日本文化入門Ⅱ	1後	2			1	1				
	人間関係入門Ⅰ	1前	2			1		2			
	人間関係入門Ⅱ	1後	2			2	1				
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前	2			1	2	3			
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後	2			1	2	3			
	観光文化入門Ⅰ	1前	2								1
	観光文化入門Ⅱ	1後	2								1
	心理学入門Ⅰ	1前	2								1
	心理学入門Ⅱ	1後	2								1
	住空間デザイン入門Ⅰ	1前	2								3
	住空間デザイン入門Ⅱ	1後	2								3
小計(12科目)	—	0	24	0	6	5	5	0	0	6	
人間総合学群 教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前	2								1
	人間と思想Ⅱ	1後	2								1
	人間と文化Ⅰ	1前	2								1
	人間と文化Ⅱ	1後	2								1
	生命の科学	1前	2								1
	倫理学	1後	2								1
	人権の基礎	1前	2			1					
	女性の人権	1後	2			1					
	心理学Ⅰ	1前	2								2
	心理学Ⅱ	1後	2								2
	生涯学習論Ⅰ	1前	2								1
	生涯学習論Ⅱ	1後	2								1
	社会福祉概論Ⅰ	1前	2								1
	社会福祉概論Ⅱ	1後	2								1
小計(14科目)	—	0	28	0	1	0	0	0	0	7	
教養知科目	日本の歴史	1後	2								1
	世界の歴史	1後	2								1
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前	2			1					
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後	2			1					
	西洋文化史	1前	2								1
	日本美術史	1前	2								1
	比較文化	1後	2			1					
	日本の文化	1後	2			1					
	観光地理(日本)	1前	2								1
	観光地理(世界)	1後	2								1
	日本の文学	1前	2			1					
	ヨーロッパの文学	1後	2								1
小計(12科目)	—	0	24	0	4	0	0	0	0	6	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初年度教育科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			5	4	1			18
	基礎ゼミⅡ	1後	1			5	4	1			18
	小計(2科目)	—	2	0	0	5	4	1	0	0	18
建学の精神を学ぶ科目	仏教学Ⅰ	1前	2			2					1
	仏教学Ⅱ	1後	2			2					1
	仏教学Ⅲ	2前	2								1
	仏教学Ⅳ	2後	2								1
	駒沢女子大学入門	1前	2			3	1				1
	小計(5科目)	—	4	6	0	3	1	0	0	0	3
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前	2			2					
	日本文化入門Ⅱ	1後	2			1	1				
	人間関係入門Ⅰ	1前	2			1	1	1			
	人間関係入門Ⅱ	1後	2			2	1				
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前	2			2	1	3			2
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後	2			2	1	3			2
	観光文化入門Ⅰ	1前	2								7
	観光文化入門Ⅱ	1後	2								2
	心理学入門Ⅰ	1前	2								1
	心理学入門Ⅱ	1後	2								2
	住空間デザイン入門Ⅰ	1前	2								3
	住空間デザイン入門Ⅱ	1後	2								3
小計(12科目)	—	0	24	0	8	4	4	0	0	15	
人間総合学群 教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前	2								1
	人間と思想Ⅱ	1後	2								1
	人間と文化Ⅰ	1前	2								1
	人間と文化Ⅱ	1後	2								1
	生命の科学	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	人権の基礎	1前	2			1					
	女性の人権	1後	2			1					
	心理学Ⅰ	1前	2								2
	心理学Ⅱ	1後	2								2
	生涯学習論Ⅰ	1前	2								1
	生涯学習論Ⅱ	1後	2								1
	社会福祉概論Ⅰ	1前	2								1
	社会福祉概論Ⅱ	1後	2								1
小計(14科目)	—	0	0	0	1	0	0	0	0	7	
教養知科目	日本の歴史	1後	2								1
	世界の歴史	1後	2								1
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前	2			1					
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後	2			1					
	西洋文化史	1前	2								1
	日本美術史	1前	2								1
	比較文化	1後	2			1					
	日本の文化	1前	2			1					
	観光地理(日本)	1前	2								1
	観光地理(世界)	1後	2								1
	日本の文学	1前	2			1					
	ヨーロッパの文学	1後	2								1
小計(12科目)	—	0	24	0	4	0	0	0	0	6	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養知科目	日本の政治	1前	2			1						
	世界の政治	1後	2			1						
	政治と市民参加	1後	2			1						
	日本の経済	1前	2								1	
	世界の経済	1前	2								1	
	新聞と報道	1後	2								1	
	グローバル共生論	1後	2								1	
	法学	1前	2			1						
	法と社会	1後	2			1						
	日本国憲法 I	1前	2			1						
	日本国憲法 II	1後	2			1						
	社会学 I	1前	2								1	
	社会学 II	1後	2								1	
	数学の世界	1前	2								1	
	物理の世界	1後	2								1	
	生物と生命	1前	2								1	
	地球と宇宙	1後	2								1	
	物質と化学	1前	2								1	
	情報と科学	1後	2								1	
	色彩と科学	1前	2								1	
小計(20科目)	—	0	40	0	2	0	0	0	0	0	10	
人間総合学群 実習科目	ボランティア実習 I	1後	1			2						
	ボランティア実習 II	2後	2			1						
	海外英語研修 I	1後	2			2	2	3				
	海外英語研修 II	2後	2			2	2	3				
	国際協力実習	2前	1								1	
	国際協力実習フォローアップ	2後	2								1	
	小計(6科目)	—	0	10	0	4	2	3	0	0	1	
実践知科目 就業力育成科目	進路設計	1後	2								3	
	社会と教養演習A	2・3前	1								1	
	社会と教養演習B	2・3前	1								1	
	社会と教養演習C	2・3後	1								1	
	社会と教養演習D	2・3後	1								1	
	キャリアリテラシー	3前	2								1	
	就業への知識と技能A	2・3前	2			1						
就業への知識と技能B	2・3後	2								1		
小計(8科目)	—	2	10	0	1	0	0	0	0	0	5	
健康体育科目	女性と健康 I	1前	2								1	
	女性と健康 II	1後	2								1	
	スポーツ I	1・2前	1								3	
	スポーツ II	1・2後	1								3	
小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	4	
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前	1			1	1				3	
	言語表現演習 II	1後	1			1	1				3	
	小計(2科目)	—	2	0	0	1	0	1	0	0	3	
技法知科目 外国語育成科目	英語A I	1前	1								23	
	英語A II	1後	1								23	
	英語A III	2前	1								23	
	英語A IV	2後	1								23	
	英語B I	1前	1				1				22	
	英語B II	1後	1				1				22	
	英語B III	2前	1				1				22	
	英語B IV	2後	1				1				22	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養知科目	日本の政治	1前	2			1						
	世界の政治	1後	2			1						
	政治と市民参加	1後	2			1						
	日本の経済	1前	2								1	
	世界の経済	1前	2								1	
	新聞と報道	1後	2								1	
	グローバル共生論	1後	2								1	
	法学	1前	2			1						
	法と社会	1後	2			1						
	日本国憲法 I	1前	2			1						
	日本国憲法 II	1後	2			1						
	社会学 I	1前	2								1	
	社会学 II	1後	2								1	
	数学の世界	1前	2								1	
	物理の世界	1後	2								1	
	生物と生命	1前	2								1	
	地球と宇宙	1後	2								1	
	物質と化学	1後	2								1	
	情報と科学	1後	2								1	
	色彩と科学	1前	2								1	
小計(20科目)	—	0	40	0	2	0	0	0	0	0	11	
人間総合学群 実習科目	ボランティア実習 I	1後	1			2						
	ボランティア実習 II	2後	2			1						
	海外英語研修 I	1後	2			2	2	3				
	海外英語研修 II	2後	2			2	2	3				
	国際協力実習	2前	1								1	
	国際協力実習フォローアップ	2後	2								1	
	小計(6科目)	—	0	10	0	4	2	3	0	0	1	
実践知科目 就業力育成科目	進路設計	1後	2								3	
	社会と教養演習A	2・3前	1								1	
	社会と教養演習B	2・3前	1								1	
	社会と教養演習C	2・3後	1								1	
	社会と教養演習D	2・3後	1								1	
	キャリアリテラシー	3前	2								1	
	就業への知識と技能A	2・3前	2			1						
就業への知識と技能B	2・3後	2								1		
小計(8科目)	—	2	10	0	1	0	0	0	0	0	6	
健康体育科目	女性と健康 I	1前	2								1	
	女性と健康 II	1後	2								1	
	スポーツ I	1・2前	1								2	
	スポーツ II	1・2後	1								2	
小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	4	
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前	1			1	1				4	
	言語表現演習 II	1後	1			1	1				4	
	小計(2科目)	—	2	0	0	1	1	0	0	0	4	
技法知科目 外国語育成科目	英語A I	1前	1								15	
	英語A II	1後	1								15	
	英語A III	2前	1								15	
	英語A IV	2後	1								15	
	英語B I	1前	1				1				14	
	英語B II	1後	1				1				14	
	英語B III	2前	1				1				14	
	英語B IV	2後	1				1				14	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間総合学群 教養教育科目	英会話 I	1前	1								3	
	英会話 II	1後	1								3	
	英会話 III	2前	1								1	
	英会話 IV	2後	1								1	
	Receptive English I	1・2前	1								1	
	Receptive English II	1・2後	1								1	
	Productive English I	1・2前	1								1	
	Productive English II	1・2後	1								1	
	English Summer Seminar	2・3前	1					2				
	フランス語 I	1前	1								2	
	フランス語 II	1後	1								2	
	フランス語 III	2前	1								2	
	フランス語 IV	2後	1								2	
	ドイツ語 I	1前	1								2	
	ドイツ語 II	1後	1								2	
	ドイツ語 III	2前	1								2	
	ドイツ語 IV	2後	1								2	
	スペイン語 I	1前	1								2	
	スペイン語 II	1後	1								2	
	スペイン語 III	2前	1								2	
	スペイン語 IV	2後	1								2	
	中国語 I	1前	1								2	
	中国語 II	1後	1								2	
	中国語 III	2前	1								2	
	中国語 IV	2後	1								2	
	小計(33科目)	—	—	8	25	0	0	1	3	0	0	29
	情報力育成科目	コンピュータ演習 I	1前	1								6
		コンピュータ演習 II	1後	1								6
コンピュータ演習 III		2前	1								1	
コンピュータ演習 IV		2後	1								1	
小計(4科目)		—	—	2	2	0	0	0	0	0	0	6
特設科目	日本語A I	1前	1								1	
	日本語B I	1前	1								1	
	日本語A II	1後	1								1	
	日本語B II	1後	1								1	
	日本語A III	2前	1								1	
	日本語B III	2前	1								1	
	日本語A IV	2後	1								1	
	日本語B IV	2後	1								1	
	日本事情 I	1前	2								1	
	日本事情 II	1後	2								1	
	日本事情 III	2前	2			1						
	日本事情 IV	2後	2			1						
	小計(12科目)	—	—	16	0	0	1	0	0	0	0	2
人間総合学群 人間文化学類 基本科目	日本語表現 I	2前	2			2						
	日本語表現 II	2後	2			2						
	日本語表現の実践 I	3前	2			1						
	日本語表現の実践 II	3後	2			1						
	日本の文化と歴史 I	2前	2				2					
	日本の文化と歴史 II	2後	2				2					
	日本の文化と歴史 III	3前	2			1	1					
	日本の文化と歴史 IV	3後	2			1	1					
小計(8科目)	—	—	16	0	0	2	2	0	0	0	0	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間総合学群 教養教育科目	英会話 I	1前	1								4	
	英会話 II	1後	1								4	
	英会話 III (未開講)	2前	1								1	
	英会話 IV	2後	1								1	
	Receptive English I	1・2前	1								1	
	Receptive English II	1・2後	1								1	
	Productive English I	1・2前	1								1	
	Productive English II	1・2後	1								1	
	English Summer Seminar	2・3前	1					2				
	フランス語 I	1前	1								2	
	フランス語 II	1後	1								2	
	フランス語 III	2前	1								2	
	フランス語 IV	2後	1								2	
	ドイツ語 I	1前	1								1	
	ドイツ語 II	1後	1								1	
	ドイツ語 III	2前	1								1	
	ドイツ語 IV	2後	1								1	
	スペイン語 I	1前	1								2	
	スペイン語 II	1後	1								2	
	スペイン語 III	2前	1								1	
	スペイン語 IV	2後	1								1	
	中国語 I	1前	1								2	
	中国語 II	1後	1								2	
	中国語 III	2前	1								1	
	中国語 IV	2後	1								1	
	小計(33科目)	—	—	8	25	0	0	1	3	0	0	34
	情報力育成科目	コンピュータ演習 I	1前	1								6
		コンピュータ演習 II	1後	1								6
コンピュータ演習 III		2前	1								1	
コンピュータ演習 IV		2後	1								1	
小計(4科目)		—	—	2	2	0	0	0	0	0	0	7
特設科目	日本語A I	1前	1								1	
	日本語B I	1前	1								1	
	日本語A II	1後	1								1	
	日本語B II	1後	1								1	
	日本語A III	2前	1								1	
	日本語B III	2前	1								1	
	日本語A IV	2後	1								1	
	日本語B IV	2後	1								1	
	日本事情 I	1前	2								1	
	日本事情 II	1後	2								1	
	日本事情 III	2前	2				1					
	日本事情 IV	2後	2				1					
	小計(12科目)	—	—	16	0	0	1	0	0	0	0	2
人間総合学群 人間文化学類 基本科目	日本語表現 I	2前	2			2						
	日本語表現 II	2後	2			2						
	日本語表現の実践 I	3前	2			1						
	日本語表現の実践 II	3後	2			1						
	日本の文化と歴史 I	2前	2				2		1	1		
	日本の文化と歴史 II	2後	2				2		1	1		
	日本の文化と歴史 III	3前	2			1	1		2			
	日本の文化と歴史 IV	3後	2			1	1		2			
小計(8科目)	—	—	16	0	0	3	1	0	0	0	0	



【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間文化学類	身体文化論 I	2・3前	2								1
	身体文化論 II	2・3後	2								1
	化粧文化論	2前・後	2			1					
	服装の美意識 I	2・3前	2								1
	服装の美意識 II	2・3後	2								1
	和装の文化 I	2・3前	2			1					
	和装の文化 II	2・3後	2			1					
	流行論	2・3前	2				1				
	ビューティービジネス	3・4後	2								1
	恋愛の心理学	2・3前	2					1			
	家族関係の心理学	2・3後	2					1			
	自己分析の心理学	2・3前	2								1
	ビジネスと心理学	2・3後	2								1
	セルフプロデュース	3・4前	2								1
	自己表現法 I	2・3前	2								1
	自己表現法 II	2・3後	2								1
	主幹科目	コミュニケーション実習 I	2前	1							1
	コミュニケーション実習 II	2後	1								1
	報道とメディア	2・3前	2								1
	情報技術と人間関係	2・3前	2			1					
映像広告の研究	2・3後	2			1						
表現活動とビジネス	2・3後	2			1						
人間関係専攻	文化人類学	2・3後	2							1	
文化社会学 I	2・3前	2					1				
文化社会学 II	2・3後	2					1				
家族と現代社会	2・3後	2								1	
環境問題と市民	2・3後	2								1	
現代国際社会	2・3前	2			1						
社会学特論	2・3前	2								1	
職業の世界	2・3後	2				1					
チームビルディング	2・3前	2								1	
組織マネジメント	2・3後	2								1	
経済とビジネス I	3・4前	2								1	
経済とビジネス II	3・4後	2								1	
小計(34科目)	—	0	66	0	4	1	2	0	0	12	
総合実践科目	アンケート調査法	2・3前	2							1	
フィールドワークの技法	2・3後	2								1	
人間関係学実習 I	2前	1								1	
人間関係学実習 II	2後	1								1	
現代社会総合講座 I	2・3前	2			4	1	2				
現代社会総合講座 II	2・3後	2			4	1	2				
小計(6科目)	—	0	10	0	4	1	2	0	0	3	
専門ゼミ科目	人間関係ゼミ I	3前	1			4	1	2			
人間関係ゼミ II	3後	1				4	1	2			
人間関係ゼミ III	4前	1				4	1	2			
人間関係ゼミ IV	4後	1				4	1	2			
卒業論文	4通	4			4	1	2				
小計(5科目)	—	4	4	0	4	1	2	0	0	0	
基本科目	English Workshop I	2前	2			1	2	3			
English Workshop II	2後	2				1	2	3			
English Workshop III	3前	2			1		1				
English Workshop IV	3後	2			1		1				
Academic Reading I	2・3前	2								1	
Academic Reading II	2・3後	2								1	
Academic Reading III	2・3前	2								1	
Academic Reading IV	2・3後	2								1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間文化学類	身体文化論 I	2・3前	2								1
	身体文化論 II	2・3後	2								1
	化粧文化論	2前・後	2			1					
	服装の美意識 I	2・3前	2								1
	服装の美意識 II	2・3後	2								1
	和装の文化 I	2・3前	2			1					
	和装の文化 II	2・3後	2			1					
	流行論	2・3前	2				1				
	ビューティービジネス	3・4後	2								1
	恋愛の心理学	2・3前	2					1			
	家族関係の心理学	2・3後	2					1			
	自己分析の心理学	2・3前	2								1
	ビジネスと心理学	2・3後	2								1
	セルフプロデュース	3・4前	2								1
	自己表現法 I	2・3前	2								1
	自己表現法 II	2・3後	2								1
	主幹科目	コミュニケーション実習 I	2前	1							1
	コミュニケーション実習 II	2後	1								1
	報道とメディア	2・3前	2								1
	情報技術と人間関係	2・3前	2			1					
映像広告の研究	2・3後	2			1						
表現活動とビジネス	2・3後	2			1						
人間関係専攻	文化人類学	2・3後	2							1	
文化社会学 I	2・3前	2					1				
文化社会学 II	2・3後	2					1				
家族と現代社会	2・3後	2								1	
環境問題と市民	2・3前	2								1	
現代国際社会	2・3前	2			1						
社会学特論	2・3前	2								1	
職業の世界	2・3後	2				1					
チームビルディング	2・3前	2								1	
組織マネジメント	2・3後	2								1	
経済とビジネス I	3・4前	2								1	
経済とビジネス II	3・4後	2								1	
小計(34科目)	—	0	66	0	4	2	1	0	0	13	
総合実践科目	アンケート調査法	2・3前	2							1	
フィールドワークの技法	2・3後	2								1	
人間関係学実習 I	2前	1								1	
人間関係学実習 II	2後	1								1	
現代社会総合講座 I	2・3前	2			4	2	1				
現代社会総合講座 II	2・3後	2			4	2	1				
小計(6科目)	—	0	10	0	4	2	1	0	0	3	
専門ゼミ科目	人間関係ゼミ I	3前	1			4	2	1			
人間関係ゼミ II	3後	1				4	2	1			
人間関係ゼミ III	4前	1				4	2	1			
人間関係ゼミ IV	4後	1				4	2	1			
卒業論文	4通	4			4	2	1				
小計(5科目)	—	4	4	0	4	2	1	0	0	0	
基本科目	English Workshop I	2前	2			2	1	3		2	
English Workshop II	2後	2				2	1	3		2	
English Workshop III	3前	2			1		1				
English Workshop IV	3後	2			1		1				
Academic Reading I	2・3前	2								1	
Academic Reading II	2・3後	2								1	
Academic Reading III	2・3前	2						1			
Academic Reading IV	2・3後	2						1			

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本科目	Academic Speaking I	2・3前	2								2	
	Academic Speaking II	2・3後	2								2	
	Academic Speaking III	2・3前	2								1	
	Academic Speaking IV	2・3後	2								1	
	ライティング・使える英作文Ⅰ	2・3前	2								1	
	ライティング・使える英作文Ⅱ	2・3後	2								1	
	ライティング・使える英作文Ⅲ	2・3後	2			1						
	文法Ⅰ	2・3前	2								1	
	文法Ⅱ	2・3後	2								1	
	文法Ⅲ	2・3前	2			1						
小計(18科目)	—	4	32	0	1	2	3	0	0	5		
人間文化学類 主幹科目	Core Studies (Basic) I	2前	2			1						
	Core Studies (Basic) II	2後	2				1					
	Core Studies I	3前	2					2				
	Core Studies II	3後	2					2				
	Core Studies III	4前	2					2				
	Core Studies IV	4後	2					2				
	イギリス文学Ⅰ	2・3前	2			1						
	イギリス文学Ⅱ	2・3後	2			1						
	アメリカ文学Ⅰ	2・3前	2								1	
	アメリカ文学Ⅱ	2・3後	2								1	
人間文化学類 主幹科目	英語学概論Ⅰ	2・3前	2								1	
	英語学概論Ⅱ	2・3後	2								1	
	英語教育学概論Ⅰ	2・3前	2								1	
	英語教育学概論Ⅱ	2・3後	2								1	
	アメリカの文化と歴史Ⅰ	2・3前	2								1	
	アメリカの文化と歴史Ⅱ	2・3後	2								1	
	異文化理解Ⅰ	2・3前	2		1							
	異文化理解Ⅱ	2・3後	2		1							
	時事英語Ⅰ	2・3前	2								1	
	時事英語Ⅱ	2・3後	2								1	
人間文化学類 主幹科目	英語音声学Ⅰ	2・3前	2								1	
	英語音声学Ⅱ	2・3後	2								1	
	映画の英語Ⅰ	2・3前	2								1	
	映画の英語Ⅱ	2・3後	2								1	
	小計(24科目)	—	4	44	0	1	1	2	0	0	6	
	人間文化学類 主幹科目	キャリア・イングリッシュⅠ	2前	2					1			1
		キャリア・イングリッシュⅡ	2後	2					1			1
		キャリア・イングリッシュⅢ	3前	2								1
		キャリア・イングリッシュⅣ	3後	2								1
		通訳・ガイドⅠ	2・3前	2								1
通訳・ガイドⅡ		2・3後	2								1	
通訳・ガイドⅢ		2・3前	2								1	
通訳・ガイドⅣ		2・3後	2								1	
日本紹介の英語		2・3前	2					1				
ボランティア英語		2・3後	2					1				
人間文化学類 主幹科目	Japan Studies I	2・3前	2					1				
	Japan Studies II	2・3後	2					1				
	海外留学準備	2前	1							1		
	6か月留学	2後	22					1				
	小計(14科目)	—	4	43	0	0	1	2	0	0	2	
	専門ゼミ科目	英語コミュニケーションゼミⅠ	3前	1			1	2				
		英語コミュニケーションゼミⅡ	3後	1			1	2				
		英語コミュニケーションゼミⅢ	4前	1			1	2				
		英語コミュニケーションゼミⅣ	4後	1			1	2				
		卒業論文	4通	4			1	2				
小計(5科目)	—	4	4	0	1	2	0	0	0	0		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本科目	Academic Speaking I	2・3前	2						1			
	Academic Speaking II	2・3後	2						1			
	Academic Speaking III (未開講)	2・3前	2						1			
	Academic Speaking IV (未開講)	2・3後	2						1			
	ライティング・使える英作文Ⅰ	2・3前	2								1	
	ライティング・使える英作文Ⅱ	2・3後	2								1	
	ライティング・使える英作文Ⅲ (未開講)	2・3後	2					1				
	文法Ⅰ	2・3前	2								1	
	文法Ⅱ	2・3後	2								1	
	文法Ⅲ (未開講)	2・3前	2					1				
小計(18科目)	—	4	32	0	2	1	3	0	0	4		
人間文化学類 主幹科目	Core Studies (Basic) I	2前	2						1			
	Core Studies (Basic) II	2後	2							1		
	Core Studies I	3前	2							2		
	Core Studies II	3後	2							2		
	Core Studies III	4前	2							2		
	Core Studies IV	4後	2							2		
	イギリス文学Ⅰ	2・3前	2						1			
	イギリス文学Ⅱ	2・3後	2						1			
	アメリカ文学Ⅰ	2・3前	2								1	
	アメリカ文学Ⅱ	2・3後	2								1	
人間文化学類 主幹科目	英語学概論Ⅰ	2・3前	2								1	
	英語学概論Ⅱ	2・3後	2								1	
	英語教育学概論Ⅰ	2・3前	2								1	
	英語教育学概論Ⅱ	2・3後	2								1	
	アメリカの文化と歴史Ⅰ	2・3前	2								1	
	アメリカの文化と歴史Ⅱ	2・3後	2								1	
	異文化理解Ⅰ	2・3前	2					1				
	異文化理解Ⅱ	2・3後	2					1				
	時事英語Ⅰ	2・3前	2								1	
	時事英語Ⅱ	2・3後	2								1	
人間文化学類 主幹科目	英語音声学Ⅰ	2・3前	2								1	
	英語音声学Ⅱ	2・3後	2								1	
	映画の英語Ⅰ	2・3前	2								1	
	映画の英語Ⅱ	2・3後	2								1	
	小計(24科目)	—	4	44	0	1	1	2	0	0	5	
	人間文化学類 主幹科目	キャリア・イングリッシュⅠ	2前	2							1	2
		キャリア・イングリッシュⅡ	2後	2							1	2
		キャリア・イングリッシュⅢ	3前	2								1
		キャリア・イングリッシュⅣ	3後	2								1
		通訳・ガイドⅠ	2・3前	2								1
通訳・ガイドⅡ		2・3後	2								1	
通訳・ガイドⅢ (未開講)		2・3前	2								1	
通訳・ガイドⅣ (未開講)		2・3後	2								1	
日本紹介の英語		2・3前	2							1		
ボランティア英語		2・3後	2							1		
人間文化学類 主幹科目	Japan Studies I	2・3前	2							1		
	Japan Studies II	2・3後	2							1		
	海外留学準備	2前	1							1		
	6か月留学	2後	22							1		
	小計(14科目)	—	4	43	0	0	1	2	0	0	2	
	専門ゼミ科目	英語コミュニケーションゼミⅠ	3前	1					1	2		
		英語コミュニケーションゼミⅡ	3後	1					1	2		
		英語コミュニケーションゼミⅢ	4前	1					1	2		
		英語コミュニケーションゼミⅣ	4後	1					1	2		
		卒業論文	4通	4					1	2		
小計(5科目)	—	4	4	0	1	2	0	0	0	0		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間総合学群 人間文化学類 専門教育科目	日本文化実習	3・4前	1			1							
	仏教文化実習	3・4後	1			1							
	日本文化研修	3・4前	1			1							
	身体文化実習Ⅰ	2・3前	1								1		
	身体文化実習Ⅱ	2・3後	1								1		
	プレゼンテーション実習Ⅰ	2・3前	1			1							
	プレゼンテーション実習Ⅱ	2・3後	1			1							
	チャレンジTOEIC	2・3前	1			1							
	ビジネスインターンシップ	3後	1			2	1						
	小計(9科目)	—	0	9	0	6	1	0	0	0	0	2	
国語学	日本語学概論Ⅰ	2前	2									1	
	日本語学概論Ⅱ	2後	2									1	
	日本語学Ⅰ	3前	2									1	
	日本語学Ⅱ	3後	2				1						
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	1	0	0	0	2	
	国文学	古典文学概論	2前	2			1						
		近代文学概論	2前	2			1						
		古典文学Ⅰ(上代・中古)	2・3前	2			1						
		古典文学Ⅱ(中世・近世)	2・3後	2								1	
		日本文学史Ⅰ	2・3・4前	2			1						
日本文学史Ⅱ		2・3・4後	2								1		
近現代文学Ⅰ(近代)		2・3前	2			1							
近現代文学Ⅱ(現代)		2・3後	2			1							
小計(8科目)	—	0	16	0	2	0	0	0	0	0	1		
漢文学	中国文学Ⅰ(漢文学)	3前	2									1	
	中国文学Ⅱ(漢文学)	3後	2									1	
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	
書道	書道実習Ⅰ	3前	1									1	
	書道実習Ⅱ	3後	1									1	
	小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	
英語学	英語学概論Ⅰ	2・3前	2									1	
	英語学概論Ⅱ	2・3後	2									1	
	英語音声学Ⅰ	2・3前	2									1	
	英語音声学Ⅱ	2・3後	2									1	
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	1	
	英米文学	アメリカ文学Ⅰ	2・3前	2									1
		アメリカ文学Ⅱ	2・3後	2									1
		イギリス文学Ⅰ	2・3前	2			1						
		イギリス文学Ⅱ	2・3後	2			1						
		小計(4科目)	—	0	8	0	0	1	0	0	0	0	1
英語コミュニケーション	日本紹介の英語	2・3前	2				1						
	Japan StudiesⅠ	2・3前	2				1						
	Japan StudiesⅡ	2・3後	2				1						
	小計(3科目)	—	0	6	0	0	0	1	0	0	0	0	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間総合学群 人間文化学類 専門教育科目	日本文化実習	3・4前	1			1							
	仏教文化実習	3・4後	1			1							
	日本文化研修	3・4前	1			1							
	身体文化実習Ⅰ(未開講)	2・3前	1									1	
	身体文化実習Ⅱ	2・3後	1									1	
	プレゼンテーション実習Ⅰ	2・3前	1			1							
	プレゼンテーション実習Ⅱ	2・3後	1			1							
	チャレンジTOEIC	2・3前	1			1							
	ビジネスインターンシップ	3後	1			2	1						
	小計(9科目)	—	0	9	0	6	1	0	0	0	0	2	
国語学	日本語学概論Ⅰ	2前	2									1	
	日本語学概論Ⅱ	2後	2									1	
	日本語学Ⅰ	3前	2									1	
	日本語学Ⅱ	3後	2				1						
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	1	0	0	0	0	2	
	国文学	古典文学概論	2前	2			1						
		近代文学概論	2前	2			1						
		古典文学Ⅰ(上代・中古)	2・3前	2			1						
		古典文学Ⅱ(中世・近世)	2・3後	2									1
		日本文学史Ⅰ	2・3・4前	2			1						
日本文学史Ⅱ		2・3・4後	2									1	
近現代文学Ⅰ(近代)		2・3前	2			1							
近現代文学Ⅱ(現代)		2・3後	2			1							
小計(8科目)	—	0	16	0	2	0	0	0	0	0	1		
漢文学	中国文学Ⅰ(漢文学)	3前	2									1	
	中国文学Ⅱ(漢文学)	3後	2									1	
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	
書道	書道実習Ⅰ	3前	1									1	
	書道実習Ⅱ	3後	1									1	
	小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	
国語科教育法	国語科教育法Ⅰ	3前				2						1	
	国語科教育法Ⅱ	3後				2						1	
	国語科教育法Ⅲ	3前				2						1	
	国語科教育法Ⅳ	3後				2						1	
	小計(4科目)	—	0	0	0	8	0	0	0	0	0	1	
英語学	英語学概論Ⅰ	2・3前	2									1	
	英語学概論Ⅱ	2・3後	2									1	
	英語音声学Ⅰ	2・3前	2									1	
	英語音声学Ⅱ	2・3後	2									1	
	小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	1	
	英米文学	アメリカ文学Ⅰ	2・3前	2									1
		アメリカ文学Ⅱ	2・3後	2									1
		イギリス文学Ⅰ	2・3前	2			1						
		イギリス文学Ⅱ	2・3後	2			1						
		小計(4科目)	—	0	8	0	0	1	0	0	0	0	1
英語コミュニケーション	日本紹介の英語	2・3前	2						1				
	Japan StudiesⅠ	2・3前	2						1				
	Japan StudiesⅡ	2・3後	2						1				
	小計(3科目)	—	0	6	0	0	0	0	1	0	0	0	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
異文化理解	異文化理解 I	2・3前	2			1						
	異文化理解 II	2・3後	2			1						
	小計(2科目)	—	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0
教育職員養成課程科目 教科又は教職に関する科目	日本語教育概論 I	2前	2									1
	日本語教育概論 II	2後	2									1
	児童文学	3・4前	2			1						
	日本の詩歌	3・4後	2			1						
	介護等の体験	3通					2					1
	視聴覚教育メディア論	2・3後					2					1
	ボランティア実習 I	1後	1			2						
	ボランティア実習 II	2後	2			1						
	生涯学習論 I	1前	2									1
	生涯学習論 II	1後	2									1
	道德教育の指導法	2・3前	2									1
小計(11科目)	—	0	17	4	4	0	0	0	0	0	5	
教育職員養成課程科目 教科又は教職に関する科目	英語教育学概論 I	2前	2									1
	英語教育学概論 II	2後	2									1
	英会話Ⅲ	2前	1									1
	英会話Ⅳ	2後	1									1
	アメリカの文化と歴史 I	2・3前	2									1
	アメリカの文化と歴史 II	2・3後	2									1
	介護等の体験	3通					2					1
	視聴覚教育メディア論	2・3後					2					1
	ボランティア実習 I	1後	1			2						
	ボランティア実習 II	2後	2			1						
	生涯学習論 I	1前	2									1
	生涯学習論 II	1後	2									1
	道德教育の指導法	2・3前	2									1
小計(13科目)	—	0	19	4	2	0	0	0	0	0	7	
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	教職入門	1後			2	1						
	小計(1科目)	—	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	教育原理	1・2前			2							1
	教育制度論	2後			2							1
	発達心理学	2・3前			2							1
	小計(3科目)	—	0	0	6	0	0	0	0	0	0	2

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
異文化理解	異文化理解 I	2・3前	2			1						
	異文化理解 II	2・3後	2			1						
	小計(2科目)	—	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0
	英語科教育法 I	3前			2	1						
	英語科教育法 II	3後			2	1						
英語科教育法Ⅲ	英語科教育法Ⅲ	3前			2	1						
	英語科教育法Ⅳ	3後			2	1						
	小計(4科目)	—	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0
	教育職員養成課程科目 教科又は教職に関する科目	日本語教育概論 I	2前	2								
日本語教育概論 II		2後	2									1
児童文学		3・4前	2			1						
日本の詩歌		3・4後	2			1						
介護等の体験		3通					2					1
視聴覚教育メディア論		2・3後					2					1
ボランティア実習 I		1後	1			2						
ボランティア実習 II		2後	2			1						
生涯学習論 I		1前	2									1
生涯学習論 II		1後	2									1
道德教育の指導法		2・3前	2									1
小計(11科目)	—	0	17	4	4	0	0	0	0	0	5	
教育職員養成課程科目 教科又は教職に関する科目	英語教育学概論 I	2前	2									1
	英語教育学概論 II	2後	2									1
	英会話Ⅲ	2前	1									1
	英会話Ⅳ	2後	1									1
	アメリカの文化と歴史 I	2・3前	2									1
	アメリカの文化と歴史 II	2・3後	2									1
	介護等の体験	3通					2					1
	視聴覚教育メディア論	2・3後					2					1
	ボランティア実習 I	1後	1			2						
	ボランティア実習 II	2後	2			1						
	生涯学習論 I	1前	2									1
	生涯学習論 II	1後	2									1
	道德教育の指導法	2・3前	2									1
小計(13科目)	—	0	19	4	2	0	0	0	0	0	7	
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	教職入門	1後			2	1						
	小計(1科目)	—	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
教育の基礎的理解に関する科目等(中一種免2.4単位以上、高一種免2.5単位以上)	教育原理	1・2前			2							1
	教職入門	1後			2	1						
	教育制度論	2後			2							1
	発達心理学	2・3前			2							1
	特別支援教育概論	2前			1							1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	教育課程論	2後		2							1
	国語科教育法Ⅰ	3前		2							1
	国語科教育法Ⅱ	3後		2							1
	国語科教育法Ⅲ	3前		2							1
	国語科教育法Ⅳ	3後		2							1
	英語科教育法Ⅰ	3前		2	1						
	英語科教育法Ⅱ	3後		2	1						
	英語科教育法Ⅲ	3前		2	1						
	英語科教育法Ⅳ	3後		2	1						
	道徳教育の指導法	2・3前		2							1
	特別活動の指導法	2・3前		2							1
	教育方法・技術	2・3前		2							1
小計(12科目)	—	0	0	24	1	0	0	0	0	0	3
生徒指導等、教育相談及び進路指導に関する科目	生徒指導論(進路指導を含む)	2・3後		2							1
	カウンセリング論	2・3後		2							1
	小計(2科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	2
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4後		2	3						
	小計(1科目)	—	0	0	2	3	0	0	0	0	0
教育実習	教育実習指導	3後		1	1						
	教育実習Ⅰ(中学校)	4前		2	1						
	教育実習Ⅱ(高等学校)	4前		2	1						
	小計(3科目)	—	0	0	5	1	0	0	0	0	0
教育職員免許法施行規則第68条の6に定める科目	日本国憲法Ⅰ	1前	2		1						
	日本国憲法Ⅱ	1後	2		1						
体育	スポーツⅠ	1・2前	1								3
	スポーツⅡ	1・2後	1								3
外国語コミュニケーション	英会話Ⅰ	1前	1								3
	英会話Ⅱ	1後	1								3
情報機器の操作	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1								6
	コンピュータ演習Ⅱ	1後	1								6
小計(8科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0	0	12
学校図書館司書教諭課程科目	学校経営と学校図書館	3・4前		2							1
	学校図書館メディアの構成	3・4後		2							1
	読書と豊かな人間性	3・4前		2							1
	学習指導と学校図書館	3・4後		2							1
	情報メディアの活用	3・4前		2							1
小計(5科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	0	3

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育の基礎的理解に関する科目等(中一種免29単位以上、高一種免30単位以上)	教育課程論	2後		2							1	
	小計(6科目)	—	0	0	11	1	0	0	0	0	3	
	道徳教育の指導法	2・3前		2							1	
	総合的な学習の時間の指導法	2後		1							1	
	特別活動の指導法	2・3前		2							1	
	教育方法・技術	2・3前		2							1	
	生徒指導論(進路指導を含む)	2・3後		2							1	
	教育相談	2・3後		2							1	
	小計(6科目)	—	0	0	11	0	0	0	0	0	5	
	教育実践に関する科目	教育実習指導	3後		1	1						
		教育実習Ⅰ(中学校)	4前		2	1						
		教育実習Ⅱ(高等学校)	4前		2	1						
教職実践演習(中・高)		4後		2	3							
小計(4科目)	—	0	0	7	3	0	0	0	0	0		
教育職員免許法施行規則第68条の6に定める科目	日本国憲法Ⅰ	1前	2		1							
	日本国憲法Ⅱ	1後	2		1							
体育	スポーツⅠ	1・2前	1								3	
	スポーツⅡ	1・2後	1								3	
外国語コミュニケーション	英会話Ⅰ	1前	1								4	
	英会話Ⅱ	1後	1								4	
情報機器の操作	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1								6	
	コンピュータ演習Ⅱ	1後	1								6	
小計(8科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0	0	13	
学校図書館司書教諭課程科目	学校経営と学校図書館	3・4前		2							1	
	学校図書館メディアの構成	3・4後		2							1	
	読書と豊かな人間性	3・4前		2							1	
	学習指導と学校図書館	3・4後		2							1	
	情報メディアの活用	3・4前		2							1	
小計(5科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	0	3	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
省令必修科目	生涯学習論 I	1前		2								1
	博物館概論	1後			0		1					
	博物館資料論	2前			2							1
	博物館展示論	2後			2							1
	博物館資料保存論	3前			2							1
	博物館経営論	3後			2							1
	博物館教育論	2・3前			2							1
	博物館情報・メディア論	2・3後			2							1
	博物館実習A(見学実習)	2通			1		2					1
	博物館実習B(実務実習)	3通			1		2					1
	博物館実習C(館園実習)	4通			1		2					1
小計(11科目)	—		0	2	17	0	2	0	0	0	0	4
博物館学芸員養成課程科目 基礎選択必修科目	日本美術史	1前		2								1
	西洋文化史	1前		2								1
	日本文化史 I	2前		2								1
	日本文化史 II	2後		2								1
	地域文化概論	2前		2								1
	世界遺産研究	2前		2								1
	世界のミュージアム	2・3前		2								3
	日本のミュージアム	2・3後		2								1
	西洋美術の旅 I	2・3前		2								1
	西洋美術の旅 II	2・3後		2								1
小計(10科目)	—		0	20	0	0	0	0	0	0	0	11
専攻選択必修科目	日本の文化財 I	2・3前		2								1
	日本の文化財 II	2・3後		2								1
	歴史資料論	2・3前		2			1					
	民俗資料論	2・3後		2			1					
	歴史考古学	2・3前		2								1
	歴史地理学	2・3後		2								1
	文化交流史 I	2・3前		2								1
	文化交流史 II	2・3後		2								1
小計(8科目)	—		0	16	0	0	2	0	0	0	0	4
合計(423科目)	—		90	599	82	14	5	6	0	0	0	125
卒業要件及び履修方法												
<p>・人間総合学群 教養教育科目(全学類共通):必修科目20単位(初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目)、選択必修科目16単位(入門科目、教養知科目)を含め教養教育科目から36単位以上履修すること</p> <p>・人間文化学類 日本文化専攻 専門教育科目:必修科目20単位(基本科目、専門ゼミ科目)を含め62単位以上履修すること</p> <p>・人間文化学類 人間関係専攻 専門教育科目:必修科目18単位(基本科目、専門ゼミ科目)を含め62単位以上履修すること</p> <p>・人間文化学類 英語コミュニケーション専攻 専門教育科目:必修科目16単位(基本科目、主幹科目、実用科目、専門ゼミ科目)を含め62単位以上履修すること</p> <p>・以上、教養教育科目(36単位以上)、自専攻専門教育科目(62単位以上)、他専攻専門教育科目、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること</p> <p>・履修科目の登録上限46単位(年間)</p>												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
省令必修科目	生涯学習論 I	1前		2								1
	博物館概論	1後			2		1					
	博物館資料論	2前			2							1
	博物館展示論	2後			2							1
	博物館資料保存論	3前			2							1
	博物館経営論	3後			2							1
	博物館教育論	2・3前			2							1
	博物館情報・メディア論	2・3後			2							1
	博物館実習A(見学実習)	2通			1		1	1				
	博物館実習B(実務実習)	3通			1		1	1				1
	博物館実習C(館園実習)	4通			1		1	1				1
小計(11科目)	—		0	2	17	1	1	0	0	0	0	4
博物館学芸員養成課程科目 基礎選択必修科目	日本美術史	1前		2								1
	西洋文化史	1前		2								1
	日本文化史 I	2前		2								1
	日本文化史 II	2後		2								1
	地域文化概論	2前		2								1
	世界遺産研究	2前		2								1
	世界のミュージアム	2・3前		2								3
	日本のミュージアム	2・3後		2								1
	西洋美術の旅 I (未開講)	2・3前		2								1
	西洋美術の旅 II (未開講)	2・3後		2								1
小計(10科目)	—		0	20	0	0	0	0	0	0	0	11
専攻選択必修科目	日本の文化財 I	2・3前		2								1
	日本の文化財 II	2・3後		2								1
	歴史資料論	2・3前		2			1	1				
	民俗資料論	2・3後		2			1	1				
	歴史考古学	2・3前		2								1
	歴史地理学	2・3後		2								1
	文化交流史 I	2・3前		2								1
	文化交流史 II	2・3後		2								1
小計(8科目)	—		0	16	0	1	1	0	0	0	0	4
合計(425科目)	—		90	599	80	15	7	4	0	0	0	142
卒業要件及び履修方法												
<p>・人間総合学群 教養教育科目(全学類共通):必修科目20単位(初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目)、選択必修科目16単位(入門科目、教養知科目)を含め教養教育科目から36単位以上履修すること</p> <p>・人間文化学類 日本文化専攻 専門教育科目:必修科目20単位(基本科目、専門ゼミ科目)を含め62単位以上履修すること</p> <p>・人間文化学類 人間関係専攻 専門教育科目:必修科目18単位(基本科目、専門ゼミ科目)を含め62単位以上履修すること</p> <p>・人間文化学類 英語コミュニケーション専攻 専門教育科目:必修科目16単位(基本科目、主幹科目、実用科目、専門ゼミ科目)を含め62単位以上履修すること</p> <p>・以上、教養教育科目(36単位以上)、自専攻専門教育科目(62単位以上)、他専攻専門教育科目、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること</p> <p>・履修科目の登録上限46単位(年間)</p>												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次教育科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			5	4	1				10	
	基礎ゼミⅡ	1後	1			5	4	1				10	
	小計(2科目)		2	0	0	5	4	1	0	0		10	
	建学の精神を学ぶ科目	仏教学Ⅰ	1前	2			2						1
		仏教学Ⅱ	1後	2			2						1
		仏教学Ⅲ	2前		2								1
		仏教学Ⅳ	2後		2								1
		駒沢女子大学入門	1前		2		4	1					1
	小計(5科目)	—	4	6	0	4	1	0	0	0		3	
	入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2		2						
		日本文化入門Ⅱ	1後		2		1	1					
		人間関係入門Ⅰ	1前		2		1	1	1				
人間関係入門Ⅱ		1後		2		2	1						
英語コミュニケーション入門Ⅰ		1前		2		2	2	3					
英語コミュニケーション入門Ⅱ		1後		2		2	2	3					
観光文化入門Ⅰ		1前		2								1	
観光文化入門Ⅱ		1後		2								1	
心理学入門Ⅰ		1前		2								1	
心理学入門Ⅱ		1後		2								2	
住空間デザイン入門Ⅰ		1前		2								3	
住空間デザイン入門Ⅱ		1後		2								3	
小計(12科目)	—	0	24	0	8	5	4	0	0		7		
人間総合学群 教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前		2								1	
	人間と思想Ⅱ	1後		2								1	
	人間と文化Ⅰ	1前		2								1	
	人間と文化Ⅱ	1後		2								1	
	生命の科学	1前		2								1	
	倫理学	1後		2								1	
	人権の基礎	1前		2		1							
	女性の人権	1後		2		1							
	心理学Ⅰ	1前		2								2	
	心理学Ⅱ	1後		2								2	
	生涯学習論Ⅰ	1前		2								1	
	生涯学習論Ⅱ	1後		2								1	
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2								1	
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2								1	
小計(14科目)	—	0	28	0	1	0	0	0	0		7		
文化と歴史を学ぶ科目	日本の歴史	1後		2								1	
	世界の歴史	1後		2								1	
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前		2		1							
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後		2		1							
	西洋文化史	1前		2								1	
	日本美術史	1前		2								1	
	比較文化	1後		2		1							
	日本の文化	1後		2		1							
	観光地理(日本)	1前		2								1	
	観光地理(世界)	1後		2								1	
	日本の文学	1前		2		1							
	ヨーロッパの文学	1後		2								1	
小計(12科目)	—	0	24	0	4	0	0	0	0		6		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会と自然を学ぶ科目 教養知科目	日本の政治	1前	2			1						
	世界の政治	1後	2			1						
	政治と市民参加	1後	2			1						
	日本の経済	1前	2									1
	世界の経済	1前	2									1
	新聞と報道	1後	2									1
	グローバル共生論	1後	2									1
	法学	1前	2			1						
	法と社会	1後	2			1						
	日本国憲法 I	1前	2			1						
	日本国憲法 II	1後	2			1						
	社会学 I	1前	2									1
	社会学 II	1後	2									1
	数学の世界	1前	2									1
	物理の世界	1後	2									1
	生物と生命	1前	2									1
	地球と宇宙	1後	2									1
	物質と化学	1前	2									1
	情報と科学	1後	2									1
	色彩と科学	1前	2									1
小計 (20科目)	—	0	40	0	2	0	0	0	0	0	10	
人間総合学群 実習科目	ボランティア実習 I	1後	1			2						
	ボランティア実習 II	2後	2			1						
	海外英語研修 I	1後	2			2	2	3				
	海外英語研修 II	2後	2			2	2	3				
	国際協力実習	2前	1									1
	国際協力実習フォローアップ	2後	2									1
	小計 (6科目)	—	0	10	0	4	2	3	0	0	0	1
実践知科目 就業力育成科目	進路設計	1後	2									3
	社会と教養演習A	2・3前	1									1
	社会と教養演習B	2・3前	1									1
	社会と教養演習C	2・3後	1									1
	社会と教養演習D	2・3後	1									1
	キャリアアトラシー	3前	2									1
	就業への知識と技能A	2・3前	2			1						
	就業への知識と技能B	2・3後	2			1						
小計 (8科目)	—	2	10	0	1	0	0	0	0	0	5	
健康体育科目	女性と健康 I	1前	2									1
	女性と健康 II	1後	2									1
	スポーツ I	1・2前	1									3
	スポーツ II	1・2後	1									3
	小計 (4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	4
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前	1			1	1					3
	言語表現演習 II	1後	1			1	1					3
	小計 (2科目)	—	2	0	0	1	0	1	0	0	0	3
技法知科目 外国語育成科目	英語A I	1前	1									15
	英語A II	1後	1									15
	英語A III	2前	1									23
	英語A IV	2後	1									23
	英語B I	1前	1					1				13
	英語B II	1後	1					1				13
	英語B III	2前	1					1				22
	英語B IV	2後	1					1				22
	英会話 I	1前	1									4
	英会話 II	1後	1									4
	英会話 III	2前	1									1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間総合学群 教養教育科目	技法知科目	英会話Ⅳ	2後	1								1	
		Receptive English I	1・2前	1									1
		Receptive English II	1・2後	1									1
		Productive English I	1・2前	1									1
		Productive English II	1・2後	1									1
		English Summer Seminar	2・3前	1					2				
		フランス語Ⅰ	1前	1									2
		フランス語Ⅱ	1後	1									2
		フランス語Ⅲ	2前	1									2
		フランス語Ⅳ	2後	1									2
		ドイツ語Ⅰ	1前	1									1
		ドイツ語Ⅱ	1後	1									1
		ドイツ語Ⅲ	2前	1									2
		ドイツ語Ⅳ	2後	1									2
		スペイン語Ⅰ	1前	1									2
		スペイン語Ⅱ	1後	1									2
		スペイン語Ⅲ	2前	1									2
		スペイン語Ⅳ	2後	1									2
		中国語Ⅰ	1前	1									2
	中国語Ⅱ	1後	1									2	
	中国語Ⅲ	2前	1									2	
	中国語Ⅳ	2後	1									2	
	小計(33科目)	—	8	25	0	0	1	3	0	0	0	29	
	情報力育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1									6
		コンピュータ演習Ⅱ	1後	1									6
		コンピュータ演習Ⅲ	2前	1									1
		コンピュータ演習Ⅳ	2後	1									1
		小計(4科目)	—	2	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	特設科目	日本語AⅠ	1前	1									1
日本語BⅠ		1前	1									1	
日本語AⅡ		1後	1									1	
日本語BⅡ		1後	1									1	
日本語AⅢ		2前	1									1	
日本語BⅢ		2前	1									1	
日本語AⅣ		2後	1									1	
日本語BⅣ		2後	1									1	
日本事情Ⅰ		1前	2									1	
日本事情Ⅱ		1後	2									1	
日本事情Ⅲ		2前	2			1							
日本事情Ⅳ		2後	2			1							
小計(12科目)	—	16	0	0	1	0	0	0	0	0	2		
人間総合学群 人間文化学類 日本文化専攻	基本科目	日本語表現Ⅰ	2前	2			2						
		日本語表現Ⅱ	2後	2			2						
		日本語表現の実践Ⅰ	3前	2			1						
		日本語表現の実践Ⅱ	3後	2			1						
		日本の文化と歴史Ⅰ	2前	2			1	1					
		日本の文化と歴史Ⅱ	2後	2			1	1					
		日本の文化と歴史Ⅲ	3前	2			2						
		日本の文化と歴史Ⅳ	3後	2			2						
小計(8科目)	—	16	0	0	3	1	0	0	0	0	0		
人間総合学群 専門教育科目	主幹科目	古典文学概論	2前	2		1							
		近代文学概論	2前	2		1							
		日本語学概論Ⅰ	2前	2								1	
		日本語学概論Ⅱ	2後	2								1	
		古典文学Ⅰ(上代・中古)	2・3前	2		1							
		古典文学Ⅱ(中世・近世)	2・3後	2								1	



【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間総合学群	人間文化学類	恋愛の心理学	2・3前	2				1					
		家族関係の心理学	2・3後	2				1					
		自己分析の心理学	2・3前	2								1	
		ビジネスと心理学	2・3後	2								1	
		セルフプロデュース	3・4前	2								1	
		自己表現法 I	2・3前	2								1	
		自己表現法 II	2・3後	2								1	
		コミュニケーション実習 I	2前	1								1	
		コミュニケーション実習 II	2後	1								1	
		報道とメディア	2・3前	2								1	
		情報技術と人間関係	2・3前	2			1						
		映像広告の研究	2・3後	2			1						
		表現活動とビジネス	2・3後	2			1						
		主幹科目	文化人類学	2・3後	2								1
		人間文化学類	文化社会学 I	2・3前	2				1				
		人間文化学類	文化社会学 II	2・3後	2				1				
		人間文化学類	家族と現代社会	2・3後	2								1
		人間文化学類	環境問題と市民	2・3後	2								1
	人間文化学類	現代国際社会	2・3前	2			1						
	人間文化学類	社会学特論	2・3前	2								1	
	人間文化学類	職業の世界	2・3後	2				1					
	人間文化学類	チームビルディング	2・3前	2								1	
	人間文化学類	組織マネジメント	2・3後	2								1	
	人間文化学類	経済とビジネス I	3・4前	2								1	
	人間文化学類	経済とビジネス II	3・4後	2								1	
	人間文化学類	小計 (34科目)	—	0	66	0	4	1	2	0	0	12	
	人間文化学類	総合実践科目	アンケート調査法	2・3前	2								1
	人間文化学類		フィールドワークの技法	2・3後	2								1
	人間文化学類		人間関係学実習 I	2前	1								1
	人間文化学類		人間関係学実習 II	2後	1								1
	人間文化学類		現代社会総合講座 I	2・3前	2			4	2	1			
	人間文化学類		現代社会総合講座 II	2・3後	2			4	2	1			
	人間文化学類	小計 (6科目)	—	0	10	0	4	2	1	0	0	3	
	人間文化学類	専門ゼミ科目	人間関係ゼミ I	3前	1			4	2	1			
人間文化学類	人間関係ゼミ II		3後	1			4	2	1				
人間文化学類	人間関係ゼミ III		4前	1			4	2	1				
人間文化学類	人間関係ゼミ IV		4後	1			4	2	1				
人間文化学類	卒業論文		4通	4			4	2	1				
人間文化学類	小計 (5科目)	—	4	4	0	4	2	1	0	0	0		
人間文化学類	英語コミュニケーション専攻 専門教育科目	English Workshop I	2前	2			1	2	3				
人間文化学類		English Workshop II	2後	2			1	2	3				
人間文化学類		English Workshop III	3前	2			1		1				
人間文化学類		English Workshop IV	3後	2			1		1				
人間文化学類		Academic Reading I	2・3前	2								1	
人間文化学類		Academic Reading II	2・3後	2								1	
人間文化学類		Academic Reading III	2・3前	2								1	
人間文化学類		Academic Reading IV	2・3後	2								1	
人間文化学類		Academic Speaking I	2・3前	2								2	
人間文化学類		Academic Speaking II	2・3後	2								2	
人間文化学類		Academic Speaking III	2・3前	2								1	
人間文化学類		Academic Speaking IV	2・3後	2								1	
人間文化学類		ライティング・使える英作文 I	2・3前	2								1	
人間文化学類		ライティング・使える英作文 II	2・3後	2								1	
人間文化学類		ライティング・使える英作文 III	2・3後	2				1					
人間文化学類		文法・使える英文法 I	2・3前	2								1	
人間文化学類		文法・使える英文法 II	2・3後	2								1	
人間文化学類		文法・使える英文法 III	2・3前	2				1					
人間文化学類	小計 (18科目)	—	4	32	0	1	2	3	0	0	5		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間文化学類 英語コミュニケーション 人間総合学群 人間文化学類 専門教育科目	Core Studies (Basic) I	2前	2				1					
	Core Studies (Basic) II	2後	2						1			
	Core Studies I	3前		2					2			
	Core Studies II	3後		2					2			
	Core Studies III	4前		2					2			
	Core Studies IV	4後		2					2			
	イギリス文学 I	2・3前		2			1					
	イギリス文学 II	2・3後		2			1					
	アメリカ文学 I	2・3前		2								1
	アメリカ文学 II	2・3後		2								1
	英語学概論 I	2・3前		2								1
	英語学概論 II	2・3後		2								1
	英語教育学概論 I	2・3前		2								1
	英語教育学概論 II	2・3後		2								1
	アメリカの文化と歴史 I	2・3前		2								1
	アメリカの文化と歴史 II	2・3後		2								1
	異文化理解 I	2・3前		2		1						
	異文化理解 II	2・3後		2		1						
	時事英語 I	2・3前		2								1
	時事英語 II	2・3後		2								1
	英語音声学 I	2・3前		2								1
	英語音声学 II	2・3後		2								1
	映画の英語 I	2・3前		2								1
	映画の英語 II	2・3後		2								1
小計 (24科目)	—		4	44	0	1	1	2	0	0	6	
キャリア・イングリッシュ I	2前		2					1			1	
キャリア・イングリッシュ II	2後		2					1			1	
キャリア・イングリッシュ III	3前			2							1	
キャリア・イングリッシュ IV	3後			2							1	
通訳・ガイド I	2・3前		2								1	
通訳・ガイド II	2・3後		2								1	
通訳・ガイド III	2・3前		2								1	
通訳・ガイド IV	2・3後		2								1	
日本紹介の英語	2・3前		2					1				
ポランティア英語	2・3後		2					1				
Japan Studies I	2・3前		2					1				
Japan Studies II	2・3後		2					1				
海外留学準備	2前		1			1						
6か月留学	2後		22			1						
小計 (14科目)	—		4	43	0	0	1	2	0	0	2	
英語コミュニケーションゼミ I	3前		1			1	2					
英語コミュニケーションゼミ II	3後		1			1	2					
英語コミュニケーションゼミ III	4前		1			1	2					
英語コミュニケーションゼミ IV	4後		1			1	2					
卒業論文	4通		4			1	2					
小計 (5科目)	—		4	4	0	1	2	0	0	0	0	
日本文化実習	3・4前		1			1						
仏教文化実習	3・4後		1			1						
日本文化研修	3・4前		1			1						
身体文化実習 I	2・3前		1								1	
身体文化実習 II	2・3後		1								1	
プレゼンテーション実習 I	2・3前		1			1						
プレゼンテーション実習 II	2・3後		1			1						
チャレンジTOEIC	2・3前		1			1						
ビジネスインターンシップ	3後		1			2	1					
小計 (9科目)	—		0	9	0	6	1	0	0	0	2	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教育職員養成課程科目 教科に関する科目	国語学	日本語学概論 I	2前	2								1	
		日本語学概論 II	2後	2								1	
		日本語学 I	3前	2								1	
		日本語学 II	3後	2			1						
		小計 (4科目)	—	0	8	0	0	1	0	0	0	0	2
	日本文化専攻 中一種・高一種 (国語)	国文学	古典文学概論	2前	2		1						
			近代文学概論	2前	2		1						
			古典文学 I (上代・中古)	2・3前	2		1						
			古典文学 II (中世・近世)	2・3後	2								1
			日本文学史 I	2・3・4前	2		1						
			日本文学史 II	2・3・4後	2								1
			近現代文学 I (近代)	2・3前	2		1						
			近現代文学 II (現代)	2・3後	2		1						
	小計 (8科目)	—	0	16	0	2	0	0	0	0	0	1	
	漢文学	中国文学 I (漢文学)	3前	2								1	
		中国文学 II (漢文学)	3後	2								1	
		小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	1	
	書道	書道実習 I	3前	1								1	
		書道実習 II	3後	1								1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	1	
	英語学	英語学概論 I	2・3前	2								1	
		英語学概論 II	2・3後	2								1	
		英語音声学 I	2・3前	2								1	
		英語音声学 II	2・3後	2								1	
		小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	1	
英米文学	アメリカ文学 I	2・3前	2								1		
	アメリカ文学 II	2・3後	2								1		
	イギリス文学 I	2・3前	2			1							
	イギリス文学 II	2・3後	2			1							
	小計 (4科目)	—	0	8	0	0	1	0	0	0	1		
異文化理解	日本紹介の英語	2・3前	2					1					
	Japan Studies I	2・3前	2					1					
	Japan Studies II	2・3後	2					1					
	小計 (3科目)	—	0	6	0	0	0	1	0	0	0		
	異文化理解 I	2・3前	2			1							
異文化理解 II	2・3後	2			1								
小計 (2科目)	—	0	4	0	1	0	0	0	0	0			
日本文化専攻 中一種・高一種 生涯学習 (国語)	国語教育概論 I	2前	2								1		
	国語教育概論 II	2後	2								1		
	児童文学	3・4前	2		1								
	日本の詩歌	3・4後	2		1								
	介護等の体験	3通		2							1		
	視聴覚教育メディア論	2・3後		2							1		
	ボランティア実習 I	1後	1			2							
	ボランティア実習 II	2後	2		1								
	生涯学習論 I	1前	2								1		
	生涯学習論 II	1後	2								1		
	道徳教育の指導法	2・3前	2								1		
小計 (11科目)	—	0	17	4	4	0	0	0	0	5			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育職員養成課程科目 教科又は教職に関する科目	英語教育学概論Ⅰ	2前		2								1
	英語教育学概論Ⅱ	2後		2								1
	英会話Ⅲ	2前		1								1
	英会話Ⅳ	2後		1								1
	アメリカの文化と歴史Ⅰ	2・3前		2								1
	アメリカの文化と歴史Ⅱ	2・3後		2								1
	介護等の体験	3通			2							1
	視聴覚教育メディア論	2・3後			2							1
	ボランティア実習Ⅰ	1後		1		2						
	ボランティア実習Ⅱ	2後		2		1						
	生涯学習論Ⅰ	1前		2								1
	生涯学習論Ⅱ	1後		2								1
	道德教育の指導法	2・3前		2								1
小計(13科目)	—	0	19	4	2	0	0	0	0	0	7	
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	教職入門	1後			2	1						
	小計(1科目)	—	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
	教育の基礎理論	1・2前			2							1
	発達心理学	2・3前			2							1
教育制度論	2後			2							1	
小計(3科目)	—	0	0	6	0	0	0	0	0	0	2	
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	教育課程論	2後			2							1
	国語科教育法Ⅰ	3前			2							1
	国語科教育法Ⅱ	3後			2							1
	国語科教育法Ⅲ	3前			2							1
	国語科教育法Ⅳ	3後			2							1
	英語科教育法Ⅰ	3前			2	1						
	英語科教育法Ⅱ	3後			2	1						
	英語科教育法Ⅲ	3前			2	1						
	英語科教育法Ⅳ	3後			2	1						1
	道德教育の指導法	2・3前			2							1
	特別活動の指導法	2・3前			2							1
	教育方法・技術	2・3前			2							1
小計(12科目)	—	0	0	24	1	0	0	0	0	0	3	
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	生徒指導論(進路指導を含む)	2・3後			2							
	教育相談	2・3後			2							1
小計(2科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	0	2	
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	教職実践演習(中・高)	4後			2	3						
	小計(1科目)	—	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	教育実習指導	3後			1	1						
	教育実習Ⅰ(中学校)	4前			2	1						
	教育実習Ⅱ(高等学校)	4前			2	1						
	小計(3科目)	—	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	日本国憲法Ⅰ	1前		2		1						
	日本国憲法Ⅱ	1後		2		1						
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	スポーツⅠ	1・2前		1								3
	スポーツⅡ	1・2後		1								3
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	英会話Ⅰ	1前		1								4
	英会話Ⅱ	1後		1								4
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前		1								6
	コンピュータ演習Ⅱ	1後		1								6
小計(8科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0	0	13	
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	講習規定に定める科目	3・4前			2							1
	学校経営と学校図書館	3・4後			2							1
	学校図書館メディアの構成	3・4前			2							1
	読書と豊かな人間性	3・4後			2							1
	学習指導と学校図書館	3・4前			2							1
小計(5科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	0	3	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
省令必修科目	生涯学習論 I	1前		2								1
	博物館概論	1後			2		1					
	博物館資料論	2前			2							1
	博物館展示論	2後			2							1
	博物館資料保存論	3前			2							1
	博物館経営論	3後			2							1
	博物館教育論	2・3前			2							1
	博物館情報・メディア論	2・3後			2							1
	博物館実習A(見学実習)	2通			1	1	1					
	博物館実習B(実務実習)	3通			1	1	1					
	博物館実習C(館園実習)	4通			1	1	1					1
小計 (11科目)	—	0	2	17	1	1	0	0	0	0	4	
博物館学芸員養成課程科目	日本美術史	1前		2								1
	西洋文化史	1前		2								1
	日本文化史 I	2前		2								1
	日本文化史 II	2後		2								1
	地域文化概論	2前		2								1
	世界遺産研究	2前		2								1
	世界のミュージアム	2・3前		2								3
	日本のミュージアム	2・3後		2								1
	西洋美術の旅 I	2・3前		2								1
	西洋美術の旅 II	2・3後		2								1
小計 (10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	11	
専攻選択必修科目	日本の文化財 I	2・3前		2								1
	日本の文化財 II	2・3後		2								1
	歴史資料論	2・3前		2		1						
	民俗資料論	2・3後		2			1					
	歴史考古学	2・3前		2								1
	歴史地理学	2・3後		2								1
	文化交流史 I	2・3前		2								1
	文化交流史 II	2・3後		2								1
小計 (8科目)	—	0	16	0	1	1	0	0	0	0	4	
合計 (423科目)	—	90	599	82	15	7	4	0	0	0	126	

卒業要件及び履修方法

・人間総合学群 教養教育科目 (全学類共通) : 必修科目20単位 (初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目)、選択必修科目16単位 (入門科目、教養知科目) を含め教養教育科目から36単位以上履修すること

・人間文化学類 日本文化専攻 専門教育科目 : 必修科目20単位 (基本科目、専門ゼミ科目) を含め62単位以上履修すること

・人間文化学類 人間関係専攻 専門教育科目 : 必修科目18単位 (基本科目、専門ゼミ科目) を含め62単位以上履修すること

・人間文化学類 英語コミュニケーション専攻 専門教育科目 : 必修科目16単位 (基本科目、主幹科目、実用科目、専門ゼミ科目) を含め62単位以上履修すること

・以上、教養教育科目 (36単位以上)、自専攻専門教育科目 (62単位以上)、他専攻専門教育科目、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること

・履修科目の登録上限46単位 (年間)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号 (その2の1) に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て (兼任、兼任教員が担当する科目を含む。) を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度 (平成29年度開設であれば平成28年度) の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・昇格の理由により、「基礎ゼミⅠ」の専任教員等の配置を、教授「5」、准教授「2」、講師「3」から、教授「5」、准教授「4」、講師「1」に、兼任講師体調不良の理由により、兼任・兼任教員を、「11」から「10」に変更。
- ・昇格の理由により、「基礎ゼミⅡ」の専任教員等の配置を、教授「5」、准教授「2」、講師「3」から、教授「5」、准教授「4」、講師「1」に、兼任講師体調不良の理由により、兼任・兼任教員を、「11」から「10」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教Ⅰ」の教員配置を、兼任・兼任「2」から「1」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼任「2」から「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「駒沢女子大学入門」の専任教員等の配置を、教授「3」、准教授「1」、講師「1」から、教授「4」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「日本文化入門Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」から、教授「2」に変更。
- ・昇格の理由により、「人間関係入門Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「1」、講師「2」から、教授「1」、准教授「1」、講師「1」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「2」、講師「3」から、教授「2」、准教授「2」、講師「3」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「2」、講師「3」から、教授「2」、准教授「2」、講師「3」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼任「1」から「2」に変更。
- ・昇格の理由により、「言語表現演習Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「1」、講師「1」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「言語表現演習Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「1」、講師「1」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅠ」の兼任・兼任教員を、「23」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅡ」の兼任・兼任教員を、「23」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅠ」の兼任・兼任教員を、「22」から「13」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅡ」の兼任・兼任教員を、「22」から「13」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・兼任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」(兼任1人分の担当コマ数増)に変更。
- ・兼任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」(兼任1人分の担当コマ数増)に変更。
- ・昇格の理由により、「日本の文化と歴史Ⅰ」の専任教員等の配置を、准教授「2」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「日本の文化と歴史Ⅱ」の専任教員等の配置を、准教授「2」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「日本の文化と歴史Ⅲ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」から、教授「2」に変更。
- ・昇格の理由により、「日本の文化と歴史Ⅳ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」から、教授「2」に変更。
- ・昇格の理由により、「日本語学Ⅱ」(科目区分「人間文化学類日本文化専攻専門教育科目」「主幹科目」)の専任教員等の配置を、講師「1」から、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「歴史資料論」(科目区分「人間文化学類日本文化専攻専門教育科目」「主幹科目」)の専任教員等の配置を、准教授「1」から、教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「人間関係の基礎」の専任教員等の配置を、教授「3」、准教授「1」、講師「2」から、教授「3」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「コミュニケーションの社会学」の専任教員等の配置を、講師「1」から、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「文化社会学Ⅰ」の専任教員等の配置を、講師「1」から、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「文化社会学Ⅱ」の専任教員等の配置を、講師「1」から、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「現代社会総合講座Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「現代社会総合講座Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「人間関係ゼミⅠ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「人間関係ゼミⅡ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「人間関係ゼミⅢ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「人間関係ゼミⅣ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「卒業論文」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「日本語学Ⅱ」(科目区分「教育職員養成課程科目」「国語学」)の専任教員等の配置を、講師「1」から、准教授「1」に変更。
- ・課程認定委員会指摘の理由により、「カウンセリング論」を「教育相談」に科目名称変更。
- ・昇格の理由により、「博物館実習A(見学実習)」の専任教員等の配置を、准教授「2」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「博物館実習B(実務実習)」の専任教員等の配置を、准教授「2」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「博物館実習A(館園実習)」の専任教員等の配置を、准教授「2」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「歴史資料論」(科目区分「博物館学芸員養成課程科目」「専攻選択必修科目」)の専任教員等の配置を、准教授「1」から、教授「1」に変更。

【令和元年度】

- ・科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」の兼任・兼任教員を、「10」から「18」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅡ」の兼任・兼任教員を、「10」から「18」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「駒沢女子大学入門」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、兼任・兼任「1」から、教授「3」、准教授「1」、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「2」、准教授「2」、講師「3」から、教授「2」、准教授「1」、講師「3」、兼任・兼任「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「2」、准教授「2」、講師「3」から、教授「2」、准教授「1」、講師「3」、兼任・兼任「2」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「1」から「7」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅱ」の兼任・兼任教員、「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「生命の科学」の配当年次を、「1前」から「1後」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「倫理学」の配当年次を、「1後」から「1前」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「日本の文化」の配当年次を、「1後」から「1前」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「物質と科学」の配当年次を、「1前」から「1後」に変更。

- ・科目担当調整の理由により、「スポーツⅠ」の兼任・兼任教員を、「3」から「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スポーツⅡ」の兼任・兼任教員を、「3」から「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「言語表現演習Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「言語表現演習Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語AⅢ」の兼任・兼任教員を、「23」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語AⅣ」の兼任・兼任教員を、「23」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語BⅠ」の兼任・兼任教員を、「13」から「14」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語BⅡ」の兼任・兼任教員を、「13」から「14」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語BⅢ」の兼任・兼任教員を、「22」から「14」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語BⅣ」の兼任・兼任教員を、「22」から「14」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「ドイツ語Ⅲ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「ドイツ語Ⅳ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スペイン語Ⅲ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スペイン語Ⅳ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「中国語Ⅲ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「中国語Ⅳ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「歴史資料論」の専任教員等の配置を、教授「1」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「民俗資料論」の専任教員等の配置を、准教授「1」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「人間関係の基礎」の専任教員等の配置を、教授「3」、准教授「2」、講師「1」から、教授「2」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「環境問題と市民」の配当年次を、「2・3後」から「2・3前」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「English WorkshopⅠ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「2」、講師「3」から、教授「2」、准教授「1」、講師「3」、兼任・兼任「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「English WorkshopⅡ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「2」、講師「3」から、教授「2」、准教授「1」、講師「3」、兼任・兼任「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「Academic ReadingⅠ」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「1」から、講師「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「Academic ReadingⅡ」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「1」から、講師「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「Academic ReadingⅢ」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「1」から、講師「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「Academic ReadingⅣ」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「1」から、講師「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「Academic SpeakingⅠ」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「2」から、講師「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「Academic SpeakingⅡ」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「2」から、講師「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「Academic SpeakingⅢ」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「1」から、講師「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「Academic SpeakingⅣ」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「1」から、講師「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「キャリア・イングリッシュⅠ」の専任教員等の配置を、講師「1」、兼任・兼任「1」から、講師「1」、兼任・兼任「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「キャリア・イングリッシュⅡ」の専任教員等の配置を、講師「1」、兼任・兼任「1」から、講師「1」、兼任・兼任「2」に変更。
- ・課程認定の理由により、科目枠名称「教科に関する科目」を、「教科及び教科の指導法に関する科目(中一種免28単位以上・高一種免24単位以上)」に変更。
- ・課程認定の理由により、「国語科教育法Ⅰ」「国語科教育法Ⅱ」「国語科教育法Ⅲ」「国語科教育法Ⅳ」の科目枠を移動、科目枠名称を変更。
- ・課程認定の理由により、科目枠名称「英米文学」を「英語文学」に変更。
- ・課程認定の理由により、「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅲ」「英語科教育法Ⅳ」の科目枠を移動、科目枠名称を変更。
- ・課程認定の理由により、科目枠名称「教科又は教職に関する科目」を「大学が独自に設定する科目(中一種免4単位以上・高一種免12単位以上)」に変更。
- ・課程認定の理由により、科目枠名称を「日本文化専攻 中一種免(国語)・高一種免(国語)」の一部変更(「中一種」を「中一種免(国語)」に変更)。
- ・課程認定の理由により、科目枠名称を「英語コミュニケーション専攻 中一種免(国語)・高一種免(国語)」の一部変更(「中一種」を「中一種免(英語)」に変更)。
- ・課程認定の理由により、科目枠名称「教職に関する科目」を「教育の基礎的理解に関する科目等(中一種免29単位以上・高一種免25単位以上)」に変更。
- ・課程認定の理由により、科目枠名称「教育の基礎理論に関する科目」を「教育の基礎的理解に関する科目」に変更。
- ・課程認定の理由により、「教育原理」の科目枠名称設定。
- ・課程認定の理由により、「教職入門」の科目枠名称設定。
- ・課程認定の理由により、「教育制度論」の科目枠名称設定。
- ・課程認定の理由により、「発達心理学」の科目枠名称設定。
- ・課程認定の理由により、科目「特別支援教育概論」、及び、科目枠名称「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」の追加。
- ・課程認定の理由により、「教育課程論」の科目枠名称設定。
- ・課程認定の理由により、科目枠名称「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を追加。
- ・課程認定の理由により、「道徳教育の指導法」の科目枠名称設定。
- ・課程認定の理由により、科目「総合的な学習の時間の指導法」、及び、科目枠名称「総合的な学習の時間の指導法」の追加。
- ・課程認定の理由により、「特別活動の指導法」の科目枠名称設定。
- ・課程認定の理由により、「教育方法・技術」の科目枠名称設定。
- ・課程認定の理由により、「生徒指導論(進路指導を含む)教育原理」の科目枠名称2種設定。
- ・課程認定の理由により、「教育相談」の科目枠名称設定。
- ・課程認定の理由により、科目枠名称「教育実践に関する科目」を追加。
- ・課程認定の理由により、「教育実習指導」の科目枠名称設定。
- ・課程認定の理由により、「教育実習Ⅰ(中学校)」「教育実習Ⅱ(高等学校)」の科目枠名称設定。
- ・課程認定の理由により、「教職実践演習(中・高)」の科目枠名称設定。
- ・課程認定の理由により、科目枠名称を「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(8単位以上)」の一部変更(単位数の付加)。
- ・授業内容充実の理由により、「博物館実習B」の教員配置を、専任「2」から、専任「2」、兼任・兼任「1」に変更。

・科目担当調整の理由により、「歴史資料論」(科目区分「博物館学芸員養成課程科目」「専攻選択必修科目」)の専任教員等の配置を、教授「1」から、教授「1」、准教授「1」に変更。

・科目担当調整の理由により、「民俗資料論」(科目区分「博物館学芸員養成課程科目」「専攻選択必修科目」)の専任教員等の配置を、准教授「1」から、教授「1」、准教授「1」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
62 科目	320 科目	41 科目	423 科目	62 科目 [ 0 ]	320 科目 [ 0 ]	43 科目 [ + 2 ]	425 科目 [ 0 ]	課程認定申請の理由による変更

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Academic Reading III	2	2・3	専門	選択	履修段階指定の科目であるため。
2	Academic Reading IV	2	2・3	専門	選択	履修段階指定の科目であるため。
3	ライティング・使える英作文Ⅲ	2	2・3	専門	選択	履修段階指定の科目であるため。
4	グラマー・使える英文法Ⅲ	2	2・3	専門	選択	履修段階指定の科目であるため。
5	通訳・ガイドⅢ	2	2・3	専門	選択	履修段階指定の科目であるため。
6	通訳・ガイドⅣ	2	2・3	専門	選択	履修段階指定の科目であるため。
7	西洋美術の旅Ⅰ	2	2・3	専門	選択	担当者都合。代替措置無。
8	西洋美術の旅Ⅱ	2	2・3	専門	選択	担当者都合。代替措置無。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「Academic Reading III」「Academic Reading IV」「ライティング・使える英作文Ⅲ」「グラマー・使える英文法Ⅲ」「通訳・ガイドⅢ」「通訳・ガイドⅣ」の6科目に関しては、前段階の科目（同一科目名にⅠⅡが付された科目）修得済みが履修条件となっているため、科目を開講しなかった（未開講措置）。学生への周知は、平成31年4月のオリエンテーション、及び履修ガイダンス時に行った。（令和元年度）</p>
<p>「西洋美術の旅Ⅰ」「西洋美術の旅Ⅱ」の担当者（岩谷兼任講師・桑兼任講師）から、急遽出講ができない旨の連絡があった。学内で検討した結果、令和元年度は未開講とすることに決定した。選択科目であるため、学生にとって大きな不利益にならないと判断した。学生への周知は、平成31年4月のオリエンテーション、及び履修ガイダンス時に行った。（令和元年度）</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{8}{423} = \boxed{1.89} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の一部は駒沢女子短期大学と共用			
	校舎敷地	0 m <sup>2</sup>	140,991.11 m <sup>2</sup>	10,639.73 m <sup>2</sup>	151,630.84 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	0 m <sup>2</sup>	12,574.38 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	12,574.38 m <sup>2</sup>				
	小 計	0 m <sup>2</sup>	153,565.49 m <sup>2</sup>	10,639.73 m <sup>2</sup>	164,205.22 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	36,595.26 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	36,595.26 m <sup>2</sup>				
	合 計	0 m <sup>2</sup>	190,160.75 m <sup>2</sup>	10,639.73 m <sup>2</sup>	200,800.48 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎の一部は駒沢女子短期大学と共用				
	7,584.21 m <sup>2</sup> ( 7,584.21 m <sup>2</sup> )	23,803.58 m <sup>2</sup> ( 23,803.58 m <sup>2</sup> )	15,549.03 m <sup>2</sup> ( 15,549.03 m <sup>2</sup> )	46,936.82 m <sup>2</sup> ( 46,936.82 m <sup>2</sup> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の一部は駒沢女子短期大学と共用			
	45 室	20 室	37 室	3 室 (補助職員 2人)	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人間総合学群			56 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 図書 22,559冊 購入による変更のため (30) 購入による変更のため (元)	
	人間総合学群	139,633 [29,920] <del>137,285 [31,204]</del> (139,633 [29,920]) (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	245 [121] <del>231 [101]</del> ( 245 [121]) (-236 [103]) (- 231 [101])	6 [4] <del>6 [3]</del> ( 6 [4]) (- 6 [3])	5,332 (5,326) (-5,239) (-4,962)	40,774 (40,524) (-40,069) (-39,974)	50 ( 33 )		
	計	139,633 [29,920] <del>137,285 [31,204]</del> (139,633 [29,920]) (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	245 [121] <del>231 [101]</del> ( 245 [121]) (-236 [103]) (- 231 [101])	6 [4] <del>6 [3]</del> ( 6 [4]) (- 6 [3])	5,332 (5,326) (-5,239) (-4,962)	40,774 (40,524) (-40,069) (-39,974)	50 ( 33 )		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	4,489 m <sup>2</sup>		325席		237,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					駒沢女子短期大学と共用	
	1,726 m <sup>2</sup>		テニスコート 3面			屋外プール			
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	500千円	500千円	100千円	
	共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	—千円	5,000千円	5,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,336千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4. 既設大学等の状況

大学の名称	駒沢女子大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
人文学部	4	—	3年次 30	—	—	—	—	平成5	—	平成30年度より学生募集停止（編入学は令和2年度より募集停止）
日本文化学科	4	—	3年次 10	—	学士 (日本文化)	—	—	平成5	東京都稲城市坂浜238番地	平成30年度より学生募集停止（編入学は令和2年度より募集停止）
国際文化学科	4	—	3年次 20	—	学士 (国際文化)	—	—	平成5	同上	平成30年度より学生募集停止（編入学は令和2年度より募集停止）
人間関係学科	4	—	—	—	学士 (人間関係)	—	—	平成12	同上	平成30年度より学生募集停止
心理学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—	—	平成25	同上	平成30年度より学生募集停止
住空間デザイン学科	4	—	—	—	学士 (住空間デザイン)	—	—	平成14	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア表現学科	4	—	—	—	学士 (メディア表現)	—	—	平成14	同上	平成30年度より学生募集停止
人間総合学群	4	370	3年次 30	1,540	—	1.24	—	平成30	—	編入は、令和2年度より学生募集
人間文化学類	4	170	3年次 20	720	学士 (日本文化) (人間関係) (英語コミュニ ケーション)	1.21	—	平成30	東京都稲城市坂浜238番地	編入は、令和2年度より学生募集
観光文化学類	4	60	3年次 10	260	学士 (観光文化)	1.28	—	平成30	同上	編入は、令和2年度より学生募集
心理学類	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.30	—	平成30	同上	
住空間デザイン学類	4	60	—	240	学士 (住空間デザイン)	1.23	—	平成30	同上	
人間健康学部	4	80	—	320	—	1.05	—	平成21	—	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (健康栄養)	1.05	—	平成21	東京都稲城市坂浜238番地	
看護学部	4	80	—	320	—	1.04	—	平成30	—	
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.04	—	平成30	東京都稲城市坂浜238番地	
大学全体	4	530	30	2,180	—	1.11	—	—	—	

大学の名称		駒 沢 女 子 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
人文科学研究科	年	人	年次 人	人		倍				
仏教文化専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.20	—	平成14	東京都稲城市坂浜238番地	
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士 (心理学)	0.45	—	平成15	同上	
大学院全体	2	15	—	30	—	0.36	—	—	—	
大学の名称		駒 沢 女 子 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
保育科	年	人	年次 人	人		倍				
短期大学全体	2	130	—	260	短期大学士 (保育)	0.76	—	昭和40	東京都稲城市坂浜238番地	
短期大学全体	2	130	—	260	—	0.76	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表

<人間総合学群 人間文化学類>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	光田 督良 (65) <平成30年4月> 法学修士
		駒沢女子大学入門 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ
		三田 誠司 (56) <平成30年4月> 博士(文学)
		日本文化入門Ⅱ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 古典文学概論 古典文学Ⅰ(上代・中古) 日本文学史Ⅰ 日本の詩歌 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文 教職実践演習(中・高)
専	教授	小林 憲夫 (65) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ 情報技術と人間関係 映像広告の研究 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ プレゼンテーション実習Ⅰ プレゼンテーション実習Ⅱ
		井戸 桂子 (64) <平成30年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ English WorkshopⅢ English WorkshopⅣ 異文化理解Ⅰ 異文化理解Ⅱ チャレンジTOEIC
専	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ 人間関係の基礎

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	光田 督良 (65) <平成30年4月> 法学修士
		駒沢女子大学入門 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ
		三田 誠司 (56) <平成30年4月> 博士(文学)
		日本文化入門Ⅱ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 古典文学概論 古典文学Ⅰ(上代・中古) 日本文学史Ⅰ 日本の詩歌 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文 教職実践演習(中・高)
専	教授	小林 憲夫 (65) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ 情報技術と人間関係 映像広告の研究 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ プレゼンテーション実習Ⅰ プレゼンテーション実習Ⅱ
		井戸 桂子 (64) <平成30年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ English WorkshopⅢ English WorkshopⅣ 異文化理解Ⅰ 異文化理解Ⅱ チャレンジTOEIC
専	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ 人間関係の基礎

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	光田 督良 (66) <平成30年4月> 法学修士
		駒沢女子大学入門 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ
		三田 誠司 (57) <平成30年4月> 博士(文学)
		日本文化入門Ⅱ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 古典文学概論 古典文学Ⅰ(上代・中古) 日本文学史Ⅰ 日本の詩歌 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文 教職実践演習(中・高)
専	教授	小林 憲夫 (66) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ 情報技術と人間関係 映像広告の研究 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ プレゼンテーション実習Ⅰ プレゼンテーション実習Ⅱ
		井戸 桂子 (65) <平成30年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ English WorkshopⅢ English WorkshopⅣ 異文化理解Ⅰ 異文化理解Ⅱ チャレンジTOEIC
専	教授	臼井 実穂子 (62) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
		科目削除

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		国際社会への誘い 現代国際社会 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	渋谷 香織 (60) <平成30年4月> 文学修士 日本文化入門Ⅰ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 日本語表現の実践Ⅰ 日本語表現の実践Ⅱ 日本の文化と歴史Ⅲ 日本の文化と歴史Ⅳ
専	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月> 文学修士 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化 仏教文学 仏教文化実習 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月> 政治学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ 日本文化研修 ビジネスインターンシップ
専	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月> 修士(教育学) 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーションゼミⅠ 英語コミュニケーションゼミⅡ 英語コミュニケーションゼミⅢ 英語コミュニケーションゼミⅣ 卒業論文 教職入門 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ 教職実践演習(中・高) 教育実習指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		国際社会への誘い 現代国際社会 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	渋谷 香織 (60) <平成30年4月> 文学修士 日本文化入門Ⅰ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 日本語表現の実践Ⅰ 日本語表現の実践Ⅱ 日本の文化と歴史Ⅲ 日本の文化と歴史Ⅳ
専	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月> 文学修士 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化 仏教文学 仏教文化実習 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月> 政治学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ 日本文化研修 ビジネスインターンシップ
専	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月> 修士(教育学) 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 英語コミュニケーションゼミⅠ 英語コミュニケーションゼミⅡ 英語コミュニケーションゼミⅢ 英語コミュニケーションゼミⅣ 卒業論文 教職入門 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ 教職実践演習(中・高) 教育実習指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		国際社会への誘い 現代国際社会 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	渋谷 香織 (61) <平成30年4月> 文学修士 日本文化入門Ⅰ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 日本語表現の実践Ⅰ 日本語表現の実践Ⅱ 日本の文化と歴史Ⅲ 日本の文化と歴史Ⅳ
専	教授	佐々木 俊道 (59) <平成30年4月> 文学修士 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化 仏教文学 仏教文化実習 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	弥久保 宏 (58) <平成30年4月> 政治学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ 日本文化研修 ビジネスインターンシップ
専	教授	中野 達也 (57) <平成30年4月> 修士(教育学) 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ 英語コミュニケーションゼミⅠ 英語コミュニケーションゼミⅡ 英語コミュニケーションゼミⅢ 英語コミュニケーションゼミⅣ 卒業論文 教職入門 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ 教職実践演習(中・高) 教育実習指導

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		教育実習Ⅰ(中学校) 教育実習Ⅱ(高等学校)
専	教授	松村 良 (55) <平成30年4月> 文学修士 日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 近代文学概論 近現代文学Ⅰ(近代) 近現代文学Ⅱ(現代) 児童文学 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文 教職実践演習(中・高)
専	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月> 芸術学修士 人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B 人間関係の基礎 企画と表現 表現活動とビジネス 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ ビジネスインターンシップ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月> 文学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本文化実習 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	石田 かおり (53) <平成30年4月> 博士(被服環境学) 人間関係入門Ⅱ 人間関係の基礎 化粧の文化史 化粧文化論 和装の文化Ⅰ 和装の文化Ⅱ 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		教育実習Ⅰ(中学校) 教育実習Ⅱ(高等学校)
専	教授	松村 良 (55) <平成30年4月> 文学修士 日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 近代文学概論 近現代文学Ⅰ(近代) 近現代文学Ⅱ(現代) 児童文学 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文 教職実践演習(中・高)
専	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月> 芸術学修士 人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B 人間関係の基礎 企画と表現 表現活動とビジネス 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ ビジネスインターンシップ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月> 文学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本文化実習 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	石田 かおり (53) <平成30年4月> 博士(被服環境学) 人間関係入門Ⅱ 人間関係の基礎 化粧の文化史 化粧文化論 和装の文化Ⅰ 和装の文化Ⅱ 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		教育実習Ⅰ(中学校) 教育実習Ⅱ(高等学校)
専	教授	松村 良 (56) <平成30年4月> 文学修士 日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 近代文学概論 近現代文学Ⅰ(近代) 近現代文学Ⅱ(現代) 児童文学 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文 教職実践演習(中・高)
専	教授	田澤 秀司 (56) <平成30年4月> 芸術学修士 人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B 人間関係の基礎 企画と表現 表現活動とビジネス 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ ビジネスインターンシップ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	千葉 公慈 (54) <平成30年4月> 文学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本文化実習 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	石田 かおり (54) <平成30年4月> 博士(被服環境学) 人間関係入門Ⅱ 人間関係の基礎 化粧の文化史 化粧文化論 和装の文化Ⅰ 和装の文化Ⅱ 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福王 守 (52) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
専	准教授	橋田 布佐子 (60) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ ライティング・使える英作文Ⅲ グラマー・使える英文法Ⅲ 英語コミュニケーションゼミⅠ 英語コミュニケーションゼミⅡ 英語コミュニケーションゼミⅢ 英語コミュニケーションゼミⅣ 卒業論文
専	准教授	榎本 環 (54) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 人間関係の基礎 現代社会の論点 流行論 職業の世界 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ ビジネスインターンシップ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	准教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月> 修士(日本史学)
		駒沢女子大学入門 日本文化入門Ⅰ 日本の文化と歴史Ⅰ 日本の文化と歴史Ⅱ 日本の文化と歴史Ⅲ 日本の文化と歴史Ⅳ 歴史資料論  博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福王 守 (52) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
専	准教授	橋田 布佐子 (60) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ ライティング・使える英作文Ⅲ グラマー・使える英文法Ⅲ 英語コミュニケーションゼミⅠ 英語コミュニケーションゼミⅡ 英語コミュニケーションゼミⅢ 英語コミュニケーションゼミⅣ 卒業論文
専	准教授	榎本 環 (54) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 人間関係の基礎 現代社会の論点 流行論 職業の世界 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ ビジネスインターンシップ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月> 修士(日本史学)
		駒沢女子大学入門 日本文化入門Ⅰ 日本の文化と歴史Ⅰ 日本の文化と歴史Ⅱ 日本の文化と歴史Ⅲ 日本の文化と歴史Ⅳ 歴史資料論  博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福王 守 (53) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
専	准教授	橋田 布佐子 (61) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ ライティング・使える英作文Ⅲ グラマー・使える英文法Ⅲ 英語コミュニケーションゼミⅠ 英語コミュニケーションゼミⅡ 英語コミュニケーションゼミⅢ 英語コミュニケーションゼミⅣ 卒業論文
専	准教授	榎本 環 (55) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 人間関係の基礎 現代社会の論点 流行論 職業の世界 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ ビジネスインターンシップ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	皆川 義孝 (51) <平成30年4月> 修士(日本史学)
		<b>科目削除</b> 日本文化入門Ⅰ 日本の文化と歴史Ⅰ 日本の文化と歴史Ⅱ 日本の文化と歴史Ⅲ 日本の文化と歴史Ⅳ 歴史資料論 <b>民俗資料論</b> 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年9月> 修士(文学)
		日本文化入門Ⅱ 日本の文化と歴史Ⅰ 日本の文化と歴史Ⅱ 民俗資料論 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
専	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ 海外留学準備 6か月留学 Core Studies(Basic)Ⅰ イギリス文学Ⅰ イギリス文学Ⅱ 英語コミュニケーションゼミⅠ 英語コミュニケーションゼミⅡ 英語コミュニケーションゼミⅢ 英語コミュニケーションゼミⅣ 卒業論文
専	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月> Master of Arts(米國)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ English WorkshopⅢ English WorkshopⅣ  Core StudiesⅠ Core StudiesⅡ Core StudiesⅢ Core StudiesⅣ
専	講師	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ 人間関係の基礎 コミュニケーションの社会学 文化社会学Ⅰ 文化社会学Ⅱ 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年9月> 修士(文学)
		日本文化入門Ⅱ 日本の文化と歴史Ⅰ 日本の文化と歴史Ⅱ 民俗資料論 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
専	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ 海外留学準備 6か月留学 Core Studies(Basic)Ⅰ イギリス文学Ⅰ イギリス文学Ⅱ 英語コミュニケーションゼミⅠ 英語コミュニケーションゼミⅡ 英語コミュニケーションゼミⅢ 英語コミュニケーションゼミⅣ 卒業論文
専	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月> Master of Arts(米國)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ English WorkshopⅢ English WorkshopⅣ  Core StudiesⅠ Core StudiesⅡ Core StudiesⅢ Core StudiesⅣ
専	准教授	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ 人間関係の基礎 コミュニケーションの社会学 文化社会学Ⅰ 文化社会学Ⅱ 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	下川 雅弘 (44) <平成30年9月> 修士(文学)
		日本文化入門Ⅱ 日本の文化と歴史Ⅰ 日本の文化と歴史Ⅱ <b>歴史資料論</b> 民俗資料論 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
専	准教授	松山 響子 (41) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅢ 英語BⅣ <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 海外留学準備 6か月留学 Core Studies(Basic)Ⅰ イギリス文学Ⅰ イギリス文学Ⅱ 英語コミュニケーションゼミⅠ 英語コミュニケーションゼミⅡ 英語コミュニケーションゼミⅢ 英語コミュニケーションゼミⅣ 卒業論文
専	講師	Plaza Taron (49) <平成30年4月> Master of Arts(米國)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ English WorkshopⅢ English WorkshopⅣ <b>Academic ReadingⅢ</b> <b>Academic ReadingⅣ</b> <b>Academic SpeakingⅠ</b> <b>Academic SpeakingⅡ</b> <b>Academic SpeakingⅢ</b> <b>Academic SpeakingⅣ</b> Core StudiesⅠ Core StudiesⅡ Core StudiesⅢ Core StudiesⅣ
専	准教授	大貫 恵佳 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ 人間関係の基礎 コミュニケーションの社会学 文化社会学Ⅰ 文化社会学Ⅱ 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月> 博士(文学) 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ 日本紹介の英語 ボランティア英語 Japan StudiesⅠ Japan StudiesⅡ Core Studies(Basic)Ⅱ Core StudiesⅠ Core StudiesⅡ Core StudiesⅢ Core StudiesⅣ
専	講師	石川 創 (35) <平成30年4月> 修士(文学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 日本語学Ⅱ
専	講師	工藤 俊 (35) <平成30年4月> 博士(言語学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ キャリア・イングリッシュⅠ キャリア・イングリッシュⅡ
専	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月> 修士(心理学) 人間関係入門Ⅰ 人間関係の基礎 コミュニケーションの心理学 恋愛の心理学 家族関係の心理学 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月> 博士(文学) 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ 日本紹介の英語 ボランティア英語 Japan StudiesⅠ Japan StudiesⅡ Core Studies(Basic)Ⅱ Core StudiesⅠ Core StudiesⅡ Core StudiesⅢ Core StudiesⅣ
専	准教授	石川 創 (35) <平成30年4月> 修士(文学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 日本語学Ⅱ
専	講師	工藤 俊 (35) <平成30年4月> 博士(言語学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ キャリア・イングリッシュⅠ キャリア・イングリッシュⅡ
専	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月> 修士(心理学) 人間関係入門Ⅰ 人間関係の基礎 コミュニケーションの心理学 恋愛の心理学 家族関係の心理学 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	講師	Morris Jonathan (40) <平成30年4月> 博士(文学) 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ 日本紹介の英語 ボランティア英語 Japan StudiesⅠ Japan StudiesⅡ Core Studies(Basic)Ⅱ Core StudiesⅠ Core StudiesⅡ Core StudiesⅢ Core StudiesⅣ
専	准教授	石川 創 (36) <平成30年4月> 修士(文学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 日本語学Ⅱ
専	講師	工藤 俊 (36) <平成30年4月> 博士(言語学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ キャリア・イングリッシュⅠ キャリア・イングリッシュⅡ
専	講師	倉住 友恵 (35) <平成30年4月> 修士(心理学) 人間関係入門Ⅰ 人間関係の基礎 コミュニケーションの心理学 恋愛の心理学 家族関係の心理学 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	羽鳥 修 (62) <平成30年4月> 文学修士
		アメリカの文化と歴史Ⅰ アメリカの文化と歴史Ⅱ 世界のミュージアム
兼任	教授	加藤 ナツ子 (67) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ 世界のミュージアム
兼任	教授	糟谷 恵次 (65) <平成30年4月> 文学修士
		ヨーロッパの文学 ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 世界のミュージアム
兼任	教授	篠 政行 (64) <平成30年4月> 工学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 視聴覚教育メディア論 情報メディアの活用
兼任	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月> 芸術学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	教授	安藤 嘉則 (60) <平成30年4月> 文学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	須藤 明 (59) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		心理学入門Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	羽鳥 修 (62) <平成30年4月> 文学修士
		アメリカの文化と歴史Ⅰ アメリカの文化と歴史Ⅱ 世界のミュージアム
兼任	教授	加藤 ナツ子 (67) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ 世界のミュージアム
兼任	教授	糟谷 恵次 (65) <平成30年4月> 文学修士
		ヨーロッパの文学 <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 世界のミュージアム
兼任	教授	篠 政行 (64) <平成30年4月> 工学修士
		<b>科目削除</b> <b>科目削除</b> コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 視聴覚教育メディア論 情報メディアの活用
兼任	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月> 芸術学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	教授	安藤 嘉則 (60) <平成30年4月> 文学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	富士原 光洋 (58) <平成30年4月> 文学修士
		心理学入門Ⅱ
兼任	教授	松岡 努 (49) <平成30年4月> 心理学修士
		心理学入門Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	羽鳥 修 (63) <平成30年4月> 文学修士
		<b>観光文化入門Ⅰ</b> アメリカの文化と歴史Ⅰ アメリカの文化と歴史Ⅱ 世界のミュージアム
兼任	教授	加藤 ナツ子 (68) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>観光文化入門Ⅰ</b> スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 世界のミュージアム
兼任	教授	糟谷 恵次 (66) <平成30年4月> 文学修士
		<b>基礎ゼミⅠ</b> <b>基礎ゼミⅡ</b> ヨーロッパの文学 <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 世界のミュージアム
兼任	教授	篠 政行 (65) <平成30年4月> 工学修士
		<b>基礎ゼミⅠ</b> <b>基礎ゼミⅡ</b> コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 視聴覚教育メディア論 情報メディアの活用
兼任	教授	渡邊 光章 (62) <平成30年4月> 芸術学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>観光文化入門Ⅰ</b>
兼任	教授	安藤 嘉則 (61) <平成30年4月> 文学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	富士原 光洋 (59) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 心理学入門Ⅱ
兼任	教授	松岡 努 (50) <平成30年4月> 心理学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 心理学入門Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月> 工学修士
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月> 言語学教授法DEA(仏国)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	教授	佐藤 勉 (52) <平成30年4月> MASTER OF ARCHITECTURE (米国)
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月> 工学修士
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月> 言語学教授法DEA(仏国)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	教授	佐藤 勉 (52) <平成30年4月> MASTER OF ARCHITECTURE (米国)
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	末木 俊之 (60) <平成30年4月> 工学修士
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	保坂 律子 (59) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b>
兼任	講師	余 瀾 (58) <平成31年4月> 修士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	教授	橋本 衆宝 (58) <平成31年4月> 修士(カウンセリング)
		言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	教授	米金 孝雄 (57) <平成30年4月> 言語学教授法DEA(仏国)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	教授	田代 真人 (56) <平成31年4月> 修士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 観光文化入門Ⅰ
兼任	教授	佐藤 勉 (53) <平成30年4月> MASTER OF ARCHITECTURE (米国)
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	教授	藤城 有美子 (51) <平成31年4月> 博士(医学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	教授	藤川 麗 (46) <平成31年4月> 博士(教育学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	准教授	明田川 紀彦 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ <b>科目削除</b> <b>科目削除</b>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月> 準学士 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月> 博士(教育学) 心理学入門Ⅰ 発達心理学
兼任	准教授	田辺 解 (42) <平成30年4月> 博士(体育科学) 介護等の体験
兼任	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月> Master of Arts(米国) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月> 修士(工学) 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月> 学士(建築学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月> 修士(心理学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ カウンセリング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月> 準学士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月> 博士(教育学) 心理学入門Ⅰ 発達心理学
兼任	准教授	田辺 解 (42) <平成30年4月> 博士(体育科学) 介護等の体験
兼任	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月> Master of Arts(米国) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月> 修士(工学) 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月> 学士(建築学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月> 修士(心理学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡本 教佳 (62) <平成31年4月> 工学博士 コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ
兼任	准教授	鈴木 利彦 (48) <平成30年4月> 準学士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ 科目削除
兼任	講師	星野 好晃 (37) <平成31年4月> 修士(情報学) コンピュータ演習Ⅱ
兼任	准教授	丸山 慎 (46) <平成30年4月> 博士(教育学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 心理学入門Ⅰ 発達心理学
兼任	准教授	田辺 解 (43) <平成30年4月> 博士(体育科学) 介護等の体験
兼任	准教授	杉野 知恵 (45) <平成30年4月> Master of Arts(米国) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 観光文化入門Ⅰ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	張 景泰 (46) <平成31年4月> 博士(観光学) 観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ
兼任	准教授	飯島 卓 (45) <平成31年4月> 修士(観光学) 観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ
兼任	准教授	茂木 弥生子 (44) <平成30年4月> 修士(工学) 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	講師	小川 弾 (37) <平成30年4月> 学士(建築学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	講師	綾城 初穂 (36) <平成30年4月> 修士(心理学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 教育相談

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月> 修士(教育学)
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月> 博士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	龍谷 孝道 (34) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月> 修士(学術)
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月> 文学修士
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学 哲学と思想
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月> 文学修士
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月> 修士(環境科学)
		生命の科学 生物と生命

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月> 修士(教育学)
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		科目削除 科目削除
兼任	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月> 博士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月> 修士(学術)
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月> 文学修士
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学 哲学と思想
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月> 文学修士
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月> 修士(環境科学)
		生命の科学 生物と生命

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	古屋 真 (34) <平成30年4月> 修士(教育学)
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	三宅 貴之 (29) <平成31年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	助教	山崎 陽菜 (35) <平成30年4月> 博士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	小早川 浩大 (51) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (65) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (65) <平成30年4月> 修士(学術)
		科目削除 科目削除 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究
兼任	講師	鈴木 由加里 (54) <平成30年4月> 文学修士
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学 哲学と思想
兼任	講師	石田 仁志 (60) <平成30年4月> 文学修士
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (43) <平成30年4月> 修士(環境科学)
		生命の科学 生物と生命

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月> 文学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月> 修士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 自己分析の心理学 ビジネスと心理学
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月> 文学修士
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月> 博士(文学)
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (52) <平成30年4月> 文学士
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (37) <平成30年4月> 修士(政治学)
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月> 修士(経営学)
		新聞と報道 報道とメディア
兼任	講師	平野 直子 (38) <平成30年4月> 修士(文学)
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	船津 卓馬 (37) <平成30年4月> 修士(工学)
		数学の世界 物理の世界

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月> 文学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月> 修士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 自己分析の心理学 ビジネスと心理学
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月> 文学修士
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月> 博士(文学)
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (52) <平成30年4月> 文学士
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (37) <平成30年4月> 修士(政治学)
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月> 修士(経営学)
		新聞と報道 報道とメディア
兼任	講師	平野 直子 (39) <平成30年4月> 修士(文学)
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	下久保 亘 (47) <平成30年4月> 工学修士
		数学の世界 物理の世界

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 規子 (54) <平成30年4月> 文学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (51) <平成30年4月> 修士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 自己分析の心理学 <b>科目削除</b>
兼任	講師	<b>廣川 佳子</b> (55) <b>&lt;平成31年4月&gt;</b> <b>修士(心理学)</b>
		<b>ビジネスと心理学</b>
兼任	講師	森島 由紀子 (50) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (52) <平成30年4月> 文学修士
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (42) <平成30年4月> 博士(文学)
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (53) <平成30年4月> 文学士
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (38) <平成30年4月> 修士(政治学)
		<b>科目削除</b> 世界の経済
兼任	教授	<b>皆木 和義</b> (65) <b>&lt;平成31年4月&gt;</b> <b>学士(法学)</b>
		<b>日本の経済</b>
兼任	講師	佐々木 竜介 (53) <平成30年4月> 修士(経営学)
		新聞と報道 報道とメディア
兼任	講師	平野 直子 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	下久保 亘 (48) <平成30年4月> 工学修士
		数学の世界 物理の世界

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 博士(理学)
		物質と化学
兼任	講師	滝沢 真美 (56) <平成30年4月> 修士(家政学)
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 学士(経営学)
		進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わかな (38) <平成30年4月> 学士(経済学)
		進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 学士(法学)
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 修士(文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> 学士(心理学)
		キャリアリテラシー
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 博士(医学)
		女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> 学士(体育)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツ I スポーツ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 博士(理学)
		物質と化学
兼任	講師	稲葉 隆 (56) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 学士(経営学)
		進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わかな (38) <平成30年4月> 学士(経済学)
		進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 学士(法学)
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 修士(文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> 学士(心理学)
		キャリアリテラシー
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 博士(医学)
		女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> 学士(体育)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツ I スポーツ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平井 隆之 (34) <令和元年9月> 博士(理学)
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		物質と化学
兼任	講師	稲葉 隆 (57) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (49) <平成30年4月> 学士(経営学)
		進路設計 科目削除 科目削除
兼任	講師	樋口 浩子 (54) <令和元年9月> 学士(マネジメント)
		社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わかな (39) <平成30年4月> 学士(経済学)
		進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (42) <平成30年4月> 学士(法学)
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (42) <平成30年4月> 修士(文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (59) <平成30年4月> 学士(心理学)
		キャリアリテラシー 社会と教養演習A
兼任	講師	城川 美佳 (56) <平成30年4月> 博士(医学)
		女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (47) <平成30年4月> 学士(体育)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (40) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツ I 科目削除

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月> 専修学校卒業
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II
		日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
		境 希里子 (59) <平成30年4月> 文学士
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
兼任	講師	池上 俊彦 (48) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
		江連 成美 (51) <平成30年4月> 修士(言語学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	大石 瑤子 (33) <平成30年4月> Master of Arts English Studies (英専)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月> 専修学校卒業
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II
		日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
		境 希里子 (60) <平成30年4月> 文学士
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
兼任	講師	池上 俊彦 (48) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
		江連 成美 (51) <平成30年4月> 修士(言語学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	
		木村 崇是 (26) <平成30年4月> 修士(文学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	三辻 浩子 (53) <平成30年4月> 専修学校卒業
		科目削除 スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (55) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II
		日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
		境 希里子 (61) <平成30年4月> 文学士
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
兼任	講師	池上 俊彦 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV
		江連 成美 (52) <平成30年4月> 修士(言語学)
		科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	
		木村 崇是 (27) <平成30年4月> 修士(文学)

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月> MA(English)(英国)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	川上 真巳子 (59) <平成30年4月> 教育学修士
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 映画の英語 I 映画の英語 II
兼任	講師	木庭 真美子 (64) <平成30年4月> The Degree of Master of Arts in History of Art(英国)
		英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	宮脇 裕子 (62) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月> MA(English)(英国)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	川上 真巳子 (59) <平成30年4月> 教育学修士
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 映画の英語 I 映画の英語 II
兼任	講師	木庭 真美子 (65) <平成30年4月> The Degree of Master of Arts in History of Art(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 英語B III 英語B IV
兼任	講師	宮脇 裕子 (63) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小田島 則子 (56) <平成30年4月> MA(English)(英国)
		英語B I 英語B II <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>英語B III</b> <b>英語B IV</b>
兼任	講師	川上 真巳子 (60) <平成30年4月> 教育学修士
		<b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	木庭 真美子 (66) <平成30年4月> The Degree of Master of Arts in History of Art(英国)
		<b>英語A I</b> <b>英語A II</b> 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	佐々木 千恵 (51) <平成30年4月> 修士(文学)
		<b>英語A I</b> <b>英語A II</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>英語A III</b> <b>英語A IV</b>
兼任	講師	宮脇 裕子 (64) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II <b>英語A III</b> <b>英語A IV</b> 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Moreau Robert (48) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II  英語A III 英語A IV
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	吉田 明代 (43) <平成30年4月> 修士(学術)
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	岸山 健 (25) <平成31年4月> 修士(学術)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Burns Kevin Robert (54) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II  英語A III 英語A IV
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	鈴木 一徳 (29) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語A III 英語A IV
兼任	講師	岸山 健 (25) <平成31年4月> 修士(学術)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Burns Kevin Robert (55) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	本村 万喜子 (44) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV 科目削除 科目削除
兼任	講師	薬師 英子 (38) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	鈴木 一徳 (30) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	岸山 健 (25) <平成31年4月> 修士(学術)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV 時事英語 I 時事英語 II キャリア・イングリッシュ I キャリア・イングリッシュ II キャリア・イングリッシュ III キャリア・イングリッシュ IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II  英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II  英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV ライティング・使える英作文 I ライティング・使える英作文 II
兼任	講師	メルヴィン・ジョン (43) <平成30年4月> MASTER OF SCIENCE(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月> 修士(教育学)
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV 時事英語 I 時事英語 II キャリア・イングリッシュ I キャリア・イングリッシュ II キャリア・イングリッシュ III キャリア・イングリッシュ IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月> 修士(文学)
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月> 修士(文学)
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV ライティング・使える英作文 I ライティング・使える英作文 II
兼任	講師	Earl Russell (55) <平成30年4月> 芸術修士
		英語A I 英語A II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小木曾 智子 (24) <平成31年4月> 修士(言語学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	川畑 秀樹 (60) <平成31年4月> 文学修士
		キャリア・イングリッシュ I キャリア・イングリッシュ II 映画の英語 I 映画の英語 II 時事英語 I 時事英語 II
兼任	講師	加藤 洋昭 (37) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV ライティング・使える英作文 I ライティング・使える英作文 II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月> Bachelor of Arts in Psychology(英國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II  英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月> 修士(英文学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月> Bachelor of Arts in Psychology(英國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月> 修士(英文学)
		英語A I 英語A II  科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田裕子リナ (60) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (53) <平成30年4月> Bachelor of Arts in Psychology(英國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (55) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (38) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (56) <平成30年4月> 修士(英文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除
兼任	講師	津村 早紀 (25) <平成31年4月> 修士(学術)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	佐々木 大和 (27) <平成31年4月> 修士(言語学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV キャリア・イングリッシュ I キャリア・イングリッシュ II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Suthichai Pac Taupradist (35) <平成30年4月> <small>Doctor of Jurisprudence(米国)</small> 英会話 I 英会話 II Academic Reading I Academic Reading II Academic Speaking I Academic Speaking II
兼任	講師	Jeffrey Jones (46) <平成30年4月> <small>BACHELOR OF SCIENCE(米国)</small> Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II Academic Speaking I Academic Speaking II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Jason Takada (49) <平成30年4月> BA(韓国) Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Daniel G. Friedrich (39) <平成31年4月> MA(米国) 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	Rose Guy Easton (38) <平成31年4月> BA(米国) 英語コミュニケーション入門 I 英語コミュニケーション入門 II 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Donald G. Bartley (59) <平成31年4月> BA(米国) 英会話 I 英会話 II Receptive English I Receptive English II
兼任	講師	Lawrence Karn (65) <平成31年4月> Ph. D.(米国) 英会話 I 英会話 II 英語コミュニケーション入門 I 英語コミュニケーション入門 II English Workshop I English Workshop II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月> Ph. D(文学・文明)(仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月> 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> 博士(学術)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 文化人類学
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) <平成30年4月> 工学修士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	柏野 和佳子 (50) <平成31年4月> 修士(学術)
		日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ
兼任	講師	浅川 哲也 (54) <平成31年4月> 修士(教育学)
		日本語学Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月> Ph. D(文学・文明)(仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月> 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> 博士(学術)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 文化人類学
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) <平成30年4月> 工学修士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	柏野 和佳子 (49) <平成31年4月> 修士(学術)
		日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ
兼任	講師	浅川 哲也 (53) <平成31年4月> 修士(教育学)
		日本語学Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Gleeson Frances (61) <平成31年4月> BA(豪国)
		Academic ReadingⅠ Academic ReadingⅡ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ Productive EnglishⅠ Productive EnglishⅡ
兼任	講師	松村 悠子 (41) <平成30年4月> Ph. D(文学・文明)(仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	講師	高宮 純子 (38) <平成31年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	木下 令子 (63) <平成30年4月> 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ
兼任	講師	西端 彩 (37) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (43) <平成30年4月> 博士(学術)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 文化人類学
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (62) <平成30年4月> 工学修士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	柏野 和佳子 (50) <平成31年4月> 修士(学術)
		日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ
兼任	講師	浅川 哲也 (54) <平成31年4月> 修士(教育学)
		日本語学Ⅰ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	野中 哲照 (58) <令和元年9月> 博士(文学)
		古典文学Ⅱ(中世・近世) 日本文学史Ⅱ
兼任	講師	長谷川 清貴 (49) <令和2年4月> 修士(文学)
		中国文学Ⅰ(漢文学) 中国文学Ⅱ(漢文学)
兼任	講師	市川 理恵 (47) <平成31年4月> 博士(史学)
		日本史Ⅰ(古代) 文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ
兼任	講師	今野 慶信 (50) <平成31年4月> 修士(日本史学)
		日本史Ⅱ(中世) 歴史考古学
兼任	講師	鍋本 由徳 (50) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本史Ⅲ(近世) 日本史Ⅳ(近現代)
兼任	講師	津曲 真一 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本文化史Ⅰ 日本文化史Ⅱ
兼任	講師	滝口 正哉 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	萩原 茂 (63) <平成31年4月> 修士(教育学)
		国語教育概論Ⅰ 国語教育概論Ⅱ
兼任	講師	遠藤 昌弘 (60) <令和2年4月> 修士(芸術学)
		書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ
兼任	講師	加島 勝 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本の文化財Ⅰ 日本の文化財Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	野中 哲照 (57) <令和元年9月> 博士(文学)
		古典文学Ⅱ(中世・近世) 日本文学史Ⅱ
兼任	講師	長谷川 清貴 (47) <令和2年4月> 修士(文学)
		中国文学Ⅰ(漢文学) 中国文学Ⅱ(漢文学)
兼任	講師	市川 理恵 (46) <平成31年4月> 博士(史学)
		日本史Ⅰ(古代) 文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ
兼任	講師	今野 慶信 (49) <平成31年4月> 修士(日本史学)
		日本史Ⅱ(中世) 歴史考古学
兼任	講師	鍋本 由徳 (49) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本史Ⅲ(近世) 日本史Ⅳ(近現代)
兼任	講師	長谷川 幸一 (36) <平成31年4月> 修士(歴史学)
		日本文化史Ⅰ 日本文化史Ⅱ
兼任	講師	滝口 正哉 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	萩原 茂 (62) <平成31年4月> 修士(教育学)
		国語教育概論Ⅰ 国語教育概論Ⅱ
兼任	講師	遠藤 昌弘 (58) <令和2年4月> 修士(芸術学)
		書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ
兼任	講師	加島 勝 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本の文化財Ⅰ 日本の文化財Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	荒木 優也 (38) <令和元年9月> 博士(文学)
		古典文学Ⅱ(中世・近世) 日本文学史Ⅱ
兼任	講師	長谷川 清貴 (48) <令和2年4月> 修士(文学)
		中国文学Ⅰ(漢文学) 中国文学Ⅱ(漢文学)
兼任	講師	市川 理恵 (47) <平成31年4月> 博士(史学)
		日本史Ⅰ(古代) 文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ
兼任	講師	今野 慶信 (50) <平成31年4月> 修士(日本史学)
		日本史Ⅱ(中世) 歴史考古学
兼任	講師	鍋本 由徳 (50) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本史Ⅲ(近世) 日本史Ⅳ(近現代)
兼任	講師	長谷川 幸一 (37) <平成31年4月> 修士(歴史学)
		日本文化史Ⅰ 日本文化史Ⅱ
兼任	講師	滝口 正哉 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	萩原 茂 (63) <平成31年4月> 修士(教育学)
		国語教育概論Ⅰ 国語教育概論Ⅱ
兼任	講師	遠藤 昌弘 (59) <令和2年4月> 修士(芸術学)
		書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ
兼任	講師	加島 勝 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本の文化財Ⅰ 日本の文化財Ⅱ

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 正洋 (64) <平成31年4月> 法学士
		身体文化論Ⅰ 身体文化論Ⅱ
兼任	講師	石上 美紀 (55) <平成31年4月> 家政学修士
		服装の美意識Ⅰ 服装の美意識Ⅱ
兼任	講師	渡邊 正人 (63) <令和2年4月> 修士(社会デザイン学)
		セルフプロデュース ビューティービジネス
兼任	講師	郷田 ほづみ (合田 穂積) (61) <平成31年4月> 文学士
		自己表現法Ⅰ 自己表現法Ⅱ コミュニケーション実習Ⅰ コミュニケーション実習Ⅱ
兼任	講師	関根 田欣子 (65) <令和元年9月> 修士(学術)
		家族と現代社会
兼任	講師	金子 祥之 (34) <令和元年9月> 博士(人間科学)
		環境問題と市民
兼任	講師	長野 慎一 (41) <平成31年4月> 修士(社会学)
		社会学特論
兼任	講師	黒田 壽祐 (64) <平成31年4月> 修士(工学)
		チームビルディング 組織マネジメント
兼任	講師	足立 真理 (54) <令和2年4月> 経営修士
		経済とビジネスⅠ 経済とビジネスⅡ
兼任	講師	笠原 良太 (28) <平成31年4月> 修士(文学)
		アンケート調査法
兼任	講師	高橋 かおり (33) <令和元年9月> 修士(文学)
		フィールドワークの技法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 正洋 (63) <平成31年4月> 法学士
		身体文化論Ⅰ 身体文化論Ⅱ
兼任	講師	石上 美紀 (54) <平成31年4月> 家政学修士
		服装の美意識Ⅰ 服装の美意識Ⅱ
兼任	講師	渡邊 正人 (61) <令和2年4月> 修士(社会デザイン学)
		セルフプロデュース ビューティービジネス
兼任	講師	郷田 ほづみ (合田 穂積) (60) <平成31年4月> 文学士
		自己表現法Ⅰ 自己表現法Ⅱ コミュニケーション実習Ⅰ コミュニケーション実習Ⅱ
兼任	講師	関根 田欣子 (64) <令和元年9月> 修士(学術)
		家族と現代社会
兼任	講師	金子 祥之 (33) <令和元年9月> 博士(人間科学)
		環境問題と市民
兼任	講師	長野 慎一 (40) <平成31年4月> 修士(社会学)
		社会学特論
兼任	講師	黒田 壽祐 (63) <平成31年4月> 修士(工学)
		チームビルディング 組織マネジメント
兼任	講師	足立 真理 (52) <令和2年4月> 経営修士
		経済とビジネスⅠ 経済とビジネスⅡ
兼任	講師	笠原 良太 (27) <平成31年4月> 修士(文学)
		アンケート調査法
兼任	講師	高橋 かおり (32) <令和元年9月> 修士(文学)
		フィールドワークの技法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 正洋 (64) <平成31年4月> 法学士
		身体文化論Ⅰ 身体文化論Ⅱ
兼任	講師	石上 美紀 (55) <平成31年4月> 家政学修士
		服装の美意識Ⅰ 服装の美意識Ⅱ
兼任	講師	向井 加寿子 (66) <令和2年4月> 専門学校卒業
		セルフプロデュース ビューティービジネス
兼任	講師	郷田 ほづみ (合田 穂積) (61) <平成31年4月> 文学士
		自己表現法Ⅰ 自己表現法Ⅱ コミュニケーション実習Ⅰ コミュニケーション実習Ⅱ
兼任	講師	古谷 恵子 (41) <令和元年9月> 修士(家政学)
		家族と現代社会
兼任	講師	岡田 航 (34) <平成31年4月> 修士(環境学)
		環境問題と市民
兼任	講師	長野 慎一 (41) <平成31年4月> 修士(社会学)
		社会学特論
兼任	講師	黒田 壽祐 (64) <平成31年4月> 修士(工学)
		チームビルディング 組織マネジメント
兼任	講師	足立 真理 (53) <令和2年4月> 経営修士
		経済とビジネスⅠ 経済とビジネスⅡ
兼任	講師	笠原 良太 (28) <平成31年4月> 修士(文学)
		アンケート調査法

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹村 智子 (54) <平成31年4月> 准学士(教養)
		人間関係学実習Ⅰ 人間関係学実習Ⅱ
兼任	講師	Rod Caldwell (33) <平成31年4月> BACHELOR OF ARTS(米国)
		Academic Reading Ⅲ Academic Reading Ⅳ Academic Speaking Ⅲ Academic Speaking Ⅳ
兼任	講師	神谷 昇 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		グラマー-使える英文法Ⅰ グラマー-使える英文法Ⅱ 英語学概論Ⅰ 英語学概論Ⅱ 英語音声学Ⅰ 英語音声学Ⅱ
兼任	講師	大野 真 (58) <平成31年4月> 文学修士
		アメリカ文学Ⅰ アメリカ文学Ⅱ
兼任	講師	工藤 洋路 (42) <平成31年4月> 博士(学術)
		英語教育学概論Ⅰ 英語教育学概論Ⅱ
兼任	講師	クレイ・サイモン (53) <平成31年4月> M.A. Oriental Studies(英国)
		通訳・ガイドⅠ 通訳・ガイドⅡ 通訳・ガイドⅢ 通訳・ガイドⅣ
兼任	講師	別所 るみ子 (58) <平成31年4月> 教育学士
		身体文化実習Ⅰ
兼任	講師	藤間 勤孝女 (近藤 節子) (65) <令和元年9月> 体育学士
		身体文化実習Ⅱ
兼任	講師	田中 正浩 (56) <平成30年4月> 文学修士
		教育原理 教育制度論 教育課程論 道德教育の指導法 生徒指導論(進路指導を含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹村 智子 (53) <平成31年4月> 准学士(教養)
		人間関係学実習Ⅰ 人間関係学実習Ⅱ
兼任	講師	Rod Caldwell (32) <平成31年4月> BACHELOR OF ARTS(米国)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ Academic Reading Ⅲ Academic Reading Ⅳ Academic Speaking Ⅲ Academic Speaking Ⅳ
兼任	講師	神谷 昇 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		グラマー-使える英文法Ⅰ グラマー-使える英文法Ⅱ 英語学概論Ⅰ 英語学概論Ⅱ 英語音声学Ⅰ 英語音声学Ⅱ
兼任	講師	大野 真 (57) <平成31年4月> 文学修士
		アメリカ文学Ⅰ アメリカ文学Ⅱ
兼任	講師	工藤 洋路 (41) <平成31年4月> 博士(学術)
		英語教育学概論Ⅰ 英語教育学概論Ⅱ
兼任	講師	クレイ・サイモン (52) <平成30年4月> M.A. Oriental Studies(英国)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 通訳・ガイドⅠ 通訳・ガイドⅡ 通訳・ガイドⅢ 通訳・ガイドⅣ
兼任	講師	別所 るみ子 (57) <平成31年4月> 教育学士
		身体文化実習Ⅰ
兼任	講師	藤間 勤孝女 (近藤 節子) (64) <令和元年9月> 体育学士
		身体文化実習Ⅱ
兼任	講師	田中 正浩 (56) <平成30年4月> 文学修士
		教育原理 教育制度論 教育課程論 科目削除 生徒指導論(進路指導を含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	畑山 直子 (36) <令和元年9月> 修士(社会学)
		フィールドワークの技法
兼任	講師	竹村 智子 (54) <平成31年4月> 准学士(教養)
		人間関係学実習Ⅰ 人間関係学実習Ⅱ
兼任	講師	神谷 昇 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		グラマー-使える英文法Ⅰ グラマー-使える英文法Ⅱ 英語学概論Ⅰ 英語学概論Ⅱ 英語音声学Ⅰ 英語音声学Ⅱ
兼任	講師	大野 真 (58) <平成31年4月> 文学修士
		アメリカ文学Ⅰ アメリカ文学Ⅱ
兼任	講師	工藤 洋路 (42) <平成31年4月> 博士(学術)
		英語教育学概論Ⅰ 英語教育学概論Ⅱ
兼任	講師	クレイ・サイモン (53) <平成31年4月> M.A. Oriental Studies(英国)
		科目削除 科目削除 科目削除 通訳・ガイドⅢ 通訳・ガイドⅣ
兼任	講師	橋 俊一 (42) <平成31年4月> Master of Education
		通訳・ガイドⅠ 通訳・ガイドⅡ
兼任	講師	別所 るみ子 (58) <平成31年4月> 教育学士
		身体文化実習Ⅰ
兼任	講師	藤間 勤孝女 (近藤 節子) (65) <令和元年9月> 体育学士
		身体文化実習Ⅱ
兼任	講師	田中 正浩 (57) <平成30年4月> 文学修士
		教育原理 教育制度論 教育課程論 科目削除 生徒指導論(進路指導を含む)

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名
	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
		兼任 講師	田中 奈津子 (36) <平成31年4月> 修士(学術) 道徳教育の指導法	兼任 講師	田中 奈津子 (37) <平成31年4月> 修士(学術) 道徳教育の指導法
兼任	講師 野中 潤 (58) <令和2年4月> 教育学修士 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ	兼任	講師 野中 潤 (56) <令和2年4月> 教育学修士 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ	兼任	講師 野中 潤 (57) <令和2年4月> 教育学修士 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ 総合的な学習時間の指導法
兼任	講師 八木 浩雄 (44) <平成31年4月> 修士(教育学) 特別活動の指導法 教育方法・技術	兼任	講師 八木 浩雄 (43) <平成31年4月> 修士(教育学) 科目削除 教育方法・技術	兼任	講師 八木 浩雄 (44) <平成31年4月> 修士(教育学) 科目削除 教育方法・技術
		兼任 講師	梅澤 秀監 (64) <平成31年4月> 修士(法学) 特別活動の指導法	兼任 講師	梅澤 秀監 (65) <平成31年4月> 修士(法学) 特別活動の指導法
				兼任 講師	金森 克浩 (59) <令和2年4月> 修士(教育学) 特別支援教育概論
兼任	講師 松本 美智子 (63) <令和2年4月> 図書館・情報学修士 学校経営と学校図書館 読書と豊かな人間性 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館	兼任	講師 松本 美智子 (61) <令和2年4月> 図書館・情報学修士 学校経営と学校図書館 読書と豊かな人間性 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館	兼任	講師 松本 美智子 (62) <令和2年4月> 図書館・情報学修士 学校経営と学校図書館 読書と豊かな人間性 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館
兼任	講師 滝澤 雅史 (43) <平成31年4月> 修士(国際交流) 博物館資料論 博物館資料保存論	兼任	講師 滝澤 雅史 (42) <平成31年4月> 修士(国際交流) 博物館資料論 博物館資料保存論	兼任	講師 滝澤 雅史 (43) <平成31年4月> 修士(国際交流) 博物館資料論 博物館資料保存論 博物館実習B
兼任	講師 山口 和美 (63) <平成31年4月> 造形学士 博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習B	兼任	講師 山口 和美 (62) <平成31年4月> 造形学士 博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習C	兼任	講師 山口 和美 (63) <平成31年4月> 造形学士 博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習C
兼任	講師 鈴木 伸子 (40) <令和元年9月> 博士(美術) 日本のミュージアム	兼任	講師 鈴木 伸子 (39) <令和元年9月> 博士(美術) 日本のミュージアム	兼任	講師 鈴木 伸子 (40) <令和元年9月> 博士(美術) 日本のミュージアム
兼任	講師 岩谷 秋美 (42) <平成31年4月> 博士(美術) 西洋美術の旅Ⅰ	兼任	講師 岩谷 秋美 (41) <平成31年4月> 博士(美術) 西洋美術の旅Ⅰ	兼任	講師 岩谷 秋美 (42) <平成31年4月> 博士(美術) 未開講
兼任	講師 桑 和沙 (36) <令和元年9月> 博士(文学) 西洋美術の旅Ⅱ	兼任	講師 桑 和沙 (35) <令和元年9月> 博士(文学) 西洋美術の旅Ⅱ	兼任	講師 桑 和沙 (36) <令和元年9月> 博士(文学) 未開講

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

<人間総合学群 人間文化学類>

【平成30年度】

- ・中野教授、教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を追加。
- ・皆川准教授、准教授から教授へ昇格。
- ・大貫講師、講師から准教授へ昇格。
- ・石川講師、講師から准教授へ昇格。
- ・糟谷兼担教授、科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」を削除、黒瀬兼任講師に担当者変更。
- ・篠兼担教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除、鈴木兼担准教授に担当者変更。
- ・須藤兼担教授、公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」を削除、富士原兼担教授、松岡兼担教授に担当者変更。
- ・鈴木兼担准教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・綾城兼担講師、課程認定委員会指摘の理由により、「カウンセリング論」を「教育相談」に科目名称変更。
- ・小久保兼担助教、体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除。
- ・龍谷兼任講師、就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」を佐々木専任教授、「仏教学Ⅱ」を千葉専任教授に担当者変更。
- ・船津兼任講師、就任辞退の理由により、「数学の世界」「物理の世界」を下久保兼任講師に担当者変更。
- ・滝沢兼任講師、就任辞退の理由により、「色彩と科学」を稲葉兼任講師に担当者変更。
- ・大石兼任講師、就任辞退の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を木村兼任講師に担当者変更。
- ・小泉兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・木庭兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加。
- ・佐々木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Moreau Robert兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をBurns Kevin Robert兼任講師に担当者変更。
- ・吉田兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を鈴木兼任講師に担当者変更。
- ・杉田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・砂田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・田ノ口兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・加藤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・メルヴィン・ジョン兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をEarl Russell兼任講師に担当者変更。
- ・木澤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・神山兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Suthichai Pac Taupradist兼任講師、就任辞退の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」をRod Caldwell兼任講師に担当者変更。
- ・Jeffrey Jones兼任講師、就任辞退の理由により、「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」をJason Takada兼任講師に担当者変更。
- ・津曲兼任講師、就任辞退の理由により、「日本文化史Ⅰ」「日本文化史Ⅱ」を長谷川兼任講師に担当者変更。
- ・クレイ・サイモン兼任講師、教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を追加。
- ・田中兼任講師、課程認定委員会指摘の理由により、「道德教育の指導法」を削除、田中兼任講師に担当者変更。
- ・八木兼任講師、課程認定委員会指摘の理由により、「特別活動の指導法」を削除、梅澤兼任講師に担当者変更。

【令和元年度】

- ・臼井教授、科目担当調整の理由により、「人間関係の基礎」を削除。
- ・中野教授、教育課程充実のため、「English WorkshopⅠ」「English WorkshopⅡ」を追加。
- ・皆川教授、科目担当調整の理由により、「駒沢女子大学入門」を削除、「民俗資料論」を追加。
- ・下川准教授、科目担当調整の理由により、「歴史資料論」を追加。
- ・松山准教授、科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」「English WorkshopⅠ」「English WorkshopⅡ」を削除。
- ・Taron講師、科目担当調整の理由により、「Academic ReadingⅢ」「Academic ReadingⅣ」「Academic SpeakingⅠ」「Academic SpeakingⅡ」「Academic SpeakingⅢ」「Academic SpeakingⅣ」を追加。
- ・羽鳥兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加。
- ・加藤兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加、科目担当調整の理由により、「スペイン語Ⅲ」「スペイン語Ⅳ」を削除。
- ・糟谷兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加、「ドイツ語Ⅲ」「ドイツ語Ⅳ」を削除。
- ・篠兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・渡邊兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加。
- ・富士原兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・松岡兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・保坂兼担教授、科目担当調整の理由により、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「中国語Ⅲ」「中国語Ⅳ」を削除、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を余兼任講師に担当者変更。
- ・橋本兼担教授、科目担当調整の理由により、「言語表現演習Ⅰ」「言語表現演習Ⅱ」を担当。
- ・田代兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」「観光文化入門Ⅰ」を担当。
- ・藤城兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・藤川兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・明田川兼担准教授、科目担当調整の理由により、「コンピュータ演習Ⅲ」「コンピュータ演習Ⅳ」を削除、岡本兼任講師に担当者変更。
- ・鈴木兼担准教授、科目担当調整の理由により、「コンピュータ演習Ⅱ」を削除、星野兼任講師に担当者変更。
- ・丸山兼担准教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・杉野兼担准教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加。
- ・張兼担准教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」を追加。
- ・鮫島兼担准教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」を追加。
- ・古屋兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・小久保兼担助教、退職の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を三宅兼担助教に担当者変更。
- ・玉本兼任講師、科目担当調整の理由により、「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」を削除。
- ・竹田兼任講師、科目担当調整の理由により、「ビジネスと心理学」を、廣川兼任講師に担当者変更。
- ・斎藤兼任講師、本人都合の理由により、「日本の経済」を、皆木兼任講師に担当者変更。

- ・鈴木兼任講師、本人都合の理由により、「地球と宇宙」を、平井兼任講師に担当者変更。
- ・野々垣兼任講師、本人都合の理由により、「社会と教養演習A」を永久兼任講師に、「社会と教養演習B」を樋口兼任講師に担当者変更。
- ・丸山兼任講師、本人都合の理由により、「スポーツⅡ」を削除。
- ・三辻兼任講師、本人都合の理由により、「スポーツⅠ」を削除。
- ・池上兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・江連兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・木村兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・小田島兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・川上兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・小泉兼任講師、退職の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」「映画の英語Ⅰ」「映画の英語Ⅱ」を削除。
- ・佐々木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・宮脇兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・Burns兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・本村兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・薬師兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・鈴木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・杉田兼任講師、退職の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、岸山兼任講師に担当者変更。
- ・砂田兼任講師、退職の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」「時事英語Ⅰ」「時事英語Ⅱ」「キャリア・イングリッシュⅠ」「キャリア・イングリッシュⅡ」「キャリア・イングリッシュⅢ」「キャリア・イングリッシュⅣ」を削除。
- ・小木曾兼任講師、科目調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を担当。
- ・川畑兼任講師、科目調整の理由等により、「キャリア・イングリッシュⅠ」「キャリア・イングリッシュⅡ」「映画の英語Ⅰ」「映画の英語Ⅱ」「時事英語Ⅰ」「時事英語Ⅱ」を担当。
- ・田ノ口兼任講師、退職の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除。
- ・加藤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加。
- ・Russell兼任講師、退職の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・谷口兼任講師、本人都合の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を削除。
- ・木澤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・神山兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・津村兼任講師、科目調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を担当。
- ・佐々木兼任講師、科目調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」「キャリア・イングリッシュⅠ」「キャリア・イングリッシュⅡ」を担当。
- ・Daniel兼任講師、科目調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を担当。
- ・Rose兼任講師、科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を担当。
- ・Takada兼任講師、退職の理由により、「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」を削除。
- ・Donald兼任講師、科目調整の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」を担当。
- ・Lawrence兼任講師、科目調整の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」「English WorkshopⅠ」「English WorkshopⅡ」を担当。
- ・Gleeson兼任講師、科目調整の理由により、「Academic ReadingⅠ」「Academic ReadingⅡ」「English WorkshopⅠ」「English WorkshopⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」を担当。
- ・黒瀬兼任講師、退職の理由により、「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」「ドイツ語Ⅲ」「ドイツ語Ⅳ」を、高宮兼任講師に担当者変更。
- ・野中兼任講師、就任辞退の理由により、「古典文学Ⅱ(中世・近世)」「日本文学史Ⅱ」を荒木兼任講師に担当者変更。
- ・金子兼任講師、時間割調整の理由により、就任年月を、平成31年9月から平成31年4月に変更。
- ・渡邊兼任講師、就任辞退の理由により、「セルフプロデュース」「ビューティービジネス」を向井兼任講師に担当者変更。
- ・関根兼任講師、就任辞退の理由により、「家族と現代社会」を古谷兼任講師に担当者変更。
- ・金子兼任講師、就任辞退の理由により、「環境問題と市民」を岡田兼任講師に担当者変更。
- ・高橋兼任講師、就任辞退の理由により、「フィールドワークの技法」を畑山兼任講師に担当者変更。
- ・Caldwell兼任講師、退職の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「Academic ReadingⅢ」「Academic ReadingⅣ」「Academic SpeakingⅢ」「Academic SpeakingⅣ」を削除。
- ・クレイ兼任講師、科目担当調整の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「通訳・ガイドⅠ」「通訳・ガイドⅡ」を削除、「通訳・ガイドⅠ」「通訳・ガイドⅡ」を橋兼任講師に担当者変更。
- ・野中兼任講師、課程認定の理由により、「総合的な学習時間の指導法」を追加。
- ・課程認定の理由により、金森兼任講師担当、「特別支援教育概論」を追加。
- ・滝澤兼任講師、授業内容充実の理由により、「博物館実習B」を追加。
- ・岩谷兼任講師、本人都合の理由により、「西洋美術の旅Ⅰ」を未開講。
- ・桑兼任講師、本人都合の理由により、「西洋美術の旅Ⅱ」を未開講。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **線可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
9	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
14	5	6	0	25	15	6	4	0	25
(15)	(6)	(4)	(0)	(25)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
15	6	4	0	25	15	6	4	0	25
[ +1 ]	[ +1 ]	[ Δ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ +1 ]	[ +1 ]	[ Δ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0	0
70 平成17年以前就任者 歳		
	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{25} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況  
該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
届 出 時 (平成29年4月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	・入学定員超過の改善 に努めること。(人間総 合学群心理学類)	・昨年度入学定員超過率が 1.42倍であったのを、本年 度1.18倍に是正した。	・入学定員の是正に引き続 き努めていく。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <人間総合学群 人間文化学類>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
学則第27条の2第3項の別表第1の2、教育職員免許取得のための授業科目及び単位数。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課程認定申請の理由により、学則第27条の2第3項、別表第1の2、教育職員免許取得のための授業科目及び単位数を変更した。それに伴い、「特別支援教育概論」「総合的な学習時間の指導法」、以上2科目を追加した。</li> <li>・ 今後、変更内容に沿って、教職に関する専門科目を運用していく。(別添資料1、2参照)(令和元年度)</li> </ul>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

##### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況(別添資料3「点検・評価・改善委員会規程」参照)

本学では、教員の資質の維持、改善、向上を図るための組織として「点検・評価・改善委員会」を置いている。同委員会は、主として、以下の諸活動を行っている。

1. 授業アンケートの実施と自己評価報告書の作成依頼
2. 学内公開授業の運営
3. ファカルティ・ディベロップメントの実施
4. 教育研究業績記録の作成

本委員会は、全学的な組織であり、学群長(人間総合学群)、各学部長(人間健康学部・看護学部)、各教授会より選ばれた教員、事務職員により構成される。

##### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

1. 点検・評価・改善委員会は、基本的に、月の第3木曜日に開催している。

##### 2a. 平成29年度の開催状況を以下に記す。

- ・平成29年 4月20日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
- ・平成29年 5月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員7名、職員1名、以上11名出席
- ・平成29年 6月15日 委員長、人文学部長、他教員6名、職員1名、以上9名出席
- ・平成29年10月19日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
- ・平成29年11月16日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
- ・平成29年12月21日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
- ・平成30年 1月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員5名、職員1名、以上9名出席

##### 2b. 平成30年度の開催状況を以下に記す。

- ・平成30年 4月19日 委員長、学群長・学部長2名、他教員9名、職員2名、以上15名出席
- ・平成30年 5月17日 委員長、学群長・各学部2名、他教員9名、職員2名、以上15名出席
- ・平成30年 6月14日 委員長、学群長・学部長1名、他教員9名、職員2名、以上14名出席
- ・平成30年 7月19日 委員長、学群長・学部長1名、他教員10名、職員2名、以上15名出席
- ・平成30年 9月20日 委員長、学群長・学部長1名、他教員10名、職員1名、以上14名出席
- ・平成30年10月18日 委員長、学群長・学部長1名、他教員8名、職員2名、以上13名出席
- ・平成30年11月15日 委員長、学群長・学部長1名、他教員11名、職員2名、以上16名出席
- ・平成30年12月20日 委員長、学群長・学部長1名、他教員9名、職員2名、以上14名出席
- ・平成30年 1月17日 委員長、学群長・学部長1名、他教員8名、職員1名、以上12名出席

##### c 委員会の審議事項等

1. 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
2. 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
3. その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

上記3の具体的内容として、授業アンケート、学内公開授業、卒業年次アンケート、FD・SD活動の実施、FD分科会の統括、研究費傾斜配分、外部機関開催のFD研修会案内等があげられる。

## ② 実施状況

### a 実施内容

1. 学内公開授業
2. ファカルティ・ディベロップメント
3. 教育研究業績記録の作成

### b 実施方法

#### 1. 学内公開授業

本学では、前期と後期に各1回、2週間にわたり、専任教員を中心とした学内授業公開期間を設けている。参加者は、見学した授業に対する意見書を自己の名前を付して提出する。

#### 2. ファカルティ・ディベロップメント

本学では、「点検・評価・改善委員会」が中心となり、教職員を対象としたFD研修会を、毎年1回もしくは2回実施する。FD研修会は、専任教員全員参加を原則とし、終了後の報告を義務付ける。さらに、学類、学科の枠をこえ、類似する専門分野の教員が集まり、よりよい授業への改善を目的に、独自のFD分科会（必修英語の研究・第二外国語分科会・ICT教育検討会等）を展開させている。平成29年度は15の分科会が、平成30年度は22の分科会が稼働中である。分科会の1年間の成果は、年度末に教育研究支援課に提出され、記録を保管している。

#### 3. 教育研究業績記録の作成

本学では、全専任教員が教育研究業績を毎年度更新している。これは、所定の形式にのっとり、「教育実践上の主な業績」「作成した教科書・教材・参考書」「教育活動上特記すべき事項」「研究活動」「学会等社会における主な活動」等の項目をまとめ、年度末に提出するというものである。教員は、これを、教育内容の見直しを図るための一助として活用している。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

#### 1 a. 学内公開授業（平成29年度実績）

##### 前期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 156  
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 45  
(参考 兼任講師8名参加 公開授業総数19)

##### 後期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 132  
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 42  
(参考 兼任講師4名参加 公開授業数 5)

#### 1 b. 学内公開授業（平成30年度実績）

##### 前期（平成30年6月11日～6月23日）

人文学部・人間総合学群 公開授業総数 143 参観者総数 110  
人間健康学部 公開授業総数 29 参観者総数 7  
看護学部 公開授業数 0 参観者総数 0  
(参考 兼任講師 公開授業総数 19 参観者総数 9)

##### 後期（平成30年11月19日～12月1日）

人文学部・人間総合学群 公開授業総数 127 参観者総数 81  
人間健康学部 公開授業総数 28 参観者総数 4  
看護学部 公開授業総数 18 参観者総数 7  
(参考 兼任講師 公開授業総数 11 参観者総数 8)

#### 2 a. ファカルティ・ディベロップメント（平成29年度実績）

##### 1. 平成29年6月29日

研修会講演 五味洋一「大学における障害学生への合理的配慮を考える2」  
参加状況 人文学部 専任教員64名中59名出席 5名（録画視聴） 全員アンケート提出  
人間健康学部 専任教員16名中13名出席 3名（録画視聴） 全員アンケート提出

##### 2. 平成30年2月15日

研修会講演 中谷隆文「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」  
田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」  
参加状況 人文学部 専任教員64名中58名出席 出席者全員アンケート提出  
人間健康学部 専任教員16名中13名出席 出席者全員アンケート提出

##### 3. 平成30年3月8日（2月15日不参加者がいたため再度同内容で開催、ただし講演者1名）

研修会講演 田上慧子「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」  
田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」  
参加状況 人文学部 専任教員不参加者6名中4名出席 出席者全員アンケート提出  
人間健康学部 専任教員不参加者3名中1名出席 出席者全員アンケート提出  
再開不参加者 3名中2名資料を読みアンケート提出、3名中1名体調不良により完全不参加

2b. ファカルティ・ディベロップメント（平成30年度実績）

1. 平成30年7月26日

研修会講演 芝田剛志「SNSリスク対策研修会」

参加状況 人文学部・人間総合学群 専任教員62名中55名出席、5名（録画視聴）、産休・休職2名  
参加者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中11名出席、5名（録画視聴） 参加者全員アンケート提出  
看護学部 専任教員22名中22名出席 出席者全員アンケート提出

2. 平成31年12月13日、12月20日（同一内容）

研修会講演 富士原光洋「シラバス作成と学修指針」

参加状況 人文学部・人間総合学群 専任教員62名中59名出席、講演者1名、産休・休職2名  
出席者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中16名出席 アンケート提出15名（1名未提出）

看護学部 専任教員22名中20名出席、育休2名 出席者全員アンケート提出

3. 平成31年2月14日

研修会講演 小川誠・富士原光洋「アセスメント・ポリシーと学修成果の把握」

参加状況 人文学部・人間総合学群 専任教員62名中54名出席、講演者2名、産休・休職2名  
校務欠席4名（録画視聴） 参加者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中13名出席、2名（録画視聴）、1名欠席

参加者全員アンケート提出

看護学部 専任教員22名中18名出席、1名（録画視聴）、1名欠席、育休2名

参加者全員アンケート提出

3. 教育研究業績記録の作成

平成29年度：人文学部、人間健康学部、専任教員全員提出。

平成30年度：人間総合学群、人文学部、人間健康学部、看護学部、専任教員全員提出。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 学内公開授業

参観のあった授業担当者は、参観者からの意見書を他者評価として受け取り、授業改善に活用した。この制度は、参観者が自己の授業を改善するきっかけとしての役割も果たしている。

2. ファカルティ・ディベロップメント

平成29年度：前期研修会を通して、障害学生への支援の取り組み改善を促進させた。また、後期研修会を通して、本年度開設された人間総合学群の教育全般にわたる準備を図ることができた。

平成30年度：前期研修会を通して、学生のSNSリスク対策への取り組みができた。また、後期の2度の研修会を通して、シラバス、アセスメント・ポリシー等、教育の質保証にかかわる内容について、認識を深めることができた。

3. 教育研究業績記録の作成

教育研究業績記録を作成することで、自己の教育研究の見直しを図る機会を得た。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、前期と後期の終わりに各1回、全学的な授業アンケートを実施し、その結果に基づく自己評価報告書の作成を専任教員に義務づけている。アンケートの項目は、学生自身の学修状況を問う3項目を含め、合計13項目で構成される。教員の授業内容を問う10項目のうち、5段階評価で3.0に満たない項目がある授業に関しては、評価が低かった原因を分析したうえで、報告書に改善計画を付記しなければならない。令和元年度以降は原則として全授業に対して授業アンケートを行う予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果をとりまとめた報告書は、本学図書館で教職員と学生に公開している。随時閲覧が可能である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

## (4) 自己点検・評価等に関する事項

### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

#### 1. 入学生確保

定員の確保へ向けて、学群・学類を紹介する大学案内冊子、リーフレットの作成、大学ホームページの更新、教職員の高校訪問、オープンキャンパスの開催などを行い、教育内容とアドミッション・ポリシーを入学希望者に周知させるように努めている。

平成30年度：本年度入学試験の結果は、入学定員370名に対して、入学志願者は1357名、入学者は458名、定員充足率は123.8%であった。入学者の内訳は、推薦、AO、外国人留学生入学試験入学者、264名、一般入学試験、センター試験利用入学試験入学者、194名である。この数値は、人間総合学群の母体となった人文学部の定員充足率が、平成29年度103.8%、平成28年度74.9%、平成27年度88.2%、であったのを大きく上回る。次年度も、入学志願者の数を減らさないように、広報活動を充実させていく。

令和元年度：本年度入学試験の結果は、入学定員370名に対して、入学志願者は1862名、入学者は466名、定員超過率は1.25倍であった。入学者の内訳は、推薦、AO、外国人留学生、帰国生徒入学試験入学者、259名、一般入学試験、センター試験利用入学試験入学者、207名（内学群入試入学者19名）、である。心理学類は、入学志願者410名、入学者数94名、倍率4.36、定員超過率1.17倍となった。同学類は、設置計画履行状況等調査の結果について（平成30年度）において、「入学定員超過の改善に努めること」との指摘を受けた。本年度は許容の範囲に収まる結果を出すことができた。

#### 2. 学群制の周知と学類への移行

平成30年度・令和元年度：新入生に対して、4月の授業開始前の4日間にわたり、オリエンテーションを行った。そこでは、本学の建学の精神、教育理念、学群・学類の教育目的と教育目標、教育課程の編成、学生生活全般について説明するとともに、専任教員の紹介、住空間デザイン学類希望者向け施設見学を実施した。また、授業の準備として、現在の学力を再確認するための、基礎学力テスト、英語クラス分けテストを入学者全員に課した。その他、奨学金の説明会、教職課程、学芸員養成課程のガイダンス、留学生へ向けての特別オリエンテーションを開催した。

令和元年度：専門教育中心の学類教育課程へ移行した2年次生については、1年次の11月下旬に各学類の専門教育に関する説明会を開催し、所属希望学類の確認と決定への周知を図った。人間文化学類へは188名（日本文化専攻36名、人間関係専攻102名、英語コミュニケーション専攻50名）が進学した。なお、希望学類への所属が確約されている学群入試入学生10名の進学の内訳は、人間文化学類1名、観光文化学類2名、心理学類3名、住空間デザイン学類4名であった。

#### 3. 初年次教育

人間総合学群は、初年次教育の柱として、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を置いている。基礎ゼミは、専任教員が担当し、授業担当者執筆教科書（駒沢女子大学教科書シリーズ）を使用する。全クラスが共通の教科書を使うことで、教育内容に一貫性を持たせる。本科目では、授業の受け方、講義録のとり方、本の読み方、資料の探し方、小論文の書き方、討論や口頭発表の仕方、グループ活動の進め方、大学の学修に必要な基本技術等を教えると同時に、大学生活になじむための企画も行う。

平成30年度は20クラス、令和元年度は21クラスを設け、ほぼ、1クラス20余名のクラス編成をとることができた。また、再履者（2年次生以降）に対しては、別のクラスを設けて対応した。

入門科目は、各学類の専門教育の内容を確認するための導入科目である。学生は、2年進級時、自分が2年次以降に所属する学類を再確認する（前年度の11月下旬）。本科目群は、入学当初の希望とは異なる学類を選ぶ学生が、興味を抱いた学類の学修内容を事前に知るためにも有益な科目である。学生には、個別対応のうえ、最適な入門科目を履修するよう指導した。

令和元年度は、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーションⅡ」「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」の内容を充実させ、入門科目12科目の運用に力を入れた。

初年次の必修科目である、「仏教学Ⅰ」「仏教学Ⅱ」に関して、平成30年度は就任を辞退した兼任講師の授業を専任教員がまかなうことで、予定通りのクラス編成と教育内容を維持することができた。令和元年度は担当間で授業内容と評価方法を再度見直し、建学の精神を学ぶ科目としての位置づけを再確認した。

### ② 自己点検・評価報告書

#### a 公表（予定）時期

- ・「自己点検・評価報告書」を令和2年5月に公表予定

#### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公表（令和2年5月を予定）

### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和元年度に大学基準協会の評価を受ける（別添資料4「2019年度大学評価に係る申請の受理について」参照）。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元 年 8 月 1 日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ 該当なし ）

- (注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

# 7 その他全般的事項 別添資料 1

## 学則第27条の2第3項 別表第1の2 新旧対照表

新					旧							
学則第27条の2第3項 第27条の4の6 別表第1の2 教育職員免許取得のための授業科目及び単位数 人間総合学群 (国語・英語 中一種免・高一種免) 教科及び科目の指導演法に関する科目(中一種免28単位以上・高一種免24単位以上)					学則第27条の2第3項 第27条の4の6 別表第1の2 教育職員免許取得のための授業科目及び単位数 人間総合学群 (国語・英語 中一種免・高一種免) 教科に関する科目(20単位以上)							
		授業科目の名称	単位数	年次	備考			授業科目の名称	単位数	年次	備考	
教科及び教科の指導演法に関する科目(中一種免28単位以上・高一種免24単位以上)	国語学	日本語学概論 I	2	2	必修	国語学	日本語学概論 I	2	2	必修	日本語学概論 I 日本語学概論 II 日本語学 I 日本語学 II	
		日本語学概論 II	2	2	必修		日本語学概論 II	2	2	必修		
		日本語学 I	2	3			日本語学 I	2	3			
		日本語学 II	2	3			日本語学 II	2	3			
	国文学	古典文学概論	2	2	必修	国文学	古典文学概論	2	2	必修	古典文学概論 近代文学概論 古典文学 I (上代・中古) 古典文学 II (中世・近世) 日本文学史 I 日本文学史 II 近現代文学 I (近代) 近現代文学 II (現代)	
		近代文学概論	2	2	必修		近代文学概論	2	2	必修		
		古典文学 I (上代・中古)	2	2・3			古典文学 I (上代・中古)	2	2・3			
		古典文学 II (中世・近世)	2	2・3			古典文学 II (中世・近世)	2	2・3			
		日本文学史 I	2	2・3・4			日本文学史 I	2	2・3・4			
		日本文学史 II	2	2・3・4			日本文学史 II	2	2・3・4			
		近現代文学 I (近代)	2	2・3			近現代文学 I (近代)	2	2・3			
		近現代文学 II (現代)	2	2・3			近現代文学 II (現代)	2	2・3			
	漢文学	中国文学 I (漢文学)	2	3	必修	漢文学	中国文学 I (漢文学)	2	3	必修	中国文学 I (漢文学) 中国文学 II (漢文学)	
		中国文学 II (漢文学)	2	3	必修		中国文学 II (漢文学)	2	3	必修		
	書道	書道実習 I	1	3	中一種免必修	書道	書道実習 I	1	3	中1種免必修	書道実習 I 書道実習 II	
		書道実習 II	1	3	中一種免必修		書道実習 II	1	3	中1種免必修		
	各教科の指導演法(情報機器及び教材の活用を含む。)	国語科教育法 I	2	3	中一種免(国語)・高一種免(国語)必修							
		国語科教育法 II	2	3	中一種免(国語)・高一種免(国語)必修							
		国語科教育法 III	2	3	中一種免(国語)必修							
		国語科教育法 IV	2	3	中一種免(国語)必修							
	英語学	英語学概論 I	2	2・3	必修	英語学	英語学概論 I	2	2・3	必修	英語学概論 I 英語学概論 II 英語音声学 I 英語音声学 II	
		英語学概論 II	2	2・3	必修		英語学概論 II	2	2・3	必修		
		英語音声学 I	2	2・3	必修		英語音声学 I	2	2・3			
		英語音声学 II	2	2・3	必修		英語音声学 II	2	2・3			
	英米文学	アメリカ文学 I	2	2・3	必修	英米文学	アメリカ文学 I	2	2・3	必修	アメリカ文学 I アメリカ文学 II イギリス文学 I イギリス文学 II	
		アメリカ文学 II	2	2・3			アメリカ文学 II	2	2・3			
		イギリス文学 I	2	2・3	必修		イギリス文学 I	2	2・3	必修		
		イギリス文学 II	2	2・3			イギリス文学 II	2	2・3			
英語コミュニケーション	日本紹介の英語	2	2・3	必修	英語コミュニケーション	日本紹介の英語	2	2・3	必修	Japan Studies I Japan Studies II		
	Japan Studies I	2	2・3			Japan Studies I	2	2・3				
	Japan Studies II	2	2・3			Japan Studies II	2	2・3				
異文化理解	異文化理解 I	2	2・3	必修	異文化理解	異文化理解 I	2	2・3	必修	異文化理解 I 異文化理解 II		
	異文化理解 II	2	2・3	必修		異文化理解 II	2	2・3	必修			
各教科の指導演法(情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育法 I	2	3	中一種免(英語)・高一種免(英語)必修								
	英語科教育法 II	2	3	中一種免(英語)・高一種免(英語)必修								
	英語科教育法 III	2	3	中一種免(英語)必修								
	英語科教育法 IV	2	3	中一種免(英語)必修								
	教科に関する科目(英語)				教科に関する科目(英語)							

人間総合学群 大学が独自に設定する科目(中一種免4単位以上・高一種免12単位以上)

	授業科目の名称	単位数	年次	備考	
大学が独自に設定する科目(中一種免4単位以上・高一種免12単位以上)	日本文化専攻 <b>中一種免(国語)</b> <b>高一種免(国語)</b>	国語教育概論Ⅰ	2	2	必修
		国語教育概論Ⅱ	2	2	必修
		児童文学	2	3・4	
		日本の詩歌	2	3・4	
		介護等の体験	2	3	中二種免必修
		視聴覚教育メディア論	2	2・3	
		ボランティア実習Ⅰ	1	1	
		ボランティア実習Ⅱ	2	2	
		生涯学習論Ⅰ	2	1	
		生涯学習論Ⅱ	2	1	
	道徳教育の指導法	2	2・3	高二種免のみ	
	英語コミュニケーション専攻 <b>中一種免(英語)</b> <b>高一種免(英語)</b>	英語教育学概論Ⅰ	2	2	必修
		英語教育学概論Ⅱ	2	2	必修
		英会話Ⅲ	1	2	
		英会話Ⅳ	1	2	
		アメリカの文化と歴史Ⅰ	2	2・3	
		アメリカの文化と歴史Ⅱ	2	2・3	
		介護等の体験	2	3	中二種免必修
		視聴覚教育メディア論	2	2・3	
ボランティア実習Ⅰ		1	1		
ボランティア実習Ⅱ	2	2			
生涯学習論Ⅰ	2	1			
生涯学習論Ⅱ	2	1			
道徳教育の指導法	2	2・3	高二種免のみ		

人間総合学群 教科又は教職に関する科目(高一種免16単位以上 中1種免8単位以上)

	授業科目の名称	単位数	年次	備考	
教科又は教職に関する科目	日本文化専攻 <b>高一種免(国語)</b> 16単位以上 <b>中一種免(国語)</b> 8単位以上	国語教育概論Ⅰ	2	2	必修
		国語教育概論Ⅱ	2	2	必修
		児童文学	2	3・4	
		日本の詩歌	2	3・4	
		介護等の体験	2	3	中1種免必修
		視聴覚教育メディア論	2	2・3	
		ボランティア実習Ⅰ	1	1	
		ボランティア実習Ⅱ	2	2	
		生涯学習論Ⅰ	2	1	
		生涯学習論Ⅱ	2	1	
	道徳教育の指導法	2	2・3	高1種免のみ	
	英語コミュニケーション専攻 <b>高一種免(英語)</b> 16単位以上 <b>中一種免(英語)</b> 8単位以上	英語教育学概論Ⅰ	2	2	必修
		英語教育学概論Ⅱ	2	2	必修
		英会話Ⅲ	1	2	
		英会話Ⅳ	1	2	
		アメリカの文化と歴史Ⅰ	2	2・3	
		アメリカの文化と歴史Ⅱ	2	2・3	
		介護等の体験	2	3	中1種免必修
		視聴覚教育メディア論	2	2・3	
		ボランティア実習Ⅰ	1	1	
ボランティア実習Ⅱ		2	2		
生涯学習論Ⅰ	2	1			
生涯学習論Ⅱ	2	1			
道徳教育の指導法	2	2・3	高1種免のみ		

人間総合学群 教育の基礎的理解に関する科目等(中一種免29単位以上・高一種免25単位以上)

		授業科目の名称	単位数	年次	備考	
教育の基礎的理解に関する科目等(中一種免29単位以上・高一種免25単位以上)	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	1・2	必修
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2	1	必修
		教育に関する社会的、制度的又は経営的の事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度論	2	2	必修
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達心理学	2	2・3	必修
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	1	2	必修
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	2	必修
		道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	2	2・3	中1種免のみ
	道徳的・社会的な学習の時間的指導法	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修
		特別活動の指導法	特別活動の指導法	2	2・3	必修
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術	2	2・3	必修
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を含む)	2	2・3	必修
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。の理論及び方法	教育相談	2	2・3	必修
		教育実習に関する科目	教育実習指導	1	3	必修
教育実習	教育実習Ⅰ(中学校)		2	4	中一種免(国語・英語)必修	
	教育実習Ⅱ(高等学校)		2	4	必修	
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	4	必修		

人間総合学群・看護学部 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(8単位以上)

		授業科目の名称	単位数	年次	備考
に教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(8単位以上)	日本国憲法	日本国憲法Ⅰ	2	1	2単位以上選択
		日本国憲法Ⅱ	2	1	
	体育	スポーツⅠ	1	1・2	必修
		スポーツⅡ	1	1・2	必修
	外国語コミュニケーション	英会話Ⅰ	1	1	必修
		英会話Ⅱ	1	1	必修
	情報機器の操作	コンピュータ演習Ⅰ	1	1	必修
		コンピュータ演習Ⅱ	1	1	必修

人間総合学群 教職に関する科目(高1種免27単位以上 中1種免35単位以上)

		授業科目の名称	単位数	年次	備考
教職に関する専門教育科目	教職の意義等に関する科目	教職入門	2	1	必修
		教育原理	2	1・2	必修
	教育の基礎理論に関する科目	発達心理学	2	2・3	必修
		教育制度論	2	2	必修
		科目の追加			
	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2	2	必修
		科目の追加			
		国語科教育法Ⅰ	2	3	中一種免(国語)・高一種免(国語)必修
		国語科教育法Ⅱ	2	3	中一種免(国語)・高一種免(国語)必修
		国語科教育法Ⅲ	2	3	中一種免(国語)必修
		国語科教育法Ⅳ	2	3	中一種免(国語)必修
		英語科教育法Ⅰ	2	3	中一種免(英語)・高一種免(英語)必修
		英語科教育法Ⅱ	2	3	中一種免(英語)・高一種免(英語)必修
		英語科教育法Ⅲ	2	3	中一種免(英語)必修
英語科教育法Ⅳ		2	3	中一種免(英語)必修	
道徳教育の指導法	2	2・3	中一種免のみ		
特別活動の指導法	2	2・3	必修		
教育方法・技術	2	2・3	必修		
生徒指導・教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導論(進路指導を含む)	2	2・3	必修	
教育相談	2	2・3	必修		
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	4	必修	
	教育実習	教育実習指導	1	3	必修
		教育実習Ⅰ(中学校)	2	4	中一種免(国語・英語)必修
教育実習Ⅱ(高等学校)	2	4	必修		

人間総合学群・看護学部 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(8単位以上)

		授業科目の名称	単位数	年次	備考
第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法Ⅰ	2	1	2単位以上選択
		日本国憲法Ⅱ	2	1	
	体育	スポーツⅠ	1	1・2	必修
		スポーツⅡ	1	1・2	必修
	外国語コミュニケーション	英会話Ⅰ	1	1	必修
		英会話Ⅱ	1	1	必修
	情報機器の操作	コンピュータ演習Ⅰ	1	1	必修
		コンピュータ演習Ⅱ	1	1	必修

7 その他全般的事項 別添資料2

人間総合学群 人間文化学類 教育職員養成課程科目 授業科目の概要（追加科目）					
(人間総合学群 人間文化学類)					
科目区分	旧（届出時）		新（令和元年5月1日時点）		備考
	授業科目の名称	講義等の内容	授業科目の名称	講義等の内容	
教育に関する基礎的科目理解			特別支援教育概論	障害のある子ども、特別な支援を必要とする子どもの教育について、理念、制度及び障害種別の現状を講述する。その上で、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システム構築について概説する。	新規開講科目
総合的な学習の時間			総合的な学習時間の指導法	総合的な学習の時間の目標や内容や方法などについて、最新の教育実践を視野に入れながら学ぶ。また、社会に開かれた教育課程を実現するための教育のあり方を考え、総合的な学習の時間のための基礎的・基本的な知識や技能を習得する。	新規開講科目

## 7 その他全般的事項 別添資料3

### 駒沢女子大学 点検・評価・改善委員会規程

#### (趣旨)

第1条 この規程は、学校教育法第69条の3及び大学設置基準第2条の規定に基づき、駒沢女子大学の自己点検・評価・改善を行うための、「駒沢女子大学点検・評価・改善委員会」（以下「委員会」という。）に関する事項について定める。

#### (審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に定める事項について、審議する。

- (1) 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
- (2) 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
- (3) その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

#### (担当)

第3条 前条の事項を円滑に処理するため、委員会に次の担当を置く。

- (1) 教育
- (2) 研究
- (3) 施設・設備
- (4) 管理・運営
- (5) 入学・就職
- (6) 総括

2 各担当の責任者は委員長が指名する。

#### (構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員によって構成する。

- (1) 学群長及び各学部長
- (2) 削除
- (3) 各教授会より選出された若干名の委員

2 前項第1号及び第2号の委員はその職にある期間を任期とする。

3 第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 委員の互選により委員長を選出する。

#### (事務職員の参画)

第4条の2 委員会の審議に関連する業務を担当する部門の事務職員1名以上を委員とする。

#### (会議)

第5条 委員会は、委員長が必要に応じこれを招集し、会議の議長となる。

2 委員の3分の1以上の要請があったとき、委員長は委員会を招集しなければならない。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する者がこれに代わる。

#### (定足数)

第6条 委員会は、3分の2の委員の出席をもって成立する。

#### (意見聴取)

第7条 委員会はその職務に関係のある者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

#### (議決)

第8条 委員会は、出席者の過半数により、議決する。

2 可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教育・研究支援室が行う。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会が行う。

附 則 この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成14年10月3日に改正し、平成15年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、「駒沢女子大学自己評価委員会規程」を全面的に改正したものとして、平成16年7月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成21年2月23日に改正し、平成21年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成25年12月13日から施行する。

附 則 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

## 7 その他全般的事項 別添資料4

30 大基評第 182 号  
平成 30 年 12 月 14 日

駒沢女子大学  
学長 光 田 督 良 殿

公益財団法人 大学基準協会  
事務局長 工 藤 潤



### 2019 年度大学評価に係る申請の受理について

拝啓 寒冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本協会の事業推進のため、種々ご協力を賜り深謝申し上げます。

標記に関し、先般、貴大学より提出されました「大学評価申請書」を受理いたしました。つきましては、大学評価ハンドブック及び同封の「評価資料の準備チェックシート」に従って、提出が必要となる評価資料一式のご準備をお進めいただき、来年4月30日(火)必着でご提出くださるようお願い申し上げます。

なお、提出後の評価資料の差し替えは、原則として出来ませんので、内容等を十分に確認した上でご提出をお願いいたします。

敬 具

#### <連絡先>

評価事業部 評価第1課

TEL : 03-5228-2200 E-MAIL : daigaku@juaa.or.jp



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人駒澤学園

## (2) 大学名

駒沢女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒206-8511  
東京都稲城市坂浜238番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成28年6月)		
学長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成23年4月)		
学群長	(ハトリ オサム) 羽鳥 修 (平成30年4月)		
学類長	(カトウ ナツコ) 加藤 ナツ子 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
人間総合学群 観光文化学類  学士(観光文化)	文学関係	4年	60人	10人 3年次人	260人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60 ( ) [若干名]	—	60 ( ) [若干名]	—	( ) ( ) [ ]	1.28倍	一倍						
志願者数	184 ( ) [2]	— ( ) [—]	408 ( ) [4]	— ( ) [—]	( ) ( ) [ ]								
受験者数	180 ( ) [2]	— ( ) [—]	396 ( ) [3]	— ( ) [—]	( ) ( ) [ ]								
合格者数	156 ( ) [2]	— ( ) [—]	185 ( ) [1]	— ( ) [—]	( ) ( ) [ ]								
B 入学者数	69 ( ) [2]	— ( ) [—]	85 ( ) [1]	— ( ) [—]	( ) ( ) [ ]								
入学定員超過率 B/A	1.15		1.41										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	69 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )	85 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	入学者のうち、人間総合学群一括入試による者は、按分して各学類に記載しており、全学生は、2年次進学時に学類を決定して収容する。	
2年次	/		69 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )		
3年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )		[ ] ( )
4年次							/		/			[ ] ( )
計			69 [ 2 ] ( - )	154 [ 2 ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )						[ ] ( )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	69人	0人	平成30年度	0人	0人	
令和元年度	154人	1人	平成30年度	1人	0人	その他(1人)
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		1人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{69} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{154} = \boxed{0.64} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人間総合学群 観光文化学類>

### (1) ① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初年度教育科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			2	1				18
	基礎ゼミⅡ	1後	1			2	1				18
	小計(2科目)	—	2	0	0	2	1	0	0	0	18
建学の精神を学ぶ科目	仏教学Ⅰ	1前	2								4
	仏教学Ⅱ	1後	2								4
	仏教学Ⅲ	2前	2								1
	仏教学Ⅳ	2後	2								1
	駒沢女子大学入門	1前	2								6
	小計(5科目)	—	4	6	0	0	0	0	0	0	9
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前	2								2
	日本文化入門Ⅱ	1後	2								2
	人間関係入門Ⅰ	1前	2								3
	人間関係入門Ⅱ	1後	2								3
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前	2								6
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後	2								6
	観光文化入門Ⅰ	1前	2								1
	観光文化入門Ⅱ	1後	2								1
	心理学入門Ⅰ	1前	2								1
	心理学入門Ⅱ	1後	2								1
	住空間デザイン入門Ⅰ	1前	2								3
	住空間デザイン入門Ⅱ	1後	2								3
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	22	
人間総合学群 教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前	2								1
	人間と思想Ⅱ	1後	2								1
	人間と文化Ⅰ	1前	2								1
	人間と文化Ⅱ	1後	2								1
	生命の科学	1前	2								1
	倫理学	1後	2								1
	人権の基礎	1前	2								1
	女性の人権	1後	2								1
	心理学Ⅰ	1前	2								2
	心理学Ⅱ	1後	2								2
	生涯学習Ⅰ	1前	2								1
	生涯学習Ⅱ	1後	2								1
	社会福祉概論Ⅰ	1前	2								1
	社会福祉概論Ⅱ	1後	2								1
小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	8	
教養知科目	日本の歴史	1後	2								1
	世界の歴史	1後	2								1
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前	2								1
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後	2								1
	西洋文化史	1前	2								1
	日本美術史	1前	2								1
	比較文化	1後	2								1
	日本の文化	1後	2								1
	観光地理(日本)	1前	2								1
	観光地理(世界)	1後	2								1
	日本の文学	1前	2								1
	ヨーロッパの文学	1後	2								1
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	10	

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初年度教育科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			3					25
	基礎ゼミⅡ	1後	1			3					25
	小計(2科目)	—	2	0	0	3	0	0	0	0	25
建学の精神を学ぶ科目	仏教学Ⅰ	1前	2								3
	仏教学Ⅱ	1後	2								3
	仏教学Ⅲ	2前	2								1
	仏教学Ⅳ	2後	2								1
	駒沢女子大学入門	1前	2								5
	小計(5科目)	—	4	6	0	0	0	0	0	0	7
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前	2								2
	日本文化入門Ⅱ	1後	2								2
	人間関係入門Ⅰ	1前	2								3
	人間関係入門Ⅱ	1後	2								3
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前	2								8
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後	2								8
	観光文化入門Ⅰ	1前	2			4	3				
	観光文化入門Ⅱ	1後	2				2				
	心理学入門Ⅰ	1前	2								1
	心理学入門Ⅱ	1後	2								2
	住空間デザイン入門Ⅰ	1前	2								3
	住空間デザイン入門Ⅱ	1後	2								3
小計(12科目)	—	0	24	0	4	3	0	0	0	24	
人間総合学群 教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前	2								1
	人間と思想Ⅱ	1後	2								1
	人間と文化Ⅰ	1前	2								1
	人間と文化Ⅱ	1後	2								1
	生命の科学	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	人権の基礎	1前	2								1
	女性の人権	1後	2								1
	心理学Ⅰ	1前	2								2
	心理学Ⅱ	1後	2								2
	生涯学習Ⅰ	1前	2								1
	生涯学習Ⅱ	1後	2								1
	社会福祉概論Ⅰ	1前	2								1
	社会福祉概論Ⅱ	1後	2								1
小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	8	
教養知科目	日本の歴史	1後	2								1
	世界の歴史	1後	2								1
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前	2								1
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後	2								1
	西洋文化史	1前	2								1
	日本美術史	1前	2								1
	比較文化	1後	2								1
	日本の文化	1前	2								1
	観光地理(日本)	1前	2								1
	観光地理(世界)	1後	2								1
	日本の文学	1前	2								1
	ヨーロッパの文学	1後	2								1
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	10	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養知科目	日本の政治	1前	2								1
	世界の政治	1後	2								1
	政治と市民参加	1後	2								1
	日本の経済	1前	2								1
	世界の経済	1前	2								1
	新聞と報道	1後	2								1
	グローバル共生論	1後	2			1					
	法学	1前	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法 I	1前	2								1
	日本国憲法 II	1後	2								1
	社会学 I	1前	2								1
	社会学 II	1後	2								1
	数学の世界	1前	2								1
	物理の世界	1後	2								1
	生物と生命	1前	2								1
	地球と宇宙	1後	2								1
	物質と化学	1前	2								1
	情報と科学	1後	2								1
	色彩と科学	1前	2								1
小計(20科目)	—	0	40	0	0	1	0	0	0	0	11
人間総合学群 実習科目	ボランティア実習 I	1後	1								2
	ボランティア実習 II	2後	2								1
	海外英語研修 I	1後	2								7
	海外英語研修 II	2後	2								7
	国際協力実習	2前	1			1					
	国際協力実習フォローアップ	2後	2								1
	小計(6科目)	—	0	10	0	0	1	0	0	0	9
実践知科目 就業力育成科目	進路設計	1後	2								3
	社会と教養演習A	2・3前	1								1
	社会と教養演習B	2・3前	1								1
	社会と教養演習C	2・3後	1								1
	社会と教養演習D	2・3後	1								1
	キャリアリテラシー	3前	2								1
	就業への知識と技能A	2・3前	2								1
	就業への知識と技能B	2・3後	2								1
小計(8科目)	—	2	10	0	0	0	0	0	0	6	
健康体育科目	女性と健康 I	1前	2								1
	女性と健康 II	1後	2								1
	スポーツ I	1・2前	1								3
	スポーツ II	1・2後	1								3
小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	4	
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前	1								5
	言語表現演習 II	1後	1								5
	小計(2科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	5
技法知科目 外国語育成科目	英語A I	1前	1								25
	英語A II	1後	1								25
	英語A III	2前	1								25
	英語A IV	2後	1								25
	英語B I	1前	1								25
	英語B II	1後	1								25
	英語B III	2前	1								25
	英語B IV	2後	1								25
	英会話 I	1前	1								3
	英会話 II	1後	1								3
	英会話 III	2前	1								1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養知科目	日本の政治	1前	2								1
	世界の政治	1後	2								1
	政治と市民参加	1後	2								1
	日本の経済	1前	2								1
	世界の経済	1前	2								1
	新聞と報道	1後	2								1
	グローバル共生論	1後	2							1	
	法学	1前	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法 I	1前	2								1
	日本国憲法 II	1後	2								1
	社会学 I	1前	2								1
	社会学 II	1後	2								1
	数学の世界	1前	2								1
	物理の世界	1後	2								1
	生物と生命	1前	2								1
	地球と宇宙	1後	2								1
	物質と化学	1前	2								1
	情報と科学	1後	2								1
	色彩と科学	1前	2								1
小計(20科目)	—	0	40	0	0	1	0	0	0	0	12
人間総合学群 実習科目	ボランティア実習 I	1後	1								2
	ボランティア実習 II	2後	2								1
	海外英語研修 I	1後	2								7
	海外英語研修 II	2後	2								7
	国際協力実習	2前	1					1			
	国際協力実習フォローアップ	2後	2								1
	小計(6科目)	—	0	10	0	0	0	1	0	0	9
実践知科目 就業力育成科目	進路設計	1後	2								3
	社会と教養演習A	2・3前	1								1
	社会と教養演習B	2・3前	1								1
	社会と教養演習C	2・3後	1								1
	社会と教養演習D	2・3後	1								1
	キャリアリテラシー	3前	2								1
	就業への知識と技能A	2・3前	2								1
	就業への知識と技能B	2・3後	2								1
小計(8科目)	—	2	10	0	0	0	0	0	0	7	
健康体育科目	女性と健康 I	1前	2								1
	女性と健康 II	1後	2								1
	スポーツ I	1・2前	1								2
	スポーツ II	1・2後	1								2
小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	4	
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前	1								6
	言語表現演習 II	1後	1								6
	小計(2科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	6
技法知科目 外国語育成科目	英語A I	1前	1								15
	英語A II	1後	1								15
	英語A III	2前	1								15
	英語A IV	2後	1								15
	英語B I	1前	1								15
	英語B II	1後	1								15
	英語B III	2前	1								15
	英語B IV	2後	1								15
	英会話 I	1前	1								4
	英会話 II	1後	1								4
	英会話 III(未開講)	2前	1								1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間総合学群 教養教育科目	英会話Ⅳ	2後	1								1
	Receptive English I	1・2前	1								1
	Receptive English II	1・2後	1								1
	Productive English I	1・2前	1								1
	Productive English II	1・2後	1								1
	English Summer Seminar	2・3前	1								2
	フランス語Ⅰ	1前	1								2
	フランス語Ⅱ	1後	1								2
	フランス語Ⅲ	2前	1								2
	フランス語Ⅳ	2後	1								2
	ドイツ語Ⅰ	1前	1								2
	ドイツ語Ⅱ	1後	1								2
	ドイツ語Ⅲ	2前	1								2
	ドイツ語Ⅳ	2後	1								2
	スペイン語Ⅰ	1前	1			1					1
	スペイン語Ⅱ	1後	1			1					1
	スペイン語Ⅲ	2前	1			1					1
	スペイン語Ⅳ	2後	1			1					1
	中国語Ⅰ	1前	1								2
	中国語Ⅱ	1後	1								2
中国語Ⅲ	2前	1								2	
中国語Ⅳ	2後	1								2	
小計(33科目)	—	—	8	25	0	1	0	0	0	0	36
情報力 育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1								6
	コンピュータ演習Ⅱ	1後	1								6
	コンピュータ演習Ⅲ	2前	1								1
	コンピュータ演習Ⅳ	2後	1								1
	小計(4科目)	—	—	2	2	0	0	0	0	0	0
特設科目	日本語AⅠ	1前	1								1
	日本語BⅠ	1前	1								1
	日本語AⅡ	1後	1								1
	日本語BⅡ	1後	1								1
	日本語AⅢ	2前	1								1
	日本語BⅢ	2前	1								1
	日本語AⅣ	2後	1								1
	日本語BⅣ	2後	1								1
	日本事情Ⅰ	1前	2								1
	日本事情Ⅱ	1後	2								1
	日本事情Ⅲ	2前	2								1
	日本事情Ⅳ	2後	2								1
小計(12科目)	—	—	16	0	0	0	0	0	0	0	3
人間総合学群 観光文化学類	観光学	2前	2			1					
	観光政策論	2前	2			1					
	観光マーケティング論	2後	2			1					
	観光メディア	2後	2			1					
	ホスピタリティ概論	2前	2			1					
	ホスピタリティ・マネジメント	2後	2								1
	観光社会学	2前	2								1
	観光人類学	2後	2								1
	小計(8科目)	—	—	2	14	0	1	2	0	0	0
専門 教育科目	観光実務論	2・3前	2			1					
	宿泊業・飲食業実務論	2・3前	2								1
	航空・空港実務論	2・3後	2								1
	広告・メディア実務論	2・3後	2			1					
	エンターテインメント実務論	2・3後	2								1
	インターンシップ実習A	2・3後	1			2	2				

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間総合学群 教養教育科目	英会話Ⅳ	2後	1									1
	Receptive English I	1・2前	1									1
	Receptive English II	1・2後	1									1
	Productive English I	1・2前	1									1
	Productive English II	1・2後	1									1
	English Summer Seminar	2・3前	1									2
	フランス語Ⅰ	1前	1									2
	フランス語Ⅱ	1後	1									2
	フランス語Ⅲ	2前	1									2
	フランス語Ⅳ	2後	1									2
	ドイツ語Ⅰ	1前	1									1
	ドイツ語Ⅱ	1後	1									1
	ドイツ語Ⅲ	2前	1									1
	ドイツ語Ⅳ	2後	1									1
	スペイン語Ⅰ	1前	1			1						1
	スペイン語Ⅱ	1後	1			1						1
	スペイン語Ⅲ	2前	1									1
	スペイン語Ⅳ	2後	1									1
	中国語Ⅰ	1前	1									2
	中国語Ⅱ	1後	1									2
中国語Ⅲ	2前	1									1	
中国語Ⅳ	2後	1									1	
小計(33科目)	—	—	8	25	0	1	0	0	0	0	0	37
情報力 育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1									6
	コンピュータ演習Ⅱ	1後	1									6
	コンピュータ演習Ⅲ	2前	1									1
	コンピュータ演習Ⅳ	2後	1									1
	小計(4科目)	—	—	2	2	0	0	0	0	0	0	0
特設科目	日本語AⅠ	1前	1									1
	日本語BⅠ	1前	1									1
	日本語AⅡ	1後	1									1
	日本語BⅡ	1後	1									1
	日本語AⅢ	2前	1									1
	日本語BⅢ	2前	1									1
	日本語AⅣ	2後	1									1
	日本語BⅣ	2後	1									1
	日本事情Ⅰ	1前	2									1
	日本事情Ⅱ	1後	2									1
	日本事情Ⅲ	2前	2									1
	日本事情Ⅳ	2後	2									1
小計(12科目)	—	—	16	0	0	0	0	0	0	0	0	3
人間総合学群 観光文化学類	観光学	2前	2						1			
	観光政策論	2前	2						1			
	観光マーケティング論	2後	2						1			
	観光メディア	2後	2						1			
	ホスピタリティ概論	2前	2						1			
	ホスピタリティ・マネジメント	2後	2									1
	観光社会学	2前	2									1
	観光人類学	2後	2									1
	小計(8科目)	—	—	2	14	0	1	2	0	0	0	2
専門 教育科目	観光実務論	2・3前	2						1			
	宿泊業・飲食業実務論	2・3前	2									1
	航空・空港実務論	2・3後	2									1
	広告・メディア実務論	2・3後	2						1			
	エンターテインメント実務論	2・3後	2									1
	インターンシップ実習A	2・3後	1						2	2		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
観光実務関連科目	インターンシップ実習B	2・3後	1			2	2					
	インターンシップ実習C	2・3後	1			2	2					
	海外インターンシップ実習	2・3後	1				2					
	国内旅行研修	2・3前	1			2						
	海外旅行研修	2・3前	1			1	1					
	小計(11科目)	—	0	16	0	3	3	0	0	0	0	3
観光資源・文化関連科目	世界遺産研究	2前	2									1
	地域観光資源研究	2・3前	2			1						
	国内観光資源研究A(東京・首都圏)	2後	2								1	
	国内観光資源研究B(東日本)	2・3前	2								1	
	国内観光資源研究C(西日本)	2・3後	2								1	
	海外観光資源研究A(ヨーロッパ)	3前	2			1						
	海外観光資源研究B(ヨーロッパ)	3前	2								1	
	海外観光資源研究C(アジア)	3前	2				1					
	海外観光資源研究D(アジア)	3前	2								1	
	海外観光資源研究E(オセアニア)	3前	2								1	
	世界のミュージアム	2・3前	2			2						1
	日本のミュージアム	2・3後	2									1
	西洋美術の旅Ⅰ	2・3前	2									1
	西洋美術の旅Ⅱ	2・3後	2									1
	異文化交流Ⅰ	2・3前	2			1						
	異文化交流Ⅱ	2・3後	2			1						
文化交流論A(日本とヨーロッパ)	3後	2			1						3	
文化交流論B(日本とアメリカ)	3後	2			1							
文化交流論C(日本とアジア)	3後	2				1						
イスラーム文化論	2・3前	2									1	
キリスト教文化論	2・3後	2									1	
小計(21科目)	—	0	42	0	3	1	0	0	0	0	13	
国家試験対策科目	旅行法規Ⅰ	1後	2			1						
	旅行法規Ⅱ	2前	2			1						
	国内旅行実務論Ⅰ	1後	2			1						
	国内旅行実務論Ⅱ	2前	2			1						
	海外旅行実務論Ⅰ	2後	2			1						
	海外旅行実務論Ⅱ	3前	2			1						
	旅行業務取扱管理者試験特講	2・3前	2			1						
	小計(7科目)	—	0	14	0	0	1	0	0	0	0	0
観光の外国語科目	観光の英語Ⅰ	2前	1				1					1
	観光の英語Ⅱ	2後	1				1					
	観光の英語Ⅲ	3前	1				1					
	観光のフランス語	2前	1								1	
	観光のドイツ語	2後	1								1	
	観光のスペイン語	2前	1			1						
	観光の中国語	2後	1								1	
	観光の韓国語	2前	1				1					
	観光ガイドの英語	2・3前	1			1	1					1
	ホスピタリティ英語Ⅰ	2・3前	1								1	
ホスピタリティ英語Ⅱ	2・3後	1								1		
小計(11科目)	—	1	10	0	2	2	0	0	0	0	5	
専門ゼミ科目	観光文化ゼミⅠ	3前	1			4	3					
	観光文化ゼミⅡ	3後	1			4	3					
	観光文化ゼミⅢ	4前	1			4	3					
	観光文化ゼミⅣ	4後	1			4	3					
	卒業研究	4通	4			4	3					
	小計(5科目)	—	4	4	0	4	3	0	0	0	0	0

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
観光実務関連科目	インターンシップ実習B	2・3後	1			2	2					
	インターンシップ実習C	2・3後	1			2	2					
	海外インターンシップ実習	2・3後	1				2					
	国内旅行研修	2・3前	1				2					
	海外旅行研修	2・3前	1				2					
	小計(11科目)	—	0	16	0	2	3	0	0	0	0	3
観光資源・文化関連科目	世界遺産研究	2前	2									1
	地域観光資源研究	2・3前	2			1						
	国内観光資源研究A(東京・首都圏)	2後	2								1	
	国内観光資源研究B(東日本)	2・3前	2								1	
	国内観光資源研究C(西日本)	2・3後	2								1	
	海外観光資源研究A(ヨーロッパ)	3前	2			1						
	海外観光資源研究B(ヨーロッパ)	3前	2								1	
	海外観光資源研究C(アジア)	3前	2				1					
	海外観光資源研究D(アジア)	3前	2								1	
	海外観光資源研究E(オセアニア)	3前	2								1	
	世界のミュージアム	2・3前	2			2						1
	日本のミュージアム	2・3後	2									1
	西洋美術の旅Ⅰ(未開講)	2・3前	2									1
	西洋美術の旅Ⅱ(未開講)	2・3後	2									1
	異文化交流Ⅰ	2・3前	2			1						
	異文化交流Ⅱ	2・3後	2			1						
文化交流論A(日本とヨーロッパ)	3後	2			1						3	
文化交流論B(日本とアメリカ)	3後	2			1							
文化交流論C(日本とアジア)	3後	2				1						
イスラーム文化論(未開講)	2・3前	2									1	
キリスト教文化論	2・3後	2									1	
小計(21科目)	—	0	42	0	3	1	0	0	0	0	14	
国家試験対策科目	旅行法規Ⅰ	1後	2									1
	旅行法規Ⅱ	2前	2									1
	国内旅行実務論Ⅰ	1後	2									1
	国内旅行実務論Ⅱ	2前	2									1
	海外旅行実務論Ⅰ	2後	2									1
	海外旅行実務論Ⅱ	3前	2									1
	旅行業務取扱管理者試験特講	2・3前	2									1
	小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	2
観光の外国語科目	観光の英語Ⅰ	2前	1				1					1
	観光の英語Ⅱ	2後	1				1					
	観光の英語Ⅲ	3前	1				1					
	観光のフランス語	2前	1								1	
	観光のドイツ語	2後	1								1	
	観光のスペイン語	2前	1			1						
	観光の中国語	2後	1								1	
	観光の韓国語	2前	1				1					
	観光ガイドの英語	2・3前	1									1
	ホスピタリティ英語Ⅰ	2・3前	1								1	
ホスピタリティ英語Ⅱ	2・3後	1								1		
小計(11科目)	—	1	10	0	1	2	0	0	0	0	6	
専門ゼミ科目	観光文化ゼミⅠ	3前	1			4	3					
	観光文化ゼミⅡ	3後	1			4	3					
	観光文化ゼミⅢ	4前	1			4	3					
	観光文化ゼミⅣ	4後	1			4	3					
	卒業研究	4通	4			4	3					
	小計(5科目)	—	4	4	0	4	3	0	0	0	0	0

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
省令必修科目	生涯学習論 I	1前	2								1	
	博物館概論	1後		2							1	
	博物館資料論	2前		2							1	
	博物館展示論	2後		2							1	
	博物館資料保存論	3前		2							1	
	博物館経営論	3後		2							1	
	博物館教育論	2・3前		2							1	
	博物館情報・メディア論	2・3後		2							1	
	博物館実習A(見学実習)	2通		1							2	
	博物館実習B(実務実習)	3通		1							3	
	博物館実習C(館園実習)	4通		1							2	
小計(11科目)	—	0	2	17	0	0	0	0	0	0	6	
博物館学芸員養成課程科目	基礎選択必修科目	日本美術史	1前	2								1
		西洋文化史	1前	2								1
		日本文化史 I	2前	2								1
		日本文化史 II	2後	2								1
		地域文化概論	2前	2								1
		世界遺産研究	2前	2								1
		世界のミュージアム	2・3前	2	2							1
		日本のミュージアム	2・3後	2								1
		西洋美術の旅 I	2・3前	2								1
		西洋美術の旅 II	2・3後	2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	2	0	0	0	0	0	9	
専攻選択必修科目	日本の文化財 I	2・3前	2								1	
	日本の文化財 II	2・3後	2								1	
	歴史資料論	2・3前	2								1	
	民俗資料論	2・3後	2								1	
	歴史考古学	2・3前	2								1	
	歴史地理学	2・3後	2								1	
	文化交流史 I	2・3前	2								1	
	文化交流史 II	2・3後	2								1	
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	6	
合計(226科目)	—	43	313	17	4	3	0	0	0	0	121	
卒業要件及び履修方法												
<p>・人間総合学群 教養教育科目(全学類共通):必修科目20単位(初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目)、選択必修科目16単位(入門科目、教養知科目)を含め教養教育科目から36単位以上履修すること</p> <p>・観光文化学類 専門教育科目:必修科目7単位(基本科目、観光の外国語科目、専門ゼミ科目)、選択必修科目12単位(基本科目、観光実務関連科目、観光資源・文化関連科目)を含め62単位以上履修すること</p> <p>・以上、教養教育科目(36単位以上)、専門教育科目(62単位以上)、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること</p> <p>・履修科目の登録上限46単位(年間)</p>												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
省令必修科目	生涯学習論 I	1前	2								1	
	博物館概論	1後		2							1	
	博物館資料論	2前		2							1	
	博物館展示論	2後		2							1	
	博物館資料保存論	3前		2							1	
	博物館経営論	3後		2							1	
	博物館教育論	2・3前		2							1	
	博物館情報・メディア論	2・3後		2							1	
	博物館実習A(見学実習)	2通		1							2	
	博物館実習B(実務実習)	3通		1							3	
	博物館実習C(館園実習)	4通		1							3	
小計(11科目)	—	0	2	17	0	0	0	0	0	0	6	
博物館学芸員養成課程科目	基礎選択必修科目	日本美術史	1前	2								1
		西洋文化史	1前	2								1
		日本文化史 I	2前	2								1
		日本文化史 II	2後	2								1
		地域文化概論	2前	2								1
		世界遺産研究	2前	2								1
		世界のミュージアム	2・3前	2	2							1
		日本のミュージアム	2・3後	2								1
		西洋美術の旅 I (未開講)	2・3前	2								1
		西洋美術の旅 II (未開講)	2・3後	2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	2	0	0	0	0	0	9	
専攻選択必修科目	日本の文化財 I	2・3前	2								1	
	日本の文化財 II	2・3後	2								1	
	歴史資料論	2・3前	2								2	
	民俗資料論	2・3後	2								2	
	歴史考古学	2・3前	2								1	
	歴史地理学	2・3後	2								1	
	文化交流史 I	2・3前	2								1	
	文化交流史 II	2・3後	2								1	
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	6	
合計(226科目)	—	43	313	17	4	3	0	0	0	0	133	
卒業要件及び履修方法												
<p>・人間総合学群 教養教育科目(全学類共通):必修科目20単位(初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目)、選択必修科目16単位(入門科目、教養知科目)を含め教養教育科目から36単位以上履修すること</p> <p>・観光文化学類 専門教育科目:必修科目7単位(基本科目、観光の外国語科目、専門ゼミ科目)、選択必修科目12単位(基本科目、観光実務関連科目、観光資源・文化関連科目)を含め62単位以上履修すること</p> <p>・以上、教養教育科目(36単位以上)、専門教育科目(62単位以上)、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること</p> <p>・履修科目の登録上限46単位(年間)</p>												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年度教育科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			2	1					17	
	基礎ゼミⅡ	1後	1			2	1					17	
	小計(2科目)	—	2	0	0	2	1	0	0	0		17	
	建学の精神を学ぶ科目	仏教学Ⅰ	1前	2									3
		仏教学Ⅱ	1後	2									3
		仏教学Ⅲ	2前		2								1
		仏教学Ⅳ	2後		2								1
		駒沢女子大学入門	1前		2								1
	小計(5科目)	—	4	6	0	0	0	0	0	0	0	8	
	入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2								2
		日本文化入門Ⅱ	1後		2								2
		人間関係入門Ⅰ	1前		2								3
人間関係入門Ⅱ		1後		2								3	
英語コミュニケーション入門Ⅰ		1前		2								7	
英語コミュニケーション入門Ⅱ		1後		2								7	
観光文化入門Ⅰ		1前		2								1	
観光文化入門Ⅱ		1後		2								1	
心理学入門Ⅰ		1前		2								1	
心理学入門Ⅱ		1後		2								2	
住空間デザイン入門Ⅰ		1前		2								3	
住空間デザイン入門Ⅱ		1後		2								3	
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	24		
人間総合学群 教養教育科目	人間を学ぶ科目	人間と思想Ⅰ	1前		2								1
		人間と思想Ⅱ	1後		2								1
		人間と文化Ⅰ	1前		2								1
		人間と文化Ⅱ	1後		2								1
		生命の科学	1前		2								1
		倫理学	1後		2								1
		人権の基礎	1前		2								1
	女性の人権	1後		2								1	
	教養知科目	心理学Ⅰ	1前		2								2
		心理学Ⅱ	1後		2								2
		生涯学習論Ⅰ	1前		2								1
		生涯学習論Ⅱ	1後		2								1
		社会福祉概論Ⅰ	1前		2								1
		社会福祉概論Ⅱ	1後		2								1
小計(14科目)		—	0	28	0	0	0	0	0	0	0	8	
文化と歴史を学ぶ科目	日本の歴史	1後		2								1	
	世界の歴史	1後		2								1	
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前		2								1	
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後		2								1	
	西洋文化史	1前		2								1	
	日本美術史	1前		2								1	
	比較文化	1後		2								1	
	日本の文化	1後		2								1	
	観光地理(日本)	1前		2								1	
	観光地理(世界)	1後		2								1	
	日本の文学	1前		2								1	
	ヨーロッパの文学	1後		2								1	
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	10		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養知科目	日本の政治	1前	2								1
	世界の政治	1後	2								1
	政治と市民参加	1後	2								1
	日本の経済	1前	2								1
	世界の経済	1前	2								1
	新聞と報道	1後	2								1
	グローバル共生論	1後	2			1					
	法学	1前	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法 I	1前	2								1
	日本国憲法 II	1後	2								1
	社会学 I	1前	2								1
	社会学 II	1後	2								1
	数学の世界	1前	2								1
	物理の世界	1後	2								1
	生物と生命	1前	2								1
	地球と宇宙	1後	2								1
	物質と化学	1前	2								1
	情報と科学	1後	2								1
	色彩と科学	1前	2								1
小計(20科目)	—	0	40	0	0	1	0	0	0	0	11
人間総合学群	ボランティア実習 I	1後	1								2
	ボランティア実習 II	2後	2								1
	海外英語研修 I	1後	2								7
	海外英語研修 II	2後	2								7
	国際協力実習	2前	1			1					
	国際協力実習フォローアップ	2後	2			1					
小計(6科目)	—	0	10	0	0	1	0	0	0	0	9
実践知科目	進路設計	1後	2								3
	社会と教養演習A	2・3前	1								1
	社会と教養演習B	2・3前	1								1
	社会と教養演習C	2・3後	1								1
	社会と教養演習D	2・3後	1								1
	キャリアリテラシー	3前	2								1
	就業への知識と技能A	2・3前	2								1
	就業への知識と技能B	2・3後	2								1
小計(8科目)	—	2	10	0	0	0	0	0	0	0	6
健康体育科目	女性と健康 I	1前	2								1
	女性と健康 II	1後	2								1
	スポーツ I	1・2前	1								3
	スポーツ II	1・2後	1								3
小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	4
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前	1								5
	言語表現演習 II	1後	1								5
	小計(2科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	5
技法知科目	英語A I	1前	1								15
	英語A II	1後	1								15
	英語A III	2前	1								25
	英語A IV	2後	1								25
	英語B I	1前	1								14
	英語B II	1後	1								14
	英語B III	2前	1								25
	英語B IV	2後	1								25
	英会話 I	1前	1								4
	英会話 II	1後	1								4

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間総合学群 教養教育科目	英会話Ⅲ	2前	1									1	
	英会話Ⅳ	2後	1									1	
	Receptive English I	1・2前	1									1	
	Receptive English II	1・2後	1									1	
	Productive English I	1・2前	1									1	
	Productive English II	1・2後	1									1	
	English Summer Seminar	2・3前	1									2	
	フランス語Ⅰ	1前	1									2	
	フランス語Ⅱ	1後	1									2	
	フランス語Ⅲ	2前	1									2	
	フランス語Ⅳ	2後	1									2	
	ドイツ語Ⅰ	1前	1									1	
	ドイツ語Ⅱ	1後	1									1	
	ドイツ語Ⅲ	2前	1									2	
	ドイツ語Ⅳ	2後	1									2	
	スペイン語Ⅰ	1前	1			1						1	
	スペイン語Ⅱ	1後	1			1						1	
	スペイン語Ⅲ	2前	1			1						1	
	スペイン語Ⅳ	2後	1			1						1	
	中国語Ⅰ	1前	1									2	
	中国語Ⅱ	1後	1									2	
	中国語Ⅲ	2前	1									2	
	中国語Ⅳ	2後	1									2	
	小計(33科目)	—	—	8	25	0	1	0	0	0	0	0	36
	情報力育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1									6
		コンピュータ演習Ⅱ	1後	1									6
		コンピュータ演習Ⅲ	2前	1									1
		コンピュータ演習Ⅳ	2後	1									1
		小計(4科目)	—	—	2	2	0	0	0	0	0	0	6
	特設科目	日本語AⅠ	1前	1									1
		日本語BⅠ	1前	1									1
		日本語AⅡ	1後	1									1
		日本語BⅡ	1後	1									1
日本語AⅢ		2前	1									1	
日本語BⅢ		2前	1									1	
日本語AⅣ		2後	1									1	
日本語BⅣ		2後	1									1	
日本事情Ⅰ		1前	2									1	
日本事情Ⅱ		1後	2									1	
日本事情Ⅲ		2前	2									1	
日本事情Ⅳ		2後	2									1	
小計(12科目)		—	—	16	0	0	0	0	0	0	0	3	
人間総合学群 観光文化学類 専	観光学	2前	2				1						
	観光政策論	2前	2				1						
	観光マーケティング論	2後	2				1						
	観光メディア	2後	2			1							
	ホスピタリティ概論	2前	2				1						
	ホスピタリティ・マネジメント	2後	2									1	
	観光社会学	2前	2									1	
	観光人類学	2後	2									1	
	小計(8科目)	2後	2	14	0	1	2	0	0	0	0	2	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
観光実務関連科目	旅行実務論	2・3前	2			1					
	宿泊業・飲食実務論	2・3前	2								1
	航空・空港実務論	2・3後	2								1
	広告・メディア実務論	2・3後	2		1						
	エンターテインメント実務論	2・3後	2								1
	インターンシップ実習A	2・3後	1		2	2					
	インターンシップ実習B	2・3後	1		2	2					
	インターンシップ実習C	2・3後	1		2	2					
	海外インターンシップ実習	2・3後	1			2					
	国内旅行研修	2・3前	1			2					
	海外旅行研修	2・3前	1		1	1					
小計(11科目)	—	0	16	0	3	3	0	0	0	3	
人間総合学群 観光文化学類 専門教育科目	世界遺産研究	2前	2								1
	地域観光資源研究	2・3前	2		1						
	国内観光資源研究A (東京・首都圏)	2後	2								1
	国内観光資源研究B (東日本)	2・3前	2								1
	国内観光資源研究C (西日本)	2・3後	2								1
	海外観光資源研究A (ヨーロッパ)	3前	2		1						
	海外観光資源研究B (ヨーロッパ)	3前	2								1
	海外観光資源研究C (アジア)	3前	2			1					
	海外観光資源研究D (アジア)	3前	2								1
	海外観光資源研究E (オセアニア)	3前	2								1
	世界のミュージアム	2・3前	2		2						1
	日本のミュージアム	2・3後	2								1
	西洋美術の旅 I	2・3前	2								1
	西洋美術の旅 II	2・3後	2								1
	異文化交流 I	2・3前	2		1						
	異文化交流 II	2・3後	2		1						
	文化交流論A (日本とヨーロッパ)	3後	2		1						3
	文化交流論B (日本とアメリカ)	3後	2		1						
	文化交流論C (日本とアジア)	3後	2			1					
	イスラーム文化論	2・3前	2								1
	キリスト教文化論	2・3後	2								1
小計(21科目)	—	0	42	0	3	1	0	0	0	13	
国家試験対策科目	旅行法規 I	1後	2			1					
	旅行法規 II	2前	2			1					
	国内旅行実務論 I	1後	2								1
	国内旅行実務論 II	2前	2			1					
	海外旅行実務論 I	2後	2			1					
	海外旅行実務論 II	3前	2			1					
	旅行業務取扱管理者試験特講	2・3前	2			1					
	小計(7科目)	—	0	14	0	0	1	0	0	0	0
観光の外国語科目	観光の英語 I	2前	1			1					1
	観光の英語 II	2後	1			1					
	観光の英語 III	3前	1			1					
	観光のフランス語	2前	1								1
	観光のドイツ語	2後	1								1
	観光のスペイン語	2前	1		1						
	観光の中国語	2後	1								1
	観光の韓国語	2前	1			1					
	観光ガイドの英語	2・3前	1		1	1					
	ホスピタリティ英語 I	2・3前	1								1
	ホスピタリティ英語 II	2・3後	1								1
小計(11科目)	—	1	10	0	2	2	0	0	0	5	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間総合学群 観光文化学類 専門ゼミ科目	観光文化ゼミⅠ	3前	1			4	3						
	観光文化ゼミⅡ	3後	1			4	3						
	観光文化ゼミⅢ	4前	1			4	3						
	観光文化ゼミⅣ	4後	1			4	3						
	卒業研究	4通		4		4	3						
	小計(5科目)	—	4	4	0	4	3	0	0	0	0	0	
省令必修科目	生涯学習論Ⅰ	1前		2								1	
	博物館概論	1後			2							1	
	博物館資料論	2前			2							1	
	博物館展示論	2後			2							1	
	博物館資料保存論	3前			2							1	
	博物館経営論	3後			2							1	
	博物館教育論	2・3前			2							1	
	博物館情報・メディア論	2・3後			2							1	
	博物館実習A(見学実習)	2通			1							2	
	博物館実習B(実務実習)	3通			1							2	
	博物館実習C(館園実習)	4通			1							3	
	小計(11科目)	—	0	2	17	0	0	0	0	0	0	6	
博物館学芸員養成課程科目	日本美術史	1前		2								1	
	西洋文化史	1前		2								1	
	日本文化史Ⅰ	2前		2								1	
	日本文化史Ⅱ	2後		2								1	
	地域文化概論	2前		2								1	
	世界遺産研究	2前		2								1	
	世界のミュージアム	2・3前		2		2						1	
	日本のミュージアム	2・3後		2								1	
	西洋美術の旅Ⅰ	2・3前		2								1	
	西洋美術の旅Ⅱ	2・3後		2								1	
	小計(10科目)	—	0	20	0	2	0	0	0	0	0	9	
専攻選択必修科目	日本の文化財Ⅰ	2・3前		2								1	
	日本の文化財Ⅱ	2・3後		2								1	
	歴史資料論	2・3前		2								1	
	民俗資料論	2・3後		2								1	
	歴史考古学	2・3前		2								1	
	歴史地理学	2・3後		2								1	
	文化交流史Ⅰ	2・3前		2								1	
	文化交流史Ⅱ	2・3後		2								1	
	小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	6	
合計(226科目)			—	43	313	17	4	3	0	0	0	0	120
卒業要件及び履修方法													
<p>*人間総合学群 教養教育科目(全学類共通):必修科目20単位(初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目)、選択必修科目16単位(入門科目、教養知科目)を含め教養教育科目から36単位以上履修すること</p> <p>*観光文化学類 専門教育科目:必修科目7単位(基本科目、観光の外国語科目、専門ゼミ科目)、選択必修科目12単位(基本科目、観光実務関連科目、観光資源・文化関連科目)を含め62単位以上履修すること</p> <p>*以上、教養教育科目(36単位以上)、専門教育科目(62単位以上)、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること</p> <p>*履修科目の登録上限46単位(年間)</p>													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

## (1) ②授業科目表に関する変更内容

### 【平成30年度】

- ・兼任講師体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」の兼任・兼任教員を、「17」から「16」に変更。
- ・兼任講師体調不良の理由により、「基礎ゼミⅡ」の兼任・兼任教員を、「17」から「16」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」の教員配置を、兼任・兼任「4(内訳兼任2・兼任2)」から「3(内訳兼任1・兼任2)」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼任「4(内訳兼任2・兼任2)」から「3(内訳兼任1・兼任2)」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任「6」から「7」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任「6」から「7」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼任「1」から「2」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅠ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅡ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅠ」の兼任・兼任教員を、「25」から「14」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅡ」の兼任・兼任教員を、「25」から「14」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・兼任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」(兼任1人分の担当コマ数増)に変更。
- ・兼任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」(兼任1人分の担当コマ数増)に変更。
- ・専任教員科目調整の理由により、「国内旅行実務論Ⅰ」の教員配置を、准教授「1」から兼任・兼任「1」に変更。

### 【令和元年度】

- ・科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」の専任教員等の配置を、教授「2」、准教授「1」、兼任・兼任「17」から、教授「3」、兼任・兼任「25」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅡ」の専任教員等の配置を、教授「2」、准教授「1」、兼任・兼任「17」から、教授「3」、兼任・兼任「25」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「駒沢女子大学入門」の兼任・兼任教員を、「6」から「5」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「7」から「8」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「7」から「8」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「1」から、教授「4」、准教授「3」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅱ」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「1」から、准教授「2」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「生命の科学」の配当年次を、「1前」から「1後」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「倫理学」の配当年次を、「1後」から「1前」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「日本の文化」の配当年次を、「1後」から「1前」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スポーツⅠ」の兼任・兼任教員を、「3」から「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スポーツⅡ」の兼任・兼任教員を、「3」から「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「言語表現演習Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「5」から「6」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「言語表現演習Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「5」から「6」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語AⅢ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語AⅣ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語BⅠ」の兼任・兼任教員を、「14」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語BⅡ」の兼任・兼任教員を、「14」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語BⅢ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語BⅣ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英会話Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「4」から「5」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英会話Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「4」から「5」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「ドイツ語Ⅲ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「ドイツ語Ⅳ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スペイン語Ⅲ」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スペイン語Ⅳ」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「中国語Ⅲ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「中国語Ⅳ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「国内旅行研修」の専任教員等の配置を、教授「2」から、准教授「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「海外旅行研修」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」から、准教授「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「旅行法規Ⅰ」の専任教員等の配置を、准教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「旅行法規Ⅱ」の専任教員等の配置を、准教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「国内旅行実務論Ⅱ」の専任教員等の配置を、准教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「海外旅行実務論Ⅰ」の専任教員等の配置を、准教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「海外旅行実務論Ⅱ」の専任教員等の配置を、准教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「旅行業務取扱管理者試験特講」の専任教員等の配置を、准教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「観光ガイドの英語」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「博物館実習B」の兼任・兼任教員を、「2」から「3」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「歴史資料論」の兼任・兼任教員を、「1」から「2」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「民俗資料論」の兼任・兼任教員を、「1」から「2」に変更。

- (注) ・ 2 ( 1 ) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 ( 配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など ) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度 ( 平成 2 9 年度開設であれば平成 2 8 年度 ) の表は適宜削除してください。

( 2 ) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 ( A )	必修	選択	自由	計	
35 科目	181 科目	10 科目	226 科目	35 科目 [ 0 ]	181 科目 [ 0 ]	10 科目 [ 0 ]	226 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。( 記入例 : 1 科目減の場合 : △ 1 )

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	西洋美術の旅Ⅰ	2	2・3	専門	選択	担当者都合。代替措置無。
2	西洋美術の旅Ⅱ	2	2・3	専門	選択	担当者都合。代替措置無。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「西洋美術の旅Ⅰ」「西洋美術の旅Ⅱ」の担当者（岩谷兼任講師・桑兼任講師）から、急遽出講ができない旨の連絡があった。学内で検討した結果、令和元年度は未開講とすることに決定した。選択科目であるため、学生にとって大きな不利益にならないと判断した。学生への周知は、平成31年4月のオリエンテーション、及び履修ガイダンス時に行った。（令和元年度）

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{226} = \boxed{0.88} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の一部は駒沢女子短期大学と共用			
	校舎敷地	0 m <sup>2</sup>	140,991.11 m <sup>2</sup>	10,639.73 m <sup>2</sup>	151,630.84 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	0 m <sup>2</sup>	12,574.38 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	12,574.38 m <sup>2</sup>				
	小 計	0 m <sup>2</sup>	153,565.49 m <sup>2</sup>	10,639.73 m <sup>2</sup>	164,205.22 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	36,595.26 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	36,595.26 m <sup>2</sup>				
	合 計	0 m <sup>2</sup>	190,160.75 m <sup>2</sup>	10,639.73 m <sup>2</sup>	200,800.48 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎の一部は駒沢女子短期大学と共用			
		7,584.21 m <sup>2</sup> ( 7,584.21 m <sup>2</sup> )	23,803.58 m <sup>2</sup> ( 23,803.58 m <sup>2</sup> )	15,549.03 m <sup>2</sup> ( 15,549.03 m <sup>2</sup> )	46,936.82 m <sup>2</sup> ( 46,936.82 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の一部は駒沢女子短期大学と共用			
	45 室	20 室	37 室	3 室 (補助職員 2人)	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人間総合学群			56 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 図書 22,559冊 購入による変更のため (30) 購入による変更のため (元)	
	人間総合学群	139,633 [29,920] <del>137,285 [31,204]</del> (139,633 [29,920]) (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	245 [121] <del>231 [101]</del> ( 245 [121]) (-236 [103]) (- 231 [101])	6 [4] <del>6 [3]</del> ( 6 [4]) (- 6 [3])	5,332 (5,326) (-5,239) (-4,962)	40,774 (40,524) (-40,069) (-39,974)	50 ( 33 )		
	計	139,633 [29,920] <del>137,285 [31,204]</del> (139,633 [29,920]) (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	245 [121] <del>231 [101]</del> ( 245 [121]) (-236 [103]) (- 231 [101])	6 [4] <del>6 [3]</del> ( 6 [4]) (- 6 [3])	5,332 (5,326) (-5,239) (-4,962)	40,774 (40,524) (-40,069) (-39,974)	50 ( 33 )		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	4,489 m <sup>2</sup>		325席		237,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					駒沢女子短期大学と共用	
	1,726 m <sup>2</sup>		テニスコート 3面			屋外プール			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	500千円	500千円	100千円	
		共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	—千円	5,000千円	5,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,336千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4. 既設大学等の状況

大学の名称	駒沢女子大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
人文学部	4	—	3年次 30	—	—	—	—	平成5	—	平成30年度より学生募集停止（編入学は令和2年度より募集停止）
日本文化学科	4	—	3年次 10	—	学士 (日本文化)	—	—	平成5	東京都稲城市坂浜238番地	平成30年度より学生募集停止（編入学は令和2年度より募集停止）
国際文化学科	4	—	3年次 20	—	学士 (国際文化)	—	—	平成5	同上	平成30年度より学生募集停止（編入学は令和2年度より募集停止）
人間関係学科	4	—	—	—	学士 (人間関係)	—	—	平成12	同上	平成30年度より学生募集停止
心理学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—	—	平成25	同上	平成30年度より学生募集停止
住空間デザイン学科	4	—	—	—	学士 (住空間デザイン)	—	—	平成14	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア表現学科	4	—	—	—	学士 (メディア表現)	—	—	平成14	同上	平成30年度より学生募集停止
人間総合学群	4	370	3年次 30	1,540	—	1.24	—	平成30	—	編入は、令和2年度より学生募集
人間文化学類	4	170	3年次 20	720	学士 (日本文化) (人間関係) (英語コミュニ ケーション)	1.21	—	平成30	東京都稲城市坂浜238番地	編入は、令和2年度より学生募集
観光文化学類	4	60	3年次 10	260	学士 (観光文化)	1.28	—	平成30	同上	編入は、令和2年度より学生募集
心理学類	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.30	—	平成30	同上	
住空間デザイン学類	4	60	—	240	学士 (住空間デザイン)	1.23	—	平成30	同上	
人間健康学部	4	80	—	320	—	1.05	—	平成21	—	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (健康栄養)	1.05	—	平成21	東京都稲城市坂浜238番地	
看護学部	4	80	—	320	—	1.04	—	平成30	—	
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.04	—	平成30	東京都稲城市坂浜238番地	
大学全体	4	530	30	2,180	—	1.11	—	—	—	

大学の名称		駒 沢 女 子 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
人文科学研究科	年	人	年次 人	人		倍				
仏教文化専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.20	—	平成14	東京都稲城市坂浜238番地	
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士 (心理学)	0.45	—	平成15	同上	
大学院全体	2	15	—	30	—	0.36	—	—	—	
大学の名称		駒 沢 女 子 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
保育科	年	人	年次 人	人		倍				
短期大学全体	2	130	—	260	短期大学士 (保育)	0.76	—	昭和40	東京都稲城市坂浜238番地	
短期大学全体	2	130	—	260	—	0.76	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(1)－① 担当教員表

<人間総合学群 観光文化学類>

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名
	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専	教授 羽鳥 修 (62) <平成30年4月> 文学修士 アメリカの文化と歴史Ⅰ アメリカの文化と歴史Ⅱ 国内旅行研修 世界のミュージアム 文化交流論B(日本とアメリカ) 異文化交流Ⅰ 異文化交流Ⅱ 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究	専	教授 羽鳥 修 (62) <平成30年4月> 文学修士 アメリカの文化と歴史Ⅰ アメリカの文化と歴史Ⅱ 国内旅行研修 世界のミュージアム 文化交流論B(日本とアメリカ) 異文化交流Ⅰ 異文化交流Ⅱ 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究	専	教授 羽鳥 修 (63) <平成30年4月> 文学修士 <b>観光文化入門Ⅰ</b> アメリカの文化と歴史Ⅰ アメリカの文化と歴史Ⅱ <b>科目削除</b> 世界のミュージアム 文化交流論B(日本とアメリカ) 異文化交流Ⅰ 異文化交流Ⅱ 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
専	教授 加藤 ナツ子 (66) <平成30年4月> 文学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ 海外観光資源研究A(ヨーロッパ) 世界のミュージアム 文化交流論A(日本とヨーロッパ) 観光のスペイン語 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究	専	教授 加藤 ナツ子 (67) <平成30年4月> 文学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ 海外観光資源研究A(ヨーロッパ) 世界のミュージアム 文化交流論A(日本とヨーロッパ) 観光のスペイン語 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究	専	教授 加藤 ナツ子 (68) <平成30年4月> 文学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>観光文化入門Ⅰ</b> スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 海外観光資源研究A(ヨーロッパ) 世界のミュージアム 文化交流論A(日本とヨーロッパ) 観光のスペイン語 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
専	教授 平野 国男 (62) <平成30年4月> 文学士 広告・メディア実務論 インターンシップ実習A インターンシップ実習B インターンシップ実習C 国内旅行研修 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究	専	教授 平野 国男 (62) <平成30年4月> 文学士 広告・メディア実務論 インターンシップ実習A インターンシップ実習B インターンシップ実習C 国内旅行研修 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究		
				専	教授 田代 真人 (56) <平成31年4月> 修士(学術) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>観光文化入門Ⅰ</b> 広告・メディア実務論 インターンシップ実習A インターンシップ実習B インターンシップ実習C 国内旅行研修 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月> 芸術学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ  観光メディア インターンシップ実習A インターンシップ実習B インターンシップ実習C 海外旅行研修 地域観光資源研究 観光ガイドの英語 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
専	准教授	張 景泰 (45) <平成30年4月> 博士(観光学)
		観光学 ホスピタリティ概論 インターンシップ実習A インターンシップ実習B インターンシップ実習C 海外インターンシップ実習  海外旅行研修 海外観光資源研究C(アジア) 文化交流論C(日本とアジア) 観光の韓国語 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
専	准教授	鮫島 卓 (44) <平成30年4月> 修士(観光学)
		観光政策論 観光マーケティング論 旅行業実務論 インターンシップ実習A インターンシップ実習B インターンシップ実習C  旅行法規Ⅰ 旅行法規Ⅱ 国内旅行実務論Ⅰ 国内旅行実務論Ⅱ 海外旅行実務論Ⅰ 海外旅行実務論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月> 芸術学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ  観光メディア インターンシップ実習A インターンシップ実習B インターンシップ実習C 海外旅行研修 地域観光資源研究 観光ガイドの英語 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
専	教授	張 景泰 (45) <平成30年4月> 博士(観光学)
		観光学 ホスピタリティ概論 インターンシップ実習A インターンシップ実習B インターンシップ実習C 海外インターンシップ実習  海外旅行研修 海外観光資源研究C(アジア) 文化交流論C(日本とアジア) 観光の韓国語 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
専	准教授	鮫島 卓 (44) <平成30年4月> 修士(観光学)
		観光政策論 観光マーケティング論 旅行業実務論 インターンシップ実習A インターンシップ実習B インターンシップ実習C  旅行法規Ⅰ 旅行法規Ⅱ <b>科目削除</b> 国内旅行実務論Ⅱ 海外旅行実務論Ⅰ 海外旅行実務論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		<b>観光文化ゼミⅢ</b> <b>観光文化ゼミⅣ</b> <b>卒業研究</b>
専	教授	渡邊 光章 (62) <平成30年4月> 芸術学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>観光文化入門Ⅰ</b> 観光メディア インターンシップ実習A インターンシップ実習B インターンシップ実習C <b>科目削除</b> 地域観光資源研究 <b>科目削除</b> 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
兼任	講師	木内 伸樹 (51) <平成30年4月> 修士(観光学)
		<b>観光ガイドの英語</b> <b>ホスピタリティマネジメント</b>
専	教授	張 景泰 (46) <平成30年4月> 博士(観光学)
		<b>観光文化入門Ⅰ</b> <b>観光文化入門Ⅱ</b> 観光学 ホスピタリティ概論 インターンシップ実習A インターンシップ実習B インターンシップ実習C 海外インターンシップ実習 <b>国内旅行研修</b> 海外旅行研修 海外観光資源研究C(アジア) 文化交流論C(日本とアジア) 観光の韓国語 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
専	准教授	鮫島 卓 (45) <平成30年4月> 修士(観光学)
		<b>観光文化入門Ⅰ</b> <b>観光文化入門Ⅱ</b> 観光政策論 観光マーケティング論 旅行業実務論 インターンシップ実習A インターンシップ実習B インターンシップ実習C <b>国内旅行研修</b> <b>海外旅行研修</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		旅行業務取扱管理者試験特講 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
専	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月> Master of Arts(米國)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ 海外インターンシップ実習 観光の英語Ⅰ 観光の英語Ⅱ 観光の英語Ⅲ 観光ガイドの英語 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
兼任	教授	光田 督良 (65) <平成30年4月> 法学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	小林 憲夫 (65) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ
兼任	教授	井戸 桂子 (64) <平成30年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 観光の英語Ⅰ
兼任	教授	糟谷 恵次 (64) <平成30年4月> 文学修士
		ヨーロッパの文学 ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 世界のミュージアム 文化交流論(日本とヨーロッパ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		旅行業務取扱管理者試験特講 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
		山田 政博 (67) <平成30年4月> 法学士
兼任	講師	国内旅行実務論Ⅰ
専	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月> Master of Arts(米國)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ 海外インターンシップ実習 観光の英語Ⅰ 観光の英語Ⅱ 観光の英語Ⅲ 観光ガイドの英語 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
兼任	教授	光田 督良 (65) <平成30年4月> 法学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	小林 憲夫 (65) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ
兼任	教授	井戸 桂子 (64) <平成30年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 観光の英語Ⅰ
兼任	教授	糟谷 恵次 (65) <平成30年4月> 文学修士
		ヨーロッパの文学 科目削除 科目削除 ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 世界のミュージアム 文化交流論(日本とヨーロッパ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		科目削除 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
		山田 政博 (68) <平成30年4月> 法学士
兼任	講師	国内旅行実務論Ⅰ 国内旅行実務論Ⅱ 海外旅行実務論Ⅰ 海外旅行実務論Ⅱ
専	准教授	杉野 知恵 (45) <平成30年4月> Master of Arts(米國)
		削除 削除 観光文化入門Ⅰ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ 海外インターンシップ実習 観光の英語Ⅰ 観光の英語Ⅱ 観光の英語Ⅲ 科目削除 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
兼任	教授	光田 督良 (66) <平成30年4月> 法学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	小林 憲夫 (66) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ
兼任	教授	井戸 桂子 (65) <平成30年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 観光の英語Ⅰ
兼任	教授	糟谷 恵次 (66) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ヨーロッパの文学 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 世界のミュージアム 文化交流論(日本とヨーロッパ)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	篠政行 (64) <平成30年4月> 工学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	臼井実穂子 (61) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼任	教授	安藤嘉則 (60) <平成30年4月> 文学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	渋谷香織 (60) <平成30年4月> 文学修士
		日本文化入門Ⅰ
兼任	教授	須藤明 (59) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		心理学入門Ⅱ
兼任	教授	末木俊之 (59) <平成30年4月> 工学修士
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	佐々木俊道 (58) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	保坂律子 (58) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 海外観光資源研究D(アジア2) 観光の中国語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	篠政行 (64) <平成30年4月> 工学修士
		科目削除 科目削除 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	臼井実穂子 (61) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼任	教授	安藤嘉則 (60) <平成30年4月> 文学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	渋谷香織 (60) <平成30年4月> 文学修士
		日本文化入門Ⅰ
兼任	教授	富士原光洋 (58) <平成30年4月> 文学修士
		心理学入門Ⅱ
兼任	教授	松岡努 (49) <平成30年4月> 心理学修士
		心理学入門Ⅱ
兼任	教授	末木俊之 (59) <平成30年4月> 工学修士
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	佐々木俊道 (58) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	保坂律子 (58) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 海外観光資源研究D(アジア2) 観光の中国語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	篠政行 (65) <平成30年4月> 工学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	臼井実穂子 (62) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼任	教授	安藤嘉則 (61) <平成30年4月> 文学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	渋谷香織 (61) <平成30年4月> 文学修士
		日本文化入門Ⅰ
兼任	教授	富士原光洋 (59) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 心理学入門Ⅱ
兼任	教授	松岡努 (50) <平成30年4月> 心理学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 心理学入門Ⅱ
兼任	教授	末木俊之 (60) <平成30年4月> 工学修士
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	佐々木俊道 (59) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	保坂律子 (59) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 海外観光資源研究D(アジア2) 観光の中国語

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月> 政治学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ 文化交流論A(日本とヨーロッパ)
兼任	教授	三田 誠司 (56) <平成30年9月> 博士(文学) 日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月> 修士(教育学) 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月> 言語学教授法DEA(仏国) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 文化交流論A(日本とヨーロッパ) 観光のフランス語
兼任	教授	松村 良 (55) <平成30年4月> 文学修士 日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月> 芸術学修士 人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼任	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月> 文学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月> 政治学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ 文化交流論A(日本とヨーロッパ)
兼任	教授	三田 誠司 (56) <平成30年9月> 博士(文学) 日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月> 修士(教育学) 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ
兼任	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月> 言語学教授法DEA(仏国) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 文化交流論A(日本とヨーロッパ) 観光のフランス語
兼任	教授	松村 良 (55) <平成30年4月> 文学修士 日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月> 芸術学修士 人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼任	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月> 文学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	余 瀧 (58) <平成31年4月> 修士(文学) 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	教授	橋本 衆宝 (58) <平成31年4月> 修士(カウンセリング) 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	教授	弥久保 宏 (58) <平成30年4月> 政治学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ 文化交流論A(日本とヨーロッパ)
兼任	教授	三田 誠司 (57) <平成30年9月> 博士(文学) 日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (57) <平成30年4月> 修士(教育学) 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ
兼任	教授	米金 孝雄 (57) <平成30年4月> 言語学教授法DEA(仏国) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 文化交流論A(日本とヨーロッパ) 観光のフランス語
兼任	教授	松村 良 (56) <平成30年4月> 文学修士 日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	教授	田澤 秀司 (56) <平成30年4月> 芸術学修士 人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼任	教授	千葉 公慈 (54) <平成30年4月> 文学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石田 かおり (53) <平成30年9月> 博士(被服環境学)
		人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	福王 守 (52) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼任	教授	佐藤 勉 (52) <平成30年4月> MASTER OF ARCHITECTURE (米国)
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	橋田 布佐子 (60) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	准教授	榎本 環 (53) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ
兼任	准教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月> 修士(日本史学)
		駒沢女子大学入門 日本文化入門Ⅰ 歴史資料論  博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石田 かおり (53) <平成30年9月> 博士(被服環境学)
		人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	福王 守 (52) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼任	教授	佐藤 勉 (52) <平成30年4月> MASTER OF ARCHITECTURE (米国)
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	橋田 布佐子 (60) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	准教授	榎本 環 (54) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月> 修士(日本史学)
		駒沢女子大学入門 日本文化入門Ⅰ 歴史資料論  博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石田 かおり (54) <平成30年9月> 博士(被服環境学)
		人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	福王 守 (53) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼任	教授	佐藤 勉 (53) <平成30年4月> MASTER OF ARCHITECTURE (米国)
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	教授	藤城 有美子 (51) <平成31年4月> 博士(医学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	教授	藤川 麗 (46) <平成31年4月> 博士(教育学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	准教授	橋田 布佐子 (61) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	准教授	榎本 環 (55) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	皆川 義孝 (51) <平成30年4月> 修士(日本史学)
		科目削除 日本文化入門Ⅰ 歴史資料論 民俗資料論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	明田川 紀彦 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 科目削除 科目削除

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月> 準学士 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月> 博士(教育学) 心理学入門Ⅰ
兼任	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年9月> 修士(文学) 日本文化入門Ⅱ 民俗資料論 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月> 修士(工学) 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月> 修士(文学) 英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 海外観光資源研究E(オセアニア)
兼任	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月> Master of Arts(米園) 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月> 修士(文学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月> 準学士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月> 博士(教育学) 心理学入門Ⅰ
兼任	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年9月> 修士(文学) 日本文化入門Ⅱ 民俗資料論 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月> 修士(工学) 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月> 修士(文学) 英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 海外観光資源研究E(オセアニア)
兼任	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月> Master of Arts(米園) 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	准教授	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月> 修士(文学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡本 教佳 (62) <平成31年4月> 工学博士 コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ
兼任	准教授	鈴木 利彦 (48) <平成30年4月> 準学士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ 科目削除
兼任	講師	星野 好晃 (37) <平成31年4月> 修士(情報学) コンピュータ演習Ⅱ
兼任	准教授	丸山 慎 (46) <平成30年4月> 博士(教育学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 心理学入門Ⅰ
兼任	准教授	下川 雅弘 (44) <平成30年9月> 修士(文学) 日本文化入門Ⅱ 歴史資料論 民俗資料論 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	茂木 弥生子 (44) <平成30年4月> 修士(工学) 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	松山 響子 (41) <平成30年4月> 修士(文学) 英語BⅢ 英語BⅣ 削除 削除 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 海外観光資源研究E(オセアニア)
兼任	講師	Plaza Taron (49) <平成30年4月> Master of Arts(米園) 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	准教授	大貫 恵佳 (40) <平成30年4月> 修士(文学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月> 学士(建築学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	講師	石川 創 (35) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (34) <平成30年4月> 博士(言語学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月> 修士(心理学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月> 修士(心理学)
		人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月> 修士(教育学)
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月> 博士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月> 学士(建築学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	石川 創 (35) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (35) <平成30年4月> 博士(言語学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月> 修士(心理学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月> 修士(心理学)
		人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月> 修士(教育学)
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		科目削除 科目削除
兼任	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月> 博士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Morris Jonathan (40) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	小川 弾 (37) <平成30年4月> 学士(建築学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	石川 創 (36) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (36) <平成30年4月> 博士(言語学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	綾城 初穂 (36) <平成30年4月> 修士(心理学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (35) <平成30年4月> 修士(心理学)
		人間関係入門Ⅰ
兼任	准教授	古屋 真 (34) <平成30年4月> 修士(教育学)
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	三宅 貴之 (29) <平成31年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	助教	山崎 陽菜 (35) <平成30年4月> 博士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	龍谷 孝道 (34) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月> 修士(学術)
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究 ホスピタリティ・マネジメント
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月> 文学修士
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月> 文学修士
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月> 修士(環境科学)
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月> 文学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月> 修士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月> 文学修士
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月> 博士(文学)
		世界の歴史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月> 修士(学術)
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究 ホスピタリティ・マネジメント
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月> 文学修士
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月> 文学修士
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月> 修士(環境科学)
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月> 文学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月> 修士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月> 文学修士
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月> 博士(文学)
		世界の歴史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小早川 浩大 (51) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (65) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (65) <平成30年4月> 修士(学術)
		<b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究 <b>科目削除</b> <b>旅行法規Ⅰ</b> <b>旅行法規Ⅱ</b> <b>旅行業取扱管理者試験特講</b>
兼任	講師	鈴木 由加里 (54) <平成30年4月> 文学修士
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (60) <平成30年4月> 文学修士
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (43) <平成30年4月> 修士(環境科学)
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (54) <平成30年4月> 文学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (51) <平成30年4月> 修士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	森島 由紀子 (50) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (52) <平成30年4月> 文学修士
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (42) <平成30年4月> 博士(文学)
		世界の歴史

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河合 惠実 (52) <平成30年4月> 文学士
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (37) <平成30年4月> 修士(政治学)
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月> 修士(経営学)
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (38) <平成30年4月> 修士(文学)
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	船津 卓馬 (37) <平成30年4月> 修士(工学)
		数学の世界 物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 博士(理学)
		物質と化学
兼任	講師	滝沢 真美 (56) <平成30年4月> 修士(家政学)
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 学士(経営学)
		進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河合 惠実 (52) <平成30年4月> 文学士
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (37) <平成30年4月> 修士(政治学)
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月> 修士(経営学)
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (39) <平成30年4月> 修士(文学)
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	下久保 亘 (47) <平成30年4月> 工学修士
		数学の世界 物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 博士(理学)
		物質と化学
兼任	講師	稲葉 隆 (56) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 学士(経営学)
		進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河合 惠実 (53) <平成30年4月> 文学士
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (38) <平成30年4月> 修士(政治学)
		科目削除 世界の経済
兼任	教授	皆木 和義 (65) <平成31年4月> 学士(法学)
		日本の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (53) <平成30年4月> 修士(経営学)
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	下久保 亘 (48) <平成30年4月> 工学修士
		数学の世界 物理の世界
兼任	講師	平井 隆之 (34) <令和元年9月> 博士(理学)
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		物質と化学
兼任	講師	稲葉 隆 (57) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (49) <平成30年4月> 学士(経営学)
		進路設計 科目削除 科目削除
兼任	講師	樋口 浩子 (54) <令和元年9月> 学士(マネジメント)
		社会と教養演習B

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	三宮 わか奈 (38) <平成30年4月> 学士(経済学)
		進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 学士(法学)
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 修士(文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> 学士(心理学)
		キャリアリテラシー
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 博士(医学)
		女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> 学士(体育)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月> 専修学校卒業
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
兼任	講師	境 希里子 (59) <平成30年4月> 文学士
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	三宮 わか奈 (38) <平成30年4月> 学士(経済学)
		進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 学士(法学)
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 修士(文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> 学士(心理学)
		キャリアリテラシー
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 博士(医学)
		女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> 学士(体育)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月> 専修学校卒業
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
兼任	講師	境 希里子 (60) <平成30年4月> 文学士
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	三宮 わか奈 (39) <平成30年4月> 学士(経済学)
		進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (42) <平成30年4月> 学士(法学)
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (42) <平成30年4月> 修士(文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (59) <平成30年4月> 学士(心理学)
		キャリアリテラシー <b>社会と教養演習A</b>
兼任	講師	城川 美佳 (56) <平成30年4月> 博士(医学)
		女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (47) <平成30年4月> 学士(体育)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (40) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツ I <b>科目削除</b>
兼任	講師	三辻 浩子 (53) <平成30年4月> 専修学校卒業
		<b>科目削除</b> スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (55) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
兼任	講師	境 希里子 (61) <平成30年4月> 文学士
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池上 俊彦 (48) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月> 修士(言語学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	大石 瑤子 (33) <平成30年4月> Master of Arts English Studies (英国)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	木村 崇是 (26) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月> MA(English)(英国)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	川上 真巳子 (59) <平成30年4月> 教育学修士
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池上 俊彦 (48) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月> 修士(言語学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	木村 崇是 (26) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月> MA(English)(英国)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	川上 真巳子 (59) <平成30年4月> 教育学修士
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 科目削除 科目削除

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池上 俊彦 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV
兼任	講師	江連 成美 (52) <平成30年4月> 修士(言語学)
		科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	木村 崇是 (27) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小田島 則子 (56) <平成30年4月> MA(English)(英国)
		英語B I 英語B II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV
兼任	講師	川上 真巳子 (60) <平成30年4月> 教育学修士
		科目削除 科目削除 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 科目削除 科目削除

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木庭 真美子 (64) <平成30年4月> The Degree of Master of Arts in History of Art(英国)
		英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	宮脇 裕子 (62) <平成30年4月> 文学士
		英語AⅠ 英語AⅡ  英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	Moreau Robert (48) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ
兼任	講師	Burns Kevin Robert (54) <平成30年4月> 文学士
		英語AⅠ 英語AⅡ
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅠ 英語BⅡ  英語AⅢ 英語AⅣ
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語AⅠ 英語AⅡ  英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木庭 真美子 (65) <平成30年4月> The Degree of Master of Arts in History of Art(英国)
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語AⅠ 英語AⅡ 科目削除 科目削除 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	宮脇 裕子 (63) <平成30年4月> 文学士
		英語AⅠ 英語AⅡ  英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	Burns Kevin Robert (54) <平成30年4月> 文学士
		英語AⅠ 英語AⅡ
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅠ 英語BⅡ  英語AⅢ 英語AⅣ
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語AⅠ 英語AⅡ  英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木庭 真美子 (66) <平成30年4月> The Degree of Master of Arts in History of Art(英国)
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	佐々木 千恵 (51) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語AⅠ 英語AⅡ 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 英語AⅢ 英語AⅣ
兼任	講師	宮脇 裕子 (64) <平成30年4月> 文学士
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	Burns Kevin Robert (55) <平成30年4月> 文学士
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ
兼任	講師	本村 万喜子 (44) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ 科目削除 科目削除
兼任	講師	薬師 英子 (38) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田 明代 (43) <平成30年4月> 修士(学術)
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II  英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II  英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 一徳 (29) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月> 修士(教育学)
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月> 修士(文学)
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月> 修士(文学)
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 一徳 (30) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	岸山 健 (25) <平成31年4月> 修士(学術)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	小木曾 智子 (24) <平成31年4月> 修士(言語学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (37) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	メルヴィン・ジョン (43) <平成30年4月> MASTER OF SCIENCE(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月> Bachelor of Arts in Psychology(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II  英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月> 修士(英文学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Earl Russell (55) <平成30年4月> 芸術修士
		英語A I 英語A II
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月> Bachelor of Arts in Psychology(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月> 修士(英文学)
		英語A I 英語A II  科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田裕子リナ (60) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (53) <平成30年4月> Bachelor of Arts in Psychology(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (55) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (38) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (56) <平成30年4月> 修士(英文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Suthichai Pac Taupradist (35) <平成30年4月> <small>Doctor of Jurisprudence(米国)</small> 英会話 I 英会話 II Academic Reading I Academic Reading II Academic Speaking I Academic Speaking II
兼任	講師	Jeffrey Jones (46) <平成30年4月> <small>BACHELOR OF SCIENCE(米国)</small> Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II Academic Speaking I Academic Speaking II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Jason Takada (49) <平成30年4月> BA(韓国) Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		津村 早紀 (25) <平成31年4月> 修士(学術) 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
		佐々木 大和 (27) <平成31年4月> 修士(言語学) 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
		Daniel G. Friedrich (39) <平成31年4月> MA(米国) 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
		Rose Guy Easton (38) <平成31年4月> BA(米国) <small>米国コミュニケーション入門 I</small> <small>米国コミュニケーション入門 II</small> 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Donald C. Bartley (59) <平成31年4月> BA(米国) 英会話 I 英会話 II Receptive English I Receptive English II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月> Ph. D(文学・文明)(仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ <small>海外観光資源研究B(ヨーロッパ)</small> 観光のドイツ語
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月> 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> 博士(学術)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 観光社会学 観光人類学
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) <平成30年4月> 工学修士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月> Ph. D(文学・文明)(仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ <small>海外観光資源研究B(ヨーロッパ)</small> 観光のドイツ語
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月> 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> 博士(学術)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 観光社会学 観光人類学
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) <平成30年4月> 工学修士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Lawrence Karn (65) <平成31年4月> Ph. D(米国)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ <small>英会話コミュニケーション入門Ⅰ</small> <small>英会話コミュニケーション入門Ⅱ</small>
兼任	講師	Gleason Frances (61) <平成31年4月> BA(豪国)
		Productive EnglishⅠ Productive EnglishⅡ
兼任	講師	松村 悠子 (41) <平成30年4月> Ph. D(文学・文明)(仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	講師	高宮 純子 (38) <平成31年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ <small>海外観光資源研究B(ヨーロッパ)</small> 観光のドイツ語
兼任	講師	木下 令子 (63) <平成30年4月> 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ
兼任	講師	西端 彩 (37) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (43) <平成30年4月> 博士(学術)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 観光社会学 観光人類学
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (62) <平成30年4月> 工学修士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	黒沢 直樹 (68) <平成31年4月> 学士(社会学)
		宿泊業・飲食業実務論
兼任	講師	林 亜美 (45) <令和元年9月> 修士(社会科学)
		航空・空港業実務論
兼任	講師	小堀 貴亮 (46) <平成31年4月> 博士(学術)
		エンターテインメント実務論 国内観光資源研究B(口東日本) 国内観光資源研究C(口西日本)
兼任	講師	太田 亮吾 (41) <令和元年9月> 博士(史学)
		国内観光資源研究A(東京・京都圏)
兼任	講師	鈴木 伸子 (40) <令和元年9月> 博士(美術)
		日本のミュージアム
兼任	講師	岩谷 秋美 (42) <平成31年4月> 博士(美術)
		西洋美術の旅Ⅰ
兼任	講師	桑 和沙 (36) <令和元年9月> 博士(文学)
		西洋美術の旅Ⅱ
兼任	講師	栗山 保之 (50) <平成31年4月> 博士(史学)
		イスラーム文化論 キリスト教文化論
兼任	講師	万木 男也 (60) <平成31年4月> 文学士
		ホスピタリティ英語Ⅰ ホスピタリティ英語Ⅱ
兼任	講師	滝澤 雅史 (43) <平成31年4月> 修士(国際交流)
		博物館資料論 博物館資料保存論
兼任	講師	滝口 正哉 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (63) <平成31年4月> 造形学士
		博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	黒沢 直樹 (68) <平成31年4月> 学士(社会学)
		宿泊業・飲食業実務論
兼任	講師	林 亜美 (44) <令和元年9月> 修士(社会科学)
		航空・空港業実務論
兼任	講師	小堀 貴亮 (45) <平成31年4月> 博士(学術)
		エンターテインメント実務論 国内観光資源研究B(口東日本) 国内観光資源研究C(口西日本)
兼任	講師	太田 亮吾 (40) <令和元年9月> 博士(史学)
		国内観光資源研究A(東京・京都圏)
兼任	講師	鈴木 伸子 (39) <令和元年9月> 博士(美術)
		日本のミュージアム
兼任	講師	岩谷 秋美 (41) <平成31年4月> 博士(美術)
		西洋美術の旅Ⅰ
兼任	講師	桑 和沙 (35) <令和元年9月> 博士(文学)
		西洋美術の旅Ⅱ
兼任	講師	栗山 保之 (49) <平成31年4月> 博士(史学)
		イスラーム文化論 キリスト教文化論
兼任	講師	万木 男也 (59) <平成31年4月> 文学士
		ホスピタリティ英語Ⅰ ホスピタリティ英語Ⅱ
兼任	講師	滝澤 雅史 (42) <平成31年4月> 修士(国際交流)
		博物館資料論 博物館資料保存論
兼任	講師	滝口 正哉 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (62) <平成31年4月> 造形学士
		博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大野 恵子 (32) <平成31年4月> 修士(経営学)
		宿泊業・飲食業実務論
兼任	講師	林 亜美 (45) <令和元年9月> 修士(社会科学)
		航空・空港業実務論
兼任	講師	小堀 貴亮 (46) <平成31年4月> 博士(学術)
		エンターテインメント実務論 国内観光資源研究B(口東日本) 国内観光資源研究C(口西日本)
兼任	講師	太田 亮吾 (41) <令和元年9月> 博士(史学)
		国内観光資源研究A(東京・京都圏)
兼任	講師	鈴木 伸子 (40) <令和元年9月> 博士(美術)
		日本のミュージアム
兼任	講師	岩谷 秋美 (42) <平成31年4月> 博士(美術)
		未開講
兼任	講師	桑 和沙 (36) <令和元年9月> 博士(文学)
		未開講
兼任	講師	栗山 保之 (50) <平成31年4月> 博士(史学)
		イスラーム文化論 キリスト教文化論
兼任	講師	万木 男也 (60) <平成31年4月> 文学士
		ホスピタリティ英語Ⅰ ホスピタリティ英語Ⅱ
兼任	講師	滝澤 雅史 (43) <平成31年4月> 修士(国際交流)
		博物館資料論 博物館資料保存論 博物館実習B
兼任	講師	滝口 正哉 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (63) <平成31年4月> 造形学士
		博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習C

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	津曲 真一 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本文化史Ⅰ 日本文化史Ⅱ
兼任	講師	加島 勝 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本の文化財Ⅰ 日本の文化財Ⅱ
兼任	講師	今野 慶信 (50) <平成31年4月> 修士(日本史学)
		歴史考古学
兼任	講師	市川 理恵 (47) <平成31年4月> 博士(史学)
		文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長谷川 幸一 (36) <平成31年4月> 修士(歴史学)
		日本文化史Ⅰ 日本文化史Ⅱ
兼任	講師	加島 勝 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本の文化財Ⅰ 日本の文化財Ⅱ
兼任	講師	今野 慶信 (49) <平成31年4月> 修士(日本史学)
		歴史考古学
兼任	講師	市川 理恵 (46) <平成31年4月> 博士(史学)
		文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長谷川 幸一 (37) <平成31年4月> 修士(歴史学)
		日本文化史Ⅰ 日本文化史Ⅱ
兼任	講師	加島 勝 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本の文化財Ⅰ 日本の文化財Ⅱ
兼任	講師	今野 慶信 (50) <平成31年4月> 修士(日本史学)
		歴史考古学
兼任	講師	市川 理恵 (47) <平成31年4月> 博士(史学)
		文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

<人間総合学群 観光文化学類>

**【平成30年度】**

- ・鮫島准教授、科目調整の理由により、「国内旅行実務論Ⅰ」を山田兼任講師に担当者変更。
- ・糟谷兼担教授、科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」を削除、黒瀬兼任講師に担当者変更。
- ・篠兼担教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除、鈴木兼担准教授に担当者変更。
- ・須藤兼担教授、公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」を削除、富士原兼担教授、松岡兼担教授に担当者変更。
- ・中野兼担教授、教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を追加。
- ・皆川兼担准教授、准教授から教授へ昇格。
- ・鈴木兼担准教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・大貫兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・石川兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・小久保兼担助教、体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除。
- ・龍谷兼任講師、就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」を佐々木兼担教授、「仏教学Ⅱ」を千葉兼担教授に担当者変更。
- ・船津兼任講師、就任辞退の理由により、「数学の世界」「物理の世界」を下久保兼任講師に担当者変更。
- ・滝沢兼任講師、就任辞退の理由により、「色彩と科学」を稲葉兼任講師に担当者変更。
- ・大石兼任講師、就任辞退の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を木村兼任講師に担当者変更。
- ・小泉兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・木庭兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加。
- ・佐々木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Moreau Robert兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をBurns Kevin Robert兼任講師に担当者変更。
- ・吉田兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を鈴木兼任講師に担当者変更。
- ・杉田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・砂田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・田ノ口兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・加藤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・メルヴィン・ジョン兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をEarl Russell兼任講師に担当者変更。
- ・木澤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・神山兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Suthichai Pac Taupradist兼任講師、就任辞退の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」をRod Caldwell兼任講師に担当者変更。
- ・Jeffrey Jones兼任講師、就任辞退の理由により、「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」をJason Takada兼任講師に担当者変更。
- ・クレイ・サイモン兼任講師、教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を追加。
- ・津曲兼任講師、就任辞退の理由により、「日本文化史Ⅰ」「日本文化史Ⅱ」を長谷川兼任講師に担当者変更。

**【令和元年度】**

- ・羽鳥教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加、科目担当調整の理由により、「国内旅行研修」を削除。
- ・加藤教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加、科目担当調整の理由により、「スペイン語Ⅲ」「スペイン語Ⅳ」を削除。
- ・平野教授、退職の理由により、「広告・メディア実務論」「インターンシップ実習A」「インターンシップ実習B」「インターンシップ実習C」「国内旅行研修」「観光文化ゼミⅠ」「観光文化ゼミⅡ」「観光文化ゼミⅢ」「観光文化ゼミⅣ」「卒業研究」を、田代教授に担当者変更。田代教授、科目担当調整の理由により、上記科目に加え、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」「観光文化入門Ⅰ」を追加。
- ・渡邊教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加、科目担当調整の理由により、「海外旅行研修」を削除、「観光ガイドの英語」を木内兼任講師に担当者変更。
- ・張准教授、授業内容充実、科目担当調整の理由により、「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」「国内旅行研修」を追加。
- ・鮫島准教授、授業内容充実、科目担当調整の理由により「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」「国内旅行研修」「海外旅行研修」を追加、「旅行法規Ⅰ」「旅行法規Ⅱ」「国内旅行実務論Ⅱ」「海外旅行実務論Ⅰ」「海外旅行実務論Ⅱ」「旅行業務取扱管理者試験特講」を、山田兼任講師、玉本兼任講師に担当者変更。
- ・杉野准教授、授業内容充実、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除、「観光文化入門Ⅰ」を追加、「観光ガイドの英語」を木内兼任講師に担当者変更。
- ・糟谷兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加、「ドイツ語Ⅲ」「ドイツ語Ⅳ」を削除。
- ・篠兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・富士原兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・松岡兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・保坂兼担教授、科目担当調整の理由により、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「中国語Ⅲ」「中国語Ⅳ」を削除、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を余兼任講師に担当者変更。
- ・橋本兼担教授、科目担当調整の理由により、「言語表現演習Ⅰ」「言語表現演習Ⅱ」を担当。
- ・藤城兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・藤川兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・皆川兼担教授、科目担当調整の理由により、「駒沢女子大学入門」を削除、「民俗資料論」を追加。
- ・明田川兼担教授、科目担当調整の理由により、「コンピュータ演習Ⅲ」「コンピュータ演習Ⅳ」を削除、岡本兼任講師に担当者変更。
- ・鈴木兼担准教授、科目担当調整の理由により、「コンピュータ演習Ⅱ」を削除、星野兼任講師に担当者変更。
- ・丸山兼担准教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・下川兼担准教授、科目担当調整の理由により、「歴史資料論」を追加。
- ・松山兼担准教授、科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を削除。
- ・古屋兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・小久保兼担助教、退職の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を三宅兼担助教に担当者変更。
- ・玉本兼任講師、科目担当調整の理由により、「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」「ホスピタリティマネジメント」を削除、「旅行法規Ⅰ」「旅行法規Ⅱ」「旅行業務取扱管理者試験特講」を追加。
- ・斎藤兼任講師、本人都合の理由により、「日本の経済」を、皆木兼任講師に担当者変更。
- ・鈴木兼任講師、本人都合の理由により、「地球と宇宙」を、平井兼任講師に担当者変更。
- ・野々垣兼任講師、本人都合の理由により、「社会と教養演習A」を永久兼任講師に、「社会と教養演習B」を樋口兼任講師に担当者変更。
- ・丸山兼任講師、本人都合の理由により、「スポーツⅡ」を削除。
- ・三辻兼任講師、本人都合の理由により、「スポーツⅠ」を削除。

- ・池上兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・江連兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・木村兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・小田島兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・川上兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・小泉兼任講師、退職の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除。
- ・佐々木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・宮脇兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・Burns兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・本村兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・薬師兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・鈴木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・杉田兼任講師、退職の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、岸山兼任講師に担当者変更。
- ・砂田兼任講師、退職の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除。
- ・小木曾兼任講師、科目調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を担当。
- ・木ノ口兼任講師、退職の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除。
- ・加藤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加。
- ・Russell兼任講師、退職の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・谷口兼任講師、本人都合の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を削除。
- ・木澤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・神山兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・津村兼任講師、科目調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を担当。
- ・佐々木兼任講師、科目調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を担当。
- ・Daniel兼任講師、科目調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を担当。
- ・Rose兼任講師、科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を担当。
- ・Takada兼任講師、退職の理由により、「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」を削除。
- ・Donald兼任講師、科目調整の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」を担当。
- ・Lawrence兼任講師、科目調整の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を担当。
- ・Gleeson兼任講師、科目調整の理由により、「Productive EnglishⅠ」「Productive englishⅡ」を担当。
- ・黒瀬兼任講師、退職の理由により、「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」「ドイツ語Ⅲ」「ドイツ語Ⅳ」「海外観光資源研究B(ヨーロッパ2)」「観光のドイツ語」を、高宮兼任講師に担当者変更。
- ・黒沢兼任講師、退職の理由により、「宿泊業・飲食業実務論」を、大野兼任講師に担当者変更。
- ・岩谷兼任講師、本人都合の理由により、「西洋美術の旅Ⅰ」を未開講。
- ・糸兼任講師、本人都合の理由により、「西洋美術の旅Ⅱ」を未開講。
- ・滝澤兼任講師、授業内容充実の理由により、「博物館実習B」を追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
6 名	3 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	3	0	0	7	4	3	0	0	7
(4)	(3)	(0)	(0)	(7)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
4	3	0	0	7	4	3	0	0	7
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0	0
70 平成17年以前就任者 歳		

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	平野 国男	選択	広告・メディア実務論	①	H31.3.31付け、体調不良のため辞任（令和元年）	
			選択	インターンシップ実習A	①		
			選択	インターンシップ実習B	①		
			選択	インターンシップ実習C	①		
			選択	国内旅行研修	①		
			必修	観光文化ゼミⅠ	①		
			必修	観光文化ゼミⅡ	①		
			必修	観光文化ゼミⅢ	①		
			必修	観光文化ゼミⅣ	①		
			選択	卒業研究	①		
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	10 科目	計	10 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{7} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況  
該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本人の申し出による体調不良により、勤務継続が困難であると判断した。該当教員の担当科目が全て2年次以降の配当であったため、学生への影響は、最小限に抑えられた。学生への周知は、平成31年4月のオリエンテーション、及び履修ガイダンス時に行った。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
届 出 時 (平成29年4月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	・入学定員超過の改善 に努めること。(人間総 合学群心理学類)	・昨年度入学定員超過率が 1.42倍であったのを、本年 度1.18倍に是正した。	・入学定員の是正に引き続 き努めていく。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <人間総合学群 観光文化学類>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」の講義等の内容の大幅変更。</p>	<p>「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」は、兼任教員1名が担当していた。授業内容を充実させるため、前者は、専任教員全員によるオムニバス形式、後者は、ゲストスピーカーを招き、業務・働き方・キャリアデザインに関する体験に基づいた話を担当専任教員2名とのディスカッション形式で直接聞く機会を設ける内容へ変更した。（別添資料1参照）（以上令和元年度）</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況（別添資料2「点検・評価・改善委員会規程」参照）</p> <p>本学では、教員の資質の維持、改善、向上を図るための組織として「点検・評価・改善委員会」を置いている。同委員会は、主として、以下の諸活動を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業アンケートの実施と自己評価報告書の作成依頼</li> <li>2. 学内公開授業の運営</li> <li>3. ファカルティ・ディベロップメントの実施</li> <li>4. 教育研究業績記録の作成</li> </ol> <p>本委員会は、全学的な組織であり、学群長（人間総合学群）、各学部長（人間健康学部・看護学部）、各教授会より選ばれた教員、事務職員により構成される。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 点検・評価・改善委員会は、基本的に、月の第3木曜日に開催している。</li> <li>2a. 平成29年度の開催状況を以下に記す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年 4月20日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席</li> <li>・平成29年 5月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員7名、職員1名、以上11名出席</li> <li>・平成29年 6月15日 委員長、人文学部長、他教員6名、職員1名、以上9名出席</li> <li>・平成29年10月19日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席</li> <li>・平成29年11月16日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席</li> <li>・平成29年12月21日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席</li> <li>・平成30年 1月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員5名、職員1名、以上9名出席</li> </ul> </li> <li>2b. 平成30年度の開催状況を以下に記す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年 4月19日 委員長、学群長・学部長2名、他教員9名、職員2名、以上15名出席</li> <li>・平成30年 5月17日 委員長、学群長・各学部2名、他教員9名、職員2名、以上15名出席</li> <li>・平成30年 6月14日 委員長、学群長・学部長1名、他教員9名、職員2名、以上14名出席</li> <li>・平成30年 7月19日 委員長、学群長・学部長1名、他教員10名、職員2名、以上15名出席</li> <li>・平成30年 9月20日 委員長、学群長・学部長1名、他教員10名、職員1名、以上14名出席</li> <li>・平成30年10月18日 委員長、学群長・学部長1名、他教員8名、職員2名、以上13名出席</li> <li>・平成30年11月15日 委員長、学群長・学部長1名、他教員11名、職員2名、以上16名出席</li> <li>・平成30年12月20日 委員長、学群長・学部長1名、他教員9名、職員2名、以上14名出席</li> <li>・平成30年 1月17日 委員長、学群長・学部長1名、他教員8名、職員1名、以上12名出席</li> </ul> </li> </ol>
---

c 委員会の審議事項等

1. 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
2. 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
3. その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

上記3の具体的内容として、授業アンケート、学内公開授業、卒業年次アンケート、FD・SD活動の実施、FD分科会の統括、研究費傾斜配分、外部機関開催のFD研修会案内等があげられる。

② 実施状況

a 実施内容

1. 学内公開授業
2. ファカルティ・ディベロップメント
3. 教育研究業績記録の作成

b 実施方法

1. 学内公開授業

本学では、前期と後期に各1回、2週間にわたり、専任教員を中心とした学内授業公開期間を設けている。参観者は、見学した授業に対する意見書を自己の名前を付して提出する。

2. ファカルティ・ディベロップメント

本学では、「点検・評価・改善委員会」が中心となり、教職員を対象としたFD研修会を、毎年1回もしくは2回実施する。FD研修会は、専任教員全員参加を原則とし、終了後の報告を義務付ける。さらに、学類、学科の枠をこえ、類似する専門分野の教員が集まり、よりよい授業への改善を目的に、独自のFD分科会（必修英語の研究・第二外国語分科会・ICT教育検討会等）を展開させている。平成29年度は15の分科会が、平成30年度は22の分科会が稼働中である。分科会の1年間の成果は、年度末に教育研究支援課に提出され、記録を保管している。

3. 教育研究業績記録の作成

本学では、全専任教員が教育研究業績を毎年度更新している。これは、所定の形式にのっとり、「教育実践上の主な業績」「作成した教科書・教材・参考書」「教育活動上特記すべき事項」「研究活動」「学会等社会における主な活動」等の項目をまとめ、年度末に提出するというものである。教員は、これを、教育内容の見直しを図るための一助として活用している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1 a. 学内公開授業（平成29年度実績）

前期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 156  
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 45  
（参考 兼任講師8名参加 公開授業総数19）

後期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 132  
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 42  
（参考 兼任講師4名参加 公開授業数 5）

1 b. 学内公開授業（平成30年度実績）

前期（平成30年6月11日～6月23日）

人文学部・人間総合学群 公開授業総数 143 参観者総数 110  
人間健康学部 公開授業総数 29 参観者総数 7  
看護学部 公開授業数 0 参観者総数 0  
（参考 兼任講師 公開授業総数 19 参観者総数 9）

後期（平成30年11月19日～12月1日）

人文学部・人間総合学群 公開授業総数 127 参観者総数 81  
人間健康学部 公開授業総数 28 参観者総数 4  
看護学部 公開授業総数 18 参観者総数 7  
（参考 兼任講師 公開授業総数 11 参観者総数 8）

2 a. ファカルティ・ディベロップメント（平成29年度実績）

1. 平成29年6月29日

研修会講演 五味洋一「大学における障害学生への合理的配慮を考える2」

参加状況 人文学部 専任教員64名中59名出席 5名（録画視聴） 全員アンケート提出  
人間健康学部 専任教員16名中13名出席 3名（録画視聴） 全員アンケート提出

2. 平成30年2月15日

研修会講演 中谷隆文「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」

田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」

参加状況 人文学部 専任教員64名中58名出席 出席者全員アンケート提出  
人間健康学部 専任教員16名中13名出席 出席者全員アンケート提出

3. 平成30年3月8日（2月15日不参加者がいたため再度同内容で開催、ただし講演者1名）  
研修会講演 田上慧子「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」  
田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」  
参加状況 人文学部 専任教員不参加者6名中4名出席 出席者全員アンケート提出  
人間健康学部 専任教員不参加者3名中1名出席 出席者全員アンケート提出  
再開不参加者 3名中2名資料を読みアンケート提出、3名中1名体調不良により完全不参加

2b. ファカルティ・ディベロップメント（平成30年度実績）

1. 平成30年7月26日

- 研修会講演 芝田剛志「SNSリスク対策研修会」  
参加状況 人文学部・人間総合学群 専任教員62名中55名出席、5名（録画視聴）、産休・休職2名  
参加者全員アンケート提出  
人間健康学部 専任教員16名中11名出席、5名（録画視聴） 参加者全員アンケート提出  
看護学部 専任教員22名中22名出席 出席者全員アンケート提出

2. 平成31年12月13日、12月20日（同一内容）

- 研修会講演 富士原光洋「シラバス作成と学修指針」  
参加状況 人文学部・人間総合学群 専任教員62名中59名出席、講演者1名、産休・休職2名  
出席者全員アンケート提出  
人間健康学部 専任教員16名中16名出席 アンケート提出15名（1名未提出）  
看護学部 専任教員22名中20名出席、育休2名 出席者全員アンケート提出

3. 平成31年2月14日

- 研修会講演 小川誠・富士原光洋「アセスメント・ポリシーと学修成果の把握」  
参加状況 人文学部・人間総合学群 専任教員62名中54名出席、講演者2名、産休・休職2名  
校務欠席4名（録画視聴） 参加者全員アンケート提出  
人間健康学部 専任教員16名中13名出席、2名（録画視聴）、1名欠席  
参加者全員アンケート提出  
看護学部 専任教員22名中18名出席、1名（録画視聴）、1名欠席、育休2名  
参加者全員アンケート提出

3. 教育研究業績記録の作成

平成29年度：人文学部、人間健康学部、専任教員全員提出。  
平成30年度：人間総合学群、人文学部、人間健康学部、看護学部、専任教員全員提出。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 学内公開授業

参観のあった授業担当者は、参観者からの意見書を他者評価として受け取り、授業改善に活用した。この制度は、参観者が自己の授業を改善するきっかけとしての役割も果たしている。

2. ファカルティ・ディベロップメント

平成29年度：前期研修会を通して、障害学生への支援の取り組み改善を促進させた。また、後期研修会を通して、本年度開設された人間総合学群の教育全般にわたる準備を図ることができた。  
平成30年度：前期研修会を通して、学生のSNSリスク対策への取り組みができた。また、後期の2度の研修会を通して、シラバス、アセスメント・ポリシー等、教育の質保証にかかわる内容について、認識を深めることができた。

3. 教育研究業績記録の作成

教育研究業績記録を作成することで、自己の教育研究の見直しを図る機会を得た。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、前期と後期の終わりに各1回、全学的な授業アンケートを実施し、その結果に基づく自己評価報告書の作成を専任教員に義務づけている。アンケートの項目は、学生自身の学修状況を問う3項目を含め、合計13項目で構成される。教員の授業内容を問う10項目のうち、5段階評価で3.0に満たない項目がある授業に関しては、評価が低かった原因を分析したうえで、報告書に改善計画を付記しなければならない。令和元年度以降は原則として全授業に対して授業アンケートを行う予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果をとりまとめた報告書は、本学図書館で教職員と学生に公開している。随時閲覧が可能である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

### (4) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

##### 1. 入学生確保

定員の確保へ向けて、学群・学類を紹介する大学案内冊子、リーフレットの作成、大学ホームページの更新、教職員の高校訪問、オープンキャンパスの開催などを行い、教育内容とアドミッション・ポリシーを入学希望者に周知させるように努めている。

平成30年度：本年度入学試験の結果は、入学定員370名に対して、入学志願者は1357名、入学者は458名、定員充足率は123.8%であった。入学者の内訳は、推薦、AO、外国人留学生入学試験入学者、264名、一般入学試験、センター試験利用入学試験入学者、194名である。この数値は、人間総合学群の母体となった人文学部の定員充足率が、平成29年度103.8%、平成28年度74.9%、平成27年度88.2%、であったのを大きく上回る。次年度も、入学志願者の数を減らさないように、広報活動を充実させていく。

令和元年度：本年度入学試験の結果は、入学定員370名に対して、入学志願者は1862名、入学者は466名、定員超過率は1.25倍であった。入学者の内訳は、推薦、AO、外国人留学生、帰国生徒入学試験入学者、259名、一般入学試験、センター試験利用入学試験入学者、207名（内学群入試入学者19名）、である。心理学類は、入学志願者410名、入学者数94名、倍率4.36、定員超過率1.17倍となった。同学類は、設置計画履行状況等調査の結果について（平成30年度）において、「入学定員超過の改善に努めること」との指摘を受けた。本年度は許容の範囲に収まる結果を出すことができた。

##### 2. 学群制の周知と学類への移行

平成30年度・令和元年度：新入生に対して、4月の授業開始前の4日間にわたり、オリエンテーションを行った。そこでは、本学の建学の精神、教育理念、学群・学類の教育目的と教育目標、教育課程の編成、学生生活全般について説明するとともに、専任教員の紹介、住空間デザイン学類希望者向け施設見学を実施した。また、授業の準備として、現在の学力を再確認するための、基礎学力テスト、英語クラス分けテストを入学者全員に課した。その他、奨学金の説明会、教職課程、学芸員養成課程のガイダンス、留学生へ向けての特別オリエンテーションを開催した。

令和元年度：専門教育センターの学類教育課程へ移行した2年次生については、1年次の11月下旬に各学類の専門教育に関する説明会を開催し、所属希望学類の確認と決定への周知を図った。観光文化学類へは69名が進学した。なお、希望学類への所属が確約されている学群入試入学生10名の進学の内訳は、人間文化学類1名、観光文化学類2名、心理学類3名、住空間デザイン学類4名であった。

##### 3. 初年次教育

人間総合学群は、初年次教育の柱として、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を置いている。基礎ゼミは、専任教員が担当し、授業担当者執筆教科書（駒沢女子大学教科書シリーズ）を使用する。全クラスが共通の教科書を使うことで、教育内容に一貫性を持たせる。本科目では、授業の受け方、講義録のとり方、本の読み方、資料の探し方、小論文の書き方、討論や口頭発表の仕方、グループ活動の進め方、大学の学修に必要な基本技術等を教えると同時に、大学生活になじむための企画も行う。

平成30年度は20クラス、令和元年度は21クラスを設け、ほぼ、1クラス20余名のクラス編成をとることができた。また、再履者（2年次生以降）に対しては、別のクラスを設けて対応した。

入門科目は、各学類の専門教育の内容を確認するための導入科目である。学生は、2年進級時、自分が2年次以降に所属する学類を再確認する（前年度の11月下旬）。本科目群は、入学当初の希望とは異なる学類を選ぶ学生が、興味を抱いた学類の学修内容を事前に知るためにも有益な科目である。学生には、個別対応のうえ、最適な入門科目を履修するよう指導した。

令和元年度は、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーションⅡ」「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」の内容を充実させ、入門科目12科目の運用に力を入れた。

初年次の必修科目である、「仏教学Ⅰ」「仏教学Ⅱ」に関して、平成30年度は就任を辞退した兼任講師の授業を専任教員がまかなうことで、予定通りのクラス編成と教育内容を維持することができた。令和元年度は担当間で授業内容と評価方法を再度見直し、建学の精神を学ぶ科目としての位置づけを再確認した。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・「自己点検・評価報告書」を令和2年5月に公表予定

- b 公表方法  
・大学ホームページ上に公表（令和2年5月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和元年度に大学基準協会の評価を受ける（別添資料3「2019年度大学評価に係る申請の受理について」参照）。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元 年 8 月 1 日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ 該当なし ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

7 その他全般的事項 別添資料 1

(人間総合学群 観光文化学類)					
科目区分	旧 (届出時)		新 (令和元年5月1日時点)		備考
	授業科目の名称	講義等の内容	授業科目の名称	講義等の内容	
人間総合学群 観光文化学類 教養教育科目	観光文化入門Ⅰ	観光は人々の余暇活動の中心的な位置を占めており、今後高齢化社会が進展し、生活の豊かさが求められる中で、観光の果たす役割はますます大きくなっていくと思われる。また、「観光立国」が推進されている現在、観光が国の経済や文化・国民の生活にもたらす効果も高まってきている。この授業では、観光の意義を考え、わが国の重要産業の一つとして成長した観光に関わる基本的な事項を広く学び、現在観光ビジネス分野で起きている問題や将来の課題を正しく理解する。	観光文化入門Ⅰ	<p>(概要)本講義は、「観光・文化・産業」という3つのキーワードを柱に構成されている。国と国を結ぶ「観光」を通じた国際人の育成、さらに「異文化理解」の観点から国境を越えた問題意識を共有できるグローバルな人材の育成を目標としている。</p> <p>(オムニバス方式・全15回)</p> <p>(加藤ナツ子／1回) 観光大国スペインのバスク地方に位置する「美食の街サン・セバスティアン」を例に、世界の文化を学ぶときには何に注目し、どのように学んでいったら良いかを考える。</p> <p>(羽鳥修／1回) 授業の前半ではニューヨーク州ニューヨーク市の歴史と地理について説明し、同市の歴史と地理の概略を把握してもらおう。また、授業の後半ではニューヨーク市マンハッタン区に着目して、グランドセントラル駅など幾つかの観光資源を紹介する。</p> <p>(田代真人／1回) 国内国外とも観光地やホテル、旅館の情報は、雑誌やネット、予約サイトなどでさまざまに紹介されている。それら観光地を紹介するメディアはどのような手順で作られているのか、その概要を解説する。</p> <p>( 杉野知恵 /2回) インバウンド観光客の増加に伴い、国内観光地において外国語による対応が一層重要になっていることを念頭に、観光の分野で使われる英語の特徴とその学び方を紹介する。2年次の「観光の英語Ⅰ」で行う観光客への英語インタビューを模擬体験する。</p> <p>(渡邊光章／2回) 観光のメディアについて、プリントメディアを事例にした観光業界における広告表現の現状を2回に分けて紹介する。その中で、メディアの見方、問題点、情報発信者としてのモラル等についても、グローバルな視点から広く解説する。</p> <p>(鮫島卓／3回) 前半は、観光が人間や社会に及ぼす影響や観光の教育効果、国際観光と訪日外国人観光の現状と課題を通して大交流時代における観光の役割と異文化理解の重要性について講義を行う。後半は、テーマパークの事例から観光ホスピタリティ産業のサービスマネジメントの仕組みについて講義を行う。</p> <p>(張景泰／3回) 「観光」と「関連産業」と題して、駒沢女子大学で学ぶ「観光学」、現代観光の「新たな動き」、「統合型リゾート(IR)」を中心にその概要と現況を解説する。</p> <p>( 渡邊光章・田代真人・杉野知恵・鮫島卓・張景泰 /2回)(共同) 1回の「授業概要・観光文化入門Ⅰの全体内容・評価方法の説明」と、15回の「学習内容の総括」を担当教員が共同で実行する。</p>	授業内容充実の理由による担当者変更、講義内容、講義方法(オムニバス)変更
	観光文化入門Ⅱ	観光事業とは、経済面のみならず、文化面・社会面など公共性の高い多様な側面で行われる活動を含む、観光に関わる事業を言い、「観光の意義・効果を高め、観光という社会的な現象を盛んにしようとする様々な活動」という概念を持っている。このような前提に立って、観光事業の意義を理解し、観光を構成する観光者・観光対象・観光媒体・観光行政という4つの要素から観光事業について具体的に考察する。また、観光産業を支える旅行・交通運輸・宿泊の3事業を中心に、観光産業の現状を理解し、今後の課題についても考察する。	観光文化入門Ⅱ	<p>(概要)観光事業の主体となる観光ホスピタリティ産業は、日本の成長産業としてまた地方創生の切り札として期待が高まる一方で、深刻な専門人材の不足に直面している。特に女性活躍・ダイバーシティ推進は、不可避の課題である。本科目では、旅行、航空、鉄道、ホテル、旅館、プライダル、ガイド事業において先進的な取り組みを行う企業の実務家をゲストスピーカーとして招き、業務・働き方・キャリアデザインに関する体験に基づいた話を担当教員とのディスカッション方式で直接聞く機会を設ける。2年次以降の専門科目や将来の進路設計への関心を喚起する契機となることが期待される。</p>	授業内容充実の理由による担当者変更、講義内容変更

## 7 その他全般的事項 別添資料3

30大基評第182号  
平成30年12月14日

駒沢女子大学  
学長 光田 督良 殿

公益財団法人 大学基準協会  
事務局長 工藤 潤



### 2019年度大学評価に係る申請の受理について

拝啓 寒冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本協会の事業推進のため、種々ご協力を賜り深謝申し上げます。

標記に関し、先般、貴大学より提出されました「大学評価申請書」を受理いたしました。つきましては、大学評価ハンドブック及び同封の「評価資料の準備チェックシート」に従って、提出が必要となる評価資料一式のご準備をお進めいただき、来年4月30日（火）必着でご提出くださるようお願い申し上げます。

なお、提出後の評価資料の差し替えは、原則として出来ませんので、内容等を十分に確認した上でご提出をお願いいたします。

敬 具

#### <連絡先>

評価事業部 評価第1課

TEL : 03-5228-2200 E-MAIL : daigaku@juua.or.jp



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人駒澤学園

## (2) 大学名

駒沢女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒206-8511  
東京都稲城市坂浜238番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成28年6月)		
学長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成23年4月)		
学群長	(ハトリ オサム) 羽鳥 修 (平成30年4月)		
学類長	(マツオカ ツトム) 松岡 努 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください）。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
人間総合学群 心理学類  学士(心理学)	文学関係	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80 (—) [若干名]	—	80 (—) [若干名]	—	( ) ( ) [ ]	1.30倍	—倍						
志願者数	334 (—) [5]	— (—) [—]	415 (—) [2]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]								
受験者数	328 (—) [4]	— (—) [—]	405 (—) [2]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]								
合格者数	256 (—) [4]	— (—) [—]	190 (—) [2]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]								
B 入学者数	114 (—) [3]	— (—) [—]	95 (—) [0]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]								
入学定員超過率 B/A	1.42		1.18										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	114 [ 3 ] ( - )	— [ — ] ( - )	95 [ 0 ] ( - )	— [ — ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	入学者のうち、人間総合学群一括入試による者は、按分して各学類に記載しており、全学生は、2年次進学時に学類を決定して収容する。	
2年次	/		110 [ 3 ] ( - )	— [ — ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )		
3年次			/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )		[ ] ( )
4年次							/		/			[ ] ( )
計			114 [ 3 ] ( - )	205 [ 3 ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )						[ ] ( )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	114 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	205 人	4 人	平成30年度	4 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、その他(2人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		4 人		4 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{114} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{205} = \boxed{1.95} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人間総合学群 心理学類>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年度教育科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			2	1	1			17	
	基礎ゼミⅡ	1後	1			2	1	1			17	
	小計(2科目)	—	2			2	1	1	0	0	17	
	建学の精神を学ぶ科目	仏教学Ⅰ	1前	2								4
		仏教学Ⅱ	1後	2								4
		仏教学Ⅲ	2前	2								1
		仏教学Ⅳ	2後	2								1
		駒沢女子大学入門	1前	2								6
		小計(5科目)	—	4	6	0	0	0	0	0	0	9
	入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前	2								2
		日本文化入門Ⅱ	1後	2								2
		人間関係入門Ⅰ	1前	2								3
人間関係入門Ⅱ		1後	2								3	
英語コミュニケーション入門Ⅰ		1前	2								6	
英語コミュニケーション入門Ⅱ		1後	2								6	
観光文化入門Ⅰ		1前	2								1	
観光文化入門Ⅱ		1後	2								1	
心理学入門Ⅰ		1前	2			1						
心理学入門Ⅱ		1後	2			1						
住空間デザイン入門Ⅰ		1前	2								3	
住空間デザイン入門Ⅱ		1後	2								3	
小計(12科目)	—	0	24	0	1	1	0	0	0	20		
人間総合学群 教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前	2								1	
	人間と思想Ⅱ	1後	2								1	
	人間と文化Ⅰ	1前	2								1	
	人間と文化Ⅱ	1後	2								1	
	生命の科学	1前	2								1	
	倫理学	1後	2								1	
	人権の基礎	1前	2								1	
	女性の人権	1後	2								1	
	心理学Ⅰ	1前	2								2	
	心理学Ⅱ	1後	2								2	
	生涯学習論Ⅰ	1前	2								1	
	生涯学習論Ⅱ	1後	2								1	
	社会福祉概論Ⅰ	1前	2								1	
	社会福祉概論Ⅱ	1後	2								1	
小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	8		
教養知科目	日本の歴史	1後	2								1	
	世界の歴史	1後	2								1	
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前	2								1	
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後	2								1	
	西洋文化史	1前	2								1	
	日本美術史	1前	2								1	
	比較文化	1後	2								1	
	日本の文化	1後	2								1	
	観光地理(日本)	1前	2								1	
	観光地理(世界)	1後	2								1	
	日本の文学	1前	2								1	
	ヨーロッパの文学	1後	2			1						
小計(12科目)	—	0	24	0	1	0	0	0	0	9		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初年度教育科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			6	3	1			18
	基礎ゼミⅡ	1後	1			6	3	1			18
	小計(2科目)	—	2			6	3	1	0	0	18
建学の精神を学ぶ科目	仏教学Ⅰ	1前	2								3
	仏教学Ⅱ	1後	2								3
	仏教学Ⅲ	2前	2								1
	仏教学Ⅳ	2後	2								1
	駒沢女子大学入門	1前	2								5
	小計(5科目)	—	4	6	0	0	0	0	0	0	7
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前	2								2
	日本文化入門Ⅱ	1後	2								2
	人間関係入門Ⅰ	1前	2								3
	人間関係入門Ⅱ	1後	2								3
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前	2								8
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後	2								8
	観光文化入門Ⅰ	1前	2								7
	観光文化入門Ⅱ	1後	2								2
	心理学入門Ⅰ	1前	2				1				
	心理学入門Ⅱ	1後	2			2					
	住空間デザイン入門Ⅰ	1前	2								3
	住空間デザイン入門Ⅱ	1後	2								3
小計(12科目)	—	29	24	0	2	1	0	0	0	28	
人間総合学群 教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前	2								1
	人間と思想Ⅱ	1後	2								1
	人間と文化Ⅰ	1前	2								1
	人間と文化Ⅱ	1後	2								1
	生命の科学	1後	2								1
	倫理学	1前	2								1
	人権の基礎	1前	2								1
	女性の人権	1後	2								1
	心理学Ⅰ	1前	2								2
	心理学Ⅱ	1後	2								2
	生涯学習論Ⅰ	1前	2								1
	生涯学習論Ⅱ	1後	2								1
	社会福祉概論Ⅰ	1前	2								1
	社会福祉概論Ⅱ	1後	2								1
小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	8	
教養知科目	日本の歴史	1後	2								1
	世界の歴史	1後	2								1
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前	2								1
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後	2								1
	西洋文化史	1前	2								1
	日本美術史	1前	2								1
	比較文化	1後	2								1
	日本の文化	1前	2								1
	観光地理(日本)	1前	2								1
	観光地理(世界)	1後	2								1
	日本の文学	1前	2								1
	ヨーロッパの文学	1後	2			1					
小計(12科目)	—	0	24	0	1	0	0	0	0	9	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間総合学群 教養知科目	日本の政治	1前	2								1
	世界の政治	1後	2								1
	政治と市民参加	1後	2								1
	日本の経済	1前	2								1
	世界の経済	1前	2								1
	新聞と報道	1後	2								1
	グローバル共生論	1後	2								1
	社会学	1前	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法 I	1前	2								1
	日本国憲法 II	1後	2								1
	社会学 I	1前	2								1
	社会学 II	1後	2								1
	数学の世界	1前	2								1
	物理の世界	1後	2								1
	生物と生命	1前	2								1
	地球と宇宙	1後	2								1
	物質と化学	1前	2								1
	情報と科学	1後	2								1
	色彩と科学	1前	2								1
小計(20科目)	—	0	40	0	0	0	0	0	0	0	12
人間総合学群 教養教育科目	ボランティア実習 I	1後	1								2
	ボランティア実習 II	2後	2								1
	海外英語研修 I	1後	2								7
	海外英語研修 II	2後	2								7
	国際協力実習	2前	1								1
	国際協力実習フォローアップ	2後	2								1
	小計(6科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	10
人間総合学群 実践知科目	進路設計	1後	2								3
	社会と教養演習A	2・3前	1								1
	社会と教養演習B	2・3前	1								1
	社会と教養演習C	2・3後	1								1
	社会と教養演習D	2・3後	1								1
	キャリアリテラシー	3前	2								1
	就業への知識と技能A	2・3前	2								1
	就業への知識と技能B	2・3後	2								1
小計(8科目)	—	2	10	0	0	0	0	0	0	6	
人間総合学群 健康体育科目	女性と健康 I	1前	2								1
	女性と健康 II	1後	2								1
	スポーツ I	1・2前	1								3
	スポーツ II	1・2後	1								3
	小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	4
人間総合学群 技法知科目	言語表現演習 I	1前	1								5
	言語表現演習 II	1後	1								5
	小計(2科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	5
人間総合学群 外国語育成科目	英語A I	1前	1								33
	英語A II	1後	1								25
	英語A III	2前	1								25
	英語A IV	2後	1								25
	英語B I	1前	1								25
	英語B II	1後	1								25
	英語B III	2前	1								25
	英語B IV	2後	1								25
	英会話 I	1前	1								3
	英会話 II	1後	1								3
	英会話 III	2前	1								1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間総合学群 教養知科目	日本の政治	1前	2								1
	世界の政治	1後	2								1
	政治と市民参加	1後	2								1
	日本の経済	1前	2								1
	世界の経済	1前	2								1
	新聞と報道	1後	2								1
	グローバル共生論	1後	2								1
	社会学	1前	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法 I	1前	2								1
	日本国憲法 II	1後	2								1
	社会学 I	1前	2								1
	社会学 II	1後	2								1
	数学の世界	1前	2								1
	物理の世界	1後	2								1
	生物と生命	1前	2								1
	地球と宇宙	1後	2								1
	物質と化学	1前	2								1
	情報と科学	1後	2								1
	色彩と科学	1前	2								1
小計(20科目)	—	0	40	0	0	0	0	0	0	0	13
人間総合学群 教養教育科目	ボランティア実習 I	1後	1								2
	ボランティア実習 II	2後	2								1
	海外英語研修 I	1後	2								7
	海外英語研修 II	2後	2								7
	国際協力実習	2前	1								1
	国際協力実習フォローアップ	2後	2								1
	小計(6科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	10
人間総合学群 実践知科目	進路設計	1後	2								3
	社会と教養演習A	2・3前	1								1
	社会と教養演習B	2・3前	1								1
	社会と教養演習C	2・3後	1								1
	社会と教養演習D	2・3後	1								1
	キャリアリテラシー	3前	2								1
	就業への知識と技能A	2・3前	2								1
	就業への知識と技能B	2・3後	2								1
小計(8科目)	—	2	10	0	0	0	0	0	0	7	
人間総合学群 健康体育科目	女性と健康 I	1前	2								1
	女性と健康 II	1後	2								1
	スポーツ I	1・2前	1								2
	スポーツ II	1・2後	1								2
	小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	4
人間総合学群 技法知科目	言語表現演習 I	1前	1								6
	言語表現演習 II	1後	1								6
	小計(2科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	6
人間総合学群 外国語育成科目	英語A I	1前	1								15
	英語A II	1後	1								15
	英語A III	2前	1								15
	英語A IV	2後	1								15
	英語B I	1前	1								15
	英語B II	1後	1								15
	英語B III	2前	1								15
	英語B IV	2後	1								15
	英会話 I	1前	1								4
	英会話 II	1後	1								4
	英会話 III(未開講)	2前	1								1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間総合学群 教養教育科目	英会話Ⅳ	2後	1								1
	Receptive English I	1・2前	1								1
	Receptive English II	1・2後	1								1
	Productive English I	1・2前	1								1
	Productive English II	1・2後	1								1
	English Summer Seminar	2・3前	1								2
	フランス語Ⅰ	1前	1		1						1
	フランス語Ⅱ	1後	1		1						1
	フランス語Ⅲ	2前	1		1						1
	フランス語Ⅳ	2後	1		1						1
	ドイツ語Ⅰ	1前	1		1						1
	ドイツ語Ⅱ	1後	1		1						1
	ドイツ語Ⅲ	2前	1		1						1
	ドイツ語Ⅳ	2後	1		1						1
	スペイン語Ⅰ	1前	1								2
	スペイン語Ⅱ	1後	1								2
	スペイン語Ⅲ	2前	1								2
	スペイン語Ⅳ	2後	1								2
	中国語Ⅰ	1前	1		1						1
	中国語Ⅱ	1後	1		1						1
中国語Ⅲ	2前	1		1						1	
中国語Ⅳ	2後	1		1						1	
小計(33科目)	—	—	8	25	0	3	0	0	0	0	34
情報力育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1			1					5
	コンピュータ演習Ⅱ	1後	1			1					5
	コンピュータ演習Ⅲ	2前	1			1					1
	コンピュータ演習Ⅳ	2後	1			1					1
	小計(4科目)	—	—	2	2	0	0	1	0	0	0
特設科目	日本語AⅠ	1前	1								1
	日本語BⅠ	1前	1								1
	日本語AⅡ	1後	1								1
	日本語BⅡ	1後	1								1
	日本語AⅢ	2前	1								1
	日本語BⅢ	2前	1								1
	日本語AⅣ	2後	1								1
	日本語BⅣ	2後	1								1
	日本事情Ⅰ	1前	2								1
	日本事情Ⅱ	1後	2								1
	日本事情Ⅲ	2前	2								1
	日本事情Ⅳ	2後	2								1
	小計(12科目)	—	—	16	0	0	0	0	0	0	0
人間総合学群 心理学類 専門教育科目	心理学の基礎	2前	2			3	2				3
	心理学実験実習Ⅰ	2前	2			1					3
	心理学実験実習Ⅱ	2後	2			1					3
	心理学研究法Ⅰ	3前	2			1					
	心理学研究法Ⅱ	3後	2			1					
	臨床心理学Ⅰ	2前	2			1					
	臨床心理学Ⅱ	2後	2			1					
	心理統計法Ⅰ	2前	2								1
	心理統計法Ⅱ	2後	2								1
	心理学英語講読	3後	2								1
	小計(10科目)	—	—	10	10	0	5	2	0	0	0

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間総合学群 教養教育科目	英会話Ⅳ	2後	1									1
	Receptive English I	1・2前	1									1
	Receptive English II	1・2後	1									1
	Productive English I	1・2前	1									1
	Productive English II	1・2後	1									1
	English Summer Seminar	2・3前	1									2
	フランス語Ⅰ	1前	1			1						1
	フランス語Ⅱ	1後	1			1						1
	フランス語Ⅲ	2前	1			1						1
	フランス語Ⅳ	2後	1			1						1
	ドイツ語Ⅰ	1前	1			1						1
	ドイツ語Ⅱ	1後	1			1						1
	ドイツ語Ⅲ	2前	1			1						1
	ドイツ語Ⅳ	2後	1			1						1
	スペイン語Ⅰ	1前	1									2
	スペイン語Ⅱ	1後	1									2
	スペイン語Ⅲ	2前	1									1
	スペイン語Ⅳ	2後	1									1
	中国語Ⅰ	1前	1									2
	中国語Ⅱ	1後	1									2
中国語Ⅲ	2前	1									1	
中国語Ⅳ	2後	1									1	
小計(33科目)	—	—	8	25	0	1	0	0	0	0	0	37
情報力育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1					1				5
	コンピュータ演習Ⅱ	1後	1					1				5
	コンピュータ演習Ⅲ	2前	1									1
	コンピュータ演習Ⅳ	2後	1									1
	小計(4科目)	—	—	2	2	0	0	1	0	0	0	0
特設科目	日本語AⅠ	1前	1									1
	日本語BⅠ	1前	1									1
	日本語AⅡ	1後	1									1
	日本語BⅡ	1後	1									1
	日本語AⅢ	2前	1									1
	日本語BⅢ	2前	1									1
	日本語AⅣ	2後	1									1
	日本語BⅣ	2後	1									1
	日本事情Ⅰ	1前	2									1
	日本事情Ⅱ	1後	2									1
	日本事情Ⅲ	2前	2									1
	日本事情Ⅳ	2後	2									1
	小計(12科目)	—	—	16	0	0	0	0	0	0	0	0
人間総合学群 心理学類 専門教育科目	心理学の基礎	2前	2			3	2					3
	心理学実験Ⅰ	2前	2									3
	心理学実験Ⅱ	2後	2									3
	心理学研究法Ⅰ	3前	2			1						
	心理学研究法Ⅱ	3後	2			1						
	臨床心理学Ⅰ	2前	2			1						
	臨床心理学Ⅱ	2後	2			1						
	心理統計法Ⅰ	2前	2									1
	心理統計法Ⅱ	2後	2									1
	心理学英語講読	3後	2									1
	小計(10科目)	—	—	10	10	0	5	2	0	0	0	0

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
現代心理学関連科目	認知心理学	2・3前	2								1	
	言語心理学	2・3・4後	2								1	
	人格心理学Ⅰ	2前	2			1						
	人格心理学Ⅱ	2後	2			1						
	神経心理学	2・3・4前	2								1	
	社会心理学Ⅰ	2前	2								1	
	家族心理学	2・3後	2		1							
	教育心理学	2・3・4前	2					1				
	発達心理学Ⅰ	2前	2			1						
	発達心理学Ⅱ	2後	2			1						
	高齢者心理学	2・3・4後	2								1	
	障害者援助論	2・3・4前	2								1	
	比較行動学	2・3・4後	2								1	
	発達臨床	2・3・4後	2								1	
	社会心理学Ⅱ	2後	2								1	
	現代心理学実習	3前	2			1	1					
小計(16科目)	—	0	32	0	2	2	1	0	0	0	6	
人間総合学群 心理学類	心理検査法Ⅰ	3・4前	2								1	
	心理検査法Ⅱ	3・4後	2								1	
	対人援助論Ⅰ	3・4前	2								1	
	対人援助論Ⅱ	3・4後	2								1	
	心理療法論Ⅰ	3・4前	2			1						
	心理療法論Ⅱ	3・4後	2			1						
	臨床心理学実習	3前・後	2								1	
	小計(7科目)	—	0	14	0	2	0	0	0	0	0	4
	健康心理学	2・3・4後	2								1	
	社会福祉援助論	2・3・4後	2								1	
臨床心理学関連科目	学校心理学	2・3・4前	2								1	
	犯罪心理学Ⅰ	2・3前	2			1						
	犯罪心理学Ⅱ	2・3後	2			1						
	産業心理学	2・3・4後	2				1					
	消費者心理学	2・3・4前	2								1	
	コミュニティ心理学	2・3・4後	2			1						
	スポーツ心理学	2・3・4後	2								1	
	小計(9科目)	—	0	18	0	2	1	0	0	0	0	5
	医療心理学	2・3・4前	2								1	
	精神医学	2・3・4前	2								1	
専門ゼミ科目	精神病理学	2・3・4前	2			1						
	カウンセリング論	2・3・4後	2					1				
	文芸と心理	2・3・4前	2			1						
	言葉と心理	2・3・4後	2			2						
	小計(6科目)	—	0	12	0	4	0	1	0	0	0	2
	現代心理学ゼミⅠ	3前	1			2	2					
臨床心理学ゼミⅠ	3前	1			2	2						
現代心理学ゼミⅡ	3後	1			2	2						
臨床心理学ゼミⅡ	3後	1			2	2						
現代心理学ゼミⅢ	4前	1			3		1					
臨床心理学ゼミⅢ	4前	1			3		1					
現代心理学ゼミⅣ	4後	1			3		1					
臨床心理学ゼミⅣ	4後	1			3		1					
卒業論文	4通	4			5	2	1					
小計(9科目)	—	0	12	0	5	2	1	0	0	0	0	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎心理学	知覚・認知心理学	2・3前	2									1
	学習・言語心理学	2・3後	2									1
	感情・人格心理学	2・3前	2									1
	廃止											
	神経・生理心理学	2・3前	2									1
	社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ)	2・3前	2									1
	家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	2・3後	2			1						
	廃止											
	発達心理学Ⅰ	2・3前	2									1
	廃止											
	発達心理学Ⅱ(高齢者心理学)	2・3後	2									1
	障害者・障害児心理学	2・3後	2									1
	比較行動学	2・3前	2									1
発達臨床	2・3後	2									1	
対人関係論	2・3後	2									1	
現代心理学実習	3前	2			1	1						
小計(13科目)	—	0	32	0	2	1	0	0	0	0	0	8
実践心理学A	心理的アセスメントⅠ	3・4前	2									1
	心理的アセスメントⅡ	3・4後	2									1
	心理学的支援法Ⅰ	3・4前	2									1
	心理学的支援法Ⅱ	3・4後	2									1
	心理療法論Ⅰ	3・4前	2			1						
	心理療法論Ⅱ	3・4後	2			1						
	臨床心理学実習	3後	2									1
小計(7科目)	—	0	14	0	2	0	0	0	0	0	0	4
実践心理学B	健康・医療心理学	2・3・4後	2									1
	福祉心理学	2・3・4前	2									1
	教育・学校心理学	2・3・4前	2									1
	司法・犯罪心理学	2・3・4前	2			1						
	廃止											
	産業・組織心理学	2・3・4後	2									1
	消費者心理学	2・3・4前	2									1
	コミュニティ心理学	2・3・4後	2			1						
スポーツ心理学	2・3・4後	2									1	
小計(8科目)	—	0	18	0	2	0	0	0	0	0	0	6
心理学関連科目	人体の構造と機能及び疾病	2・3・4後	2									1
	精神疾患とその治療	2・3・4後	2									1
	精神病理学	2・3・4前	2			1						
	教育相談	2・3・4後	2					1				
	文芸と心理	2・3・4後	2			1						
	言葉と心理	2・3・4後	2			2						
小計(6科目)	—	0	12	0	4	0	1	0	0	0	0	2
専門ゼミ科目	心理学ゼミⅠ	3前	1			5	2	1				
	心理学ゼミⅡ	3後	1			5	2	1				
	心理学ゼミⅢ	4前	1			5	2	1				
	心理学ゼミⅣ	4後	1			5	2	1				
	卒業論文	4通	4			5	2	1				
小計(5科目)	—	4	4	0	5	2	1	0	0	0	0	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本科目	学外実習	3後		1		2	2					
	小計(1科目)	—	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0
省令必修科目	生涯学習論 I	1前		2								1
	博物館概論	1後			2							1
	博物館資料論	2前			2							1
	博物館展示論	2後			2							1
	博物館資料保存論	3前			2							1
	博物館経営論	3後			2							1
	博物館教育論	2・3前			2							1
	博物館情報・メディア論	2・3後			2							1
	博物館実習A(見学実習)	2通			1							2
	博物館実習B(実務実習)	3通			1							3
	博物館実習C(館園実習)	4通			1							2
小計(11科目)	—	0	2	17	0	0	0	0	0	0	6	
博物館学芸員養成課程科目	日本美術史	1前		2								1
	西洋文化史	1前		2								1
	日本文化史 I	2前		2								1
	日本文化史 II	2後		2								1
	地域文化概論	2前		2								1
	世界遺産研究	2前		2		1						1
	世界のミュージアム	2・3前		2								2
	日本のミュージアム	2・3後		2								1
	西洋美術の旅 I	2・3前		2								1
	西洋美術の旅 II	2・3後		2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	1	0	0	0	0	0	10	
専攻選択必修科目	日本の文化財 I	2・3前		2								1
	日本の文化財 II	2・3後		2								1
	歴史資料論	2・3前		2								1
	民俗資料論	2・3後		2								1
	歴史考古学	2・3前		2								1
	歴史地理学	2・3後		2								1
	文化交流史 I	2・3前		2								1
	文化交流史 II	2・3後		2								1
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	6	
合計(221科目)	—	46	312	17	8	3	1	0	0	0	124	
卒業要件及び履修方法												
・人間総合学群 教養教育科目(全学類共通):必修科目20単位(初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目)、選択必修科目16単位(入門科目、教養知科目)を含め教養教育科目から36単位以上履修すること。 ・心理学類 専門教育科目:必修科目10単位(基本科目)、選択必修科目14単位(現代心理学関連科目、臨床心理学関連科目、専門ゼミ科目)を含め62単位以上履修すること。 ・以上、教養教育科目(36単位以上)、専門教育科目(62単位以上)、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること。 ・履修科目の登録上限46単位(年間)												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
公認心理師関連科目	公認心理師の職責	3前		2		4	1	1				
	関係行政論	3後		2		4	1	1				
	心理演習	4前		2								1
	心理実習	4後		2		5	2	1				
小計(4科目)	—	0	8	0	5	2	1	0	0	0	1	
省令必修科目	生涯学習論 I	1前		2								1
	博物館概論	1後			2							1
	博物館資料論	2前			2							1
	博物館展示論	2後			2							1
	博物館資料保存論	3前			2							1
	博物館経営論	3後			2							1
	博物館教育論	2・3前			2							1
	博物館情報・メディア論	2・3後			2							1
	博物館実習A(見学実習)	2通			1							2
	博物館実習B(実務実習)	3通			1							3
	博物館実習C(館園実習)	4通			1							3
小計(11科目)	—	0	2	17	0	0	0	0	0	0	6	
博物館学芸員養成課程科目	日本美術史	1前		2								1
	西洋文化史	1前		2								1
	日本文化史 I	2前		2								1
	日本文化史 II	2後		2								1
	地域文化概論	2前		2								1
	世界遺産研究	2前		2		1						1
	世界のミュージアム	2・3前		2								2
	日本のミュージアム	2・3後		2								1
	西洋美術の旅 I(未開講)	2・3前		2								1
	西洋美術の旅 II(未開講)	2・3後		2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	1	0	0	0	0	0	10	
専攻選択必修科目	日本の文化財 I	2・3前		2								1
	日本の文化財 II	2・3後		2								1
	歴史資料論	2・3前		2								2
	民俗資料論	2・3後		2								2
	歴史考古学	2・3前		2								1
	歴史地理学	2・3後		2								1
	文化交流史 I	2・3前		2								1
	文化交流史 II	2・3後		2								1
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	6	
合計(216科目)	—	50	308	17	8	3	1	0	0	0	136	
卒業要件及び履修方法												
・人間総合学群 教養教育科目(全学類共通):必修科目20単位(初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目)、選択必修科目16単位(入門科目、教養知科目)を含め教養教育科目から36単位以上履修すること。 ・心理学類 専門教育科目:必修科目14単位(基本科目、専門ゼミ科目)を含め62単位以上履修すること。 ・以上、教養教育科目(36単位以上)、専門教育科目(62単位以上)、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること。 ・履修科目の登録上限46単位(年間)												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次教育科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			2	1	1				16	
	基礎ゼミⅡ	1後	1			2	1	1				16	
	小計(2科目)	—	2	0	0	2	1	1	0	0		16	
	建学の精神を学ぶ科目	仏教学Ⅰ	1前	2									3
		仏教学Ⅱ	1後	2									3
		仏教学Ⅲ	2前		2								1
		仏教学Ⅳ	2後		2								1
		駒沢女子大学入門	1前		2								6
		小計(5科目)	—	4	6	0	0	0	0	0	0		8
	入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2								2
		日本文化入門Ⅱ	1後		2								2
		人間関係入門Ⅰ	1前		2								3
人間関係入門Ⅱ		1後		2								3	
英語コミュニケーション入門Ⅰ		1前		2								7	
英語コミュニケーション入門Ⅱ		1後		2								7	
観光文化入門Ⅰ		1前		2								1	
観光文化入門Ⅱ		1後		2								1	
心理学入門Ⅰ		1前		2			1						
心理学入門Ⅱ		1後		2		2							
住空間デザイン入門Ⅰ		1前		2								3	
住空間デザイン入門Ⅱ		1後		2								3	
小計(12科目)	—	0	24	0	2	1	0	0	0		21		
人間総合学群 教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前		2								1	
	人間と思想Ⅱ	1後		2								1	
	人間と文化Ⅰ	1前		2								1	
	人間と文化Ⅱ	1後		2								1	
	生命の科学	1前		2								1	
	倫理学	1後		2								1	
	人権の基礎	1前		2								1	
	女性の人権	1後		2								1	
	心理学Ⅰ	1前		2								2	
	心理学Ⅱ	1後		2								2	
	生涯学習論Ⅰ	1前		2								1	
	生涯学習論Ⅱ	1後		2								1	
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2								1	
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2								1	
小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0		8		
文化と歴史を学ぶ科目	日本の歴史	1後		2								1	
	世界の歴史	1後		2								1	
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前		2								1	
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後		2								1	
	西洋文化史	1前		2								1	
	日本美術史	1前		2								1	
	比較文化	1後		2								1	
	日本の文化	1後		2								1	
	観光地理(日本)	1前		2								1	
	観光地理(世界)	1後		2								1	
	日本の文学	1前		2								1	
	ヨーロッパの文学	1後		2		1						1	
小計(12科目)	—	0	24	0	1	0	0	0	0		9		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会と自然を学ぶ科目	日本の政治	1前	2								1
	世界の政治	1後	2								1
	政治と市民参加	1後	2								1
	日本の経済	1前	2								1
	世界の経済	1前	2								1
	新聞と報道	1後	2								1
	グローバル共生論	1後	2								1
	法学	1前	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法 I	1前	2								1
	日本国憲法 II	1後	2								1
	社会学 I	1前	2								1
	社会学 II	1後	2								1
	数学の世界	1前	2								1
	物理の世界	1後	2								1
	生物と生命	1前	2								1
	地球と宇宙	1後	2								1
	物質と化学	1前	2								1
	情報と科学	1後	2								1
	色彩と科学	1前	2								1
小計(20科目)	—	0	40	0	0	0	0	0	0	0	12
実習科目	ボランティア実習 I	1後	1								2
	ボランティア実習 II	2後	2								1
	海外英語研修 I	1後	2								7
	海外英語研修 II	2後	2								7
	国際協力実習	2前	1								1
	国際協力実習フォローアップ	2後	2								1
小計(6科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10
実践科目	進路設計	1後	2								3
	社会と教養演習A	2・3前	1								1
	社会と教養演習B	2・3前	1								1
	社会と教養演習C	2・3後	1								1
	社会と教養演習D	2・3後	1								1
	キャリアアトランシー	3前	2								1
	就業への知識と技能A	2・3前	2								1
	就業への知識と技能B	2・3後	2								1
小計(8科目)	—	2	10	0	0	0	0	0	0	0	6
健康体育科目	女性と健康 I	1前	2								1
	女性と健康 II	1後	2								1
	スポーツ I	1・2前	1								3
	スポーツ II	1・2後	1								3
小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	4
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前	1								5
	言語表現演習 II	1後	1								5
	小計(2科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	5
外国語育成科目	英語A I	1前	1								15
	英語A II	1後	1								15
	英語A III	2前	1								25
	英語A IV	2後	1								25
	英語B I	1前	1								14
	英語B II	1後	1								14
	英語B III	2前	1								25
	英語B IV	2後	1								25
	英会話 I	1前	1								4

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間総合学群 教養教育科目	英会話Ⅱ	1後	1								4	
	英会話Ⅲ	2前	1								1	
	英会話Ⅳ	2後	1								1	
	Receptive English I	1・2前	1								1	
	Receptive English II	1・2後	1								1	
	Productive English I	1・2前	1								1	
	Productive English II	1・2後	1								1	
	English Summer Seminar	2・3前	1								2	
	フランス語Ⅰ	1前	1		1						1	
	フランス語Ⅱ	1後	1		1						1	
	フランス語Ⅲ	2前	1		1						1	
	フランス語Ⅳ	2後	1		1						1	
	ドイツ語Ⅰ	1前	1								1	
	ドイツ語Ⅱ	1後	1								1	
	ドイツ語Ⅲ	2前	1		1						1	
	ドイツ語Ⅳ	2後	1		1						1	
	スペイン語Ⅰ	1前	1								2	
	スペイン語Ⅱ	1後	1								2	
	スペイン語Ⅲ	2前	1								2	
	スペイン語Ⅳ	2後	1								2	
	中国語Ⅰ	1前	1		1						1	
	中国語Ⅱ	1後	1		1						1	
	中国語Ⅲ	2前	1		1						1	
	中国語Ⅳ	2後	1		1						1	
	小計(33科目)	—	8	25	0	2	0	0	0	0	35	
	情報力育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1			1					5
		コンピュータ演習Ⅱ	1後	1			1					5
		コンピュータ演習Ⅲ	2前	1			1					
		コンピュータ演習Ⅳ	2後	1			1					
		小計(4科目)	—	2	2	0	0	1	0	0	0	5
	特設科目	日本語AⅠ	1前	1								1
		日本語BⅠ	1前	1								1
		日本語AⅡ	1後	1								1
日本語BⅡ		1後	1								1	
日本語AⅢ		2前	1								1	
日本語BⅢ		2前	1								1	
日本語AⅣ		2後	1								1	
日本語BⅣ		2後	1								1	
日本事情Ⅰ		1前	2								1	
日本事情Ⅱ		1後	2								1	
日本事情Ⅲ		2前	2								1	
日本事情Ⅳ		2後	2								1	
小計(12科目)	—	16	0	0	0	0	0	0	0	3		
人間総合学群 心理学類 専門教育科目	心理学の基礎	2前	2			3	2				3	
	心理学実験Ⅰ	2前	2			1					3	
	心理学実験Ⅱ	2後	2			1					3	
	心理学研究法Ⅰ	3前	2			1						
	心理学研究法Ⅱ	3後	2			1						
	心理学概論	2前	2		1							
	臨床心理学概論	2前	2		1							
	廃止											
	心理学統計法	2前	2								1	
	心理データ解析法	2後	2								1	
心理学英語講読	3後	2								1		
小計(10科目)	—	10	10	0	5	2	0	0	0	4		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎心理学	知覚・認知心理学	2・3前	2									1
	学習・言語心理学	2・3後	2									1
	感情・人格心理学	2・3前	2			1						
	廃止											
	神経・生理心理学	2・3前	2									1
	社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学I)	2・3前	2									1
	家族心理学(社会・集団・家族心理学II)	2・3後	2		1							
	廃止											
	発達心理学I	2・3前	2			1						
	廃止											
	発達心理学II(高齢者心理学)	2・3後	2									1
	障害者・障害児心理学	2・3前	2									1
	比較行動学	2・3後	2									1
発達臨床	2・3後	2									1	
対人関係論	2・3後	2									1	
現代心理学実習	3前	2			1	1						
小計(13科目)	—	0	32	0	2	1	0	0	0	0	6	
実践心理学A	心理的アセスメントI	3・4前	2									1
	心理的アセスメントII	3・4後	2									1
	心理学的支援法I	3・4前	2									1
	心理学的支援法II	3・4後	2									1
	心理療法論I	3・4前	2			1						
	心理療法論II	3・4後	2			1						
	臨床心理学実習	3後	2									1
小計(7科目)	—	0	14	0	2	0	0	0	0	0	4	
実践心理学B	健康・医療心理学	2・3・4後	2									1
	福祉心理学	2・3・4後	2									1
	教育・学校心理学	2・3・4前	2									1
	司法・犯罪心理学	2・3・4前	2			1						
	廃止											
	産業・組織心理学	2・3・4後	2				1					
	消費者心理学	2・3・4前	2									1
	コミュニティ心理学	2・3・4後	2			1						
スポーツ心理学	2・3・4後	2									1	
小計(8科目)	—	0	18	0	2	1	0	0	0	0	5	
心理学関連科目	人体の構造と機能及び疾病	2・3・4前	2									1
	精神疾患とその治療	2・3・4前	2									1
	精神病学	2・3・4前	2			1						
	教育相談	2・3・4後	2					1				
	文芸と心理	2・3・4前	2			1						
	言葉と心理	2・3・4後	2			2						
小計(6科目)	—	0	12	0	4	0	1	0	0	0	2	
専門ゼミ科目	心理学ゼミI	3前	1			5	2	1				
	心理学ゼミII	3後	1			5	2	1				
	心理学ゼミIII	4前	1			5	2	1				
	心理学ゼミIV	4後	1			5	2	1				
	卒業論文	4通	4			5	2	1				
	小計(5科目)	—	4	4	0	5	2	1	0	0	0	0

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
公認心理師関連科目	公認心理師の職責	3前		2		4	1	1				
	関係行政論	3後		2		4	1	1				
	心理演習	4前		2								1
	心理実習	4後		2		5	2	1				
	小計(4科目)	—	0	8	0	5	2	1	0	0	0	1
省令必修科目	生涯学習論 I	1前		2								1
	博物館概論	1後			2							1
	博物館資料論	2前			2							1
	博物館展示論	2後			2							1
	博物館資料保存論	3前			2							1
	博物館経営論	3後			2							1
	博物館教育論	2・3前			2							1
	博物館情報・メディア論	2・3後			2							1
	博物館実習A(見学実習)	2通			1							2
	博物館実習B(実務実習)	3通			1							2
	博物館実習C(館園実習)	4通			1							3
小計(11科目)	—	0	2	17	0	0	0	0	0	0	6	
基礎選択必修科目	日本美術史	1前		2								1
	西洋文化史	1前		2								1
	日本文化史 I	2前		2								1
	日本文化史 II	2後		2								1
	地域文化概論	2前		2								1
	世界遺産研究	2前		2								1
	世界のミュージアム	2・3前		2		1						2
	日本のミュージアム	2・3後		2								1
	西洋美術の旅 I	2・3前		2								1
	西洋美術の旅 II	2・3後		2								1
小計(10科目)	—	0	20	0	1	0	0	0	0	0	10	
専攻選択必修科目	日本の文化財 I	2・3前		2								1
	日本の文化財 II	2・3後		2								1
	歴史資料論	2・3前		2								1
	民俗資料論	2・3後		2								1
	歴史考古学	2・3前		2								1
	歴史地理学	2・3後		2								1
	文化交流史 I	2・3前		2								1
	文化交流史 II	2・3後		2								1
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	6	
合計(216科目)	—	50	308	17	8	3	1	0	0	0	123	

卒業要件及び履修方法

・人間総合学群 教養教育科目(全学類共通):必修科目20単位(初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目)、選択必修科目16単位(入門科目、教養知科目)を含め教養教育科目から36単位以上履修すること。

・心理学類 専門教育科目:必修科目14単位(基本科目、専門ゼミ科目)を含め62単位以上履修すること。

・以上、教養教育科目(36単位以上)、専門教育科目(62単位以上)、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること。

・履修科目の登録上限46単位(年間)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・兼任講師体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」の兼任・兼任教員を、「17」から「16」に変更。
- ・兼任講師体調不良の理由により、「基礎ゼミⅡ」の兼任・兼任教員を、「17」から「16」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」の教員配置を、兼任・兼任「4(内訳兼任2・兼任2)」から「3(内訳兼任1・兼任2)」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼任「4(内訳兼任2・兼任2)」から「3(内訳兼任1・兼任2)」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任「6」から「7」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任「6」から「7」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「1」から「2」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅠ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅡ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅠ」の兼任・兼任教員を、「25」から「14」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅡ」の兼任・兼任教員を、「25」から「14」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・専任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」の教員配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「1」(専任1人分の担当コマ数増)に変更。
- ・専任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」の教員配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「1」(専任1人分の担当コマ数増)に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学実験実習Ⅰ」を「心理学実験Ⅰ」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学実験実習Ⅱ」を「心理学実験Ⅱ」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学概論」(配当年次「2前」、単位数選択「2」、専任教員等の配置、教授「1」)の科目追加。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「臨床心理学Ⅰ」を「臨床心理学概論」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理統計法Ⅰ」を「心理統計法」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理統計法Ⅱ」を「心理データ解析法」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「認知心理学」を「知覚・認知心理学」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「言語心理学」を「学習・言語心理学」に科目名称変更、配当年次を「2・3・4後」から「2・3後」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「人格心理学Ⅰ」を「感情・人格心理学」に科目名称変更、配当年次を「2前」から「2・3前」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「神経心理学」を「神経・生理心理学」に科目名称変更、配当年次を「2・3・4前」から「2・3前」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「社会心理学Ⅰ」を「社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ)」に科目名称変更、配当年次を「2前」から「2・3前」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「家族心理学」を「家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「発達心理学Ⅰ」の配当年次を「2前」から「2・3前」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「高齢者心理学」を「発達心理学Ⅱ(高齢者心理学)」に科目名称変更、配当年次を「2・3・4後」から「2・3後」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「障害者援助論」を「障害者・障害児心理学」に科目名称変更、配当年次を「2・3・4前」から「2・3前」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「比較行動学」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3後」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「発達臨床」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3後」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「社会心理学Ⅱ」を「対人関係論」に科目名称変更、配当年次を「2後」から「2・3後」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、科目区分を「現代心理学関連科目」から「基礎心理学」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理検査法Ⅰ」を「心理的アセスメントⅠ」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理検査法Ⅱ」を「心理的アセスメントⅡ」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「対人援助論Ⅰ」を「心理学的支援法Ⅰ」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「対人援助論Ⅱ」を「心理学的支援法Ⅱ」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「臨床心理学実習」の配当年次を「3前・後」から「3後」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「健康心理学」を「健康・医療心理学」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「社会福祉援助論」を「福祉心理学」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「学校心理学」を「教育・学校心理学」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「犯罪心理学Ⅰ」を「司法・犯罪心理学」に科目名称変更、配当年次を「2・3前」から「2・3・4前」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「産業心理学」を「産業・組織心理学」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「医療心理学」を「人体の構造と機能及び疾病」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「精神医学」を「精神疾患とその治療」に科目名称変更。
- ・課程認定委員会指摘の理由により、「カウンセリング論」を「教育相談」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、科目区分を「臨床心理学関連科目」から「実践心理学A」「実践心理学B」「心理学関連科目」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「現代心理学ゼミⅠ」「臨床心理学ゼミⅠ」を科目統合し「心理学ゼミⅠ」(配当年次「3前」、単位数必修「1」、専任教員等の配置、教授「5」、准教授「2」、講師「1」)に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「現代心理学ゼミⅡ」「臨床心理学ゼミⅡ」を科目統合し「心理学ゼミⅡ」(配当年次「3後」、単位数必修「1」、専任教員等の配置、教授「5」、准教授「2」、講師「1」)に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「現代心理学ゼミⅢ」「臨床心理学ゼミⅢ」を科目統合し「心理学ゼミⅢ」(配当年次「4前」、単位数必修「1」、専任教員等の配置、教授「5」、准教授「2」、講師「1」)に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「現代心理学ゼミⅣ」「臨床心理学ゼミⅣ」を科目統合し「心理学ゼミⅣ」(配当年次「4後」、単位数必修「1」、専任教員等の配置、教授「5」、准教授「2」、講師「1」)に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「公認心理師の職責」(配当年次「3前」、単位数選択「2」、専任教員等の配置、教授「4」、准教授「1」、講師「1」)の科目追加。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「関係行政論」(配当年次「3後」、単位数選択「2」、専任教員等の配置、教授「4」、准教授「1」、講師「1」)の科目追加。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理演習」(配当年次「4前」、単位数選択「2」、兼任・兼任「1」)の科目追加。

- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「学外実習」(配当年次「3後」、単位数選択「1」、専任教員等の配置、教授「2」、准教授「2」)を「心理実習」(配当年次「4後」、単位数選択「2」、専任教員等の配置、教授「5」、准教授「2」、講師「1」)に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、科目区分「公認心理師関連科目」を追加。
- ・公認心理師法施行規則制定に伴い、「発達心理学Ⅱ」の科目廃止。
- ・公認心理師法施行規則制定に伴い、「臨床心理学Ⅱ」の科目廃止。
- ・公認心理師法施行規則制定に伴い、「犯罪心理学Ⅱ」の科目廃止。
- ・公認心理師法施行規則制定に伴い、「教育心理学」の科目廃止。
- ・公認心理師法施行規則制定に伴い、「人格心理学Ⅱ」の科目廃止。

### 【令和元年度】

- ・科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」の専任教員等の配置を、教授「2」、准教授「1」、講師「1」、兼任・兼任「16」から、教授「7」、准教授「2」、講師「1」、兼任・兼任「18」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅡ」の専任教員等の配置を、教授「2」、准教授「1」、講師「1」、兼任・兼任「16」から、教授「7」、准教授「2」、講師「1」、兼任・兼任「18」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「駒沢女子大学入門」の兼任・兼任教員を、「6」から「5」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「7」から「8」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「7」から「8」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「1」から「7」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「生命の科学」の配当年次を、「1前」から「1後」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「倫理学」の配当年次を、「1後」から「1前」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「日本の文化」の配当年次を、「1後」から「1前」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スポーツⅠ」の兼任・兼任教員を、「3」から「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スポーツⅡ」の兼任・兼任教員を、「3」から「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「言語表現演習Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「5」から「6」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「言語表現演習Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「5」から「6」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語AⅢ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語AⅣ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語BⅠ」の兼任・兼任教員を、「14」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語BⅡ」の兼任・兼任教員を、「14」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語BⅢ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員退職等の理由により、「英語BⅣ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英会話Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「4」から「5」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英会話Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「4」から「5」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「ドイツ語Ⅲ」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「ドイツ語Ⅳ」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スペイン語Ⅲ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スペイン語Ⅳ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「中国語Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「中国語Ⅲ」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「中国語Ⅳ」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「コンピュータ演習Ⅲ」の専任教員等の配置を、准教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「コンピュータ演習Ⅳ」の専任教員等の配置を、准教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「心理学実験Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「3」から、兼任・兼任「3」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「心理学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「3」から、兼任・兼任「3」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「感情・人格心理学」の専任教員等の配置を、准教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「発達心理学Ⅰ」の専任教員等の配置を、准教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「障害者・障害児心理学」の配当年次を、「2・3前」から「2・3後」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「比較行動学」の配当年次を、「2・3後」から「2・3前」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「福祉心理学」の配当年次を、「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「産業・組織心理学」の専任教員等の配置を、准教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「人体の構造と機能及び疾病」の配当年次を、「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「精神疾患とその治療」の配当年次を、「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「文芸と心理」の配当年次を、「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「博物館実習B」の兼任・兼任教員を、「2」から「3」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「歴史資料論」の兼任・兼任教員を、「1」から「2」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「民俗資料論」の兼任・兼任教員を、「1」から「2」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
34 科目	177 科目	10 科目	221 科目	38 科目 [ + 4 ]	168 科目 [ Δ 9 ]	10 科目 [ 0 ]	216 科目 [ Δ 5 ]	公認心理師法施行規則制定に伴う変更

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	西洋美術の旅Ⅰ	2	2・3	専門	選択	担当者都合。代替措置無。
2	西洋美術の旅Ⅱ	2	2・3	専門	選択	担当者都合。代替措置無。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	発達心理学Ⅱ	2	2後	専門	選択	公認心理師法施行規則制定に伴う廃止
2	臨床心理学Ⅱ	2	2後	専門	選択	公認心理師法施行規則制定に伴う廃止
3	人格心理学Ⅱ	2	2後	専門	選択	公認心理師法施行規則制定に伴う廃止
4	犯罪心理学Ⅱ	2	2・3後	専門	選択	公認心理師法施行規則制定に伴う廃止
5	教育心理学	2	2・3・4後	専門	選択	公認心理師法施行規則制定に伴う廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

公認心理師法が平成29年9月15日に全面施行され、これに伴い、公認心理師法施行令、及び公認心理師法施行規則が制定され、同日より施行された。本学においては、届出済であった心理学類の専門教育科目の名称等を上記法令に則り改め、また、科目の追加、廃止等を行い、公認心理師の受験資格が得られるようにカリキュラムを改訂した。変更した科目は、全て、令和元年度以降に開講予定であり、学生の履修への影響はない。学生へは、ホームページを通じて、周知を図る。（平成30年度）

「西洋美術の旅Ⅰ」「西洋美術の旅Ⅱ」の担当者（岩谷兼任講師・桑兼任講師）から、急遽出講ができない旨の連絡があった。学内で検討した結果、令和元年度は未開講とすることに決定した。選択科目であるため、学生にとって大きな不利益にならないと判断した。学生への周知は、平成31年4月のオリエンテーション、及び履修ガイダンス時に行った。（令和元年度）

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{7}{221} = \boxed{3.16}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の一部は駒沢女子短期大学と共用			
	校舎敷地	0 m <sup>2</sup>	140,991.11 m <sup>2</sup>	10,639.73 m <sup>2</sup>	151,630.84 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	0 m <sup>2</sup>	12,574.38 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	12,574.38 m <sup>2</sup>				
	小 計	0 m <sup>2</sup>	153,565.49 m <sup>2</sup>	10,639.73 m <sup>2</sup>	164,205.22 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	36,595.26 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	36,595.26 m <sup>2</sup>				
	合 計	0 m <sup>2</sup>	190,160.75 m <sup>2</sup>	10,639.73 m <sup>2</sup>	200,800.48 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎の一部は駒沢女子短期大学と共用			
		7,584.21 m <sup>2</sup> ( 7,584.21 m <sup>2</sup> )	23,803.58 m <sup>2</sup> ( 23,803.58 m <sup>2</sup> )	15,549.03 m <sup>2</sup> ( 15,549.03 m <sup>2</sup> )	46,936.82 m <sup>2</sup> ( 46,936.82 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の一部は駒沢女子短期大学と共用			
	45 室	20 室	37 室	3 室 (補助職員 2人)	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人間総合学群			56 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 図書 22,559冊 購入による変更のため (30) 購入による変更のため (元)	
	人間総合学群	139,633 [29,920] <del>137,285 [31,204]</del> (139,633 [29,920]) (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	245 [121] <del>231 [101]</del> ( 245 [121]) (-236 [103]) (- 231 [101])	6 [4] <del>6 [3]</del> ( 6 [4]) (- 6 [3])	5,332 (5,326) (-5,239) (-4,962)	40,774 (40,524) (-40,069) (-39,974)	50 ( 33 )		
	計	139,633 [29,920] <del>137,285 [31,204]</del> (139,633 [29,920]) (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	245 [121] <del>231 [101]</del> ( 245 [121]) (-236 [103]) (- 231 [101])	6 [4] <del>6 [3]</del> ( 6 [4]) (- 6 [3])	5,332 (5,326) (-5,239) (-4,962)	40,774 (40,524) (-40,069) (-39,974)	50 ( 33 )		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	4,489 m <sup>2</sup>		325席		237,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				駒沢女子短期大学と共用		
	1,726 m <sup>2</sup>		テニスコート 3面		屋外プール				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	500千円	500千円	100千円	
		共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	—千円	5,000千円	5,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,336千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4. 既設大学等の状況

大学の名称	駒沢女子大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
人文学部	4	—	3年次 30	—	—	—	—	平成5	—	平成30年度より学生募集停止（編入学は令和2年度より募集停止）
日本文化学科	4	—	3年次 10	—	学士 (日本文化)	—	—	平成5	東京都稲城市坂浜238番地	平成30年度より学生募集停止（編入学は令和2年度より募集停止）
国際文化学科	4	—	3年次 20	—	学士 (国際文化)	—	—	平成5	同上	平成30年度より学生募集停止（編入学は令和2年度より募集停止）
人間関係学科	4	—	—	—	学士 (人間関係)	—	—	平成12	同上	平成30年度より学生募集停止
心理学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—	—	平成25	同上	平成30年度より学生募集停止
住空間デザイン学科	4	—	—	—	学士 (住空間デザイン)	—	—	平成14	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア表現学科	4	—	—	—	学士 (メディア表現)	—	—	平成14	同上	平成30年度より学生募集停止
人間総合学群	4	370	3年次 30	1,540	—	1.24	—	平成30	—	編入は、令和2年度より学生募集
人間文化学類	4	170	3年次 20	720	学士 (日本文化) (人間関係) (英語コミュニ ケーション)	1.21	—	平成30	東京都稲城市坂浜238番地	編入は、令和2年度より学生募集
観光文化学類	4	60	3年次 10	260	学士 (観光文化)	1.28	—	平成30	同上	編入は、令和2年度より学生募集
心理学類	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.30	—	平成30	同上	
住空間デザイン学類	4	60	—	240	学士 (住空間デザイン)	1.23	—	平成30	同上	
人間健康学部	4	80	—	320	—	1.05	—	平成21	—	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (健康栄養)	1.05	—	平成21	東京都稲城市坂浜238番地	
看護学部	4	80	—	320	—	1.04	—	平成30	—	
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.04	—	平成30	東京都稲城市坂浜238番地	
大学全体	4	530	30	2,180	—	1.11	—	—	—	

大学の名称		駒 沢 女 子 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
人文科学研究科	年	人	年次 人	人		倍				
仏教文化専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.20	—	平成14	東京都稲城市坂浜238番地	
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士 (心理学)	0.45	—	平成15	同上	
大学院全体	2	15	—	30	—	0.36	—	—	—	
大学の名称		駒 沢 女 子 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
保育科	年	人	年次 人	人		倍				
短期大学全体	2	130	—	260	短期大学士 (保育)	0.76	—	昭和40	東京都稲城市坂浜238番地	
短期大学全体	2	130	—	260	—	0.76	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(1)－① 担当教員表

<人間総合学群 心理学類>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			
専	教授	富士原 光洋 (58) <平成30年4月> 文学修士	富士原 光洋 (58) <平成30年4月> 文学修士	富士原 光洋 (59) <平成30年4月> 文学修士
	心理学実験実習Ⅰ 心理学実験実習Ⅱ 心理学研究法Ⅰ 心理学研究法Ⅱ 学外実習 現代心理学実習 現代心理学ゼミⅠ 現代心理学ゼミⅡ 現代心理学ゼミⅢ 現代心理学ゼミⅣ 卒業論文	心理学入門Ⅱ 心理学概論 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理学研究法Ⅰ 心理学研究法Ⅱ 心理実習 現代心理学実習 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 心理学入門Ⅱ 心理学概論 科目削除 科目削除 心理学研究法Ⅰ 心理学研究法Ⅱ 心理実習 現代心理学実習 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文	
専	教授	松岡 努 (49) <平成30年4月> 心理学修士	松岡 努 (49) <平成30年4月> 心理学修士	松岡 努 (50) <平成30年4月> 心理学修士
	精神病跡学 臨床心理学Ⅱ 臨床心理学ゼミⅠ 臨床心理学ゼミⅡ 臨床心理学ゼミⅢ 臨床心理学ゼミⅣ 卒業論文	心理学入門Ⅱ 精神病跡学 科目廃止 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文 公認心理師の職責 関係行政論 心理実習	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 心理学入門Ⅱ 精神病跡学 科目廃止 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文 公認心理師の職責 関係行政論 心理実習	
専	教授	糟谷 恵次 (64) <平成30年4月> 文学修士	糟谷 恵次 (65) <平成30年4月> 文学修士	糟谷 恵次 (66) <平成30年4月> 文学修士
	ヨーロッパの文学 ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 心理学の基礎 文芸と心理 世界のミュージアム	ヨーロッパの文学 科目削除 科目削除 ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 心理学の基礎 文芸と心理 世界のミュージアム	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 心理学の基礎 文芸と心理 世界のミュージアム	
専	教授	須藤 明 (59) <平成30年4月> 修士(人間科学)	須藤 明 (59) <平成30年4月> 修士(人間科学)	須藤 明 (60) <平成30年4月> 修士(人間科学)
	心理学入門Ⅱ 学外実習 犯罪心理学Ⅰ 犯罪心理学Ⅱ 家族心理学 現代心理学ゼミⅠ 現代心理学ゼミⅡ 現代心理学ゼミⅢ 現代心理学ゼミⅣ 卒業論文	科目削除 心理実習 司法・犯罪心理学 科目廃止 家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ) 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文	科目削除 心理実習 司法・犯罪心理学 科目廃止 家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ) 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文	

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月> 文学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 心理学の基礎 言葉と心理
専	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月> 言語学教授法DEA(仏国) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 心理学の基礎 言葉と心理
専	教授	藤城 有美子 (50) <平成30年4月> 博士(医学) 臨床心理学Ⅰ 心理療法論Ⅱ 臨床心理学ゼミⅠ 臨床心理学ゼミⅡ 臨床心理学ゼミⅢ 臨床心理学ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	藤川 麗 (45) <平成30年4月> 博士(教育学) コミュニティ心理学 心理療法論Ⅰ 臨床心理学ゼミⅠ 臨床心理学ゼミⅡ 臨床心理学ゼミⅢ 臨床心理学ゼミⅣ 卒業論文
専	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月> 博士(工学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		<b>公認心理師の職責 関係行政論</b>
専	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月> 文学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 心理学の基礎 言葉と心理
専	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月> 言語学教授法DEA(仏国) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 心理学の基礎 言葉と心理
専	教授	藤城 有美子 (50) <平成30年4月> 博士(医学) <b>臨床心理学概論</b> 心理療法論Ⅱ <b>心理学ゼミⅠ</b> <b>心理学ゼミⅡ</b> <b>心理学ゼミⅢ</b> <b>心理学ゼミⅣ</b> 卒業論文 <b>公認心理師の職責 関係行政論</b> <b>心理実習</b>
専	教授	藤川 麗 (45) <平成30年4月> 博士(教育学) コミュニティ心理学 心理療法論Ⅰ <b>心理学ゼミⅠ</b> <b>心理学ゼミⅡ</b> <b>心理学ゼミⅢ</b> <b>心理学ゼミⅣ</b> 卒業論文 <b>公認心理師の職責 関係行政論</b> <b>心理実習</b>
専	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月> 博士(工学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		<b>公認心理師の職責 関係行政論</b>
専	教授	保坂 律子 (59) <平成30年4月> 文学修士 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 心理学の基礎 言葉と心理
兼任	講師	<b>余 瀾</b> (58) <平成31年4月> 修士(文学) <b>中国語Ⅰ</b> <b>中国語Ⅱ</b>
専	教授	米金 孝雄 (57) <平成30年4月> 言語学教授法DEA(仏国) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 心理学の基礎 言葉と心理
専	教授	藤城 有美子 (51) <平成30年4月> 博士(医学) <b>基礎ゼミⅠ</b> <b>基礎ゼミⅡ</b> <b>臨床心理学概論</b> 心理療法論Ⅱ <b>心理学ゼミⅠ</b> <b>心理学ゼミⅡ</b> <b>心理学ゼミⅢ</b> <b>心理学ゼミⅣ</b> 卒業論文 <b>公認心理師の職責 関係行政論</b> <b>心理実習</b>
専	教授	藤川 麗 (46) <平成30年4月> 博士(教育学) <b>基礎ゼミⅠ</b> <b>基礎ゼミⅡ</b> コミュニティ心理学 心理療法論Ⅰ <b>心理学ゼミⅠ</b> <b>心理学ゼミⅡ</b> <b>心理学ゼミⅢ</b> <b>心理学ゼミⅣ</b> 卒業論文 <b>公認心理師の職責 関係行政論</b> <b>心理実習</b>
専	准教授	明田川 紀彦 (49) <平成30年4月> 博士(工学) 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ <b>科目削除</b>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		コンピュータ演習Ⅳ 心理学の基礎
専	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月> 博士(教育学)
		心理学入門Ⅰ 心理学の基礎 学外実習 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 発達心理学 現代心理学実習 現代心理学ゼミⅠ 現代心理学ゼミⅡ 現代心理学ゼミⅢ 現代心理学ゼミⅣ 卒業論文
専	准教授	石津 和子 (41) <平成30年4月> 博士(教育学)
		学外実習 産業心理学 人格心理学Ⅰ 人格心理学Ⅱ 現代心理学ゼミⅠ 現代心理学ゼミⅡ 現代心理学ゼミⅢ 現代心理学ゼミⅣ 卒業論文
専	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月> 修士(心理学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 教育心理学 カウンセリング論 臨床心理学ゼミⅠ 臨床心理学ゼミⅡ 臨床心理学ゼミⅢ 臨床心理学ゼミⅣ 卒業論文
兼任	教授	光田 督良 (65) <平成30年4月> 法学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	羽鳥 修 (62) <平成30年4月> 文学修士
		アメリカの文化と歴史Ⅰ アメリカの文化と歴史Ⅱ 世界のミュージアム

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		コンピュータ演習Ⅳ 心理学の基礎
専	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月> 博士(教育学)
		心理学入門Ⅰ 心理学の基礎 <b>心理実習</b> 発達心理学Ⅰ <b>科目廃止</b> 発達心理学 現代心理学実習 <b>心理学ゼミⅠ</b> <b>心理学ゼミⅡ</b> <b>心理学ゼミⅢ</b> <b>心理学ゼミⅣ</b> 卒業論文 <b>心理実習</b>
専	准教授	石津 和子 (41) <平成30年4月> 博士(教育学)
		<b>心理実習</b> <b>産業・組織心理学</b> <b>感情・人格心理学</b> <b>科目廃止</b> <b>心理学ゼミⅠ</b> <b>心理学ゼミⅡ</b> <b>心理学ゼミⅢ</b> <b>心理学ゼミⅣ</b> 卒業論文 <b>公認心理師の職責</b> <b>関係行政論</b>
専	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月> 修士(心理学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>科目廃止</b> <b>教育相談</b> <b>心理学ゼミⅠ</b> <b>心理学ゼミⅡ</b> <b>心理学ゼミⅢ</b> <b>心理学ゼミⅣ</b> 卒業論文 <b>公認心理師の職責</b> <b>関係行政論</b> <b>心理実習</b>
兼任	教授	光田 督良 (65) <平成30年4月> 法学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	羽鳥 修 (62) <平成30年4月> 文学修士
		アメリカの文化と歴史Ⅰ アメリカの文化と歴史Ⅱ 世界のミュージアム

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		<b>科目削除</b> 心理学の基礎
兼任	講師	岡本 教佳 (62) <平成31年4月> 工学博士
		<b>コンピュータ演習Ⅲ</b> <b>コンピュータ演習Ⅳ</b>
専	准教授	丸山 慎 (46) <平成30年4月> 博士(教育学)
		<b>基礎ゼミⅠ</b> <b>基礎ゼミⅡ</b> 心理学入門Ⅰ 心理学の基礎 <b>心理実習</b> <b>科目削除</b> <b>科目廃止</b> 発達心理学 現代心理学実習 <b>心理学ゼミⅠ</b> <b>心理学ゼミⅡ</b> <b>心理学ゼミⅢ</b> <b>心理学ゼミⅣ</b> 卒業論文 <b>心理実習</b>
専	准教授	石津 和子 (42) <平成30年4月> 博士(教育学)
		<b>心理実習</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目廃止</b> <b>心理学ゼミⅠ</b> <b>心理学ゼミⅡ</b> <b>心理学ゼミⅢ</b> <b>心理学ゼミⅣ</b> 卒業論文 <b>公認心理師の職責</b> <b>関係行政論</b>
専	講師	綾城 初穂 (36) <平成30年4月> 修士(心理学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>科目廃止</b> <b>教育相談</b> <b>心理学ゼミⅠ</b> <b>心理学ゼミⅡ</b> <b>心理学ゼミⅢ</b> <b>心理学ゼミⅣ</b> 卒業論文 <b>公認心理師の職責</b> <b>関係行政論</b> <b>心理実習</b>
兼任	教授	光田 督良 (66) <平成30年4月> 法学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	羽鳥 修 (63) <平成30年4月> 文学修士
		<b>観光文化入門Ⅰ</b> アメリカの文化と歴史Ⅰ アメリカの文化と歴史Ⅱ 世界のミュージアム

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	加藤 ナツ子 (66) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ 世界のミュージアム
兼任	教授	小林 憲夫 (65) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ
兼任	教授	井戸 桂子 (64) <平成30年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	教授	篠 政行 (64) <平成30年4月> 工学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼任	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月> 芸術学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	教授	安藤 嘉則 (60) <平成30年4月> 文学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	渋谷 香織 (60) <平成30年4月> 文学修士
		日本文化入門Ⅰ
兼任	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月> 工学修士
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	加藤 ナツ子 (67) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ 世界のミュージアム
兼任	教授	小林 憲夫 (65) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ
兼任	教授	井戸 桂子 (64) <平成30年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	教授	篠 政行 (64) <平成30年4月> 工学修士
		科目削除 科目削除 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼任	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月> 芸術学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	教授	安藤 嘉則 (60) <平成30年4月> 文学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	渋谷 香織 (60) <平成30年4月> 文学修士
		日本文化入門Ⅰ
兼任	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月> 工学修士
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	加藤 ナツ子 (68) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>観光文化入門Ⅰ</b> スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 世界のミュージアム
兼任	教授	小林 憲夫 (66) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ
兼任	教授	井戸 桂子 (65) <平成30年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	教授	篠 政行 (65) <平成30年4月> 工学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	臼井 実穂子 (62) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼任	教授	渡邊 光章 (62) <平成30年4月> 芸術学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>観光文化入門Ⅰ</b>
兼任	教授	安藤 嘉則 (61) <平成30年4月> 文学修士
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	渋谷 香織 (61) <平成30年4月> 文学修士
		日本文化入門Ⅰ
兼任	教授	末木 俊之 (60) <平成30年4月> 工学修士
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ
兼任	教授	三田 誠司 (56) <平成30年9月> 博士(文学)
		日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月> 修士(教育学)
		海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	教授	松村 良 (55) <平成30年4月> 文学修士
		日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月> 芸術学修士
		人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼任	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門
兼任	教授	石田 かおり (53) <平成30年9月> 博士(被服環境学)
		人間関係入門Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ
兼任	教授	三田 誠司 (56) <平成30年9月> 博士(文学)
		日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月> 修士(教育学)
		海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ
兼任	教授	松村 良 (55) <平成30年4月> 文学修士
		日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月> 芸術学修士
		人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼任	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門
兼任	教授	石田 かおり (53) <平成30年9月> 博士(被服環境学)
		人間関係入門Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐々木 俊道 (59) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	橋本 衆宝 (58) <平成31年4月> 修士(カウンセリング)
		言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	教授	弥久保 宏 (58) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ
兼任	教授	三田 誠司 (57) <平成30年9月> 博士(文学)
		日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (57) <平成30年4月> 修士(教育学)
		海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ
兼任	教授	松村 良 (56) <平成30年4月> 文学修士
		日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	教授	田澤 秀司 (56) <平成30年4月> 芸術学修士
		人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼任	教授	田代 真人 (56) <平成31年4月> 修士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 観光文化入門Ⅰ
兼任	教授	千葉 公慈 (54) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門
兼任	教授	石田 かおり (54) <平成30年9月> 博士(被服環境学)
		人間関係入門Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	福王 守 (52) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼任	教授	佐藤 勉 (51) <平成30年4月> MASTER OF ARCHITECTURE (米國)
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	橋田 布佐子 (60) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	准教授	榎本 環 (53) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ
兼任	准教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月> 修士(日本史学)
		駒沢女子大学入門 日本文化入門Ⅰ 歴史資料論  博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月> 準学士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年9月> 修士(文学)
		日本文化入門Ⅱ 民俗資料論 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	福王 守 (52) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼任	教授	佐藤 勉 (52) <平成30年4月> MASTER OF ARCHITECTURE (米國)
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	橋田 布佐子 (60) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	准教授	榎本 環 (54) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月> 修士(日本史学)
		駒沢女子大学入門 日本文化入門Ⅰ 歴史資料論  博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月> 準学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年9月> 修士(文学)
		日本文化入門Ⅱ 民俗資料論 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	福王 守 (53) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼任	教授	佐藤 勉 (53) <平成30年4月> MASTER OF ARCHITECTURE (米國)
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	橋田 布佐子 (61) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	准教授	榎本 環 (55) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	皆川 義孝 (51) <平成30年4月> 修士(日本史学)
		<b>科目削除</b> 日本文化入門Ⅰ 歴史資料論 <b>民俗資料論</b> 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	鈴木 利彦 (48) <平成30年4月> 準学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ <b>科目削除</b>
兼任	講師	星野 好晃 (37) <平成31年4月> 修士(情報学)
兼任	准教授	下川 雅弘 (44) <平成30年9月> 修士(文学)
		日本文化入門Ⅱ <b>歴史資料論</b> 民俗資料論 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月> Master of Arts(米国)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月> 修士(工学) 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月> Master of Arts(米国)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月> 学士(建築学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月> Master of Arts(米国)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月> 修士(工学) 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月> Master of Arts(米国)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	准教授	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月> 学士(建築学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	杉野 知恵 (45) <平成30年4月> Master of Arts(米国)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>観光文化入門Ⅰ</b> グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	<b>張 景泰</b> (46) <b>&lt;平成31年4月&gt;</b> <b>博士(観光学)</b>
		<b>観光文化入門Ⅰ</b> <b>観光文化入門Ⅱ</b>
兼任	准教授	<b>飯島 卓</b> (45) <b>&lt;平成31年4月&gt;</b> <b>修士(観光学)</b>
		<b>観光文化入門Ⅰ</b> <b>観光文化入門Ⅱ</b>
兼任	准教授	茂木 弥生子 (44) <平成30年4月> 修士(工学) 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	松山 響子 (41) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅢ 英語BⅣ <b>削除</b> <b>削除</b> 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	講師	Plaza Taron (49) <平成30年4月> Master of Arts(米国)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	准教授	大貫 恵佳 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	Morris Jonathan (40) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	小川 弾 (37) <平成30年4月> 学士(建築学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石川 創 (35) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (34) <平成30年4月> 博士(言語学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月> 修士(心理学)
		人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月> 修士(教育学)
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月> 博士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	龍谷 孝道 (34) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月> 修士(学術)
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	石川 創 (35) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (35) <平成30年4月> 博士(言語学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月> 修士(心理学)
		人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月> 修士(教育学)
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		科目削除 科目削除
兼任	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月> 博士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月> 修士(学術)
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	石川 創 (36) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (36) <平成30年4月> 博士(言語学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (35) <平成30年4月> 修士(心理学)
		人間関係入門Ⅰ
兼任	准教授	古屋 真 (34) <平成30年4月> 修士(教育学)
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	三宅 貴之 (29) <平成31年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	助教	山崎 陽菜 (35) <平成30年4月> 博士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	小早川 浩大 (51) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (65) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (65) <平成30年4月> 修士(学術)
		科目削除 科目削除 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月> 文学修士
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月> 文学修士
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月> 修士(環境科学)
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月> 文学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 心理学実験実習Ⅰ 心理学実験実習Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月> 修士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 学校心理学 心理学英語講読
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ 対人援助論Ⅰ 対人援助論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月> 文学修士
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月> 博士(文学)
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (52) <平成30年4月> 文学士
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (37) <平成30年4月> 修士(政治学)
		日本の経済 世界の経済

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月> 文学修士
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月> 文学修士
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月> 修士(環境科学)
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月> 文学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ <b>心理学実験Ⅰ</b> <b>心理学実験Ⅱ</b>
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月> 修士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ <b>教育・学校心理学</b> <b>科目削除</b>
兼任	講師	<b>大谷 華</b> (60) <b>&lt;令和2年4月&gt;</b> <b>博士(心理学)</b> <b>心理学英語講読</b>
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ <b>心理学的支援法Ⅰ</b> <b>心理学的支援法Ⅱ</b>
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月> 文学修士
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月> 博士(文学)
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (52) <平成30年4月> 文学士
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (37) <平成30年4月> 修士(政治学)
		日本の経済 世界の経済

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 由加里 (54) <平成30年4月> 文学修士
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (60) <平成30年4月> 文学修士
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (43) <平成30年4月> 修士(環境科学)
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (54) <平成30年4月> 文学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ <b>心理学実験Ⅰ</b> <b>心理学実験Ⅱ</b>
兼任	講師	竹田 葉留美 (51) <平成30年4月> 修士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ <b>教育・学校心理学</b> <b>感情・人格心理学</b> <b>科目削除</b>
兼任	講師	<b>大谷 華</b> (59) <b>&lt;令和2年4月&gt;</b> <b>博士(心理学)</b> <b>心理学英語講読</b>
兼任	講師	森島 由紀子 (50) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ <b>心理学的支援法Ⅰ</b> <b>心理学的支援法Ⅱ</b>
兼任	講師	鈴木 一聲 (52) <平成30年4月> 文学修士
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (42) <平成30年4月> 博士(文学)
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (53) <平成30年4月> 文学士
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (38) <平成30年4月> 修士(政治学)
		<b>科目削除</b> 世界の経済
兼任	教授	<b>皆木 和義</b> (65) <b>&lt;平成31年4月&gt;</b> <b>学士(法学)</b> <b>日本の経済</b>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月> 修士(経営学)
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (38) <平成30年4月> 修士(文学)
		社会学Ⅰ
		社会学Ⅱ
兼任	講師	船津 卓馬 (37) <平成30年4月> 修士(工学)
		数学の世界
		物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 博士(理学)
		物質と化学
兼任	講師	滝沢 真美 (56) <平成30年4月> 修士(家政学)
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 学士(経営学)
		進路設計
		社会と教養演習A
		社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わか奈 (38) <平成30年4月> 学士(経済学)
		進路設計
		社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 学士(法学)
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 修士(文学)
		言語表現演習Ⅰ
		言語表現演習Ⅱ
		社会と教養演習D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月> 修士(経営学)
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (39) <平成30年4月> 修士(文学)
		社会学Ⅰ
		社会学Ⅱ
兼任	講師	下久保 亘 (47) <平成30年4月> 工学修士
		数学の世界
		物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 博士(理学)
		物質と化学
兼任	講師	稲葉 隆 (56) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 学士(経営学)
		進路設計
		社会と教養演習A
		社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わか奈 (38) <平成30年4月> 学士(経済学)
		進路設計
		社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 学士(法学)
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 修士(文学)
		言語表現演習Ⅰ
		言語表現演習Ⅱ
		社会と教養演習D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 竜介 (53) <平成30年4月> 修士(経営学)
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		社会学Ⅰ
		社会学Ⅱ
兼任	講師	下久保 亘 (48) <平成30年4月> 工学修士
		数学の世界
		物理の世界
兼任	講師	平井 隆之 (34) <令和元年9月> 博士(理学)
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		物質と化学
兼任	講師	稲葉 隆 (57) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (49) <平成30年4月> 学士(経営学)
		進路設計
		科目削除
		科目削除
兼任	講師	樋口 浩子 (54) <令和元年9月> 学士(マネジメント)
		社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わか奈 (39) <平成30年4月> 学士(経済学)
		進路設計
		社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (42) <平成30年4月> 学士(法学)
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (42) <平成30年4月> 修士(文学)
		言語表現演習Ⅰ
		言語表現演習Ⅱ
		社会と教養演習D

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> 学士(心理学)	
		キャリアリテラシー	
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 博士(医学)	
		女性と健康 I 女性と健康 II	
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> 学士(体育)	
		スポーツ I スポーツ II	
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)	
		スポーツ I スポーツ II	
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月> 専修学校卒業	
		スポーツ I スポーツ II	
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)	
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV	
		境 希里子 (59) <平成30年4月> 文学士	
			言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
			池上 俊彦 (48) <平成30年4月> 修士(文学)
英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV			
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月> 修士(言語学)	
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> 学士(心理学)	
		キャリアリテラシー	
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 博士(医学)	
		女性と健康 I 女性と健康 II	
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> 学士(体育)	
		スポーツ I スポーツ II	
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)	
		スポーツ I スポーツ II	
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月> 専修学校卒業	
		スポーツ I スポーツ II	
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)	
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV	
		境 希里子 (60) <平成30年4月> 文学士	
			言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
			池上 俊彦 (48) <平成30年4月> 修士(文学)
英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV			
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月> 修士(言語学)	
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	
兼任	講師	永久 理恵 (59) <平成30年4月> 学士(心理学)	
		キャリアリテラシー <b>社会と教養演習A</b>	
兼任	講師	城川 美佳 (56) <平成30年4月> 博士(医学)	
		女性と健康 I 女性と健康 II	
兼任	講師	塩嶋 理恵 (47) <平成30年4月> 学士(体育)	
		スポーツ I スポーツ II	
兼任	講師	丸山 麻子 (40) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)	
		スポーツ I <b>科目削除</b>	
兼任	講師	三辻 浩子 (53) <平成30年4月> 専修学校卒業	
		<b>科目削除</b> スポーツ II	
兼任	講師	中尾 真樹 (55) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)	
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV	
		境 希里子 (61) <平成30年4月> 文学士	
			言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
			池上 俊彦 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
英語B I 英語B II <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>英語B III</b> <b>英語B IV</b>			
兼任	講師	江連 成美 (52) <平成30年4月> 修士(言語学)	
		<b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>英語A I</b> <b>英語A II</b> <b>英語B III</b> <b>英語B IV</b>	

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大石 瑠子 (33) <平成30年4月> Master of Arts English Studies (英国)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月> MA(English)(英国)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	川上 真巳子 (59) <平成30年4月> 教育学修士
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II
兼任	講師	木庭 真美子 (64) <平成30年4月> The Degree of Master of Arts in History of Art(英国)
		英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木村 崇是 (26) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月> MA(English)(英国)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	川上 真巳子 (59) <平成30年4月> 教育学修士
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 科目削除 科目削除
兼任	講師	木庭 真美子 (65) <平成30年4月> The Degree of Master of Arts in History of Art(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木村 崇是 (27) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小田島 則子 (56) <平成30年4月> MA(English)(英国)
		英語B I 英語B II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV
兼任	講師	川上 真巳子 (60) <平成30年4月> 教育学修士
		科目削除 科目削除 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	木庭 真美子 (66) <平成30年4月> The Degree of Master of Arts in History of Art(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	佐々木 千恵 (51) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 英語A III 英語A IV

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮脇 裕子 (62) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Moreau Robert (48) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II  英語A III 英語A IV
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	吉田 明代 (43) <平成30年4月> 修士(学術)
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮脇 裕子 (63) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Burns Kevin Robert (54) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II  英語A III 英語A IV
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	鈴木 一徳 (29) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮脇 裕子 (64) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II <b>英語A III</b> <b>英語A IV</b> 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Burns Kevin Robert (55) <平成30年4月> 文学士
		<b>英語A I</b> <b>英語A II</b> <b>英語A III</b> <b>英語A IV</b>
兼任	講師	本村 万喜子 (44) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II <b>英語B III</b> <b>英語B IV</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b>
兼任	講師	薬師 英子 (38) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II <b>英語A III</b> <b>英語A IV</b> 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	鈴木 一徳 (30) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月> 修士(文学)	英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月> 修士(教育学)	英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月> 修士(文学)	英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月> 修士(文学)	英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV
兼任	講師	メルヴィン・ジョン (43) <平成30年4月> MASTER OF SCIENCE(英国)	英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月> 修士(文学)	英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月> 修士(教育学)	科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月> 修士(文学)	科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月> 修士(文学)	科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Earl Russell (55) <平成30年4月> 芸術修士	英語A I 英語A II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	岸山 健 (25) <平成31年4月> 修士(学術)	英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	小木曾 智子 (24) <平成31年4月> 修士(言語学)	英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (37) <平成30年4月> 修士(文学)	英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月> Bachelor of Arts in Psychology(英國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II  英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月> 修士(英文学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月> Bachelor of Arts in Psychology(英國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月> 修士(英文学)
		英語A I 英語A II  科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田裕子リナ (60) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (53) <平成30年4月> Bachelor of Arts in Psychology(英國)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (55) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米國)
		科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (38) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (56) <平成30年4月> 修士(英文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除
兼任	講師	津村 早紀 (25) <平成31年4月> 修士(学術)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	佐々木 大和 (27) <平成31年4月> 修士(言語学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Suthichai Pac Taupradist (35) <平成30年4月> <small>Doctor of Jurisprudence(米国)</small> 英会話 I 英会話 II Academic Reading I Academic Reading II Academic Speaking I Academic Speaking II
兼任	講師	Jeffrey Jones (46) <平成30年4月> <small>BACHELOR OF SCIENCE(米国)</small> Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II Academic Speaking I Academic Speaking II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Jason Takada (49) <平成30年4月> BA(韓国) Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Daniel G. Friedrich (39) <平成31年4月> MA(米国) 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	Rose Guy Easton (38) <平成31年4月> BA(米国) 英語コミュニケーション入門 I 英語コミュニケーション入門 II 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Donald C. Bartley (59) <平成31年4月> BA(米国) 英会話 I 英会話 II Receptive English I Receptive English II
兼任	講師	Lawrence Karn (65) <平成31年4月> Ph. D(米国) 英会話 I 英会話 II 英語コミュニケーション入門 I 英語コミュニケーション入門 II
兼任	講師	Gleeson Frances (61) <平成31年4月> BA(韓国) Productive English I Productive English II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月> Ph. D(文学・文明)(仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
		黒瀬 志保 (45) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月> 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ
		西端 彩 (36) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> 博士(学術)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) <平成30年4月> 工学修士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	奥野 真之 (40) <平成31年4月> 博士(学術情報学)
		心理学実験実習Ⅰ 心理学実験実習Ⅱ
兼任	講師	杉原光雄 (56) <平成31年4月> 文学修士
		心理学実験実習Ⅰ 心理学実験実習Ⅱ
		心理統計法Ⅰ 心理統計法Ⅱ
		認知心理学 言語心理学
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理学統計法 心理データ解析法 知覚・認知心理学 学習・言語心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月> Ph. D(文学・文明)(仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
		黒瀬 志保 (45) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月> 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ
		西端 彩 (36) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> 博士(学術)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) <平成30年4月> 工学修士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	奥野 真之 (39) <平成31年4月> 博士(学術情報学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	杉原光雄 (55) <平成31年4月> 文学修士
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
		心理学統計法 心理データ解析法 知覚・認知心理学 学習・言語心理学
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理学統計法 心理データ解析法 知覚・認知心理学 学習・言語心理学
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理学統計法 心理データ解析法 知覚・認知心理学 学習・言語心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松村 悠子 (41) <平成30年4月> Ph. D(文学・文明)(仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
		高宮 純子 (38) <平成31年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	木下 令子 (63) <平成30年4月> 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ
		西端 彩 (37) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (43) <平成30年4月> 博士(学術)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (62) <平成30年4月> 工学修士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	奥野 真之 (40) <平成31年4月> 博士(学術情報学)
		発達心理学Ⅰ 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	杉原光雄 (56) <平成31年4月> 文学修士
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
		心理学統計法 心理データ解析法 心理データ解析法 知覚・認知心理学 学習・言語心理学
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理学統計法 心理データ解析法 知覚・認知心理学 学習・言語心理学
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理学統計法 心理データ解析法 知覚・認知心理学 学習・言語心理学

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	永房 典之 (46) <平成31年4月> 博士(社会学)
		社会心理学Ⅰ
		社会心理学Ⅱ 消費者心理学 発達臨床
兼任	講師	岸 太一 (48) <令和元年9月> 博士(人間科学)
		健康心理学
兼任	講師	木村 駿介 (29) <令和元年9月> 修士(スポーツウェルネス学)
		スポーツ心理学
兼任	講師	石原 房子 (37) <令和元年9月> 修士(老年学)
		高齢者心理学
兼任	講師	落合 舞子 (34) <平成31年4月> 修士(教育学)
		心理検査法Ⅰ 心理検査法Ⅱ 医療心理学
兼任	講師	藤村 敬二 (66) <平成31年4月> 医学士
		精神医学
兼任	講師	玉木 宗久 (47) <平成31年4月> 博士(学術)
		神経心理学
兼任	講師	石島 このみ (32) <令和元年9月> 修士(人間科学)
		比較行動学
兼任	講師	乙幡 美佐江 (48) <平成31年4月> 修士(社会学)
		社会福祉援助論 障害者援助論
兼任	講師	平野 真理 (35) <令和2年4月> 博士(教育学)
		臨床心理学実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	永房 典之 (45) <平成31年4月> 博士(社会学)
		社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ) 対人関係論 消費者心理学 発達臨床
兼任	講師	岸 太一 (47) <令和元年9月> 博士(人間科学)
		健康・医療心理学
兼任	講師	小松 陽香 (28) <令和元年9月> 修士(スポーツウェルネス学)
		スポーツ心理学
兼任	講師	石原 房子 (36) <令和元年9月> 修士(老年学)
		発達心理学Ⅱ(高齢者心理学)
兼任	講師	落合 舞子 (33) <平成31年4月> 修士(教育学)
		心理的アセスメントⅠ 心理的アセスメントⅡ 人体の構造と機能及び疾病
兼任	講師	藤村 敬二 (65) <平成31年4月> 医学士
		精神疾患とその治療
兼任	講師	玉木 宗久 (46) <平成31年4月> 博士(学術)
		神経・生理心理学
兼任	講師	平田 修三 (33) <令和元年9月> 修士(人間科学)
		比較行動学
兼任	講師	乙幡 美佐江 (47) <平成31年4月> 修士(社会学)
		福祉心理学 障害者・障害児心理学
兼任	講師	平野 真理 (33) <令和2年4月> 博士(教育学)
		臨床心理学実習 心理演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	永房 典之 (46) <平成31年4月> 博士(社会学)
		社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ) 対人関係論 消費者心理学 発達臨床
兼任	講師	飯田 敏晴 (39) <令和元年9月> 博士(心理学)
		健康・医療心理学
兼任	講師	小松 陽香 (28) <令和元年9月> 修士(スポーツウェルネス学)
		スポーツ心理学
兼任	講師	池内 朋子 (42) <令和元年9月> 博士(老年学)
		発達心理学Ⅱ(高齢者心理学)
兼任	講師	落合 舞子 (34) <平成31年4月> 修士(教育学)
		産業・組織心理学 心理的アセスメントⅠ 心理的アセスメントⅡ 人体の構造と機能及び疾病
兼任	講師	藤村 敬二 (66) <平成31年4月> 医学士
		精神疾患とその治療
兼任	講師	玉木 宗久 (47) <平成31年4月> 博士(学術)
		神経・生理心理学
兼任	講師	石島 このみ (32) <令和元年9月> 修士(人間科学)
		比較行動学
兼任	講師	乙幡 美佐江 (48) <平成31年4月> 修士(社会学)
		福祉心理学 障害者・障害児心理学
兼任	講師	平野 真理 (34) <令和2年4月> 博士(教育学)
		臨床心理学実習 心理演習

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名					
兼任	講師	滝澤 雅史 (43) <平成31年4月> 修士(国際交流)	兼任	滝澤 雅史 (42) <平成31年4月> 修士(国際交流)	兼任	滝澤 雅史 (43) <平成31年4月> 修士(国際交流)
		博物館資料論 博物館資料保存論		博物館資料論 博物館資料保存論		博物館資料論 博物館資料保存論 <b>博物館実習B</b>
兼任	講師	滝口 正哉 (45) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	滝口 正哉 (44) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	滝口 正哉 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論		地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論		地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (63) <平成31年4月> 造形学士	兼任	山口 和美 (62) <平成31年4月> 造形学士	兼任	山口 和美 (63) <平成31年4月> 造形学士
		博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習B		博物館教育論 博物館情報・メディア論 <b>博物館実習C</b>		博物館教育論 博物館情報・メディア論 <b>博物館実習C</b>
兼任	講師	津曲 真一 (47) <平成31年4月> 博士(文学)				
		日本文化史 I 日本文化史 II				
			兼任	長谷川 幸一 (36) <平成31年4月> 修士(歴史学)	兼任	長谷川 幸一 (37) <平成31年4月> 修士(歴史学)
				日本文化史 I 日本文化史 II		日本文化史 I 日本文化史 II
兼任	講師	鈴木 伸子 (40) <令和元年9月> 博士(美術)	兼任	鈴木 伸子 (39) <令和元年9月> 博士(美術)	兼任	鈴木 伸子 (40) <令和元年9月> 博士(美術)
		日本のミュージアム		日本のミュージアム		日本のミュージアム
兼任	講師	岩谷 秋美 (42) <平成31年4月> 博士(美術)	兼任	岩谷 秋美 (41) <平成31年4月> 博士(美術)	兼任	岩谷 秋美 (42) <平成31年4月> 博士(美術)
		西洋美術の旅 I		西洋美術の旅 I		<b>未開講</b>
兼任	講師	桑 和沙 (36) <令和元年9月> 博士(文学)	兼任	桑 和沙 (35) <令和元年9月> 博士(文学)	兼任	桑 和沙 (36) <令和元年9月> 博士(文学)
		西洋美術の旅 II		西洋美術の旅 II		<b>未開講</b>
兼任	講師	加島 勝 (63) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	加島 勝 (62) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	加島 勝 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本の文化財 I 日本の文化財 II		日本の文化財 I 日本の文化財 II		日本の文化財 I 日本の文化財 II
兼任	講師	今野 慶信 (50) <平成31年4月> 修士(日本史学)	兼任	今野 慶信 (49) <平成31年4月> 修士(日本史学)	兼任	今野 慶信 (50) <平成31年4月> 修士(日本史学)
		歴史考古学		歴史考古学		歴史考古学
兼任	講師	市川 理恵 (47) <平成31年4月> 博士(史学)	兼任	市川 理恵 (46) <平成31年4月> 博士(史学)	兼任	市川 理恵 (47) <平成31年4月> 博士(史学)
		文化交流史 I 文化交流史 II		文化交流史 I 文化交流史 II		文化交流史 I 文化交流史 II

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<人間総合学群 心理学類>

**【平成30年度】**

- ・富士原教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目追加。
- ・松岡教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目追加、科目廃止。
- ・糟谷教授、科目調整のため、「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」を削除、黒瀬兼任講師に担当者変更。
- ・須藤教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目削除、科目廃止、科目追加。削除科目「心理学入門Ⅱ」は富士原教授、松岡教授に担当者変更。
- ・藤城教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目追加。
- ・藤川教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目追加。
- ・丸山准教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目廃止、科目追加。
- ・石津准教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目廃止、科目追加。
- ・綾城講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目廃止、科目追加、課程認定委員会指摘の理由により、科目名称変更（「教育相談」）。
- ・篠兼担教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除、鈴木兼担准教授に担当者変更。
- ・中野兼担教授、教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を追加。
- ・皆川兼担准教授、准教授から教授へ昇格。
- ・鈴木兼担准教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・大貫兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・石川兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・小久保兼担助教、体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除。
- ・龍谷兼任講師、就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」を佐々木兼担教授、「仏教学Ⅱ」を千葉兼担教授に担当者変更。
- ・田中兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・竹田兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、本人都合の理由により、「心理学英語講読」を削除、大谷兼任講師に担当者変更。
- ・森島兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・船津兼任講師、就任辞退の理由により、「数学の世界」「物理の世界」を下久保兼任講師に担当者変更。
- ・滝沢兼任講師、就任辞退の理由により、「色彩と科学」を稲葉兼任講師に担当者変更。
- ・大石兼任講師、就任辞退の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を木村兼任講師に担当者変更。
- ・小泉兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・木庭兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加。
- ・佐々木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Moreau Robert兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をBurns Kevin Robert兼任講師に担当者変更。
- ・吉田兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を鈴木兼任講師に担当者変更。
- ・杉田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・砂田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・田ノ口兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・加藤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・メルヴィン・ジョン兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をEarl Russell兼任講師に担当者変更。
- ・木澤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・神山兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Suthichai Pac Taupradist兼任講師、就任辞退の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」をRod Caldwell兼任講師に担当者変更。
- ・Jeffrey Jones兼任講師、就任辞退の理由により、「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」をJason Takada兼任講師に担当者変更。
- ・クレイ・サイモン兼任講師、教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を追加。
- ・奥野兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・杉原兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・永房兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・岸兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・木村兼任講師、就任辞退の理由により、「スポーツ心理学」を小松兼任講師に担当者変更。
- ・石原兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・落合兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・藤村専任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・玉木専任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・石島兼任講師、就任辞退の理由により、「比較行動学」を平田兼任講師に担当者変更。
- ・乙幡兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・平野兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目追加。
- ・津曲兼任講師、就任辞退の理由により、「日本文化史Ⅰ」「日本文化史Ⅱ」を長谷川兼任講師に担当者変更。

**【令和元年度】**

- ・富士原教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加、「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」を削除。
- ・松岡教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・糟谷教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加、「ドイツ語Ⅲ」「ドイツ語Ⅳ」を削除。
- ・坂塚教授、科目担当調整の理由により、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「中国語Ⅲ」「中国語Ⅳ」を削除、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を余兼任講師に担当者変更。
- ・藤城教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・藤川教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・明田川准教授、科目担当調整の理由により、「コンピュータ演習Ⅲ」「コンピュータ演習Ⅳ」を削除、岡本兼任講師に担当者変更。
- ・丸山准教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加、「発達心理学Ⅰ」を削除、奥野兼任講師に担当者変更。

- ・石津准教授、科目担当調整の理由により、「産業・組織心理学」を削除、落合兼任講師に担当者変更、「感情・人格心理学」を削除、竹田兼任講師に担当者変更。
- ・羽鳥兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加。
- ・加藤兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加、科目担当調整の理由により、「スペイン語Ⅲ」「スペイン語Ⅳ」を削除。
- ・篠兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・渡邊兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加。
- ・橋本兼担教授、科目担当調整の理由により、「言語表現演習Ⅰ」「言語表現演習Ⅱ」を担当。
- ・田代兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」「観光文化入門Ⅰ」を担当。
- ・皆川兼担教授、科目担当調整の理由により、「駒沢女子大学入門」を削除、「民俗資料論」を追加。
- ・鈴木兼担教授、科目担当調整の理由により、「コンピュータ演習Ⅱ」を削除、星野兼任講師に担当者変更。
- ・下川兼担教授、科目担当調整の理由により、「歴史資料論」を追加。
- ・杉野兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加。
- ・張兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」を追加。
- ・鮫島兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」を追加。
- ・松山兼担教授、科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を削除。
- ・古屋兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・小久保兼担助教、退職の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を三宅兼担助教に担当者変更。
- ・玉本兼任講師、科目担当調整の理由により、「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」を削除。
- ・斎藤兼任講師、本人都合の理由により、「日本の経済」を、皆木兼任講師に担当者変更。
- ・鈴木兼任講師、本人都合の理由により、「地球と宇宙」を、平井兼任講師に担当者変更。
- ・野々垣兼任講師、本人都合の理由により、「社会と教養演習A」を永久兼任講師に、「社会と教養演習B」を樋口兼任講師に担当者変更。
- ・丸山兼任講師、本人都合の理由により、「スポーツⅡ」を削除。
- ・三辻兼任講師、本人都合の理由により、「スポーツⅠ」を削除。
- ・池上兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・江連兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・木村兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・小田島兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・川上兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・小泉兼任講師、退職の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除。
- ・佐々木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・宮脇兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・Burns兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・本村兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・薬師兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・鈴木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・杉田兼任講師、退職の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、岸山兼任講師に担当者変更。
- ・砂田兼任講師、退職の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除。
- ・小木曾兼任講師、科目調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を担当。
- ・田ノ口兼任講師、退職の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除。
- ・加藤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加。
- ・Russell兼任講師、退職の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・谷口兼任講師、本人都合の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を削除。
- ・木澤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・神山兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・津村兼任講師、科目調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を担当。
- ・佐々木兼任講師、科目調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を担当。
- ・Daniel兼任講師、科目調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を担当。
- ・Rose兼任講師、科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を担当。
- ・Takada兼任講師、退職の理由により、「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」を削除。
- ・Donald兼任講師、科目調整の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」を担当。
- ・Lawrence兼任講師、科目調整の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を担当。
- ・Gleeson兼任講師、科目調整の理由により、「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」を担当。
- ・黒瀬兼任講師、退職の理由により、「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」「ドイツ語Ⅲ」「ドイツ語Ⅳ」を、高宮兼任講師に担当者変更。
- ・岸兼任講師、本人都合の理由により、「臨床・医療心理学」を、飯田兼任講師に担当者変更。
- ・石原兼任講師、退職の理由により、「発達心理学Ⅱ(高齢者心理学)」を、池内兼任講師に担当者変更。
- ・平田兼任講師、科目担当調整の理由により、「比較行動学」を、石島兼任講師に担当者変更。
- ・滝澤兼任講師、授業内容充実の理由により、「博物館実習B」を追加。
- ・岩谷兼任講師、本人都合の理由により、「西洋美術の旅Ⅰ」を未開講。
- ・桑兼任講師、本人都合の理由により、「西洋美術の旅Ⅱ」を未開講。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告時)の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
8	3	1	0	12	8	3	1	0	12
(8)	(3)	(1)	(0)	(12)					
現在(報告時)の完成年度時の状況					現在(報告時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(C)	教授	准教授	講師	助教	計(D)
8	3	1	0	12	8	3	1	0	12
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0	0
70 平成17年以前就任者 歳		
	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
合計（D）				後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計（F）				後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)} + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況  
該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
届 出 時 (平成29年4月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	・入学定員超過の改善 に努めること。(人間総 合学群心理学類)	・昨年度入学定員超過率が 1.42倍であったのを、本年 度1.18倍に是正した。	・入学定員の是正に引き続 き努めていく。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <人間総合学群 心理学類>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>① 届出時の心理学類の卒業要件及び履修方法</p> <p>・人間総合学群 教養教育科目（全学類共通）：必修科目20単位（初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目）、選択必修科目16単位（入門科目、教養知科目）を含め教養教育科目から36単位以上履修すること</p> <p>・心理学類 専門教育科目：必修科目10単位（基本科目）、選択必修科目14単位（現代心理学関連科目、臨床心理学関連科目、専門ゼミ科目）を含め62単位以上履修すること</p> <p>・以上、教養教育科目（36単位以上）、専門教育科目（62単位以上）、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること</p> <p>・履修科目の登録上限46単位（年間）</p>	<p>① 公認心理師法が平成29年9月15日に施行され、それに伴い、公認心理師法施行令、及び公認心理師法施行規則が制定され、同日より施行された。上記の理由により、届出時の心理学類の卒業要件及び履修方法を以下のように変更した。</p> <p>・人間総合学群 教養教育科目（全学類共通）：必修科目20単位（初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目）、選択必修科目16単位（入門科目、教養知科目）を含め教養教育科目から36単位以上履修すること</p> <p>・心理学類 専門教育科目：<b>必修科目14単位（基本科目、専門ゼミ科目）</b>を含め62単位以上履修すること</p> <p>・以上、教養教育科目（36単位以上）、専門教育科目（62単位以上）、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること</p> <p>・履修科目の登録上限46単位（年間）</p> <p>今後、変更内容に沿って、専門教育科目を運用していく。（以上平成30年度）</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況（別添資料1「点検・評価・改善委員会規程」参照）</p> <p>本学では、教員の資質の維持、改善、向上を図るための組織として「点検・評価・改善委員会」を置いている。同委員会は、主として、以下の諸活動を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業アンケートの実施と自己評価報告書の作成依頼</li> <li>2. 学内公開授業の運営</li> <li>3. ファカルティ・ディベロップメントの実施</li> <li>4. 教育研究業績記録の作成</li> </ol> <p>本委員会は、全学的な組織であり、学群長（人間総合学群）、各学部長（人間健康学部・看護学部）、各教授会より選ばれた教員、事務職員により構成される。</p>
--

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

1. 点検・評価・改善委員会は、基本的に、月の第3木曜日に開催している。

2a. 平成29年度の開催状況を以下に記す。

- ・平成29年 4月20日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
- ・平成29年 5月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員7名、職員1名、以上11名出席
- ・平成29年 6月15日 委員長、人文学部長、他教員6名、職員1名、以上9名出席
- ・平成29年10月19日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
- ・平成29年11月16日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
- ・平成29年12月21日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
- ・平成30年 1月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員5名、職員1名、以上9名出席

2b. 平成30年度の開催状況を以下に記す。

- ・平成30年 4月19日 委員長、学群長・学部長2名、他教員9名、職員2名、以上15名出席
- ・平成30年 5月17日 委員長、学群長・各学部2名、他教員9名、職員2名、以上15名出席
- ・平成30年 6月14日 委員長、学群長・学部長1名、他教員9名、職員2名、以上14名出席
- ・平成30年 7月19日 委員長、学群長・学部長1名、他教員10名、職員2名、以上15名出席
- ・平成30年 9月20日 委員長、学群長・学部長1名、他教員10名、職員1名、以上14名出席
- ・平成30年10月18日 委員長、学群長・学部長1名、他教員8名、職員2名、以上13名出席
- ・平成30年11月15日 委員長、学群長・学部長1名、他教員11名、職員2名、以上16名出席
- ・平成30年12月20日 委員長、学群長・学部長1名、他教員9名、職員2名、以上14名出席
- ・平成30年 1月17日 委員長、学群長・学部長1名、他教員8名、職員1名、以上12名出席

c 委員会の審議事項等

1. 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
2. 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
3. その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

上記3の具体的内容として、授業アンケート、学内公開授業、卒業年次アンケート、FD・SD活動の実施、FD分科会の統括、研究費傾斜配分、外部機関開催のFD研修会案内等があげられる。

② 実施状況

a 実施内容

1. 学内公開授業
2. ファカルティ・ディベロップメント
3. 教育研究業績記録の作成

b 実施方法

1. 学内公開授業

本学では、前期と後期に各1回、2週間にわたり、専任教員を中心とした学内授業公開期間を設けている。参加者は、見学した授業に対する意見書を自己の名前を付して提出する。

2. ファカルティ・ディベロップメント

本学では、「点検・評価・改善委員会」が中心となり、教職員を対象としたFD研修会を、毎年1回もしくは2回実施する。FD研修会は、専任教員全員参加を原則とし、終了後の報告を義務付ける。さらに、学類、学科の枠をこえ、類似する専門分野の教員が集まり、よりよい授業への改善を目的に、独自のFD分科会（必修英語の研究・第二外国語分科会・ICT教育検討会等）を展開させている。平成29年度は15の分科会が、平成30年度は22の分科会が稼働中である。分科会の1年間の成果は、年度末に教育研究支援課に提出され、記録を保管している。

3. 教育研究業績記録の作成

本学では、全専任教員が教育研究業績を毎年度更新している。これは、所定の形式にのっとり、「教育実践上の主な業績」「作成した教科書・教材・参考書」「教育活動上特記すべき事項」「研究活動」「学会等社会における主な活動」等の項目をまとめ、年度末に提出するというものである。教員は、これを、教育内容の見直しを図るための一助として活用している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1a. 学内公開授業（平成29年度実績）

前期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 156  
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 45  
(参考 兼任講師8名参加 公開授業総数19)

後期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 132  
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 42  
(参考 兼任講師4名参加 公開授業数 5)

1b. 学内公開授業（平成30年度実績）

前期（平成30年6月11日～6月23日）

人文学部・人間総合学群 公開授業総数 143 参観者総数 110

人間健康学部 公開授業総数 29 参観者総数 7

看護学部 公開授業数 0 参観者総数 0

（参考 兼任講師 公開授業総数 19 参観者総数 9）

後期（平成30年11月19日～12月1日）

人文学部・人間総合学群 公開授業総数 127 参観者総数 81

人間健康学部 公開授業総数 28 参観者総数 4

看護学部 公開授業総数 18 参観者総数 7

（参考 兼任講師 公開授業総数 11 参観者総数 8）

2a. ファカルティ・ディベロップメント（平成29年度実績）

1. 平成29年6月29日

研修会講演 五味洋一「大学における障害学生への合理的配慮を考える2」

参加状況 人文学部 専任教員64名中59名出席 5名（録画視聴） 全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中13名出席 3名（録画視聴） 全員アンケート提出

2. 平成30年2月15日

研修会講演 中谷隆文「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」

田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」

参加状況 人文学部 専任教員64名中58名出席 出席者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中13名出席 出席者全員アンケート提出

3. 平成30年3月8日（2月15日不参加者がいたため再度同内容で開催、ただし講演者1名）

研修会講演 田上慧子「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」

田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」

参加状況 人文学部 専任教員不参加者6名中4名出席 出席者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員不参加者3名中1名出席 出席者全員アンケート提出

再開不参加者 3名中2名資料を読みアンケート提出、3名中1名体調不良により完全不参加

2b. ファカルティ・ディベロップメント（平成30年度実績）

1. 平成30年7月26日

研修会講演 芝田剛志「SNSリスク対策研修会」

参加状況 人文学部・人間総合学群 専任教員62名中55名出席、5名（録画視聴）、産休・休職2名

参加者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中11名出席、5名（録画視聴） 参加者全員アンケート提出

看護学部 専任教員22名中22名出席 出席者全員アンケート提出

2. 平成31年12月13日、12月20日（同一内容）

研修会講演 富士原光洋「シラバス作成と学修指針」

参加状況 人文学部・人間総合学群 専任教員62名中59名出席、講演者1名、産休・休職2名

出席者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中16名出席 アンケート提出15名（1名未提出）

看護学部 専任教員22名中20名出席、育休2名 出席者全員アンケート提出

3. 平成31年2月14日

研修会講演 小川誠・富士原光洋「アセスメント・ポリシーと学修成果の把握」

参加状況 人文学部・人間総合学群 専任教員62名中54名出席、講演者2名、産休・休職2名

校務欠席4名（録画視聴） 参加者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中13名出席、2名（録画視聴）、1名欠席

参加者全員アンケート提出

看護学部 専任教員22名中18名出席、1名（録画視聴）、1名欠席、育休2名

参加者全員アンケート提出

3. 教育研究業績記録の作成

平成29年度：人文学部、人間健康学部、専任教員全員提出。

平成30年度：人間総合学群、人文学部、人間健康学部、看護学部、専任教員全員提出。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 学内公開授業

参観のあった授業担当者は、参観者からの意見書を他者評価として受け取り、授業改善に活用した。この制度は、参観者が自己の授業を改善するきっかけとしての役割も果たしている。

## 2. ファカルティ・ディベロップメント

平成29年度：前期研修会を通して、障害学生への支援の取り組み改善を促進させた。また、後期研修会を通して、本年度開設された人間総合学群の教育全般にわたる準備を図ることができた。

平成30年度：前期研修会を通して、学生のSNSリスク対策への取り組みができた。また、後期の2度の研修会を通して、シラバス、アセスメント・ポリシー等、教育の質保証にかかわる内容について、認識を深めることができた。

## 3. 教育研究業績記録の作成

教育研究業績記録を作成することで、自己の教育研究の見直しを図る機会を得た。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

本学では、前期と後期の終わりに各1回、全学的な授業アンケートを実施し、その結果に基づく自己評価報告書の作成を専任教員に義務づけている。アンケートの項目は、学生自身の学修状況を問う3項目を含め、合計13項目で構成される。教員の授業内容を問う10項目のうち、5段階評価で3.0に満たない項目がある授業に関しては、評価が低かった原因を分析したうえで、報告書に改善計画を付記しなければならない。令和元年度以降は原則として全授業に対して授業アンケートを行う予定である。

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果をとりまとめた報告書は、本学図書館で教職員と学生に公開している。随時閲覧が可能である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

### (4) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

##### 1. 入学生確保

定員の確保へ向けて、学群・学類を紹介する大学案内冊子、リーフレットの作成、大学ホームページの更新、教職員の高校訪問、オープンキャンパスの開催などを行い、教育内容とアドミッション・ポリシーを入学希望者に周知させるように努めている。

平成30年度：本年度入学試験の結果は、入学定員370名に対して、入学志願者は1357名、入学者は458名、定員充足率は123.8%であった。入学者の内訳は、推薦、AO、外国人留学生入学試験入学者、264名、一般入学試験、センター試験利用入学試験入学者、194名である。この数値は、人間総合学群の母体となった人文学部の定員充足率が、平成29年度103.8%、平成28年度74.9%、平成27年度88.2%、であったのを大きく上回る。次年度も、入学志願者の数を減らさないように、広報活動を充実させていく。

令和元年度：本年度入学試験の結果は、入学定員370名に対して、入学志願者は1862名、入学者は466名、定員超過率は1.25倍であった。入学者の内訳は、推薦、AO、外国人留学生、帰国生徒入学試験入学者、259名、一般入学試験、センター試験利用入学試験入学者、207名(内学群入試入学者19名)、である。心理学類は、入学志願者410名、入学者数94名、倍率4.36、定員超過率1.17倍となった。同学類は、設置計画履行状況等調査の結果において(平成30年度)において、「入学定員超過の改善に努めること」との指摘を受けた。本年度は許容の範囲に収まる結果を出すことができた。

##### 2. 学群制の周知と学類への移行

平成30年度・令和元年度：新入生に対して、4月の授業開始前の4日間にわたり、オリエンテーションを行った。そこでは、本学の建学の精神、教育理念、学群・学類の教育目的と教育目標、教育課程の編成、学生生活全般について説明するとともに、専任教員の紹介、住空間デザイン学類希望者向け施設見学を実施した。また、授業の準備として、現在の学力を再確認するための、基礎学力テスト、英語クラス分けテストを入学者全員に課した。その他、奨学金の説明会、教職課程、学芸員養成課程のガイダンス、留学生へ向けての特別オリエンテーションを開催した。

令和元年度：専門教育中心の学類教育課程へ移行した2年次生については、1年次の11月下旬に各学類の専門教育に関する説明会を開催し、所属希望学類の確認と決定への周知を図った。心理学類へは113名が進学した。なお、希望学類への所属が確約されている学群入試入学者10名の進学の内訳は、人間文化学類1名、観光文化学類2名、心理学類3名、住空間デザイン学類4名であった。

### 3. 初年次教育

人間総合学群は、初年次教育の柱として、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を置いている。基礎ゼミは、専任教員が担当し、授業担当者執筆教科書（駒沢女子大学教科書シリーズ）を使用する。全クラスが共通の教科書を使うことで、教育内容に一貫性を持たせる。本科目では、授業の受け方、講義録のとり方、本の読み方、資料の探し方、小論文の書き方、討論や口頭発表の仕方、グループ活動の進め方、大学の学修に必要な基本技術等を教えると同時に、大学生活になじむための企画も行う。

平成30年度は20クラス、令和元年度は21クラスを設け、ほぼ、1クラス20余名のクラス編成をとることができた。また、再履者（2年次生以降）に対しては、別のクラスを設けて対応した。

入門科目は、各学類の専門教育の内容を確認するための導入科目である。学生は、2年進級時、自分が2年次以降に所属する学類を再確認する（前年度の11月下旬）。本科目群は、入学当初の希望とは異なる学類を選ぶ学生が、興味を抱いた学類の学修内容を事前を知るためにも有益な科目である。学生には、個別対応のうえ、最適な入門科目を履修するよう指導した。

令和元年度は、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーションⅡ」「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」の内容を充実させ、入門科目12科目の運用に力を入れた。

初年次の必修科目である、「仏教学Ⅰ」「仏教学Ⅱ」に関して、平成30年度は就任を辞退した兼任講師の授業を専任教員がまかなうことで、予定通りのクラス編成と教育内容を維持することができた。令和元年度は担当者間で授業内容と評価方法を再度見直し、建学の精神を学ぶ科目としての位置づけを再確認した。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・「自己点検・評価報告書」を令和2年5月に公表予定

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公表（令和2年5月を予定）

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和元年度に大学基準協会の評価を受ける（別添資料2「2019年度大学評価に係る申請の受理について」参照）。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### （5）情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元 年 8 月 1 日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ 該当なし ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

## 7 その他全般的事項 別添資料 1

### 駒沢女子大学 点検・評価・改善委員会規程

#### (趣旨)

第1条 この規程は、学校教育法第69条の3及び大学設置基準第2条の規定に基づき、駒沢女子大学の自己点検・評価・改善を行うための、「駒沢女子大学点検・評価・改善委員会」（以下「委員会」という。）に関する事項について定める。

#### (審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に定める事項について、審議する。

- (1) 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
- (2) 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
- (3) その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

#### (担当)

第3条 前条の事項を円滑に処理するため、委員会に次の担当を置く。

- (1) 教育
- (2) 研究
- (3) 施設・設備
- (4) 管理・運営
- (5) 入学・就職
- (6) 総括

2 各担当の責任者は委員長が指名する。

#### (構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員によって構成する。

- (1) 学群長及び各学部長
- (2) 削除
- (3) 各教授会より選出された若干名の委員

2 前項第1号及び第2号の委員はその職にある期間を任期とする。

3 第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 委員の互選により委員長を選出する。

#### (事務職員の参画)

第4条の2 委員会の審議に関連する業務を担当する部門の事務職員1名以上を委員とする。

#### (会議)

第5条 委員会は、委員長が必要に応じこれを招集し、会議の議長となる。

2 委員の3分の1以上の要請があったとき、委員長は委員会を招集しなければならない。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する者がこれに代わる。

#### (定足数)

第6条 委員会は、3分の2の委員の出席をもって成立する。

#### (意見聴取)

第7条 委員会はその職務に関係のある者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

#### (議決)

第8条 委員会は、出席者の過半数により、議決する。

2 可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教育・研究支援室が行う。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会が行う。

附 則 この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成14年10月3日に改正し、平成15年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、「駒沢女子大学自己評価委員会規程」を全面的に改正したものとして、平成16年7月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成21年2月23日に改正し、平成21年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成25年12月13日から施行する。

附 則 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

## 7 その他全般的事項 別添資料2

30 大基評第 182 号  
平成 30 年 12 月 14 日

駒沢女子大学  
学長 光田 督良 殿

公益財団法人 大学基準協会  
事務局長 工藤 潤



### 2019 年度大学評価に係る申請の受理について

拝啓 寒冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本協会の事業推進のため、種々ご協力を賜り深謝申し上げます。

標記に関し、先般、貴大学より提出されました「大学評価申請書」を受理いたしました。つきましては、大学評価ハンドブック及び同封の「評価資料の準備チェックシート」に従って、提出が必要となる評価資料一式のご準備をお進めいただき、来年 4 月 30 日（火）必着でご提出くださるようお願い申し上げます。

なお、提出後の評価資料の差し替えは、原則として出来ませんので、内容等を十分に確認した上でご提出をお願いいたします。

敬 具

<連絡先>

評価事業部 評価第 1 課

TEL : 03-5228-2200 E-MAIL : daigaku@juua.or.jp



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人駒澤学園

## (2) 大学名

駒沢女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒206-8511  
東京都稲城市坂浜238番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成28年6月)		
学長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成23年4月)		
学群長	(ハトリ オサム) 羽鳥 修 (平成30年4月)		
学類長	(サトウ ツトム) 佐藤 勉 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください）。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間総合学群 住空間デザイン学類  学士 (住空間デザイン)	工学関係  美術関係	4	60	—	240	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60 ( ) [若干名]	—	60 ( ) [若干名]	—	( ) ( ) [ ]	1.23倍	一倍						
志願者数	284 ( ) [2]	— ( ) [—]	270 ( ) [8]	— ( ) [—]	( ) ( ) [ ]								
受験者数	272 ( ) [2]	— ( ) [—]	260 ( ) [8]	— ( ) [—]	( ) ( ) [ ]								
合格者数	126 ( ) [1]	— ( ) [—]	131 ( ) [4]	— ( ) [—]	( ) ( ) [ ]								
B 入学者数	77 ( ) [0]	— ( ) [—]	71 ( ) [3]	— ( ) [—]	( ) ( ) [ ]								
入学定員超過率 B/A	1.28		1.18										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	77 [ 0 ] ( - )	— [ — ] ( - )	71 [ 3 ] ( - )	— [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	入学者のうち、人間総合学群一括入試による者は、按分して各学類に記載しており、全学生は、2年次進学時に学類を決定して収容する。
2 年次	/		78 [ 0 ] ( - )	— [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	
3 年次	/		/		— [ — ] ( - )						
4 年次	/		/		/		— [ — ] ( - )				
計	77 [ 0 ] ( - )	—	149 [ 3 ] ( - )	—	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	77人	0人	平成30年度	0人	0人	
令和元年度	149人	2人	平成30年度	2人	0人	就職(1人)、除籍(1人)
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		2人		2人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{77} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{149} = \boxed{1.34} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人間総合学群 住空間デザイン学類>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次教育科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			1		1	2		17	
	基礎ゼミⅡ	1後	1			1		1	2		17	
	小計(2科目)	—	2			1	0	1	2	0	17	
	建学の精神を学ぶ科目	仏教学Ⅰ	1前	2								4
		仏教学Ⅱ	1後	2								4
		仏教学Ⅲ	2前		2							1
		仏教学Ⅳ	2後		2							1
		駒沢女子大学入門	1前		2							6
	小計(5科目)	—	4	6	0	0	0	0	0	0	9	
	入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2							2
		日本文化入門Ⅱ	1後		2							2
		人間関係入門Ⅰ	1前		2							3
		人間関係入門Ⅱ	1後		2							3
		英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前		2							6
英語コミュニケーション入門Ⅱ		1後		2							6	
観光文化入門Ⅰ		1前		2							1	
観光文化入門Ⅱ		1後		2							1	
心理学入門Ⅰ		1前		2							1	
心理学入門Ⅱ		1後		2							1	
住空間デザイン入門Ⅰ		1前		2		1	1	1			3	
住空間デザイン入門Ⅱ		1後		2		1	1	1			3	
小計(12科目)	—	0	24	0	1	1	1	0	0	19		
人間総合学群 教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前		2							1	
	人間と思想Ⅱ	1後		2							1	
	人間と文化Ⅰ	1前		2							1	
	人間と文化Ⅱ	1後		2							1	
	生命の科学	1前		2							1	
	倫理学	1後		2							1	
	人権の基礎	1前		2							1	
	女性の人権	1後		2							1	
	心理学Ⅰ	1前		2							2	
	心理学Ⅱ	1後		2							2	
	生涯学習Ⅰ	1前		2							1	
	生涯学習Ⅱ	1後		2							1	
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2							1	
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2							1	
小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	8		
文化と歴史を学ぶ科目	日本の歴史	1後		2							1	
	世界の歴史	1後		2							1	
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前		2							1	
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後		2							1	
	西洋文化史	1前		2							1	
	日本美術史	1前		2							1	
	比較文化	1後		2							1	
	日本の文化	1後		2							1	
	観光地理(日本)	1前		2							1	
	観光地理(世界)	1後		2							1	
	日本の文学	1前		2							1	
ヨーロッパの文学	1後		2							1		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次教育科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			1	1	1	2		23	
	基礎ゼミⅡ	1後	1			1	1	1	2		23	
	小計(2科目)	—	2			1	1	1	2		23	
	建学の精神を学ぶ科目	仏教学Ⅰ	1前	2								3
		仏教学Ⅱ	1後	2								3
		仏教学Ⅲ	2前		2							1
		仏教学Ⅳ	2後		2							1
		駒沢女子大学入門	1前		2							5
	小計(5科目)	—	4	6	0	0	0	0	0	0	7	
	入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2							2
		日本文化入門Ⅱ	1後		2							2
		人間関係入門Ⅰ	1前		2							3
		人間関係入門Ⅱ	1後		2							3
		英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前		2							8
英語コミュニケーション入門Ⅱ		1後		2							1	
観光文化入門Ⅰ		1前		2							7	
観光文化入門Ⅱ		1後		2							2	
心理学入門Ⅰ		1前		2							1	
心理学入門Ⅱ		1後		2							2	
住空間デザイン入門Ⅰ		1前		2		1	1	1			3	
住空間デザイン入門Ⅱ		1後		2		1	1	1			3	
小計(12科目)	—	0	24	0	1	1	1	0	0	28		
人間総合学群 教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前		2							1	
	人間と思想Ⅱ	1後		2							1	
	人間と文化Ⅰ	1前		2							1	
	人間と文化Ⅱ	1後		2							1	
	生命の科学	1前		2							1	
	倫理学	1後		2							1	
	人権の基礎	1前		2							1	
	女性の人権	1後		2							1	
	心理学Ⅰ	1前		2							2	
	心理学Ⅱ	1後		2							2	
	生涯学習Ⅰ	1前		2							1	
	生涯学習Ⅱ	1後		2							1	
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2							1	
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2							1	
小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	8		
文化と歴史を学ぶ科目	日本の歴史	1後		2							1	
	世界の歴史	1後		2							1	
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前		2							1	
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後		2							1	
	西洋文化史	1前		2							1	
	日本美術史	1前		2							1	
	比較文化	1後		2							1	
	日本の文化	1後		2							1	
	観光地理(日本)	1前		2							1	
	観光地理(世界)	1後		2							1	
	日本の文学	1前		2							1	
ヨーロッパの文学	1後		2							1		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会と自然を学ぶ科目	小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	10
	日本の政治	1前		2								1
	世界の政治	1後		2								1
	政治と市民参加	1後		2								1
	日本の経済	1前		2								1
	世界の経済	1前		2								1
	新聞と報道	1後		2								1
	グローバル共生論	1後		2								1
	法学	1前		2								1
	法と社会	1後		2								1
	日本国憲法 I	1前		2								1
	日本国憲法 II	1後		2								1
	社会学 I	1前		2								1
	社会学 II	1後		2								1
	数学の世界	1前		2								1
	物理の世界	1後		2								1
	生物と生命	1前		2								1
	地球と宇宙	1後		2								1
	物質と化学	1前		2								1
	情報と科学	1後		2								1
色彩と科学	1前		2								1	
小計(20科目)	—	0	40	0	0	0	0	0	0	0	12	
人間総合学群 実習科目	ボランティア実習 I	1後		1								2
	ボランティア実習 II	2後		2								1
	海外英語研修 I	1後		2								7
	海外英語研修 II	2後		2								7
	国際協力実習	2前		1								1
	国際協力実習フォローアップ	2後		2								1
	小計(6科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10
実践知科目 就業力育成科目	進路設計	1後		2								3
	社会と教養演習A	2・3前		1								1
	社会と教養演習B	2・3前		1								1
	社会と教養演習C	2・3後		1								1
	社会と教養演習D	2・3後		1								1
	キャリアリテラシー	3前		2								1
	就業への知識と技能A	2・3前		2								1
	就業への知識と技能B	2・3後		2								1
小計(8科目)	—	2	10	0	0	0	0	0	0	0	6	
健康体育科目	女性と健康 I	1前		2								1
	女性と健康 II	1後		2								1
	スポーツ I	1・2前		1								3
	スポーツ II	1・2後		1								3
小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	4	
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前		1								5
	言語表現演習 II	1後		1								5
	小計(2科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5
技法知科目 外国語育成科目	英語A I	1前		1								25
	英語A II	1後		1								25
	英語A III	2前		1								25
	英語A IV	2後		1								25
	英語B I	1前		1								25
	英語B II	1後		1								25
	英語B III	2前		1								25
	英語B IV	2後		1								25

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会と自然を学ぶ科目	小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	10
	日本の政治	1前		2								1
	世界の政治	1後		2								1
	政治と市民参加	1後		2								1
	日本の経済	1前		2								1
	世界の経済	1前		2								1
	新聞と報道	1後		2								1
	グローバル共生論	1後		2								1
	法学	1前		2								1
	法と社会	1後		2								1
	日本国憲法 I	1前		2								1
	日本国憲法 II	1後		2								1
	社会学 I	1前		2								1
	社会学 II	1後		2								1
	数学の世界	1前		2								1
	物理の世界	1後		2								1
	生物と生命	1前		2								1
	地球と宇宙	1後		2								1
	物質と化学	1前		2								1
	情報と科学	1後		2								1
色彩と科学	1前		2								1	
小計(20科目)	—	0	40	0	0	0	0	0	0	0	13	
人間総合学群 実習科目	ボランティア実習 I	1後		1								2
	ボランティア実習 II	2後		2								1
	海外英語研修 I	1後		2								7
	海外英語研修 II	2後		2								7
	国際協力実習	2前		1								1
	国際協力実習フォローアップ	2後		2								1
	小計(6科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10
実践知科目 就業力育成科目	進路設計	1後		2								3
	社会と教養演習A	2・3前		1								1
	社会と教養演習B	2・3前		1								1
	社会と教養演習C	2・3後		1								1
	社会と教養演習D	2・3後		1								1
	キャリアリテラシー	3前		2								1
	就業への知識と技能A	2・3前		2								1
	就業への知識と技能B	2・3後		2								1
小計(8科目)	—	2	10	0	0	0	0	0	0	0	7	
健康体育科目	女性と健康 I	1前		2								1
	女性と健康 II	1後		2								1
	スポーツ I	1・2前		1								2
	スポーツ II	1・2後		1								2
小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	4	
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前		1								6
	言語表現演習 II	1後		1								6
	小計(2科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6
技法知科目 外国語育成科目	英語A I	1前		1								15
	英語A II	1後		1								15
	英語A III	2前		1								15
	英語A IV	2後		1								15
	英語B I	1前		1								15
	英語B II	1後		1								15
	英語B III	2前		1								15
	英語B IV	2後		1								15

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間総合学群 教養教育科目	英会話 I	1前	1								3
	英会話 II	1後	1								3
	英会話 III	2前	1								1
	英会話 IV	2後	1								1
	Receptive English I	1・2前	1								1
	Receptive English II	1・2後	1								1
	Productive English I	1・2前	1								1
	Productive English II	1・2後	1								1
	English Summer Seminar	2・3前	1								2
	フランス語 I	1前	1								2
	フランス語 II	1後	1								2
	フランス語 III	2前	1								2
	フランス語 IV	2後	1								2
	ドイツ語 I	1前	1								2
	ドイツ語 II	1後	1								2
	ドイツ語 III	2前	1								2
	ドイツ語 IV	2後	1								2
	スペイン語 I	1前	1								2
	スペイン語 II	1後	1								2
	スペイン語 III	2前	1								2
スペイン語 IV	2後	1								2	
中国語 I	1前	1								2	
中国語 II	1後	1								2	
中国語 III	2前	1								2	
中国語 IV	2後	1								2	
小計(33科目)	—	8	25	0	0	0	0	0	0	0	37
情報力育成科目	コンピュータ演習 I	1前	1			1	1				4
	コンピュータ演習 II	1後	1			1	1				4
	コンピュータ演習 III	2前	1								1
	コンピュータ演習 IV	2後	1								1
	小計(4科目)	—	2	2	0	1	1	0	0	0	0
特設科目	日本語A I	1前	1								1
	日本語B I	1前	1								1
	日本語A II	1後	1								1
	日本語B II	1後	1								1
	日本語A III	2前	1								1
	日本語B III	2前	1								1
	日本語A IV	2後	1								1
	日本語B IV	2後	1								1
	日本事情 I	1前	2								1
	日本事情 II	1後	2								1
	日本事情 III	2前	2								1
	日本事情 IV	2後	2								1
小計(12科目)	—	16	0	0	0	0	0	0	0	0	3
人間総合学群 住空間デザイン学類 専門教育科目	住空間デザインの基礎 I	2前	2			4	1				
	住空間デザインの基礎 II	2後	2			4	1				
	平面と立体表現の基礎	1前	2			1					1
	製図の基礎	1前	2					1	1		
	図学と透視画の基礎	1後	2			1					1
	建築・インテリアデザイン入門	1後	2			1	1		1		
	プロダクトデザイン入門	1後	2			2					1
	設計製図 I	2前	2			2					2
	設計製図 II	2後	2			1	1				4
	住空間とライフスタイル	2・3・4後	2								1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間総合学群 教養教育科目	英会話 I	1前	1									4
	英会話 II	1後	1									4
	英会話 III (未開講)	2前	1									1
	英会話 IV	2後	1									1
	Receptive English I	1・2前	1									1
	Receptive English II	1・2後	1									1
	Productive English I	1・2前	1									1
	Productive English II	1・2後	1									1
	English Summer Seminar	2・3前	1									2
	フランス語 I	1前	1									2
	フランス語 II	1後	1									2
	フランス語 III	2前	1									2
	フランス語 IV	2後	1									2
	ドイツ語 I	1前	1									1
	ドイツ語 II	1後	1									1
	ドイツ語 III	2前	1									1
	ドイツ語 IV	2後	1									1
	スペイン語 I	1前	1									2
	スペイン語 II	1後	1									2
	スペイン語 III	2前	1									1
スペイン語 IV	2後	1									1	
中国語 I	1前	1									2	
中国語 II	1後	1									2	
中国語 III	2前	1									1	
中国語 IV	2後	1									1	
小計(33科目)	—	8	25	0	0	0	0	0	0	0	0	38
情報力育成科目	コンピュータ演習 I	1前	1			1	1					5
	コンピュータ演習 II	1後	1			1	1					5
	コンピュータ演習 III	2前	1									1
	コンピュータ演習 IV	2後	1									1
	小計(4科目)	—	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0
特設科目	日本語A I	1前	1									1
	日本語B I	1前	1									1
	日本語A II	1後	1									1
	日本語B II	1後	1									1
	日本語A III	2前	1									1
	日本語B III	2前	1									1
	日本語A IV	2後	1									1
	日本語B IV	2後	1									1
	日本事情 I	1前	2									1
	日本事情 II	1後	2									1
	日本事情 III	2前	2									1
	日本事情 IV	2後	2									1
小計(12科目)	—	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
人間総合学群 住空間デザイン学類 専門教育科目	住空間デザインの基礎 I	2前	2			4	1					
	住空間デザインの基礎 II	2後	2			4	1					
	平面と立体表現の基礎	1前	2			1						1
	製図の基礎	1前	2					1	1			2
	図学と透視画の基礎	1後	2			1						1
	建築・インテリアデザイン入門	1後	2			1	1		1			
	プロダクトデザイン入門	1後	2			2						1
	設計製図 I	2前	2			2						3
	設計製図 II	2後	2			1	1					2
	住空間とライフスタイル	2・3・4後	2									1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本科目	住空間とインテリアプロダクト	2・3・4前	2			1						
	福祉住環境デザイン	2・3・4後	2				1					
	環境デザイン	2・3・4後	2								1	
	色彩デザイン	2・3・4前	2								1	
	CAD I	1後	1			1	1		1			
	CAD II	2前	1						2			
	CAD III	2後	1					1			1	
	プレゼンテーション技法	3前	1		1	1						
	学外実習	3・4前	1			1			2			
	フィールドワーク	2・3・4前	1			5	2	1	2			
小計(20科目)	—	12	22	0	5	2	1	2	0	9		
人間総合学群 住空間デザイン学類	インテリアデザイン I	3前	2			1					1	
	インテリアデザイン II	3後	2			1					1	
	インテリアデザイン論	2前	2			1						
	インテリアデザイン計画A	2後	2			1						
	インテリアデザイン計画B	3前	2								1	
	インテリアデザイン計画C	3後	2								1	
	家具デザイン I	2前	2		1						1	
	家具デザイン II	2後	2		1						1	
	家具デザイン III	3前	2		1							
	家具デザイン研究	2・3・4後	2		1							
	陶芸デザイン I	2前	2		1						1	
	陶芸デザイン II	2後	2		1						1	
	陶芸デザイン III	3前	2		1							
	陶芸デザイン研究	2・3・4後	2		1							
	立体織デザイン I	2前	2								1	
	立体織デザイン II	2後	2								1	
	立体織デザイン III	3前	2								1	
	加工・材料学	2・3・4前	2			1						
	芸術論	2・3・4前	2								1	
	工芸デザイン論	2・3・4後	2								1	
	空間演出A	3前	2			1				1	1	
	空間演出B	3後	2			1				1	1	
	インテリアの知識と技術 I	2・3・4後	2							1		
	インテリアの知識と技術 II	3・4前	2							1		
小計(24科目)	—	0	48	0	5	0	0	1	0	8		
専門教育科目	建築デザイン I	3前	2			1	1					
	建築デザイン II	3後	2		1		1					
	建築デザイン論	2後	2				1				1	
	建築計画A	2前	2		1							
	建築計画B	3前	2			1						
	建築計画C	3後	2		1							
	建築計画D	4前	2								1	
	構造力学 I	2前	2						1			
	構造力学 II	2後	2						1			
	建築構造 I	2前	2						1			
	建築構造 II	2後	2						1			
	日本建築史	2・3・4前	2								1	
	西洋建築史	2・3・4後	2								1	
	ランドスケープ論	2・3・4後	2								1	
	建築環境設備	3後	2								1	
	環境工学	3前	2								1	
建築材料	3前	2						1				
建築生産	3後	2						1				

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本科目	住空間とインテリアプロダクト	2・3・4前	2			1						
	福祉住環境デザイン	2・3・4後	2				1					
	環境デザイン	2・3・4後	2								1	
	色彩デザイン	2・3・4前	2								1	
	CAD I	1後	1			1	1		1	1		
	CAD II	2前	1						1	1		
	CAD III	2後	1					1		1		
	プレゼンテーション技法	3前	1		1	1						
	学外実習	3・4前	1						1		2	
	フィールドワーク	2・3・4前	1					1		1		
小計(20科目)	—	12	22	0	5	2	1	2	0	10		
人間総合学群 住空間デザイン学類	インテリアデザイン I	3前	2			1						1
	インテリアデザイン II	3後	2			1						1
	インテリアデザイン論	2前	2			1						
	インテリアデザイン計画A	2後	2			1						
	インテリアデザイン計画B	3前	2									1
	インテリアデザイン計画C	3後	2									1
	家具デザイン I	2前	2		1							1
	家具デザイン II	2後	2		1							1
	家具デザイン III	3前	2		1							
	家具デザイン研究	2・3・4後	2		1							
	陶芸デザイン I	2前	2		1							2
	陶芸デザイン II	2後	2		1							2
	陶芸デザイン III	3前	2		1							1
	陶芸デザイン研究	2・3・4後	2		1							1
	立体織デザイン I	2前	2									2
	立体織デザイン II	2後	2									1
	立体織デザイン III	3前	2									1
	加工・材料学	2・3・4前	2			1						
	芸術論	2・3・4前	2									1
	工芸デザイン論	2・3・4後	2									1
	空間演出A	3前	2			1				1	1	
	空間演出B	3後	2			1				1	1	
	インテリアの知識と技術 I	2・3・4後	2							1		
	インテリアの知識と技術 II	3・4前	2							1		
小計(24科目)	—	0	48	0	5	0	0	1	0	12		
専門教育科目	建築デザイン I	3前	2			1	1					
	建築デザイン II	3後	2		1		1					
	建築デザイン論	2後	2				1				1	
	建築計画A	2前	2		1							
	建築計画B	3前	2			1						
	建築計画C	3後	2		1							
	建築計画D	4前	2									1
	構造力学 I	2前	2							1		
	構造力学 II	2後	2							1		
	建築構造 I	2前	2							1		
	建築構造 II	2後	2							1		
	日本建築史	2・3・4前	2									1
	西洋建築史	2・3・4後	2									1
	ランドスケープ論	2・3・4後	2									1
	建築環境設備	3後	2									1
	環境工学	3前	2									1
建築材料	3前	2							1			
建築生産	3後	2							1			

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	建築法規Ⅰ	3・4前	2								1
	建築法規Ⅱ	3・4後	2								1
	小計(20科目)	—	0	40	0	1	1	1	1	0	6
専門ゼミ科目	インテリアデザインスタジオⅠ	3前	1		5			1			
	インテリアデザインスタジオⅡ	3後	1		5			1			
	インテリアデザインスタジオⅢ	4前	1		5			1			
	インテリアデザインスタジオⅣ	4後	1		5			1			
	建築デザインスタジオⅠ	3前	1	1	1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅡ	3後	1	1	1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅢ	4前	1	1	1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅣ	4後	1	1	1	1	1	1			
	卒業研究	4通	4		6	1	1	2			
	小計(9科目)	—	0	12	0	6	1	1	2	0	0
省令必修科目	生涯学習論Ⅰ	1前	2								1
	博物館概論	1後	2								1
	博物館資料論	2前	2								1
	博物館展示論	2後	2								1
	博物館資料保存論	3前	2								1
	博物館経営論	3後	2								1
	博物館教育論	2・3前	2								1
	博物館情報・メディア論	2・3後	2								1
	博物館実習A(見学実習)	2通	1								2
	博物館実習B(実務実習)	3通	1								2
	博物館実習C(館園実習)	4通	1								2
	小計(11科目)	—	0	2	17	0	0	0	0	0	6
	博物館学芸員養成課程科目	日本美術史	1前	2							
西洋文化史		1前	2								1
日本文化史Ⅰ		2前	2								1
日本文化史Ⅱ		2後	2								1
地域文化概論		2前	2								1
世界遺産研究		2前	2								1
世界のミュージアム		2・3前	2								3
日本のミュージアム		2・3後	2								1
西洋美術の旅Ⅰ		2・3前	2								1
西洋美術の旅Ⅱ		2・3後	2								1
小計(10科目)		—	0	20	0	0	0	0	0	0	11
専攻選択必修科目	日本の文化財Ⅰ	2・3前	2								1
	日本の文化財Ⅱ	2・3後	2								1
	歴史資料論	2・3前	2								2
	民俗資料論	2・3後	2								2
	歴史考古学	2・3前	2								1
	歴史地理学	2・3後	2								1
	文化交流史Ⅰ	2・3前	2								1
	文化交流史Ⅱ	2・3後	2								1
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	6	
合計(236科目)	—	48	335	17	7	2	1	2	0	130	
卒業要件及び履修方法											
・人間総合学群 教養教育科目(全学類共通):必修科目20単位(初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目)、選択必修科目16単位(入門科目、教養知科目)を含め教養教育科目から36単位以上履修すること ・住空間デザイン学類 専門教育科目:必修科目12単位(基本科目)、選択必修科目4単位(専門ゼミ科目)を含め62単位以上履修すること ・以上、教養教育科目(36単位以上)、専門教育科目(62単位以上)、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること ・履修科目の登録上限46単位(年間)											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	建築法規Ⅰ	3・4前	2								1
	建築法規Ⅱ	3・4後	2								1
	小計(20科目)	—	0	40	0	1	1	1	1	0	6
専門ゼミ科目	インテリアデザインスタジオⅠ	3前	1		5			1			
	インテリアデザインスタジオⅡ	3後	1		5			1			
	インテリアデザインスタジオⅢ	4前	1		5			1			
	インテリアデザインスタジオⅣ	4後	1		5			1			
	建築デザインスタジオⅠ	3前	1	1	1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅡ	3後	1	1	1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅢ	4前	1	1	1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅣ	4後	1	1	1	1	1	1			
	卒業研究	4通	4		6	1	1	2			
	小計(9科目)	—	0	12	0	6	1	1	2	0	0
省令必修科目	生涯学習論Ⅰ	1前	2								1
	博物館概論	1後	2								1
	博物館資料論	2前	2								1
	博物館展示論	2後	2								1
	博物館資料保存論	3前	2								1
	博物館経営論	3後	2								1
	博物館教育論	2・3前	2								1
	博物館情報・メディア論	2・3後	2								1
	博物館実習A(見学実習)	2通	1								2
	博物館実習B(実務実習)	3通	1								3
	博物館実習C(館園実習)	4通	1								3
	小計(11科目)	—	0	2	17	0	0	0	0	0	6
	博物館学芸員養成課程科目	日本美術史	1前	2							
西洋文化史		1前	2								1
日本文化史Ⅰ		2前	2								1
日本文化史Ⅱ		2後	2								1
地域文化概論		2前	2								1
世界遺産研究		2前	2								1
世界のミュージアム		2・3前	2								3
日本のミュージアム		2・3後	2								1
西洋美術の旅Ⅰ(未開講)		2・3前	2								1
西洋美術の旅Ⅱ(未開講)		2・3後	2								1
小計(10科目)		—	0	20	0	0	0	0	0	0	11
専攻選択必修科目	日本の文化財Ⅰ	2・3前	2								1
	日本の文化財Ⅱ	2・3後	2								1
	歴史資料論	2・3前	2								2
	民俗資料論	2・3後	2								2
	歴史考古学	2・3前	2								1
	歴史地理学	2・3後	2								1
	文化交流史Ⅰ	2・3前	2								1
	文化交流史Ⅱ	2・3後	2								1
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	6	
合計(236科目)	—	48	335	17	7	2	1	2	0	148	
卒業要件及び履修方法											
・人間総合学群 教養教育科目(全学類共通):必修科目20単位(初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目)、選択必修科目16単位(入門科目、教養知科目)を含め教養教育科目から36単位以上履修すること ・住空間デザイン学類 専門教育科目:必修科目12単位(基本科目)、選択必修科目4単位(専門ゼミ科目)を含め62単位以上履修すること ・以上、教養教育科目(36単位以上)、専門教育科目(62単位以上)、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること ・履修科目の登録上限46単位(年間)											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初年次教育科目	基礎ゼミⅠ	1前	1				1	1	1		17
	基礎ゼミⅡ	1後	1				1	1	1		17
	小計(2科目)	—	2				1	1	1		17
建学の精神を学ぶ科目	仏教学Ⅰ	1前	2								3
	仏教学Ⅱ	1後	2								3
	仏教学Ⅲ	2前		2							1
	仏教学Ⅳ	2後		2							1
	駒沢女子大学入門	1前		2							6
	小計(5科目)	—	4	6	0	0	0	0	0	0	8
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2							2
	日本文化入門Ⅱ	1後		2							2
	人間関係入門Ⅰ	1前		2							3
	人間関係入門Ⅱ	1後		2							3
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前		2							7
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後		2							7
	観光文化入門Ⅰ	1前		2							1
	観光文化入門Ⅱ	1後		2							1
	心理学入門Ⅰ	1前		2							1
	心理学入門Ⅱ	1後		2							2
	住空間デザイン入門Ⅰ	1前		2		1	1	1			3
	住空間デザイン入門Ⅱ	1後		2		1	1	1			3
小計(12科目)	—	0	24	0	1	1	1	0	0	21	
人間総合学群 教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前		2							1
	人間と思想Ⅱ	1後		2							1
	人間と文化Ⅰ	1前		2							1
	人間と文化Ⅱ	1後		2							1
	生命の科学	1前		2							1
	倫理学	1後		2							1
	人権の基礎	1前		2							1
	女性の人権	1後		2							1
	心理学Ⅰ	1前		2							2
	心理学Ⅱ	1後		2							2
	生涯学習論Ⅰ	1前		2							1
	生涯学習論Ⅱ	1後		2							1
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2							1
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2							1
小計(14科目)	—	0	28	0	0	0	0	0	0	8	
教養知科目	日本の歴史	1後		2							1
	世界の歴史	1後		2							1
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前		2							1
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後		2							1
	西洋文化史	1前		2							1
	日本美術史	1前		2							1
	比較文化	1後		2							1
	日本の文化	1後		2							1
	観光地理(日本)	1前		2							1
	観光地理(世界)	1後		2							1
	日本の文学	1前		2							1
	ヨーロッパの文学	1後		2							1
小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	10	
教養知科目	日本の政治	1前		2							1
	世界の政治	1後		2							1
	政治と市民参加	1後		2							1
	日本の経済	1前		2							1
	世界の経済	1前		2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養知科目	新聞と報道	1後		2								1	
	グローバル共生論	1後		2								1	
	法学	1前		2								1	
	法と社会	1後		2								1	
	日本国憲法 I	1前		2								1	
	日本国憲法 II	1後		2								1	
	社会学 I	1前		2								1	
	社会学 II	1後		2								1	
	数学の世界	1前		2								1	
	物理の世界	1後		2								1	
	生物と生命	1前		2								1	
	地球と宇宙	1後		2								1	
	物質と化学	1前		2								1	
	情報と科学	1後		2								1	
	色彩と科学	1前		2								1	
	小計(20科目)	—	0	40	0	0	0	0	0	0	0	12	
	実習科目	ボランティア実習 I	1後		1								2
		ボランティア実習 II	2後		2								1
		海外英語研修 I	1後		2								7
		海外英語研修 II	2後		2								7
国際協力実習		2前		1								1	
国際協力実習フォローアップ		2後		2								1	
小計(6科目)		—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10	
実践知科目	進路設計	1後	2									3	
	社会と教養演習A	2・3前		1								1	
	社会と教養演習B	2・3前		1								1	
	社会と教養演習C	2・3後		1								1	
	社会と教養演習D	2・3後		1								1	
	キャリアリテラシー	3前		2								1	
	就業への知識と技能A	2・3前		2								1	
	就業への知識と技能B	2・3後		2								1	
	小計(8科目)	—	2	10	0	0	0	0	0	0	0	6	
健康体育科目	女性と健康 I	1前		2								1	
	女性と健康 II	1後		2								1	
	スポーツ I	1・2前		1								3	
	スポーツ II	1・2後		1								3	
小計(4科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	4		
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前		1								5	
	言語表現演習 II	1後		1								5	
	小計(2科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
技法知科目	英語A I	1前		1								15	
	英語A II	1後		1								15	
	英語A III	2前		1								25	
	英語A IV	2後		1								25	
	英語B I	1前		1								14	
	英語B II	1後		1								14	
	英語B III	2前		1								25	
	英語B IV	2後		1								25	
	英会話 I	1前		1								4	
	英会話 II	1後		1								4	
	英会話 III	2前		1								1	
	英会話 IV	2後		1								1	
	Receptive English I	1・2前		1								1	
	Receptive English II	1・2後		1								1	
Productive English I	1・2前		1								1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間総合学群 教養教育科目	Productive English II	1・2後		1								1	
	English Summer Seminar	2・3前		1								2	
	フランス語 I	1前		1								2	
	フランス語 II	1後		1								2	
	フランス語 III	2前		1								2	
	フランス語 IV	2後		1								2	
	ドイツ語 I	1前		1								1	
	ドイツ語 II	1後		1								1	
	ドイツ語 III	2前		1								2	
	ドイツ語 IV	2後		1								2	
	スペイン語 I	1前		1								2	
	スペイン語 II	1後		1								2	
	スペイン語 III	2前		1								2	
	スペイン語 IV	2後		1								2	
	中国語 I	1前		1								2	
	中国語 II	1後		1								2	
	中国語 III	2前		1								2	
	中国語 IV	2後		1								2	
	小計(33科目)		—	8	25	0	0	0	0	0	0	0	37
	情報力育成科目	コンピュータ演習 I	1前	1			1	1					4
		コンピュータ演習 II	1後	1			1	1					4
		コンピュータ演習 III	2前		1								1
		コンピュータ演習 IV	2後		1								1
		小計(4科目)		—	2	2	0	1	1	0	0	0	4
	特設科目	日本語A I	1前	1									1
		日本語B I	1前	1									1
		日本語A II	1後	1									1
		日本語B II	1後	1									1
		日本語A III	2前	1									1
		日本語B III	2前	1									1
		日本語A IV	2後	1									1
		日本語B IV	2後	1									1
		日本事情 I	1前	2									1
日本事情 II		1後	2									1	
日本事情 III		2前	2									1	
日本事情 IV		2後	2									1	
小計(12科目)		—	16	0	0	0	0	0	0	0	3		
人間総合学群 住空間デザイン学類 専門教育科目	住空間デザインの基礎 I	2前	2			4	1						
	住空間デザインの基礎 II	2後	2			4	1						
	平面と立体表現の基礎	1前	2				1					1	
	製図の基礎	1前	2					1	1				
	図学と透視画の基礎	1後	2			1						1	
	建築・インテリアデザイン入門	1後		2		1	1		1				
	プロダクトデザイン入門	1後		2		1						2	
	設計製図 I	2前		2		2						2	
	設計製図 II	2後		2		1	1					4	
	住空間とライフスタイル	2・3・4後		2								1	
	住空間とインテリアプロダクト	2・3・4前		2		1							
	福祉住環境デザイン	2・3・4後		2			1						
	環境デザイン	2・3・4後		2								1	
	色彩デザイン	2・3・4前		2								1	
	CAD I	1後	1			1		1		1			
CAD II	2前	1							2				
CAD III	2後		1				1				1		
プレゼンテーション技法	3前		1		1	1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	当次配年	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
科目	学外実習	3・4前		1			1		2		
	フィールドワーク	2・3・4前		1		5	2	1	2		
	小計(12科目)	—	12	22	0	4	2	1	2	0	10
人間総合学群 住空間デザイン学類 専門教育科目	インテリアデザイン関連科目	インテリアデザインⅠ	3前	2		1					1
		インテリアデザインⅡ	3後	2		1					1
		インテリアデザイン論	2前	2		1					
		インテリアデザイン計画A	2後	2		1					
		インテリアデザイン計画B	3前	2							1
		インテリアデザイン計画C	3後	2							1
		家具デザインⅠ	2前	2		1					1
		家具デザインⅡ	2後	2		1					1
		家具デザインⅢ	3前	2		1					
		家具デザイン研究	2・3・4後	2		1					
		陶芸デザインⅠ	2前	2		1					1
		陶芸デザインⅡ	2後	2		1					1
		陶芸デザインⅢ	3前	2		1					1
		陶芸デザイン研究	2・3・4後	2		1					
		立体織デザインⅠ	2前	2							1
		立体織デザインⅡ	2後	2							1
		立体織デザインⅢ	3前	2							1
		加工・材料学	2・3・4前	2		1					
		芸術論	2・3・4前	2							1
		工芸デザイン論	2・3・4後	2							1
		空間演出A	3前	2		1				1	1
		空間演出B	3後	2		1				1	1
		インテリアの知識と技術Ⅰ	2・3・4後	2						1	
		インテリアの知識と技術Ⅱ	3・4前	2						1	
	小計(24科目)	—	0	48	0	5	0	0	1	0	8
建築デザイン関連科目	建築デザインⅠ	3前	2			1	1				
	建築デザインⅡ	3後	2		1		1				
	建築デザイン論	2後	2				1				
	建築計画A	2前	2		1						
	建築計画B	3前	2			1					
	建築計画C	3後	2		1						
	建築計画D	4前	2							1	
	構造力学Ⅰ	2前	2					1			
	構造力学Ⅱ	2後	2					1			
	建築構造Ⅰ	2前	2					1			
	建築構造Ⅱ	2後	2					1			
	日本建築史	2・3・4前	2							1	
	西洋建築史	2・3・4後	2							1	
	ランドスケープ論	2・3・4後	2							1	
	建築環境設備	3後	2							1	
	環境工学	3前	2							1	
	建築材料	3前	2					1			
	建築生産	3後	2					1			
	建築法規Ⅰ	3・4前	2							1	
	建築法規Ⅱ	3・4後	2							1	
	小計(20科目)	—	0	40	0	1	1	1	1	0	6
人間総合学群 住空間 専門ゼ	インテリアデザインスタジオⅠ	3前		1		5			1		
	インテリアデザインスタジオⅡ	3後		1		5		1			
	インテリアデザインスタジオⅢ	4前		1		5		1			
	インテリアデザインスタジオⅣ	4後		1		5		1			
	建築デザインスタジオⅠ	3前		1		1	1	1	1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
住空間デザイン学類 専門教育科目	建築デザインスタジオⅡ	3後		1		1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅢ	4前		1		1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅣ	4後		1		1	1	1	1			
	卒業研究	4通		4		6	1	1	2			
	小計(9科目)	—	0	12	0	6	1	1	2	0	0	
省令必修科目	生涯学習論Ⅰ	1前		2								1
	博物館概論	1後			2							1
	博物館資料論	2前			2							1
	博物館展示論	2後			2							1
	博物館資料保存論	3前			2							1
	博物館経営論	3後			2							1
	博物館教育論	2・3前			2							1
	博物館情報・メディア論	2・3後			2							1
	博物館実習A(見学実習)	2通			1							2
	博物館実習B(実務実習)	3通			1							3
	博物館実習C(館園実習)	4通			1							2
小計(11科目)	—	0	2	17	0	0	0	0	0	0	6	
博物館学芸員養成課程科目	基礎選択必修科目											
	日本美術史	1前		2								1
	西洋文化史	1前		2								1
	日本文化史Ⅰ	2前		2								1
	日本文化史Ⅱ	2後		2								1
	地域文化概論	2前		2								1
	世界遺産研究	2前		2		2						1
	世界のミュージアム	2・3前		2		2						1
	日本のミュージアム	2・3後		2								1
	西洋美術の旅Ⅰ	2・3前		2								1
西洋美術の旅Ⅱ	2・3後		2								1	
小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	11	
専攻選択必修科目	日本の文化財Ⅰ	2・3前		2								1
	日本の文化財Ⅱ	2・3後		2								1
	歴史資料論	2・3前		2								1
	民俗資料論	2・3後		2								1
	歴史考古学	2・3前		2								1
	歴史地理学	2・3後		2								1
	文化交流史Ⅱ	2・3後		2								1
	文化交流史Ⅱ	2・3後		2								1
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	6	
合計(236科目)	—	48	335	17	7	2	1	2	0	0	130	

卒業要件及び履修方法

・人間総合学群 教養教育科目(全学類共通):必修科目20単位(初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目)、選択必修科目16単位(入門科目、教養知科目)を含め教養教育科目から36単位以上履修すること

・住空間デザイン学類 専門教育科目:必修科目12単位(基本科目)、選択必修科目4単位(専門ゼミ科目)を含め62単位以上履修すること

・以上、教養教育科目(36単位以上)、専門教育科目(62単位以上)、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること

・履修科目の登録上限46単位(年間)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

- ・専任教員科目調整と専任教員体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」の専任教員等の配置を、教授「1」、講師「1」、助教「2」から、准教授「1」、講師「1」、助教「1」に変更。
- ・専任教員科目調整と専任教員体調不良の理由により、「基礎ゼミⅡ」の専任教員等の配置を、教授「1」、講師「1」、助教「2」から、准教授「1」、講師「1」、助教「1」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」の教員配置を、兼任・兼任「4(内訳兼任2・兼任2)」から「3(内訳兼任1・兼任2)」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼任「4(内訳兼任2・兼任2)」から「3(内訳兼任1・兼任2)」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任「6」から「7」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任「6」から「7」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼任「1」から「2」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅠ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅡ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅠ」の兼任・兼任教員を、「25」から「14」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅡ」の兼任・兼任教員を、「25」から「14」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・兼任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」(兼任1人分の担当コマ数増)に変更。
- ・兼任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」(兼任1人分の担当コマ数増)に変更。
- ・専任教員科目調整の理由により、「CADⅠ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」、助教「1」から、教授「1」、講師「1」、助教「1」に変更。
- ・専任教員病氣治療予定の理由により、「プロダクトデザイン入門」の教員配置を、教授「2」、兼任・兼任「1」から、教授「1」、兼任・兼任「2」に変更。

**【令和元年度】**

- ・科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」の専任教員等の配置を、准教授「1」、講師「1」、助教「1」、兼任・兼任「17」から、教授「1」、准教授「1」、講師「1」、助教「2」、兼任・兼任「23」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅡ」の専任教員等の配置を、准教授「1」、講師「1」、助教「1」、兼任・兼任「17」から、教授「1」、准教授「1」、講師「1」、助教「2」、兼任・兼任「23」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「駒沢女子大学入門」の兼任・兼任教員を、「6」から「5」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「7」から「8」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「7」から「8」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「1」から「7」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「生命の科学」の配当年次を、「1前」から「1後」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「倫理学」の配当年次を、「1後」から「1前」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「日本の文化」の配当年次を、「1後」から「1前」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スポーツⅠ」の兼任・兼任教員を、「3」から「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スポーツⅡ」の兼任・兼任教員を、「3」から「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「言語表現演習Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「5」から「6」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「言語表現演習Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「5」から「6」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅢ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅣ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅠ」の兼任・兼任教員を、「14」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅡ」の兼任・兼任教員を、「14」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅢ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・科目担当調整、兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅣ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英会話Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「4」から「5」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「英会話Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「4」から「5」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「ドイツ語Ⅲ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「ドイツ語Ⅳ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スペイン語Ⅲ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「スペイン語Ⅳ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「中国語Ⅲ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「中国語Ⅳ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「コンピュータ演習Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」、兼任・兼任「4」から、教授「1」、兼任・兼任「5」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「コンピュータ演習Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」、兼任・兼任「4」から、教授「1」、兼任・兼任「5」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「住空間デザインの基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」から、教授「4」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「住空間デザインの基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」から、教授「4」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「製図の基礎」の専任教員等の配置を、講師「1」、助教「1」から、助教「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「プロダクトデザイン入門」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「2」から、教授「2」、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「設計製図Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「2」、兼任・兼任「2」から、教授「2」、兼任・兼任「3」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「設計製図Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」、兼任・兼任「4」から、教授「1」、准教授「1」、助教「2」、兼任・兼任「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「CADⅠ」の専任教員等の配置を、教授「1」、講師「1」、助教「1」から、教授「1」、准教授「1」、講師「1」、助教「1」に変更。

- ・科目担当調整の理由により、「CADⅡ」の専任教員等の配置を、助教「2」から、講師「1」、助教「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「CADⅢ」の専任教員等の配置を、講師「1」、兼任・兼任「1」から、講師「1」、助教「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「フィールドワーク」の専任教員等の配置を、教授「5」、准教授「2」、講師「1」、助教「2」から、教授「1」、講師「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「陶芸デザイン研究」の専任教員等の配置を、教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「陶芸デザインⅠ」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、教授「1」、兼任・兼任「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「陶芸デザインⅡ」の専任教員等の配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、教授「1」、兼任・兼任「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「陶芸デザイン研究」の専任教員等の配置を、教授「1」から、兼任・兼任「1」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「立体織デザインⅠ」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「2」に変更。
- ・科目担当調整の理由により、「建築デザイン論」の専任教員等の配置を、講師「1」から、助教「1」に変更。
- ・担当者退職の理由により、「構造力学Ⅰ」の専任教員等の配置を、助教「1」から、講師「1」に変更。
- ・担当者退職の理由により、「構造力学Ⅱ」の専任教員等の配置を、助教「1」から、講師「1」に変更。
- ・担当者退職の理由により、「建築構造Ⅰ」の専任教員等の配置を、助教「1」から、講師「1」に変更。
- ・担当者退職の理由により、「建築構造Ⅱ」の専任教員等の配置を、助教「1」から、講師「1」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「博物館実習B」の教員配置を、兼任・兼任「2」から兼任・兼任「3」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「歴史資料論」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「2」に変更。
- ・授業内容充実の理由により、「民俗資料論」の専任教員等の配置を、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「2」に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
36 科目	190 科目	10 科目	236 科目	36 科目 [ 0 ]	190 科目 [ 0 ]	10 科目 [ 0 ]	236 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	西洋美術の旅Ⅰ	2	2・3	専門	選択	担当者都合。代替措置無。
2	西洋美術の旅Ⅱ	2	2・3	専門	選択	担当者都合。代替措置無。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「西洋美術の旅Ⅰ」「西洋美術の旅Ⅱ」の担当者（岩谷兼任講師・桑兼任講師）から、急遽出講ができない旨の連絡があった。学内で検討した結果、令和元年度は未開講とすることに決定した。選択科目であるため、学生にとって大きな不利益にならないと判断した。学生への周知は、平成31年4月のオリエンテーション、及び履修ガイダンス時に行った。（令和元年度）

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{236} = \boxed{0.84}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の一部は駒沢女子短期大学と共用			
	校舎敷地	0 m <sup>2</sup>	140,991.11 m <sup>2</sup>	10,639.73 m <sup>2</sup>	151,630.84 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	0 m <sup>2</sup>	12,574.38 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	12,574.38 m <sup>2</sup>				
	小 計	0 m <sup>2</sup>	153,565.49 m <sup>2</sup>	10,639.73 m <sup>2</sup>	164,205.22 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	36,595.26 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	36,595.26 m <sup>2</sup>				
	合 計	0 m <sup>2</sup>	190,160.75 m <sup>2</sup>	10,639.73 m <sup>2</sup>	200,800.48 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎の一部は駒沢女子短期大学と共用				
	7,584.21 m <sup>2</sup> ( 7,584.21 m <sup>2</sup> )	23,803.58 m <sup>2</sup> ( 23,803.58 m <sup>2</sup> )	15,549.03 m <sup>2</sup> ( 15,549.03 m <sup>2</sup> )	46,936.82 m <sup>2</sup> ( 46,936.82 m <sup>2</sup> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の一部は駒沢女子短期大学と共用			
	45 室	20 室	37 室	3 室 (補助職員 2人)	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人間総合学群			56 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 図書 22,559冊 購入による変更のため (30) 購入による変更のため (元)	
	人間総合学群	139,633 [29,920] <del>137,285 [31,204]</del> (139,633 [29,920]) (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	245 [121] <del>231 [101]</del> ( 245 [121]) (-236 [103]) (- 231 [101])	6 [4] <del>6 [3]</del> ( 6 [4]) (- 6 [3])	5,332 (5,326) (-5,239) (-4,962)	40,774 (40,524) (-40,069) (-39,974)	50 ( 33 )		
	計	139,633 [29,920] <del>137,285 [31,204]</del> (139,633 [29,920]) (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	245 [121] <del>231 [101]</del> ( 245 [121]) (-236 [103]) (- 231 [101])	6 [4] <del>6 [3]</del> ( 6 [4]) (- 6 [3])	5,332 (5,326) (-5,239) (-4,962)	40,774 (40,524) (-40,069) (-39,974)	50 ( 33 )		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	4,489 m <sup>2</sup>		325席		237,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					駒沢女子短期大学と共用	
	1,726 m <sup>2</sup>		テニスコート 3面		屋外プール				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	500千円	500千円	100千円	
		共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	—千円	5,000千円	5,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,336千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4. 既設大学等の状況

大学の名称	駒沢女子大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
人文学部	4	—	3年次 30	—	—	—	—	平成5	—	平成30年度より学生募集停止（編入学は令和2年度より募集停止）
日本文化学科	4	—	3年次 10	—	学士 (日本文化)	—	—	平成5	東京都稲城市坂浜238番地	平成30年度より学生募集停止（編入学は令和2年度より募集停止）
国際文化学科	4	—	3年次 20	—	学士 (国際文化)	—	—	平成5	同上	平成30年度より学生募集停止（編入学は令和2年度より募集停止）
人間関係学科	4	—	—	—	学士 (人間関係)	—	—	平成12	同上	平成30年度より学生募集停止
心理学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—	—	平成25	同上	平成30年度より学生募集停止
住空間デザイン学科	4	—	—	—	学士 (住空間デザイン)	—	—	平成14	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア表現学科	4	—	—	—	学士 (メディア表現)	—	—	平成14	同上	平成30年度より学生募集停止
人間総合学群	4	370	3年次 30	1,540	—	1.24	—	平成30	—	編入は、令和2年度より学生募集
人間文化学類	4	170	3年次 20	720	学士 (日本文化) (人間関係) (英語コミュニ ケーション)	1.21	—	平成30	東京都稲城市坂浜238番地	編入は、令和2年度より学生募集
観光文化学類	4	60	3年次 10	260	学士 (観光文化)	1.28	—	平成30	同上	編入は、令和2年度より学生募集
心理学類	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.30	—	平成30	同上	
住空間デザイン学類	4	60	—	240	学士 (住空間デザイン)	1.23	—	平成30	同上	
人間健康学部	4	80	—	320	—	1.05	—	平成21	—	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (健康栄養)	1.05	—	平成21	東京都稲城市坂浜238番地	
看護学部	4	80	—	320	—	1.04	—	平成30	—	
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.04	—	平成30	東京都稲城市坂浜238番地	
大学全体	4	530	30	2,180	—	1.11	—	—	—	

大学の名称		駒 沢 女 子 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
人文科学研究科	年	人	年次 人	人		倍				
仏教文化専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.20	—	平成14	東京都稲城市坂浜238番地	
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士 (心理学)	0.45	—	平成15	同上	
大学院全体	2	15	—	30	—	0.36	—	—	—	
大学の名称		駒 沢 女 子 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
保育科	年	人	年次 人	人		倍				
短期大学全体	2	130	—	260	短期大学士 (保育)	0.76	—	昭和40	東京都稲城市坂浜238番地	
短期大学全体	2	130	—	260	—	0.76	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(1)－① 担当教員表

<人間総合学群 住空間デザイン学類>

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任・兼任の別	職名
	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専	教授 佐藤 勉 (51) <平成30年4月> MASTER OF ARCHITECTURE (米国)	専	教授 佐藤 勉 (52) <平成30年4月> MASTER OF ARCHITECTURE (米国)	専	教授 佐藤 勉 (53) <平成30年4月> MASTER OF ARCHITECTURE (米国)
	住空間デザイン入門 I 住空間デザイン入門 II 住空間デザインの基礎 I 住空間デザインの基礎 II 図学と透視画の基礎 建築・インテリアデザイン入門 設計製図 I フィールドワーク インテリアデザイン I インテリアデザイン論 インテリアデザインスタジオ I インテリアデザインスタジオ II インテリアデザインスタジオ III インテリアデザインスタジオ IV 卒業研究		住空間デザイン入門 I 住空間デザイン入門 II 住空間デザインの基礎 I 住空間デザインの基礎 II 図学と透視画の基礎 建築・インテリアデザイン入門 設計製図 I フィールドワーク インテリアデザイン I インテリアデザイン論 インテリアデザインスタジオ I インテリアデザインスタジオ II インテリアデザインスタジオ III インテリアデザインスタジオ IV 卒業研究		住空間デザイン入門 I 住空間デザイン入門 II 住空間デザインの基礎 I 住空間デザインの基礎 II 図学と透視画の基礎 建築・インテリアデザイン入門 設計製図 I <b>科目削除</b> インテリアデザイン I インテリアデザイン論 インテリアデザインスタジオ I インテリアデザインスタジオ II インテリアデザインスタジオ III インテリアデザインスタジオ IV 卒業研究
専	教授 篠 政行 (64) <平成30年4月> 工学修士	専	教授 篠 政行 (64) <平成30年4月> 工学修士	専	教授 篠 政行 (65) <平成30年4月> 工学修士
	基礎ゼミ I 基礎ゼミ II コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II		<b>科目削除</b> <b>科目削除</b> コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II		<b>基礎ゼミ I</b> <b>基礎ゼミ II</b> コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II
専	教授 榎本 文夫 (61) <平成30年4月> 芸術学士	専	教授 榎本 文夫 (61) <平成30年4月> 芸術学士	専	教授 榎本 文夫 (62) <平成30年4月> 芸術学士
	プロダクトデザイン入門 家具デザイン I 家具デザイン II 家具デザイン III 家具デザイン研究 加工・材料学 インテリアデザインスタジオ I インテリアデザインスタジオ II インテリアデザインスタジオ III インテリアデザインスタジオ IV 卒業研究		プロダクトデザイン入門 家具デザイン I 家具デザイン II 家具デザイン III 家具デザイン研究 加工・材料学 インテリアデザインスタジオ I インテリアデザインスタジオ II インテリアデザインスタジオ III インテリアデザインスタジオ IV 卒業研究		プロダクトデザイン入門 家具デザイン I 家具デザイン II 家具デザイン III 家具デザイン研究 加工・材料学 インテリアデザインスタジオ I インテリアデザインスタジオ II インテリアデザインスタジオ III インテリアデザインスタジオ IV 卒業研究
専	教授 磯谷 慶子 (61) <平成30年4月> 学士(造形)	専	教授 磯谷 慶子 (62) <平成30年4月> 学士(造形)	専	教授 磯谷 慶子 (63) <平成30年4月> 学士(造形)
	プロダクトデザイン入門 フィールドワーク 陶芸デザイン I 陶芸デザイン II 陶芸デザイン III 陶芸デザイン研究 インテリアデザインスタジオ I インテリアデザインスタジオ II インテリアデザインスタジオ III インテリアデザインスタジオ IV 卒業研究		<b>科目削除</b> フィールドワーク 陶芸デザイン I 陶芸デザイン II 陶芸デザイン III 陶芸デザイン研究 インテリアデザインスタジオ I インテリアデザインスタジオ II インテリアデザインスタジオ III インテリアデザインスタジオ IV 卒業研究		プロダクトデザイン入門 <b>科目削除</b> 陶芸デザイン I 陶芸デザイン II 陶芸デザイン III <b>科目削除</b> インテリアデザインスタジオ I インテリアデザインスタジオ II インテリアデザインスタジオ III インテリアデザインスタジオ IV 卒業研究
				兼任	講師 高見沢 美穂 (44) <平成30年9月> 修士(美術) 陶芸デザイン研究

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	橋田 洋子 (54) <平成30年4月> 家政学士
		住空間デザインの基礎Ⅰ
		住空間デザインの基礎Ⅱ
		住空間とインテリアプロダクト フィールドワーク
		インテリアデザイン計画A
		空間演出A
		空間演出B
		インテリアデザインスタジオⅠ
		インテリアデザインスタジオⅡ
		インテリアデザインスタジオⅢ
インテリアデザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	教授	神村 真由美 (53) <平成30年4月> 芸術学修士
		住空間デザインの基礎Ⅰ
		住空間デザインの基礎Ⅱ
		設計製図Ⅱ
		プレゼンテーション技法
		フィールドワーク
		インテリアデザインⅡ
		インテリアデザインスタジオⅠ
		インテリアデザインスタジオⅡ
		インテリアデザインスタジオⅢ
インテリアデザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	教授	三戸 美代子 (49) <平成30年4月> 工学修士
		住空間デザインの基礎Ⅰ
		住空間デザインの基礎Ⅱ
		設計製図Ⅰ
		CADⅠ
		フィールドワーク
		建築デザインⅡ
		建築計画A
		建築計画C
		建築デザインスタジオⅠ
建築デザインスタジオⅡ		
建築デザインスタジオⅢ		
建築デザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月> 準学士
		コンピュータ演習Ⅰ
		コンピュータ演習Ⅱ
		住空間デザインの基礎Ⅰ
		住空間デザインの基礎Ⅱ
		平面と立体表現の基礎
		CADⅠ
		プレゼンテーション技法
		フィールドワーク

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	橋田 洋子 (54) <平成30年4月> 家政学士
		住空間デザインの基礎Ⅰ
		住空間デザインの基礎Ⅱ
		住空間とインテリアプロダクト フィールドワーク
		インテリアデザイン計画A
		空間演出A
		空間演出B
		インテリアデザインスタジオⅠ
		インテリアデザインスタジオⅡ
		インテリアデザインスタジオⅢ
インテリアデザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	教授	神村 真由美 (53) <平成30年4月> 芸術学修士
		住空間デザインの基礎Ⅰ
		住空間デザインの基礎Ⅱ
		設計製図Ⅱ
		プレゼンテーション技法
		フィールドワーク
		インテリアデザインⅡ
		インテリアデザインスタジオⅠ
		インテリアデザインスタジオⅡ
		インテリアデザインスタジオⅢ
インテリアデザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	教授	三戸 美代子 (49) <平成30年4月> 工学修士
		住空間デザインの基礎Ⅰ
		住空間デザインの基礎Ⅱ
		設計製図Ⅰ
		CADⅠ
		フィールドワーク
		建築デザインⅡ
		建築計画A
		建築計画C
		建築デザインスタジオⅠ
建築デザインスタジオⅡ		
建築デザインスタジオⅢ		
建築デザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月> 準学士
		<b>基礎ゼミⅠ</b>
		<b>基礎ゼミⅡ</b>
		コンピュータ演習Ⅰ
		コンピュータ演習Ⅱ
		住空間デザインの基礎Ⅰ
		住空間デザインの基礎Ⅱ
		平面と立体表現の基礎
		<b>科目削除</b>
		プレゼンテーション技法
フィールドワーク		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	橋田 洋子 (55) <平成30年4月> 家政学士
		住空間デザインの基礎Ⅰ
		住空間デザインの基礎Ⅱ
		住空間とインテリアプロダクト
		<b>科目削除</b>
		インテリアデザイン計画A
		空間演出A
		空間演出B
		インテリアデザインスタジオⅠ
		インテリアデザインスタジオⅡ
インテリアデザインスタジオⅢ		
インテリアデザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	教授	神村 真由美 (54) <平成30年4月> 芸術学修士
		住空間デザインの基礎Ⅰ
		住空間デザインの基礎Ⅱ
		設計製図Ⅱ
		プレゼンテーション技法
		フィールドワーク
		インテリアデザインⅡ
		インテリアデザインスタジオⅠ
		インテリアデザインスタジオⅡ
		インテリアデザインスタジオⅢ
インテリアデザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	教授	三戸 美代子 (50) <平成30年4月> 工学修士
		住空間デザインの基礎Ⅰ
		住空間デザインの基礎Ⅱ
		設計製図Ⅰ
		CADⅠ
		<b>科目削除</b>
		建築デザインⅡ
		建築計画A
		建築計画C
		建築デザインスタジオⅠ
建築デザインスタジオⅡ		
建築デザインスタジオⅢ		
建築デザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	准教授	鈴木 利彦 (48) <平成30年4月> 準学士
		<b>基礎ゼミⅠ</b>
		<b>基礎ゼミⅡ</b>
		<b>科目削除</b>
		平面と立体表現の基礎
		<b>CADⅠ</b>
		プレゼンテーション技法
<b>科目削除</b>		
兼任	講師	星野 好晃 (37) <平成31年4月> 修士(情報学)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月> 修士(工学)
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ 建築・インテリアデザイン入門 設計製図Ⅱ 福祉住環境デザイン 学外実習 フィールドワーク 建築デザインⅠ 建築計画B 建築デザインスタジオⅠ 建築デザインスタジオⅡ 建築デザインスタジオⅢ 建築デザインスタジオⅣ 卒業研究
		小川 弾 (36) <平成30年4月> 学士(建築学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ 製図の基礎  CADⅢ  フィールドワーク 建築デザインⅠ 建築デザインⅡ 建築デザイン論 建築デザインスタジオⅠ 建築デザインスタジオⅡ 建築デザインスタジオⅢ 建築デザインスタジオⅣ 卒業研究
		小久保 彰 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ CADⅠ CADⅡ 学外実習 フィールドワーク 構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ 建築構造Ⅰ 建築構造Ⅱ 建築材料 建築生産 建築デザインスタジオⅠ 建築デザインスタジオⅡ 建築デザインスタジオⅢ 建築デザインスタジオⅣ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月> 修士(工学)
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ 建築・インテリアデザイン入門 設計製図Ⅱ 福祉住環境デザイン 学外実習 フィールドワーク 建築デザインⅠ 建築計画B 建築デザインスタジオⅠ 建築デザインスタジオⅡ 建築デザインスタジオⅢ 建築デザインスタジオⅣ 卒業研究
		小川 弾 (36) <平成30年4月> 学士(建築学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ 製図の基礎 <b>CADⅠ</b>  CADⅢ  フィールドワーク 建築デザインⅠ 建築デザインⅡ 建築デザイン論 建築デザインスタジオⅠ 建築デザインスタジオⅡ 建築デザインスタジオⅢ 建築デザインスタジオⅣ 卒業研究
		小久保 彰 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		<b>科目削除</b> <b>科目削除</b> CADⅠ CADⅡ 学外実習 フィールドワーク 構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ 建築構造Ⅰ 建築構造Ⅱ 建築材料 建築生産 建築デザインスタジオⅠ 建築デザインスタジオⅡ 建築デザインスタジオⅢ 建築デザインスタジオⅣ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	茂木 弥生子 (44) <平成30年4月> 修士(工学)
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ 建築・インテリアデザイン入門 設計製図Ⅱ 福祉住環境デザイン 学外実習 <b>科目削除</b> 建築デザインⅠ 建築計画B 建築デザインスタジオⅠ 建築デザインスタジオⅡ 建築デザインスタジオⅢ 建築デザインスタジオⅣ 卒業研究
		小川 弾 (37) <平成30年4月> 学士(建築学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ <b>科目削除</b> <b>CADⅠ</b> <b>CADⅡ</b> CADⅢ <b>構造力学Ⅰ</b> <b>構造力学Ⅱ</b> <b>建築構造Ⅰ</b> <b>建築構造Ⅱ</b> <b>建築材料</b> <b>建築生産</b> フィールドワーク 建築デザインⅠ 建築デザインⅡ <b>科目削除</b> 建築デザインスタジオⅠ 建築デザインスタジオⅡ 建築デザインスタジオⅢ 建築デザインスタジオⅣ 卒業研究
		小久保 彰 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		<b>科目削除</b> <b>科目削除</b> CADⅠ CADⅡ 学外実習 フィールドワーク 構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ 建築構造Ⅰ 建築構造Ⅱ 建築材料 建築生産 建築デザインスタジオⅠ 建築デザインスタジオⅡ 建築デザインスタジオⅢ 建築デザインスタジオⅣ 卒業研究

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	
専	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月> 博士(学術)
専	教授	光田 督良 (65) <平成30年4月> 法学修士
専	教授	羽鳥 修 (62) <平成30年4月> 文学修士
専	教授	加藤 ナツ子 (66) <平成30年4月> 文学修士
専	教授	小林 憲夫 (65) <平成30年4月> 政治学修士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	
専	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月> 博士(学術)
専	教授	光田 督良 (65) <平成30年4月> 法学修士
専	教授	羽鳥 修 (62) <平成30年4月> 文学修士
専	教授	加藤 ナツ子 (67) <平成30年4月> 文学修士
専	教授	小林 憲夫 (65) <平成30年4月> 政治学修士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	
専	助教	山崎 陽菜 (35) <平成30年4月> 博士(学術)
専	教授	光田 督良 (66) <平成30年4月> 法学修士
専	教授	羽鳥 修 (63) <平成30年4月> 文学修士
専	教授	加藤 ナツ子 (68) <平成30年4月> 文学修士
専	教授	小林 憲夫 (66) <平成30年4月> 政治学修士

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	井戸 桂子 (64) <平成30年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼担	教授	糟谷 恵次 (65) <平成30年4月> 文学修士
		ヨーロッパの文学 ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 世界のミュージアム
兼担	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼担	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月> 芸術学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼担	教授	安藤 嘉則 (60) <平成30年4月> 文学修士
		駒沢女子大学入門
兼担	教授	渋谷 香織 (60) <平成30年4月> 文学修士
		日本文化入門Ⅰ
兼担	教授	須藤 明 (59) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		心理学入門Ⅱ
兼担	教授	富士原 光洋 (58) <平成30年4月> 文学修士
		心理学入門Ⅱ
兼担	教授	松岡 努 (49) <平成30年4月> 心理学修士
		心理学入門Ⅱ
兼担	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月> 工学修士
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	井戸 桂子 (64) <平成30年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼担	教授	糟谷 恵次 (65) <平成30年4月> 文学修士
		ヨーロッパの文学 <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 世界のミュージアム
兼担	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼担	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月> 芸術学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼担	教授	安藤 嘉則 (60) <平成30年4月> 文学修士
		駒沢女子大学入門
兼担	教授	渋谷 香織 (60) <平成30年4月> 文学修士
		日本文化入門Ⅰ
兼担	教授	須藤 明 (59) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		心理学入門Ⅱ
兼担	教授	富士原 光洋 (58) <平成30年4月> 文学修士
		心理学入門Ⅱ
兼担	教授	松岡 努 (49) <平成30年4月> 心理学修士
		心理学入門Ⅱ
兼担	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月> 工学修士
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	井戸 桂子 (65) <平成30年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼担	教授	糟谷 恵次 (66) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ヨーロッパの文学 <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 世界のミュージアム
兼担	教授	臼井 実穂子 (62) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼担	教授	渡邊 光章 (62) <平成30年4月> 芸術学士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>観光文化入門Ⅰ</b>
兼担	教授	安藤 嘉則 (61) <平成30年4月> 文学修士
		駒沢女子大学入門
兼担	教授	渋谷 香織 (61) <平成30年4月> 文学修士
		日本文化入門Ⅰ
兼担	教授	須藤 明 (59) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		心理学入門Ⅱ
兼担	教授	富士原 光洋 (59) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 心理学入門Ⅱ
兼担	教授	松岡 努 (50) <平成30年4月> 心理学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 心理学入門Ⅱ
兼担	教授	末木 俊之 (60) <平成30年4月> 工学修士
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ
兼任	教授	三田 誠司 (56) <平成30年9月> 博士(文学)
		日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月> 修士(教育学)
		海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月> 言語学教授法DEA(仏国)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	教授	松村 良 (55) <平成30年4月> 文学修士
		日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ
兼任	教授	三田 誠司 (56) <平成30年9月> 博士(文学)
		日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月> 修士(教育学)
		海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ
兼任	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月> 言語学教授法DEA(仏国)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	教授	松村 良 (55) <平成30年4月> 文学修士
		日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐々木 俊道 (59) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	保坂 律子 (59) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> <b>科目削除</b>
兼任	講師	余 瀾 (58) <平成31年4月> 修士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	教授	橋本 兼室 (58) <平成31年4月> 修士(カウンセリング)
		言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	教授	弥久保 宏 (58) <平成30年4月> 政治学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ
兼任	教授	三田 誠司 (57) <平成30年9月> 博士(文学)
		日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (57) <平成30年4月> 修士(教育学)
		海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ
兼任	教授	米金 孝雄 (57) <平成30年4月> 言語学教授法DEA(仏国)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	教授	松村 良 (56) <平成30年4月> 文学修士
		日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月> 芸術学修士
		人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼任	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門
兼任	教授	石田 かおり (53) <平成30年9月> 博士(被服環境学)
		人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	福王 守 (52) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼任	准教授	橋田 布佐子 (60) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	准教授	榎本 環 (53) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月> 芸術学修士
		人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼任	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門
兼任	教授	石田 かおり (53) <平成30年9月> 博士(被服環境学)
		人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	福王 守 (52) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼任	准教授	橋田 布佐子 (60) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	准教授	榎本 環 (54) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田澤 秀司 (56) <平成30年4月> 芸術学修士
		人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼任	教授	田代 真人 (56) <平成31年4月> 修士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 観光文化入門Ⅰ
兼任	教授	千葉 公慈 (54) <平成30年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門
兼任	教授	石田 かおり (54) <平成30年9月> 博士(被服環境学)
		人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	福王 守 (53) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼任	教授	藤城 有美子 (51) <平成31年4月> 博士(医学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	教授	藤川 麗 (46) <平成31年4月> 博士(教育学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	准教授	橋田 布佐子 (61) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	准教授	榎本 環 (55) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月> 修士(日本史学)
		駒沢女子大学入門 日本文化入門Ⅰ 歴史資料論  博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ
兼任	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月> 博士(教育学)
		心理学入門Ⅰ
兼任	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年9月> 修士(文学)
		日本文化入門Ⅱ 民俗資料論 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月> Master of Arts(米国)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ  グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月> 修士(日本史学)
		駒沢女子大学入門 日本文化入門Ⅰ 歴史資料論  博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ
兼任	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月> 博士(教育学)
		心理学入門Ⅰ
兼任	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年9月> 修士(文学)
		日本文化入門Ⅱ 民俗資料論 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月> Master of Arts(米国)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ  グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	皆川 義孝 (51) <平成30年4月> 修士(日本史学)
		<b>科目削除</b> 日本文化入門Ⅰ 歴史資料論 <b>民俗資料論</b> 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	明田川 紀彦 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ <b>科目削除</b> <b>科目削除</b>
兼任	講師	岡本 教佳 (62) <平成31年4月> 工学博士
		<b>コンピュータ演習Ⅲ</b> <b>コンピュータ演習Ⅳ</b>
兼任	准教授	丸山 慎 (46) <平成30年4月> 博士(教育学)
		<b>基礎ゼミⅠ</b> <b>基礎ゼミⅡ</b> 心理学入門Ⅰ
兼任	准教授	下川 雅弘 (44) <平成30年9月> 修士(文学)
		日本文化入門Ⅱ <b>歴史資料論</b> 民俗資料論 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	杉野 知恵 (45) <平成30年4月> Master of Arts(米国)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ <b>観光文化入門Ⅰ</b> グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	張 景泰 (46) <平成31年4月> 博士(観光学)
		<b>観光文化入門Ⅰ</b> <b>観光文化入門Ⅱ</b>
兼任	准教授	飯島 卓 (45) <平成31年4月> 修士(観光学)
		<b>観光文化入門Ⅰ</b> <b>観光文化入門Ⅱ</b>

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月> Master of Arts(米国)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	石川 創 (35) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (34) <平成30年4月> 博士(言語学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月> 修士(心理学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月> 修士(心理学)
		人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月> 修士(教育学)
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月> Master of Arts(米国)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	准教授	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	准教授	石川 創 (35) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (35) <平成30年4月> 博士(言語学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月> 修士(心理学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月> 修士(心理学)
		人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月> 修士(教育学)
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	松山 響子 (41) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語BⅢ 英語BⅣ <b>削除</b> <b>削除</b> 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	講師	Plaza Taron (49) <平成30年4月> Master of Arts(米国)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	准教授	大貫 恵佳 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	Morris Jonathan (40) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	准教授	石川 創 (36) <平成30年4月> 修士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (36) <平成30年4月> 博士(言語学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	綾城 初穂 (36) <平成30年4月> 修士(心理学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (35) <平成30年4月> 修士(心理学)
		人間関係入門Ⅰ
兼任	准教授	古屋 真 (34) <平成30年4月> 修士(教育学)
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	龍谷 孝道 (34) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月> 修士(学術)
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月> 文学修士
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月> 文学修士
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月> 修士(環境科学)
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月> 文学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月> 修士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	森嵩 由紀子 (49) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月> 文学修士
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月> 博士(文学)
		世界の歴史
兼任	講師	河合 惠実 (52) <平成30年4月> 文学士
		西洋文化史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	龍谷 孝道 (34) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月> 修士(学術)
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月> 文学修士
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月> 文学修士
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月> 修士(環境科学)
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月> 文学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月> 修士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	森嵩 由紀子 (49) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月> 文学修士
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月> 博士(文学)
		世界の歴史
兼任	講師	河合 惠実 (52) <平成30年4月> 文学士
		西洋文化史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小早川 浩大 (51) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	龍谷 孝道 (34) <平成30年4月> 修士(仏教学)
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (65) <平成30年4月> 文学修士
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (65) <平成30年4月> 修士(学術)
		<b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究
兼任	講師	鈴木 由加里 (54) <平成30年4月> 文学修士
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (60) <平成30年4月> 文学修士
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (43) <平成30年4月> 修士(環境科学)
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (54) <平成30年4月> 文学修士
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (51) <平成30年4月> 修士(心理学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	森嵩 由紀子 (50) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (52) <平成30年4月> 文学修士
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (42) <平成30年4月> 博士(文学)
		世界の歴史
兼任	講師	河合 惠実 (53) <平成30年4月> 文学士
		西洋文化史

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (37) <平成30年4月> 修士(政治学)
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月> 修士(経営学)
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (38) <平成30年4月> 修士(文学)
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	船津 卓馬 (37) <平成30年4月> 修士(工学)
		数学の世界 物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 博士(理学)
		物質と化学
兼任	講師	滝沢 真美 (56) <平成30年4月> 修士(家政学)
		色彩と科学 色彩デザイン
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 学士(経営学)
		進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わか奈 (38) <平成30年4月> 学士(経済学)
		進路設計 社会と教養演習C

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (37) <平成30年4月> 修士(政治学)
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月> 修士(経営学)
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (39) <平成30年4月> 修士(文学)
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	下久保 亘 (47) <平成30年4月> 工学修士
		数学の世界 物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 博士(理学)
		物質と化学
兼任	講師	滝沢 真美 (57) <平成31年4月> 修士(家政学)
		科目削除 色彩デザイン
兼任	講師	稲葉 隆 (56) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 学士(経営学)
		進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わか奈 (38) <平成30年4月> 学士(経済学)
		進路設計 社会と教養演習C

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	遠山 元浩 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (38) <平成30年4月> 修士(政治学)
		科目削除 世界の経済
兼任	教授	皆木 和義 (65) <平成31年4月> 学士(法学)
		日本の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (53) <平成30年4月> 修士(経営学)
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (40) <平成30年4月> 修士(文学)
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	下久保 亘 (48) <平成30年4月> 工学修士
		数学の世界 物理の世界
兼任	講師	平井 隆之 (34) <令和元年9月> 博士(理学)
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		物質と化学
兼任	講師	滝沢 真美 (58) <平成31年4月> 修士(家政学)
		科目削除 色彩デザイン
兼任	講師	稲葉 隆 (57) <平成30年4月> 修士(人間科学)
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (49) <平成30年4月> 学士(経営学)
		進路設計 科目削除 科目削除
兼任	講師	樋口 浩子 (54) <令和元年9月> 学士(マネジメント)
		社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わか奈 (39) <平成30年4月> 学士(経済学)
		進路設計 社会と教養演習C

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 学士(法学)
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 修士(文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> 学士(心理学)
		キャリアリテラシー
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 博士(医学)
		女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> 学士(体育)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月> 専修学校卒業
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
		境 希里子 (59) <平成30年4月> 文学士
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
		池上 俊彦 (48) <平成30年4月> 修士(文学)
兼任	講師	英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 学士(法学)
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 修士(文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> 学士(心理学)
		キャリアリテラシー
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 博士(医学)
		女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> 学士(体育)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月> 専修学校卒業
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
		境 希里子 (60) <平成30年4月> 文学士
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
		池上 俊彦 (48) <平成30年4月> 修士(文学)
兼任	講師	英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	最上 裕司 (42) <平成30年4月> 学士(法学)
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (42) <平成30年4月> 修士(文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (59) <平成30年4月> 学士(心理学)
		キャリアリテラシー <b>社会と教養演習A</b>
兼任	講師	城川 美佳 (56) <平成30年4月> 博士(医学)
		女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (47) <平成30年4月> 学士(体育)
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (40) <平成30年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツ I <b>科目削除</b>
兼任	講師	三辻 浩子 (53) <平成30年4月> 専修学校卒業
		<b>科目削除</b> スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (55) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
		境 希里子 (61) <平成30年4月> 文学士
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
		池上 俊彦 (49) <平成30年4月> 修士(文学)
兼任	講師	英語B I 英語B II <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 英語B III 英語B IV
		英語B I 英語B II <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 英語B III 英語B IV
		英語B I 英語B II <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 英語B III 英語B IV
		英語B I 英語B II <b>科目削除</b> <b>科目削除</b> 英語B III 英語B IV

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月> 修士(言語学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	大石 瑤子 (33) <平成30年4月> Master of Arts English Studies (英国)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月> MA(English)(英国)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	川上 真巳子 (59) <平成30年4月> 教育学修士
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II
兼任	講師	木庭 真美子 (64) <平成30年4月> The Degree of Master of Arts in History of Arts(英国)
		英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月> 修士(言語学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	木村 崇是 (26) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月> MA(English)(英国)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	川上 真巳子 (59) <平成30年4月> 教育学修士
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 科目削除 科目削除
兼任	講師	木庭 真美子 (65) <平成30年4月> The Degree of Master of Arts in History of Arts(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江連 成美 (52) <平成30年4月> 修士(言語学)
		科目削除 科目削除 科目削除 英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	木村 崇是 (27) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小田島 則子 (56) <平成30年4月> MA(English)(英国)
		英語B I 英語B II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV
兼任	講師	川上 真巳子 (60) <平成30年4月> 教育学修士
		科目削除 科目削除 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	
兼任	講師	木庭 真美子 (66) <平成30年4月> The Degree of Master of Arts in History of Arts(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	宮脇 裕子 (62) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Moreau Robert (48) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II  英語A III 英語A IV
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	吉田 明代 (43) <平成30年4月> 修士(学術)
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II <del>科目削除</del> <del>科目削除</del> 英語B III 英語B IV
兼任	講師	宮脇 裕子 (63) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	
兼任	講師	Burns Kevin Robert (54) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II  英語A III 英語A IV
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 千恵 (51) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II <del>科目削除</del> <del>科目削除</del> <del>科目削除</del> <del>科目削除</del> 英語A III 英語A IV
兼任	講師	宮脇 裕子 (64) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	
兼任	講師	Burns Kevin Robert (55) <平成30年4月> 文学士
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	本村 万喜子 (44) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV <del>科目削除</del> <del>科目削除</del>
兼任	講師	薬師 英子 (38) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV  英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II  英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II  英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV
兼任	講師	メルヴィン・ジョン (43) <平成30年4月> MASTER OF SCIENCE(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 一徳 (29) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月> 修士(教育学)
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月> 修士(文学)
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月> 修士(文学)
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 一徳 (30) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	岸山 健 (25) <平成31年4月> 修士(学術)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	小木曾 智子 (24) <平成31年4月> 修士(言語学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (37) <平成30年4月> 修士(文学)
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV

## 【認可時又は届出時】

## 【平成30年度】

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月> Bachelor of Arts in Psychology(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II  英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月> 修士(英文学)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		Earl Russell (55) <平成30年4月> 芸術修士
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月> Bachelor of Arts in Psychology(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II  英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月> 修士(英文学)
		英語A I 英語A II  科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田裕子リナ (60) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (53) <平成30年4月> Bachelor of Arts in Psychology(英国)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (55) <平成30年4月> MASTER OF ARTS(米国)
		科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (38) <平成30年4月> 修士(教育学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (56) <平成30年4月> 修士(英文学)
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 科目削除 科目削除 科目削除 科目削除
兼任	講師	津村 早紀 (25) <平成31年4月> 修士(学術)
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Suthichai Pac Taupradist (35) <平成30年4月> <small>Doctor of Jurisprudence(米国)</small> 英会話 I 英会話 II Academic Reading I Academic Reading II Academic Speaking I Academic Speaking II
兼任	講師	Jeffrey Jones (46) <平成30年4月> <small>BACHELOR OF SCIENCE(米国)</small> Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II Academic Speaking I Academic Speaking II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Jason Takada (49) <平成30年4月> BA(韓国) Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 大和 (27) <平成31年4月> 修士(言語学) 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Daniel G. Friedrich (39) <平成31年4月> MA(米国) 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	Rose Guy Easton (38) <平成31年4月> BA(米国) 英語コミュニケーション入門 I 英語コミュニケーション入門 II 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Donald C. Bartley (59) <平成31年4月> BA(米国) 英会話 I 英会話 II Receptive English I Receptive English II
兼任	講師	Lawrence Karn (65) <平成31年4月> Ph. D(米国) 英会話 I 英会話 II 英語コミュニケーション入門 I 英語コミュニケーション入門 II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月> Ph.D(文学・文明)(仏語)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月> 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> 博士(学術)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) <平成30年4月> 工学修士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	堀邊 阿伊子 (38) <平成30年4月> 修士(文学)
		平面と立体表現の基礎 図学と透視画の基礎 CADⅢ 建築計画D
兼任	講師	南雲 理枝 (60) <平成30年4月> 芸術学士
		プロダクトデザイン入門 立体織デザインⅠ 立体織デザインⅡ 立体織デザインⅢ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月> Ph.D(文学・文明)(仏語)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月> 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> 博士(学術)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) <平成30年4月> 工学修士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	堀邊 阿伊子 (38) <平成30年4月> 修士(文学)
		平面と立体表現の基礎 図学と透視画の基礎 CADⅢ 建築計画D
兼任	講師	南雲 理枝 (60) <平成30年4月> 芸術学士
		プロダクトデザイン入門 立体織デザインⅠ 立体織デザインⅡ 立体織デザインⅢ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Gleeson Frances (61) <平成31年4月> BA(韓国)
		Productive EnglishⅠ Productive EnglishⅡ
兼任	講師	松村 悠子 (41) <平成30年4月> Ph.D(文学・文明)(仏語)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	講師	高宮 純子 (38) <平成31年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	講師	木下 令子 (63) <平成30年4月> 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ
兼任	講師	西端 彩 (37) <平成30年4月> 修士(人文科学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (43) <平成30年4月> 博士(学術)
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (62) <平成30年4月> 工学修士
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	堀邊 阿伊子 (39) <平成30年4月> 修士(文学)
		平面と立体表現の基礎 図学と透視画の基礎 <b>科目削除</b> 建築計画D
兼任	講師	南雲 理枝 (61) <平成30年4月> 芸術学士
		プロダクトデザイン入門 立体織デザインⅠ 立体織デザインⅡ 立体織デザインⅢ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	内 美弥子 (40) <平成31年4月> 学士(工学)
		設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ
兼任	講師	田中 昭成 (47) <平成31年4月> 学士(工学)
		設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ
兼任	講師	中村 和也 (60) <令和元年9月> 工学修士
		設計製図Ⅱ
兼任	講師	Frank la Riviere (57) <令和元年9月> Doctoral examen bouwkunde(蘭国)
		設計製図Ⅱ インテリアデザインⅠ
兼任	講師	伊藤 香織 (45) <令和元年9月> 修士(家政学)
		住空間とライフスタイル
兼任	講師	石原 朋子 (54) <令和元年9月> 建築士
		環境デザイン
兼任	講師	出原 秀仁 (60) <令和2年4月> 工学士
		インテリアデザイン計画B インテリアデザイン計画C
兼任	講師	野田 昇一郎 (50) <平成31年4月> 修士(芸術学)
		家具デザインⅠ 家具デザインⅡ
兼任	講師	渡辺 信史 (44) <平成31年4月> 準学士(造形)
		陶芸デザインⅠ 陶芸デザインⅡ 陶芸デザインⅢ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	内 美弥子 (40) <平成31年4月> 学士(工学)
		設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ
兼任	講師	田中 昭成 (46) <平成31年4月> 学士(工学)
		設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ
兼任	講師	中村 和也 (59) <令和元年9月> 工学修士
		設計製図Ⅱ
兼任	講師	Frank la Riviere (56) <令和元年9月> Doctoral examen bouwkunde(蘭国)
		設計製図Ⅱ インテリアデザインⅠ
兼任	講師	伊藤 香織 (44) <令和元年9月> 修士(家政学)
		住空間とライフスタイル
兼任	講師	石原 朋子 (53) <令和元年9月> 建築士
		環境デザイン
兼任	講師	出原 秀仁 (58) <令和2年4月> 工学士
		インテリアデザイン計画B インテリアデザイン計画C
兼任	講師	野田 昇一郎 (50) <平成31年4月> 修士(芸術学)
		家具デザインⅠ 家具デザインⅡ
兼任	講師	渡辺 信史 (43) <平成31年4月> 準学士(造形)
		陶芸デザインⅠ 陶芸デザインⅡ 陶芸デザインⅢ
兼任	講師	久野 真琴 (35) <平成30年4月> 学士(造形)
		プロダクトデザイン入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐野 麻子 (34) <令和元年9月> 学士(造形)
		立体織デザインⅠ
兼任	講師	内 美弥子 (41) <平成31年4月> 学士(工学)
		設計製図Ⅰ 科目削除
兼任	講師	田中 昭成 (47) <平成31年4月> 学士(工学)
		設計製図Ⅰ 科目削除
兼任	講師	佐々木 珠穂 (39) <平成31年4月> 学士(工学)
		設計製図Ⅰ
兼任	講師	中村 和也 (60) <令和元年9月> 工学修士
		設計製図Ⅱ
兼任	講師	Frank la Riviere (57) <令和元年9月> Doctoral examen bouwkunde(蘭国)
		科目削除 インテリアデザインⅠ
兼任	講師	伊藤 香織 (45) <令和元年9月> 修士(家政学)
		住空間とライフスタイル
兼任	講師	中津 大悟 (40) <令和元年9月> 学士(芸術工学)
		環境デザイン
兼任	講師	出原 秀仁 (59) <令和2年4月> 工学士
		インテリアデザイン計画B インテリアデザイン計画C
兼任	講師	野田 昇一郎 (51) <平成31年4月> 修士(芸術学)
		家具デザインⅠ 家具デザインⅡ
兼任	講師	渡辺 信史 (44) <平成31年4月> 準学士(造形)
		陶芸デザインⅠ 陶芸デザインⅡ 陶芸デザインⅢ
兼任	講師	久野 真琴 (36) <平成30年4月> 学士(造形)
		科目削除 陶芸デザインⅠ
兼任	講師	田中 啓一 (40) <令和元年9月> 学士(造形)
		陶芸デザインⅡ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩谷 洋子 (55) <平成31年4月> 博士(工学)
		芸術論 工芸デザイン論 日本建築史 西洋建築史
兼任	講師	堀 伸平 (43) <令和2年4月> 修士(建築学)
		空間演出A 空間演出B
兼任	講師	大林 万里江 (41) <令和元年9月> 修士(環境科学)
		ランドスケープ論
兼任	講師	大塚 弘樹 (48) <令和2年9月> 修士(工学)
		建築環境設備
兼任	講師	熊倉 永子 (35) <令和2年4月> 博士(工学)
		環境工学
兼任	講師	関 栄二 (52) <令和2年4月> 博士(工学)
		建築法規 I 建築法規 II
兼任	講師	沖野 俊則 (57) <令和2年9月> 芸術学士
		インテリアデザイン II
兼任	講師	滝澤 雅史 (43) <平成31年4月> 修士(国際交流)
		博物館資料論 博物館資料保存論
兼任	講師	滝口 正哉 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (63) <平成31年4月> 造形学士
		博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習B
兼任	講師	津曲 真一 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本文化史 I 日本文化史 II
兼任	講師	鈴木 伸子 (40) <令和元年9月> 博士(美術)
		日本のミュージアム

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩谷 洋子 (55) <平成31年4月> 博士(工学)
		芸術論 工芸デザイン論 日本建築史 西洋建築史
兼任	講師	堀 伸平 (41) <令和2年4月> 修士(建築学)
		空間演出A 空間演出B
兼任	講師	大林 万里江 (40) <令和元年9月> 修士(環境科学)
		ランドスケープ論
兼任	講師	大塚 弘樹 (46) <令和2年9月> 修士(工学)
		建築環境設備
兼任	講師	熊倉 永子 (33) <令和2年4月> 博士(工学)
		環境工学
兼任	講師	関 栄二 (50) <令和2年4月> 博士(工学)
		建築法規 I 建築法規 II
兼任	講師	沖野 俊則 (55) <令和2年9月> 芸術学士
		インテリアデザイン II
兼任	講師	滝澤 雅史 (42) <平成31年4月> 修士(国際交流)
		博物館資料論 博物館資料保存論
兼任	講師	滝口 正哉 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (62) <平成31年4月> 造形学士
		博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習C
兼任	講師	長谷川 幸一 (36) <平成31年4月> 修士(歴史学)
		日本文化史 I 日本文化史 II
兼任	講師	鈴木 伸子 (39) <令和元年9月> 博士(美術)
		日本のミュージアム

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩谷 洋子 (56) <平成31年4月> 博士(工学)
		芸術論 工芸デザイン論 日本建築史 西洋建築史
兼任	講師	堀 伸平 (42) <令和2年4月> 修士(建築学)
		空間演出A 空間演出B
兼任	講師	大林 万里江 (41) <令和元年9月> 修士(環境科学)
		ランドスケープ論
兼任	講師	大塚 弘樹 (47) <令和2年9月> 修士(工学)
		建築環境設備
兼任	講師	熊倉 永子 (34) <令和2年4月> 博士(工学)
		環境工学
兼任	講師	関 栄二 (51) <令和2年4月> 博士(工学)
		建築法規 I 建築法規 II
兼任	講師	沖野 俊則 (56) <令和2年9月> 芸術学士
		インテリアデザイン II
兼任	講師	滝澤 雅史 (43) <平成31年4月> 修士(国際交流)
		博物館資料論 博物館資料保存論 博物館実習B
兼任	講師	滝口 正哉 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (63) <平成31年4月> 造形学士
		博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習C
兼任	講師	長谷川 幸一 (37) <平成31年4月> 修士(歴史学)
		日本文化史 I 日本文化史 II
兼任	講師	鈴木 伸子 (40) <令和元年9月> 博士(美術)
		日本のミュージアム

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	岩谷 秋美 (42) <平成31年4月> 博士(美術)	岩谷 秋美 (41) <平成31年4月> 博士(美術)	岩谷 秋美 (42) <平成31年4月> 博士(美術)	岩谷 秋美 (42) <平成31年4月> 博士(美術)
		西洋美術の旅Ⅰ	西洋美術の旅Ⅰ	未開講	未開講
兼任	講師	桑 和沙 (36) <令和元年9月> 博士(文学)	桑 和沙 (35) <令和元年9月> 博士(文学)	桑 和沙 (36) <令和元年9月> 博士(文学)	桑 和沙 (36) <令和元年9月> 博士(文学)
		西洋美術の旅Ⅱ	西洋美術の旅Ⅱ	未開講	未開講
兼任	講師	加島 勝 (63) <平成31年4月> 博士(文学)	加島 勝 (62) <平成31年4月> 博士(文学)	加島 勝 (63) <平成31年4月> 博士(文学)	加島 勝 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本の文化財Ⅰ 日本の文化財Ⅱ	日本の文化財Ⅰ 日本の文化財Ⅱ	日本の文化財Ⅰ 日本の文化財Ⅱ	日本の文化財Ⅰ 日本の文化財Ⅱ
兼任	講師	今野 慶信 (50) <平成31年4月> 修士(日本史学)	今野 慶信 (49) <平成31年4月> 修士(日本史学)	今野 慶信 (50) <平成31年4月> 修士(日本史学)	今野 慶信 (50) <平成31年4月> 修士(日本史学)
		歴史考古学	歴史考古学	歴史考古学	歴史考古学
兼任	講師	市川 理恵 (47) <平成31年4月> 博士(史学)	市川 理恵 (46) <平成31年4月> 博士(史学)	市川 理恵 (47) <平成31年4月> 博士(史学)	市川 理恵 (47) <平成31年4月> 博士(史学)
		文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ	文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ	文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ	文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

<人間総合学群 住空間デザイン学類>

**【平成30年度】**

- ・篠教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除、鈴木准教授に担当者変更。
- ・磯谷教授、病気治療予定の理由により、「プロダクトデザイン入門」を久野兼任講師に担当者変更。
- ・鈴木准教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加、「CADⅠ」を削除、小川講師に担当者変更。
- ・小川講師、科目調整の理由により、「CADⅠ」を追加。
- ・小久保助教、体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除。
- ・糟谷兼担教授、科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」を削除、黒瀬兼任講師に担当者変更。
- ・須藤兼担教授、公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」を削除、富士原兼担教授、松岡兼担教授に担当者変更。
- ・中野兼担教授、教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を追加。
- ・皆川兼担教授、准教授から教授へ昇格。
- ・大貫兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・石川兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・龍谷兼任講師、就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」を佐々木兼担教授、「仏教学Ⅱ」を千葉兼担教授に担当者変更。
- ・船津兼任講師、就任辞退の理由により、「数学の世界」「物理の世界」を下久保兼任講師に担当者変更。
- ・滝沢兼任講師、科目担当辞退により、「色彩と科学」を稲葉兼任講師に担当者変更、それに伴う就任年月変更。
- ・大石兼任講師、就任辞退の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を木村兼任講師に担当者変更。
- ・小泉兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・木庭兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加。
- ・佐々木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Moreau Robert兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をBurns Kevin Robert兼任講師に担当者変更。
- ・吉田兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を鈴木兼任講師に担当者変更。
- ・杉田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・砂田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・田ノ口兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・加藤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・メルヴィン・ジョン兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をEarl Russell兼任講師に担当者変更。
- ・木澤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・神山兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Suthichai Pac Taupradist兼任講師、就任辞退の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」をRod Caldwell兼任講師に担当者変更。
- ・Jeffrey Jones兼任講師、就任辞退の理由により、「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」をJason Takada兼任講師に担当者変更。
- ・クレイ・サイモン兼任講師、教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を追加。
- ・津曲兼任講師、就任辞退の理由により、「日本文化史Ⅰ」「日本文化史Ⅱ」を長谷川兼任講師に担当者変更。

**【令和元年度】**

- ・佐藤教授、科目担当調整の理由により、「フィールドワーク」を削除。
- ・篠教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・磯谷教授、科目担当調整の理由により、「プロダクトデザイン入門」を追加、「フィールドワーク」を削除、「陶芸デザイン研究」を高見沢兼任講師に担当者変更。
- ・橋田教授、科目担当調整の理由により、「フィールドワーク」を削除。
- ・三戸教授、科目担当調整の理由により、「フィールドワーク」を削除。
- ・鈴木准教授、科目担当調整の理由により、「CADⅠ」を追加、「コンピュータ演習Ⅰ」「コンピュータ演習Ⅱ」「住空間デザインの基礎Ⅰ」「住空間デザインの基礎Ⅱ」「フィールドワーク」を削除、「コンピュータ演習Ⅰ」「コンピュータ演習Ⅱ」を星野兼任講師に担当者変更。
- ・茂木准教授、科目担当調整の理由により、「フィールドワーク」を削除。
- ・小川講師、科目担当調整の理由により、「CADⅡ」「構造力学Ⅰ」「構造力学Ⅱ」「建築構造Ⅰ」「建築構造Ⅱ」「建築材料」「建築生産」(以上小久保助教担当)を追加、「製図の基礎」「建築デザイン論」を削除。
- ・小久保助教、退職の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」「CADⅠ」「CADⅡ」「学外実習」「フィールドワーク」「建築デザインスタジオⅠ」「建築デザインスタジオⅡ」「建築デザインスタジオⅢ」「建築デザインスタジオⅣ」「卒業研究」を三宅助教に、「構造力学Ⅰ」「構造力学Ⅱ」「建築構造Ⅰ」「建築構造Ⅱ」「建築材料」「建築生産」を小川講師に、担当者変更。
- ・三宅助教、就任の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」「CADⅠ」「CADⅡ」「学外実習」「フィールドワーク」「建築デザインスタジオⅠ」「建築デザインスタジオⅡ」「建築デザインスタジオⅢ」「建築デザインスタジオⅣ」「卒業研究」(以上小久保助教担当)、「製図の基礎」「設計製図Ⅱ」「CADⅢ」「建築デザイン論」を担当。
- ・山崎助教、科目担当調整の理由により、「CADⅡ」「フィールドワーク」を削除、「設計製図Ⅱ」を追加。
- ・羽鳥兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加。
- ・加藤兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加、科目担当調整の理由により、「スペイン語Ⅲ」「スペイン語Ⅳ」を削除。
- ・糟谷兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加、「ドイツ語Ⅲ」「ドイツ語Ⅳ」を削除。
- ・渡邊兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加。
- ・富士原兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・松岡兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・保坂兼担教授、科目担当調整の理由により、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「中国語Ⅲ」「中国語Ⅳ」を削除、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を余兼任講師に担当者変更。
- ・橋本兼担教授、科目担当調整の理由により、「言語表現演習Ⅰ」「言語表現演習Ⅱ」を担当。
- ・田代兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」「観光文化入門Ⅰ」を担当。
- ・藤城兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・藤川兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・皆川兼担教授、科目担当調整の理由により、「駒沢女子大学入門」を削除、「民俗資料論」を追加。
- ・明田川兼担教授、科目担当調整の理由により、「コンピュータ演習Ⅲ」「コンピュータ演習Ⅳ」を削除、岡本兼任講師に担当者変更。
- ・丸山兼担教授、科目担当調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・下川兼担教授、科目担当調整の理由により、「歴史資料論」を追加。
- ・杉野兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」を追加。
- ・張兼担教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」を追加。

- ・鮫島兼担任教授、授業内容充実の理由により、「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」を追加。
- ・松山兼担任教授、科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を削除。
- ・古屋兼担任講師、講師から准教授へ昇格。
- ・玉本兼任講師、科目担当調整の理由により、「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」を削除。
- ・斎藤兼任講師、本人都合の理由により、「日本の経済」を、皆木兼任講師に担当者変更。
- ・鈴木兼任講師、本人都合の理由により、「地球と宇宙」を、平井兼任講師に担当者変更。
- ・野々垣兼任講師、本人都合の理由により、「社会と教養演習A」を永久兼任講師に、「社会と教養演習B」を樋口兼任講師に担当者変更。
- ・丸山兼任講師、本人都合の理由により、「スポーツⅡ」を削除。
- ・三辻兼任講師、本人都合の理由により、「スポーツⅠ」を削除。
- ・池上兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・江連兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・木村兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・小田島兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・川上兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・小泉兼任講師、退職の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除。
- ・佐々木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・宮脇兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・Burns兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・本村兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を追加。
- ・薬師兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・鈴木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・杉田兼任講師、退職の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を削除、岸山兼任講師に担当者変更。
- ・砂田兼任講師、退職の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除。
- ・小木曾兼任講師、科目調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を担当。
- ・木ノ口兼任講師、退職の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除。
- ・加藤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加。
- ・Russell兼任講師、退職の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・谷口兼任講師、本人都合の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を削除。
- ・木澤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・神山兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅢ」「英語BⅣ」を削除、「英語AⅢ」「英語AⅣ」を追加。
- ・津村兼任講師、科目調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を担当。
- ・佐々木兼任講師、科目調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」「英語BⅢ」「英語BⅣ」を担当。
- ・Daniel兼任講師、科目調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」を担当。
- ・Rose兼任講師、科目担当調整の理由により、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」「英語AⅠ」「英語AⅡ」「英語AⅢ」「英語AⅣ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を担当。
- ・Takada兼任講師、退職の理由により、「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」を削除。
- ・Donald兼任講師、科目調整の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」を担当。
- ・Lawrence兼任講師、科目調整の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を担当。
- ・Gleeson兼任講師、科目調整の理由により、「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」を担当。
- ・黒瀬兼任講師、退職の理由により、「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」「ドイツ語Ⅲ」「ドイツ語Ⅳ」を、高宮兼任講師に担当者変更。
- ・堀邊兼任講師、科目担当調整の理由により、「CADⅢ」を削除。
- ・佐野兼任講師、科目担当調整の理由により、「立体織デザインⅠ」を担当。
- ・内兼任講師、科目担当調整の理由により、「設計製図Ⅱ」を削除。
- ・田中兼任講師、科目担当調整の理由により、「設計製図Ⅱ」を削除。
- ・佐々木兼任講師、科目担当調整の理由により、「設計製図Ⅰ」を担当。
- ・Riviere兼任講師、科目担当調整の理由により、「設計製図Ⅱ」を削除。
- ・石原兼任講師、本人都合の理由により、「環境デザイン」を削除、中津兼任講師に担当者変更。
- ・久野兼任講師、科目担当調整の理由により、「プロダクトデザイン入門Ⅰ」を削除、「陶芸デザインⅠ」を追加。
- ・田中兼任講師、科目担当調整の理由により、「陶芸デザインⅠ」を担当。
- ・滝澤兼任講師、授業内容充実の理由により、「博物館実習B」を追加。
- ・岩谷兼任講師、本人都合の理由により、「西洋美術の旅Ⅰ」を未開講。
- ・桑兼任講師、本人都合の理由により、「西洋美術の旅Ⅱ」を未開講。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	2	1	2	12	7	2	1	2	12
(7)	(2)	(1)	(2)	(12)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
7	2	1	2	12	7	2	1	2	12
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0	0
70 平成17年以前就任者 歳		

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	助教	小久保 彰	必修	基礎ゼミ I	①	H30. 6. 30付け、体調不良のため辞任（令和元年）				
			必修	基礎ゼミ II	①					
			必修	CAD I	①					
			必修	CAD II	①					
			選択	学外実習	①					
			選択	フィールドワーク	①					
			選択	構造力学 I	①					
			選択	構造力学 II	①					
			選択	建築構造 I	①					
			選択	建築構造 II	①					
			選択	建築材料	①					
			選択	建築生産	①					
			選択	建築デザインスタジオ I	①					
			選択	建築デザインスタジオ II	①					
			選択	建築デザインスタジオ III	①					
			選択	建築デザインスタジオ IV	①					
選択	卒業研究	①								
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	13	科目	選択	13	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	17	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1 人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	13 科目	選択	13 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	17 科目	計	17 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況  
該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本人の申し出による体調不良により、勤務継続が困難であると判断した。該当教員の担当予定17科目中、14科目が2年次以降の配当であったため、学生への影響は、最小限に抑えられた。学生への周知は、平成31年4月のオリエンテーション、及び履修ガイダンス時に行った。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
届 出 時 (平成29年4月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	・入学定員超過の改善 に努めること。(人間総 合学群心理学類)	・昨年度入学定員超過率が 1.42倍であったのを、本年 度1.18倍に是正した。	・入学定員の是正に引き続 き努めていく。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <人間総合学群 住空間デザイン学類>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当無し	該当無し

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況（別添資料1「点検・評価・改善委員会規程」参照）

本学では、教員の資質の維持、改善、向上を図るための組織として「点検・評価・改善委員会」を置いている。同委員会は、主として、以下の諸活動を行っている。

1. 授業アンケートの実施と自己評価報告書の作成依頼
2. 学内公開授業の運営
3. ファカルティ・ディベロップメントの実施
4. 教育研究業績記録の作成

本委員会は、全学的な組織であり、学群長（人間総合学群）、各学部長（人間健康学部・看護学部）、各教授会より選ばれた教員、事務職員により構成される。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

1. 点検・評価・改善委員会は、基本的に、月の第3木曜日に開催している。
- 2a. 平成29年度の開催状況を以下に記す。
  - ・平成29年 4月20日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
  - ・平成29年 5月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員7名、職員1名、以上11名出席
  - ・平成29年 6月15日 委員長、人文学部長、他教員6名、職員1名、以上9名出席
  - ・平成29年10月19日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
  - ・平成29年11月16日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
  - ・平成29年12月21日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
  - ・平成30年 1月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員5名、職員1名、以上9名出席
- 2b. 平成30年度の開催状況を以下に記す。
  - ・平成30年 4月19日 委員長、学群長・学部長2名、他教員9名、職員2名、以上15名出席
  - ・平成30年 5月17日 委員長、学群長・各学部2名、他教員9名、職員2名、以上15名出席
  - ・平成30年 6月14日 委員長、学群長・学部長1名、他教員9名、職員2名、以上14名出席
  - ・平成30年 7月19日 委員長、学群長・学部長1名、他教員10名、職員2名、以上15名出席
  - ・平成30年 9月20日 委員長、学群長・学部長1名、他教員10名、職員1名、以上14名出席
  - ・平成30年10月18日 委員長、学群長・学部長1名、他教員8名、職員2名、以上13名出席
  - ・平成30年11月15日 委員長、学群長・学部長1名、他教員11名、職員2名、以上16名出席
  - ・平成30年12月20日 委員長、学群長・学部長1名、他教員9名、職員2名、以上14名出席
  - ・平成30年 1月17日 委員長、学群長・学部長1名、他教員8名、職員1名、以上12名出席

##### c 委員会の審議事項等

1. 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
2. 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
3. その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

上記3の具体的内容として、授業アンケート、学内公開授業、卒業年次アンケート、FD・SD活動の実施、FD分科会の統括、研究費傾斜配分、外部機関開催のFD研修会案内等があげられる。

## ② 実施状況

### a 実施内容

1. 学内公開授業
2. ファカルティ・ディベロップメント
3. 教育研究業績記録の作成

### b 実施方法

#### 1. 学内公開授業

本学では、前期と後期に各1回、2週間にわたり、専任教員を中心とした学内授業公開期間を設けている。参観者は、見学した授業に対する意見書を自己の名前を付して提出する。

#### 2. ファカルティ・ディベロップメント

本学では、「点検・評価・改善委員会」が中心となり、教職員を対象としたFD研修会を、毎年1回もしくは2回実施する。FD研修会は、専任教員全員参加を原則とし、終了後の報告を義務付ける。さらに、学類、学科の枠をこえ、類似する専門分野の教員が集まり、よりよい授業への改善を目的に、独自のFD分科会（必修英語の研究・第二外国語分科会・ICT教育検討会等）を展開させている。平成29年度は15の分科会が、平成30年度は22の分科会が稼働中である。分科会の1年間の成果は、年度末に教育研究支援課に提出され、記録を保管している。

#### 3. 教育研究業績記録の作成

本学では、全専任教員が教育研究業績を毎年度更新している。これは、所定の形式にのっとり、「教育実践上の主な業績」「作成した教科書・教材・参考書」「教育活動上特記すべき事項」「研究活動」「学会等社会における主な活動」等の項目をまとめ、年度末に提出するというものである。教員は、これを、教育内容の見直しを図るための一助として活用している。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

#### 1 a. 学内公開授業（平成29年度実績）

##### 前期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 156  
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 45  
（参考 兼任講師8名参加 公開授業総数19）

##### 後期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 132  
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 42  
（参考 兼任講師4名参加 公開授業数 5）

#### 1 b. 学内公開授業（平成30年度実績）

##### 前期（平成30年6月11日～6月23日）

人文学部・人間総合学群 公開授業総数 143 参観者総数 110  
人間健康学部 公開授業総数 29 参観者総数 7  
看護学部 公開授業数 0 参観者総数 0  
（参考 兼任講師 公開授業総数 19 参観者総数 9）

##### 後期（平成30年11月19日～12月1日）

人文学部・人間総合学群 公開授業総数 127 参観者総数 81  
人間健康学部 公開授業総数 28 参観者総数 4  
看護学部 公開授業総数 18 参観者総数 7  
（参考 兼任講師 公開授業総数 11 参観者総数 8）

#### 2 a. ファカルティ・ディベロップメント（平成29年度実績）

##### 1. 平成29年6月29日

研修会講演 五味洋一「大学における障害学生への合理的配慮を考える2」  
参加状況 人文学部 専任教員64名中59名出席 5名（録画視聴） 全員アンケート提出  
人間健康学部 専任教員16名中13名出席 3名（録画視聴） 全員アンケート提出

##### 2. 平成30年2月15日

研修会講演 中谷隆文「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」  
田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」  
参加状況 人文学部 専任教員64名中58名出席 出席者全員アンケート提出  
人間健康学部 専任教員16名中13名出席 出席者全員アンケート提出

##### 3. 平成30年3月8日（2月15日不参加者がいたため再度同内容で開催、ただし講演者1名）

研修会講演 田上慧子「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」  
田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」  
参加状況 人文学部 専任教員不参加者6名中4名出席 出席者全員アンケート提出  
人間健康学部 専任教員不参加者3名中1名出席 出席者全員アンケート提出  
再開不参加者 3名中2名資料を読みアンケート提出、3名中1名体調不良により完全不参加

2b. ファカルティ・ディベロップメント（平成30年度実績）

1. 平成30年7月26日

研修会講演 芝田剛志「SNSリスク対策研修会」

参加状況 人文学部・人間総合学群 専任教員62名中55名出席、5名（録画視聴）、産休・休職2名  
参加者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中11名出席、5名（録画視聴） 参加者全員アンケート提出  
看護学部 専任教員22名中22名出席 出席者全員アンケート提出

2. 平成31年12月13日、12月20日（同一内容）

研修会講演 富士原光洋「シラバス作成と学修指針」

参加状況 人文学部・人間総合学群 専任教員62名中59名出席、講演者1名、産休・休職2名  
出席者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中16名出席 アンケート提出15名（1名未提出）

看護学部 専任教員22名中20名出席、育休2名 出席者全員アンケート提出

3. 平成31年2月14日

研修会講演 小川誠・富士原光洋「アセスメント・ポリシーと学修成果の把握」

参加状況 人文学部・人間総合学群 専任教員62名中54名出席、講演者2名、産休・休職2名  
校務欠席4名（録画視聴） 参加者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中13名出席、2名（録画視聴）、1名欠席

参加者全員アンケート提出

看護学部 専任教員22名中18名出席、1名（録画視聴）、1名欠席、育休2名

参加者全員アンケート提出

3. 教育研究業績記録の作成

平成29年度：人文学部、人間健康学部、専任教員全員提出。

平成30年度：人間総合学群、人文学部、人間健康学部、看護学部、専任教員全員提出。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 学内公開授業

参観のあった授業担当者は、参観者からの意見書を他者評価として受け取り、授業改善に活用した。この制度は、参観者が自己の授業を改善するきっかけとしての役割も果たしている。

2. ファカルティ・ディベロップメント

平成29年度：前期研修会を通して、障害学生への支援の取り組み改善を促進させた。また、後期研修会を通して、本年度開設された人間総合学群の教育全般にわたる準備を図ることができた。

平成30年度：前期研修会を通して、学生のSNSリスク対策への取り組みができた。また、後期の2度の研修会を通して、シラバス、アセスメント・ポリシー等、教育の質保証にかかわる内容について、認識を深めることができた。

3. 教育研究業績記録の作成

教育研究業績記録を作成することで、自己の教育研究の見直しを図る機会を得た。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、前期と後期の終わりに各1回、全学的な授業アンケートを実施し、その結果に基づく自己評価報告書の作成を専任教員に義務づけている。アンケートの項目は、学生自身の学修状況を問う3項目を含め、合計13項目で構成される。教員の授業内容を問う10項目のうち、5段階評価で3.0に満たない項目がある授業に関しては、評価が低かった原因を分析したうえで、報告書に改善計画を付記しなければならない。令和元年度以降は原則として全授業に対して授業アンケートを行う予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果をとりまとめた報告書は、本学図書館で教職員と学生に公開している。随時閲覧が可能である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

## (4) 自己点検・評価等に関する事項

### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

#### 1. 入学生確保

定員の確保へ向けて、学群・学類を紹介する大学案内冊子、リーフレットの作成、大学ホームページの更新、教職員の高校訪問、オープンキャンパスの開催などを行い、教育内容とアドミッション・ポリシーを入学希望者に周知させるように努めている。

平成30年度：本年度入学試験の結果は、入学定員370名に対して、入学志願者は1357名、入学者は458名、定員充足率は123.8%であった。入学者の内訳は、推薦、AO、外国人留学生入学試験入学者、264名、一般入学試験、センター試験利用入学試験入学者、194名である。この数値は、人間総合学群の母体となった人文学部の定員充足率が、平成29年度103.8%、平成28年度74.9%、平成27年度88.2%、であったのを大きく上回る。次年度も、入学志願者の数を減らさないように、広報活動を充実させていく。

令和元年度：本年度入学試験の結果は、入学定員370名に対して、入学志願者は1862名、入学者は466名、定員超過率は1.25倍であった。入学者の内訳は、推薦、AO、外国人留学生、帰国生徒入学試験入学者、259名、一般入学試験、センター試験利用入学試験入学者、207名（内学群入試入学者19名）、である。心理学類は、入学志願者410名、入学者数94名、倍率4.36、定員超過率1.17倍となった。同学類は、設置計画履行状況等調査の結果について（平成30年度）において、「入学定員超過の改善に努めること」との指摘を受けた。本年度は許容の範囲に収まる結果を出すことができた。

#### 2. 学群制の周知と学類への移行

平成30年度・令和元年度：新入生に対して、4月の授業開始前の4日間にわたり、オリエンテーションを行った。そこでは、本学の建学の精神、教育理念、学群・学類の教育目的と教育目標、教育課程の編成、学生生活全般について説明するとともに、専任教員の紹介、住空間デザイン学類希望者向け施設見学を実施した。また、授業の準備として、現在の学力を再確認するための、基礎学力テスト、英語クラス分けテストを入学者全員に課した。その他、奨学金の説明会、教職課程、学芸員養成課程のガイダンス、留学生へ向けての特別オリエンテーションを開催した。

令和元年度：専門教育センターの学類教育課程へ移行した2年次生については、1年次の11月下旬に各学類の専門教育に関する説明会を開催し、所属希望学類の確認と決定への周知を図った。住空間デザイン学類へは79名が進学した。なお、希望学類への所属が確約されている学群入試入学生10名の進学の内訳は、人間文化学類1名、観光文化学類2名、心理学類3名、住空間デザイン学類4名であった。

#### 3. 初年次教育

人間総合学群は、初年次教育の柱として、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を置いている。基礎ゼミは、専任教員が担当し、授業担当者執筆教科書（駒沢女子大学教科書シリーズ）を使用する。全クラスが共通の教科書を使うことで、教育内容に一貫性を持たせる。本科目では、授業の受け方、講義録のとり方、本の読み方、資料の探し方、小論文の書き方、討論や口頭発表の仕方、グループ活動の進め方、大学の学修に必要な基本技術等を教えると同時に、大学生活になじむための企画も行う。

平成30年度は20クラス、令和元年度は21クラスを設け、ほぼ、1クラス20余名のクラス編成をとることができた。また、再履者（2年次生以降）に対しては、別のクラスを設けて対応した。

入門科目は、各学類の専門教育の内容を確認するための導入科目である。学生は、2年進級時、自分が2年次以降に所属する学類を再確認する（前年度の11月下旬）。本科目群は、入学当初の希望とは異なる学類を選ぶ学生が、興味を抱いた学類の学修内容を事前に知るためにも有益な科目である。学生には、個別対応のうえ、最適な入門科目を履修するよう指導した。

令和元年度は、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーションⅡ」「観光文化入門Ⅰ」「観光文化入門Ⅱ」の内容を充実させ、入門科目12科目の運用に力を入れた。

初年次の必修科目である、「仏教学Ⅰ」「仏教学Ⅱ」に関して、平成30年度は就任を辞退した兼任講師の授業を専任教員がまかなうことで、予定通りのクラス編成と教育内容を維持することができた。令和元年度は担当者間で授業内容と評価方法を再度見直し、建学の精神を学ぶ科目としての位置づけを再確認した。

### ② 自己点検・評価報告書

#### a 公表（予定）時期

- ・「自己点検・評価報告書」を令和2年5月に公表予定

#### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公表（令和2年5月を予定）

### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和元年度に大学基準協会の評価を受ける（別添資料2「2019年度大学評価に係る申請の受理について」参照）。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和元年度)

a ホームページへの公表予定の有無 (  有 ・  無 )

b 公表有の場合の公表(予定)時期 ( 令和元 年 8 月 1 日 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( 該当なし )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

## 7 その他全般的事項 別添資料 1

### 駒沢女子大学 点検・評価・改善委員会規程

#### (趣旨)

第1条 この規程は、学校教育法第69条の3及び大学設置基準第2条の規定に基づき、駒沢女子大学の自己点検・評価・改善を行うための、「駒沢女子大学点検・評価・改善委員会」（以下「委員会」という。）に関する事項について定める。

#### (審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に定める事項について、審議する。

- (1) 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
- (2) 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
- (3) その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

#### (担当)

第3条 前条の事項を円滑に処理するため、委員会に次の担当を置く。

- (1) 教育
- (2) 研究
- (3) 施設・設備
- (4) 管理・運営
- (5) 入学・就職
- (6) 総括

2 各担当の責任者は委員長が指名する。

#### (構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員によって構成する。

- (1) 学群長及び各学部長
- (2) 削除
- (3) 各教授会より選出された若干名の委員

2 前項第1号及び第2号の委員はその職にある期間を任期とする。

3 第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 委員の互選により委員長を選出する。

#### (事務職員の参画)

第4条の2 委員会の審議に関連する業務を担当する部門の事務職員1名以上を委員とする。

#### (会議)

第5条 委員会は、委員長が必要に応じこれを招集し、会議の議長となる。

2 委員の3分の1以上の要請があったとき、委員長は委員会を招集しなければならない。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する者がこれに代わる。

#### (定足数)

第6条 委員会は、3分の2の委員の出席をもって成立する。

#### (意見聴取)

第7条 委員会はその職務に関係のある者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

#### (議決)

第8条 委員会は、出席者の過半数により、議決する。

2 可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教育・研究支援室が行う。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会が行う。

附 則 この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成14年10月3日に改正し、平成15年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、「駒沢女子大学自己評価委員会規程」を全面的に改正したものとして、平成16年7月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成21年2月23日に改正し、平成21年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成25年12月13日から施行する。

附 則 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

## 7 その他全般的事項 別添資料2

30 大基評第 182 号  
平成 30 年 12 月 14 日

駒沢女子大学  
学長 光田 督良 殿

公益財団法人 大学基準協会  
事務局長 工藤 潤



### 2019 年度大学評価に係る申請の受理について

拝啓 寒冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本協会の事業推進のため、種々ご協力を賜り深謝申し上げます。

標記に関し、先般、貴大学より提出されました「大学評価申請書」を受理いたしました。つきましては、大学評価ハンドブック及び同封の「評価資料の準備チェックシート」に従って、提出が必要となる評価資料一式のご準備をお進めいただき、来年 4 月 30 日（火）必着でご提出くださるようお願い申し上げます。

なお、提出後の評価資料の差し替えは、原則として出来ませんので、内容等を十分に確認した上でご提出をお願いいたします。

敬 具

<連絡先>

評価事業部 評価第 1 課

TEL : 03-5228-2200 E-MAIL : daigaku@juua.or.jp

